

末日聖徒イエス・キリスト教会・2018年11月号

リファナ

総大会の 説教

イエス・キリスト——
わたしたちの人生の中心,
教会の名称

新しい教科課程と
日曜日のスケジュールが
家庭と教会における
福音学習のバランスを取る

12の新しい神殿の
建設が発表される





「わたしは今晚、心の望みをすべて託して、皆さんにお願いします。自分に与えられた靈的な賜物を理解できるよう祈ってください。そして、その賜物を育て、活用し、これまでになかったほど強化するのです。これを行うならば、皆さんは世界を変えるでしょう。……

愛する姉妹の皆さん、教会には皆さんが必要です。わたしたちは、『皆さんの力、皆さんの改心、皆さんの確信、皆さんの指導力、皆さんの知恵、そして皆さんの声を必要としています。』皆さんなしでは、イスラエルの集合などできません。

皆さんを愛し、皆さんに感謝しています。そして今、この重大な急務を助ける際に世を引き離すことのできる力を、祝福として皆さんに与えます。力を合わせれば、愛する御子の再臨に世を備えるために天の御父がわたしたちに行うよう望んでおられることを、わたしたちはすべて行うことができます。」

*Coming Full Circle
(「元の位置に戻る」)*
Jenedy Paige

ラッセル・M・ネルソン大管長「イスラエルの集合への姉妹の参加」68, 70

リアホナ 2018年11月号 目次

第20巻・11号

土曜午前の部会

- 6 開会のあいさつ
ラッセル・M・ネルソン大管長
- 8 天の御父と主イエス・キリストに対する永続する深い改心
クエンティン・L・クック長老
- 12 頭を上げて喜びなさい
M・ジョセフ・ブラフ
- 15 一つの大いなる業の基を据える
スティーブン・R・バンガーター長老
- 18 心配することはない
ロナルド・A・ラズバンド長老
- 21 ことごとく、キリストにあって一つに帰せしめる
デビッド・A・ベドナー長老
- 25 真理と計画
ダリン・H・オーカス管長

土曜午後の部会

- 28 教会役員の支持
ヘンリー・B・アイリング管長
- 30 キリストへの堅固で搖るぎない信仰
D・トッド・クリストファーソン長老
- 34 来たれ、予言者よりみ言葉聞け
ディーン・M・デイビーズ ビショップ
- 37 「キリスト・イエスにあって一つ」
ウリセス・ソアレス長老
- 40 信仰のキャンプファイヤー
ゲレット・W・ゴング長老
- 43 すべての人は御父から与えられている御名を受けなければならぬ
ポール・B・パイパー長老
- 46 信じ、愛し、行う
ディーター・F・ウーグトドルフ長老

中央女性部会

- 50 主のために
ジョイ・D・ジョーンズ
- 52 聖なる不満足感
ミッシェル・D・クレーテ
- 55 無私の奉仕の喜び
クリスティーナ・B・フランコ
- 58 女性と家庭における福音学習
ヘンリー・B・アイリング管長
- 61 親と子供たち
ダリン・H・オーカス管長

- 68 イスラエルの集合への姉妹の参加
ラッセル・M・ネルソン大管長

日曜午前の部会

- 71 死者の贖いに関する示現
M・ラッセル・バラード会長
- 74 羊飼いとなる
ボニー・H・コードン
- 77 和解の務め
ジェフリー・R・ホランド長老
- 80 改心におけるモルモン書の役割
シェーン・M・ボーエン長老
- 83 傷を負った人
ニール・L・アンダーセン長老
- 87 教会の正しい名称
ラッセル・M・ネルソン大管長

日曜午後の部会

- 90 トライ、トライ、トライ
ヘンリー・B・アイリング管長
- 93 御父
ブライアン・K・アシュトン
- 97 イエス・キリストの御名を受ける
ロバート・C・ゲイ長老
- 101 なおりたいのか
マシュー・L・カーペンター長老
- 104 「きょう、選びなさい」
デール・G・レンランド長老
- 107 今がその時である
ジャック・N・グラード長老
- 110 羊飼いとして人々を導く
ゲーリー・E・スティーブンソン長老
- 113 模範的な末日聖徒になる
ラッセル・M・ネルソン大管長

- 64 末日聖徒イエス・キリスト教会の中
央幹部と中央役員
- 115 大会で話された実話や物語の索引
- 116 教会のニュース
- 121 わたしに従ってきなさい——
長老定員会および扶助協会用



第188回半期総大会の概要

2018年10月6日土曜午前、一般部会

司会——ヘンリー・B・アイリング管長
開会の祈り——クレグ・A・カーデン長老
閉会の祈り——アデイルソン・デ・パウラ・パレーラ長老
音楽——テンブルスクウェア・タバナカル合唱団；指揮——マック・ウィルバーグ、ライアン・マーフィー；オルガニスト——ブライアン・マシアス、リチャード・エリオット；「導きたまえよ」『贊美歌』41番；「夜明けだ、朝明けだ」『贊美歌』1番、ウィルバーグ編曲；「心向ければ」デフォード、マーフィー編曲；「山の上に」『贊美歌』2番；「主の計画に従う」『子供の歌集』86-87、ホフハイムズ編曲；「恐れず、来たれ聖徒」『贊美歌』17番、ウィルバーグ編曲。

2018年10月6日土曜午後、一般部会

司会——ダリン・H・オーツ管長
開会の祈り——シャロン・ユーバンク
閉会の祈り——ジョニ・L・コッホ長老
音楽——プロボの宣教師訓練センターの宣教師から成る合同聖歌隊；指揮——ライアン・エゲット、エルモ・ケック；オルガニスト——リンダ・マーゲット、ボニー・グッドリフ；「天よりの声聞け」『贊美歌』166番、シャンク編曲；メドレー、「勇者になろう」『子供の歌集』85と「イエス・キリストの教会」『子供の歌集』48、ウォービー編曲；「われらは天の王に」『贊美歌』157番；「シオンのつわもの」『贊美歌』159番、シャンク編曲。

2018年10月6日土曜夜、中央女性部会

司会——ジーン・B・ビンガム
開会の祈り——メムネット・ロペス
閉会の祈り——ジェニファー・フリー
音楽——ユタ州プレザントグローブのステータの若い女性による聖歌隊；指揮——トレシー・ワービー；オルガニスト——ボニー・グッドリフ；「来たれ、主の子ら」『贊美歌』31番、ウォービー編曲；「キリスト、神の御子」ファウスト、ビンボロー、メドレー；「いざ救いの日を楽しめん」『贊美歌』5番；「ニーファイのように」『子供の歌集』92-93、ウォービー編曲。

2018年10月7日日曜午前、一般部会

司会——ヘンリー・B・アイリング管長
開会の祈り——アラン・F・パッカー長老
閉会の祈り——ドナルド・L・ホールストロム長老
音楽——タバナカル合唱団；指揮——マッ

ク・ウィルバーグ；オルガニスト——リチャード・エリオット、アンドリュー・アンズワース；「喜べ、主を」『贊美歌』32番；「イスラエルの救い主」『贊美歌』4番、ウィルバーグ編曲；「選べ、正義を」『贊美歌』152番、ウィルバーグ編曲；「感謝を神に捧げん」『贊美歌』11番；“His Voice as the Sound,” American folk hymn, ワーカー、ウィルバーグ編曲；“It Is Well with My Soul” スパッフォード、グリス、ウィルバーグ編曲。

2018年10月7日日曜午後、一般部会

司会——ダリン・H・オーツ管長
閉会の祈り——ゲーリー・B・サビン長老
閉会の祈り——マイケル・ジョン・U・テー長老
音楽——タバナカル合唱団；指揮——マック・ウィルバーグ、ライアン・マーフィー；オルガニスト——アンドリュー・アンズワース、ブライアン・マシアス；“In Hymns of Praise” Hymns, 75, マーフィー編曲；「救い主、われ信ず」『贊美歌』72番、ウィルバーグ編曲；「神に栄え」『贊美歌』33番；「御父への祈り」、ネルソン、パーリー、ウィルバーグ編曲。

総大会の説教の入手

様々な言語に訳された総大会の説教をオ

ラインで聞くことができます。インターネットで conference.lds.org にアクセスし、言語を選択してください。大会説教は「福音ライブラリー」モバイルアプリでも利用できます。障がいのある会員が利用できる形式の総大会に関する情報は disability.lds.org で入手できます。

表紙

表紙——「世の光」(2015年)、ウォルター・レーン画、複写は禁じられています。

裏表紙——写真／コディー・ベル。

大会の写真

ソルトレーク・シティーにおける総大会の写真は以下のカメラマンによって撮影されました。コディー・ベル、ジャネイ・ビンガム、メーソン・コーパリー、ウェ斯顿・コルトン、ブライアン・ニコルソン、レスリー・ニルソン、マット・ライア、クリスティーナ・スミス。



末日聖徒イエス・キリスト教会国際機関誌(日本語版)

大管長会:ラッセル・M・ネルソン、ダリン・H・オーカス、ヘンリー・B・アーリング

十二使徒定員会:M・ラッセル・バラード、ジェフリー・R・ホランド、ティーター・F・ウクトドルフ、デビッド・A・ベドナー、クエンティン・L・クリップ、D・トッド、クリストファーソン、ニール・L・アンダーセン、ロナルド・A・ラスバード、ゲリー・E・スティーブンソン、テール・G・レンランド、ケレット・W・ゴンザレス・セラス

編集長:ランディー・D・ファンク長老

顧問:ブライアン・K・アシュトン、ランドール・K・ペネット、ベッキー・クレーフィン、シャロン・ユーパン、クリスティーナ・B・フランコ、ドナルド・L・ホールストロム、ラリー・S・ケーチャー、エリック・W・コビュシカ、リン・G・ロビンズ

実務運営ディレクター:リチャード・I・ヒートン

教会機関誌ディレクター:アラン・R・ロイボーグ

ビジネスマネージャー:ガーフ・キャノン

編集主幹:アダム・C・オルソン

編集主幹補佐:ライアン・カー

出版補佐:ランシスカ・オルソン

執筆・編集:マリッサ・デニス、デビッド・ディクソン、デビッド・A・エドワース、マシュー・D・フリットン、ローリー・フラー、ギャレット・H・ガーフ・ジョンソン、ブライアン・J・ジエン、シーアーロット・ラーカバル、マイケル・R・モリス、エリック・B・マードック、サリー・ジョンソン・オデカーグ、ジョシュア・J・バーキー、ジャン・ビンボロー、リチャード・M・ロムニー、ミンティー・セーラー、チャケル・ワードレイ、マリッサ・ウェイツィン

編集インターン:ブリアナ・コール・ハーバート

実務運営アートディレクター:J・スコット・クヌーセン

アートディレクター:タッド・R・ピーターソン

デザイン:ジャネット・アンドリュース、フェイ・P・アンドラス、マンティー・ペントレー、C・キンボール、ボット、トマス・チャイルド、ジョシュア・デニス、デビッド・グリーン、コリン・ヒンクリー、エリック・P・ジョンセン、スザン・ロフグレン、スコット・M・ムーイ、エミリー・チエコ・レミントン、マーク・W・ロビンソン、プラッド、テア・K・ニコール・ウォーケンホースト

デザインインターン:エムレン・フォグル

版権および許諾コーディネーター:コレット・ネベカー・オース

制作主幹:ジェーン・アン・ビーターズ

制作:アイラ・グレン・アデア、ジュリー・バーテット、トマス・G・クロニン、ブライアン・W・ギュギ、ギニー・J・ニルソン、デレク・リチャードソン、マリッサ・M・スミス

製版:ジョシュア・デニス

印刷ディレクター:スティーブン・T・ルイス

配送ディレクター:トロイ・R・バーカー

日本語版翻訳課長:大森陽子

郵便宛先:Liahona, F.I. 23, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150-0023, USA.

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替(口座名:末日聖徒イエス・キリスト教会、振込口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへお送りいただければ、直接郵送いたします。

●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ⇒〒133-0057 東京都江戸川区西小岩5-8-6 / 末日聖徒イエス・キリスト教会管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会

〒106-0047 東京都港区南麻布 5-10-30

電話: 03-3440-2351

価格 年間購読: 国内 1,150円(送料込み)
(2018年1月より) 海外 1,150円(+送料実費)

海外在住の方はお近くのディストリビューションセンターへ

お申し込みをお勧めします。

普通号/大会号 110円

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。

アルバニア語、アルメニア語、ビスマラム語、ブルガリア語、カンボジア語、セブアノ語、中国語、中国語(簡体字)、クロアチア語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、英語、エストニア語、フィジー語、芬蘭語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、ハンガリー語、アイスラント語、インドネシア語、イタリア語、日本語、キリバス語、韓国語、ラトビア語、リトアニア語、マダガスカル語、マニシリヤ語、モンゴル語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、サモア語、スロベニア語、スペイン語、スワヒリ語、スウェーデン語、タガログ語、タヒチ語、タイ語、トンカ語、ウクライナ語、ウルドゥー語、ベトナム語(発行頻度は言語により異なります。)

©2018 Intellectual Reserve, Inc. All rights reserved. 印刷: 韓国

著作権情報:制限の記載がない限り、「リアホナ」に掲載されているものは個人的にまた非営利目的(教会の普及も含む)で使用する場合に複写することができます。この指示内容は変更の可能性が常にあります。複寫資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複写できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Fl. 13, Salt Lake City, UT 84150, USAに郵送するか、電子メール——cor-intellectualpropertyldschurch.orgにご連絡ください。

For Readers in the United States and Canada:

November 2018 Vol. 42 No. 11. LIAHONA (USPS 311-480) English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (American Express, Discover, MasterCard, Visa) may be taken by phone or at store. lds.org. (Canada Post Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send all UAA to CFS (see DMM 507.1.5.2).

NONPOSTAL AND MILITARY FACILITIES: Send address changes to Distribution Services, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368, USA.



話者リスト (50音順)

アーリング, ヘンリー・B 28, 58, 90

アシュトン, ブライアン・K 93

アンダーセン, ニール・L 83

ウクトドルフ, ディーター・F 46

オーカス, ダリン・H 25, 61

カーペンター, マシュー・L 101

クリップ, クエンティン・L 8

クリストファーソン, D・トッド 30

クロニン, ミッセル・D 52

ゲイ, ロバート・C 97

ゲラード, ジャック・N 107

コードン, ボニー・H 74

ゴング, ゲレット・W 40

ジョーンズ, ジョイ・D 50

スティーブンソン, ゲリー・E 110

ソアレス, ウリセス 37

デイビーズ, ディーン・M 34

ネルソン, ラッセル・M 6, 68, 87, 113

パイパー, ポール・B 43

バラード, M・ラッセル 71

バンガーター, スティーブン・R 15

プラフ, M・ジョセフ 12

フランコ, クリストイーナ・B 55

ペドナー, デビッド・A 21

ボーエン, シェーン・M 80

ホランド, ジェフリー・R 77

ラズバンド, ロナルド・A 18

レンランド, デール・G 104

テーマ別索引

あ愛 18, 37, 40, 46, 50, 55,

58, 61, 74, 77, 90, 93,

97, 110

証 80

安息日 8

イエス・キリスト 6, 8, 12, 15, 18, 21, 25, 30,

34, 37, 40, 43, 46, 50, 52,

55, 58, 71, 74, 77, 80, 83,

87, 90, 93, 97, 101, 104,

107, 110, 113

イスラエルの家 68

イスラエルの集合 21, 68, 74, 80

祈り 58

癒し 46, 83, 97, 101

促し 52

教え 15, 58, 68

恐れ 18, 101

親の務め 15, 61

か改宗者の定着 37

改心 8, 21, 30, 37, 80

回復 87

家族 6, 8, 15, 25, 58, 61, 113

活発化 110

家庭 6, 8, 15, 18, 21, 58, 113

家庭のタペ 8

神から受けている特質 68

完全 40

犠牲 55

希望 46, 90

逆境 12, 18, 30, 46, 55,

71, 83, 101

教会の名称 87, 113

教科課程 6, 8, 113

悔い改め 25, 101, 104

啓示 18, 34, 80

個人の価値 74, 97

子供 15, 25, 61

さ裁き 97

死 71

慈愛 55, 58, 90

ジョセフ・スミス 34, 52, 80, 107

試練 83, 90

信仰 6, 15, 18, 21, 25,

30, 40, 52, 83, 90, 104, 113

真実 25, 107

親切 61

神殿 18, 34, 113

神殿の業 68, 113

救いの計画 25, 61, 71, 93, 104

聖餐 8, 43, 90

青少年 74

聖文研究 8, 37, 58

聖約 30, 43, 80, 107

聖靈 18, 43, 80, 93

前世 93

選択の自由 25, 104

創造性 40

たテクノロジー 61

弟子の務め 12, 43, 46, 52

伝統 15

天の御父 25, 40, 93, 104

な忍耐力 30, 83

は迫害 83

母親 58, 61, 68

バプテスマ 43

フェローシップ 37

扶助協会 68

復活 71, 93

平安 18, 77, 83

奉仕 37, 40, 50, 52, 55, 74, 97

ま学び 58, 113

ミニスクーリング 37, 40,

46, 50, 68, 74, 77, 97, 110

恵み 40, 52, 97

メディア 68

物の見方 68, 107

模範 113

モルモン書 34, 68, 80

や友情 37, 74

優先順位 107

赦し 12, 77

預言者 18, 34

預言者に従う 34

喜び 12, 40, 46

ら靈界 71

わ和解 77



第188回半期総大会の見どころ

再度、大きな変更が総大会で発表されました。今回の発表は前回とは異なるものですが、背景にある目的は引き続き同じでした。神の預言者は、至急わたしたちを主の再臨に備える必要があると感じ、天の御父と御子イエス・キリストを信じる信仰を強めるよう勧めています。

大会中にラッセル・M・ネルソン大管長が強調した主要な勧めと約束の一部を紹介します。

家庭をさらに聖くする

開会のあいさつの中で、ネルソン大管長は、わたしたちの生活を変えて家庭を福音学習の中心とする必要があると告げました。「今こそ、教会が家庭を中心としたものに、そして支部やワード、ステークの建物内で行われることがそれを支援するようになるときです。」

• 提案された家庭での変更と、それを支援する教会での調整について読みましょう（8ページ参照）。

- 詳しくは、「家庭と教会において福音を教えるうえでのバランスを取る助けとなる変更」（117ページ）をご覧ください。

「世を引き離す」

ネルソン大管長は中央女性部会で、姉妹たちに「今日この地上で……最も大いなる大義」に加わるよう勧め、このように約束しています。「力を合わせれば、〔イエス・キリスト〕の再臨に世を備えるために天の御父がわたしたちに行うよう望んでおられることを、わたしたちはすべて行うことができます。」

- ネルソン大管長から姉妹たちへの4つの勧めを読みましょう（68ページ参照）。

「教会の正しい名称を回復する」

ネルソン大管長は会員に、救い主の教会を、救い主が名付けた名称で呼ぶよう求めました。「わたしたちが主の教会の正しい名称を回復するために全力を尽くすならば、この教会の頭である主は末日

こうべ
聖徒の頭に、わたしたちが今まで見たことのないような力と祝福を注いでくださるということを、皆さんに約束します。」

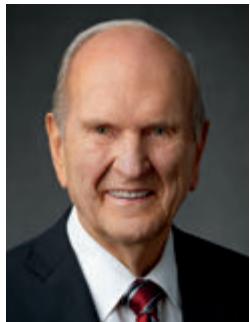
- 教会の名称に関するネルソン大管長の指示を読みましょう（87ページ参照）。

「主の聖なる宮に参入する」

ネルソン大管長は大会の締めくくりに、12の新しい神殿を発表し、「主の聖なる宮に定期的に」参入するよう勧告しました。「わたしは皆さんに約束します。皆さんが犠牲を払って主の神殿で奉仕し礼拝するとき、主は、皆さんに必要だと知っておられる奇跡を起こしてくださいます。」

- 発表のあった神殿の場所を見てみましょう（113, 116ページ参照）。





土曜午前の部会 | 2018年10月6日

ラッセル・M・ネルソン大管長

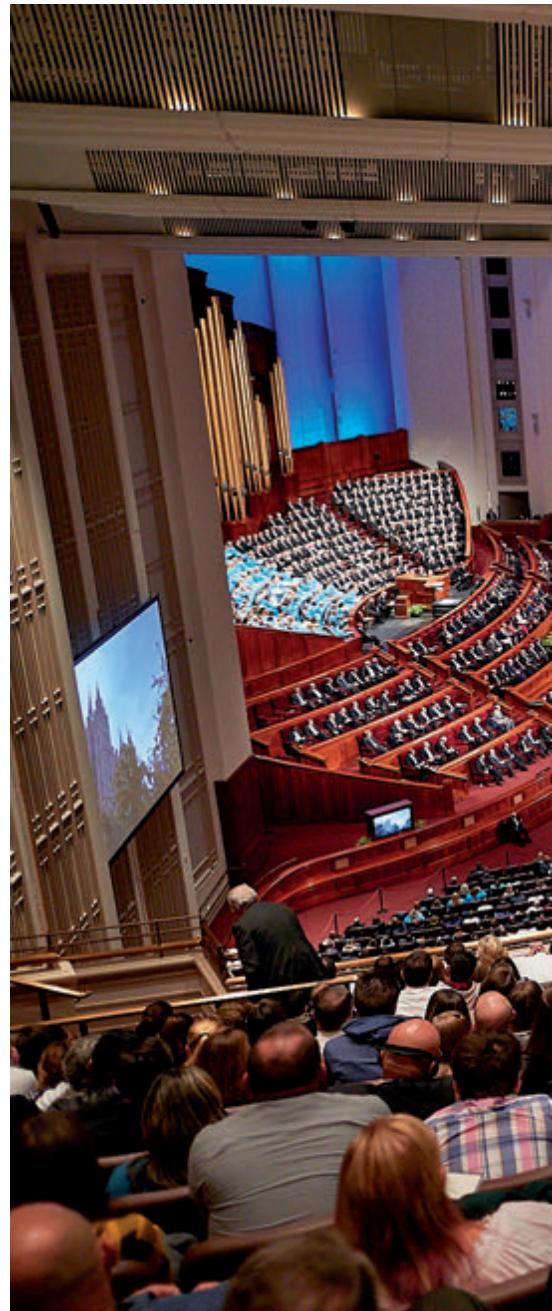
開会のあいさつ

今こそ、教会が家庭を中心としたものに、そして支部やワード、ステークの建物内で行われることがそれをサポートするようになるときです。

愛する兄弟姉妹の皆さん、教会のこの10月の総大会に再び集まれるのを楽しみにしていました。皆さん一人一人を心から歓迎します。わたしたちは皆さんの祈りの支えに深く感謝しています。皆さんの祈りの力を感じます。ありがとうございます！

6カ月前の総大会で受けた勧告に従うために、皆さんが払った多大な努力に感謝

しています。世界中のステーク会長が、長老定員会を再組織するために必要な啓示を求めました。定員会の兄弟たちは、扶助協会の献身的な姉妹たちとともに、より高く、より神聖な方法で、兄弟姉妹にミニスターリングをするために、熱心に働いています。家族や隣人、友人に救い主の愛をもたらし、主がされたように仕えるために、皆さんが示した善良さとたぐいまれな



努力に、わたしたちは触発されています。

4月の大会以来、ネルソン姉妹とわたしは、4大陸と海の島々の会員を訪問しました。エルサレムからハラーレ、ウィニペグからバンコクで、皆さんの偉大な信仰と証の強さを体験しました。

数多くの青少年が散乱したイスラエルの集合を助けるために、主の青少年の大隊に加わったことに大きな喜びを感じています。¹ 青少年の皆さん、ありがとうございます！ 皆さん、青少年対象のワールドワイド・ディボーショナルでの勧めに従



い続けることで、残りのわたしたちが従うべき標準を定めているのです。青少年の皆さんのが大きな違いをもたらしています。

ここ数年、教会の管理評議会では、基本的な次の質問に取り組んできました——福音を簡潔で純粋なままに、また永遠の効力を持つ儀式を神のすべての子供に伝えるには、どうすればよいだろうか。

わたしたち末日聖徒は、「教会」とは集会所で行われることであり、家庭で行うことがそれをサポートするものだと考えるようになりました。この考え方を改める

必要があります。今こそ、教会が家庭を中心としたものに、そして支部やワード、ステークの建物内で行われることがそれをサポートするようになるときです。

教会が引き続き世界中に広がるに当たり、多くの会員が礼拝堂のない地域や、礼拝堂が建つ見通しのない地域に住んでいます。ある家族は、そのような状況のために、自宅で集会を開く必要がありました。母親に、自分の家庭での教会に通うのはどうかと尋ねると、こう答えました。「大好きです！ 夫は毎週日曜にここで聖餐の

祝福をすることを覚えているので、家庭での言葉遣いが良くなりました。」

教会の長期的な目標は、主イエス・キリストと主の贖いに対する信仰を増し、神と聖約を交わして守り、家族を強めて結び固められるように、すべての会員をサポートすることです。今日の複雑な世界において、それは簡単なことではありません。敵対者は、信仰や個人と家族への攻撃をすさまじい勢いで増大させています。靈的に生き残るには、対抗手段と先を見越した計画が必要です。したがって、わたした



十二使徒定員会
ケンティン・L・クック長老

ちは今、会員と家族をさらに強化するため、組織上の調整を行いたいと思います。

長年にわたり教会指導者は、教義を学び、信仰を強め、個人の礼拝をさらに意義深いものするために、家庭が中心となり、教会がサポートする形の計画を通して家族と個人を強める統合化された教科課程に取り組んできました。安息日を聖とする、すなわち喜びの日とし、神への愛の個人的なしとするために数年間行ってきた努力が、これから紹介する調整によって拡大されます。

今朝わたしたちは、家庭において福音を学ぶことと、教会において福音を学ぶこととの新たな関連性とバランスに関する発表をします。個人の靈的成長に対する責任は、各自にあります。また聖文が明らかにしているように、両親は自分の子供に教義を教える主要な責任があります。² 教会の責任は、福音の知識を増し加えるという神が定められた目標において各会員を補佐することです。

ケンティン・L・クック長老が、この重要な調整について今から説明します。大管長会と十二使徒定員会の評議会は、全員一致で、このメッセージを支持しています。わたしたちは、クック長老が提示する計画と手順を開発するに当たり、主から靈感が与えられたことを感謝してお伝えします。

愛する兄弟姉妹の皆さん、神は生きておられます。イエスはキリストであられます。この教会は、主の謙遜な僕への預言と啓示により導かれています。イエス・キリストの御名により証します、アーメン。 ■

注

1. ラッセル・M・ネルソン、ウェンディ・W・ネルソン「オンのつわもの」(青少年対象ワールドワイド・ディボーショナル、2018年6月3日) HopeofIsrael.lds.org 参照

2. 教義と聖約 93:40、モーセ 6:58 – 62 参照

天の御父と主イエス・キリストに対する永続する深い改心

わたしたちが目指しているのは、信仰と靈性、改心を深めることのできる方法によって、教会で行うことと家庭で行うこととのバランスをうまく取ることです。

ラッセル・M・ネルソン大管長が今見事に雄弁な説明をしたとおり、教会の指導者たちは長期にわたって、「教義を学び、信仰を強め、個人の礼拝をさらに意義深いものとするために、家庭が中心となり、教会がサポートする形の計画」の開発に取り組んできました。そしてネルソン大管長は、「家庭において福音を学ぶことと、教会において福音を学ぶこととの新たな関連性とバランス」に関する変更を発表したのです。¹

ラッセル・M・ネルソン大管長の説明したこれらの目的を達成するために、大管長の指示の下、大管長会と十二使徒定員会の評議会の決定に従って、日曜日の集会スケジュールは、2019年1月以降、以下のとおり変更となります。

日曜日の集会スケジュール

日曜日の集会では、60分の聖餐会が毎週開かれます。救い主と聖餐の儀式、靈的なメッセージに焦点を当てた聖餐会

です。クラスへの移動時間の後、教員は週替わりの50分のクラスに出席します。

- 日曜学校は第1日曜日と第3日曜日に開かれます。
- 神権定員会と扶助協会、若い女性の集会は、第2日曜日と第4日曜日に開かれます。
- 第5日曜日の集会は、ビショップの指示の下に執り行われます。

初等協会は、この同じ50分の間に毎週開かれ、歌の時間とクラスの時間があります。

日曜日の集会に關し、教会の先任の指導者たちは、大切な教員の中には日曜日の3時間プログラムが困難と思われる人がいることを、長い間承知していました。特に、小さい子供のいる親や初等協会の子供、高齢の会員、新しい改宗者などはそうです。²



しかし、この変更は、ただの日曜日の集会所スケジュールの短縮ではありません。ネルソン大管長は、これまでの勧めに皆さんが忠実に従ってくれた結果、非常に多くの成果があったことに感謝しています。大管長と教会の指導者たちは、親と子供、青少年、独身者、高齢者、新しい改宗者、宣教師から教えを受けている人たちに教会のサポートを受けた、このバランスの取れた家庭中心の取り組みによって、福音の喜びをさらに豊かに味わってほしいと願っています。その変更やその他最近行われた変更の目的とそれに伴う祝福には、以下のようなものがあります。

- 天の御父と主イエス・キリストに対して深く改心し、御二方を信じる信仰が強くなる。
- 喜びのある福音生活に貢献する、家庭中心で教会がサポートする形の教科課程によって個人と家族が強くなる。
- 聖餐の儀式を大切にし、安息日を尊ぶ。
- 伝道活動を行うことと、神殿の儀式と聖約と祝福を受けることにより、幕の両側にいる天の御父の子供たちを助ける。

家庭中心で教会がサポートする形の福音の学習

この日曜日のスケジュールに従うことでの、日曜日に、家庭で夕べを過ごしたり、福音研究を行う時間、その他個人や家族独自の時間がより取れるようになります。家族の活動を行う夜は、月曜日でも、別のときでもかまいません。そのため、指導者はこれまでどおり、月曜日の夜には教会の集会や活動を入れないでください。しかし、家族で過ごす夕べや福音学習、個人や家族の活動の時間は、個々の状況に合わせて決めることができます。

家庭で行う家族と個人の福音学習は、相互調整された教科課程と、日曜学校と初等協会で教えられていることに内容が沿っている新しい資料、『わたしに従ってきなさい——個人と家族用』を使うことによって、非常に成果が上がります。³ 1月から、教会の日曜学校の青少年クラスと成人クラスでは新約聖書を学びます。新しい家庭学習用の『わたしに従ってきなさい——個人と家族用』の資料も新約聖書を扱っており、会員が家庭で福音を学びやすくなるように作られています。こんな説明があります。「このリソースは、教会のすべての個人と家族のためのリソー

スです。自分で学ぶか家族で学ぶかにかかるらず、福音を学ぶうえでわたしたちにさらに役立つように作られています。この[新しい]リソースの概要は、毎週の……スケジュールに従って組み立てられています。」⁴

初等協会で教える新しいレッスン、『わたしに従ってきなさい』は、成人用と同じ毎週のスケジュールに従ったものです。第1、第3日曜日の青少年クラスと成人クラスは調整され『わたしに従ってきなさい』の家庭用リソースを学ぶのに役立つようになります。第2、第4日曜日は、これまで同様、神権定員会と扶助協会の成人は、現代の預言者たちが語っているメッセージに重点を置き、教会の指導者の教えを学びます。⁵ 若い女性とアロン神権の若い男性は、福音のテーマを学びます。

新しい家庭学習資料は、「家族の聖文研究と家庭の夕べのためのアイデア」を提供しています。⁶ 各週の概要にある、個人と家族のための学習と活動のアイデアが役に立ちます。『わたしに従ってきなさい——個人と家族用』の資料には個人と家族、特に子供の学習を楽しくするイラストも多数入っています。⁷ この新しい資料は、今年の12月までに各世帯に配布さ



れます。

ネルソン大管長は、今年1月に教員に向けて初めて話して以来、聖約の道を歩むことによってイエス・キリストの再臨に備えることを強く勧めてきました。⁸

世界の状況を見ると、天の御父とイエス・キリストとその贍いに対する個人の改心を深め、信仰を強める必要性が高まっていることが分かります。主は現在のこの苦難の時代に、教えに教えを加えてわたしたちを備えてこられました。近年主は、以下の主要な問題に関して、わたしたちを導いてこられました。

- 安息日を尊び、過去3年間繰り返し強調されてきている聖なる聖餐の儀式を尊ぶ。
- 強化された長老定員会と扶助協会は、ビショップの指示の下で教会の目的⁹を達成し、教員が聖なる聖約を守るように力を注ぐ。
- 「より高く、より神聖な方法」によるミニスタリングを喜びをもって行う。
- 最初から目的を見据えて行うことにより、神殿の聖約と家族歴史活動の奉仕を聖約の道の有意義な部分とする。

今朝発表された変更は、今日の課題に対する導きの一例でしかありません。

教会の従来の教科課程は、日曜日に教会で行うことには重点が置かれていました。うまく教え、クラスの生徒たちに靈的な準備がよくできていれば日曜学校が良くなる

ことを、わたしたちはよく知っています。ありがたいことに、教会でしばしば御靈を強く感じて改心が深まる経験をしています。

教会がサポートする家庭中心の新しい教科課程によって、家族と個人による宗教的な規律の実践と信仰深い行動に、さらに強い影響を与える必要があります。わたしたちは、靈的な影響を受けることで、永続する深い改心を家庭で得られることを、知っています。若い男性と若い女性にとって、聖靈の影響を最もよく受けるのは、家庭で聖文研究と祈りをしているときだということが、何年も前に、研究から分かりました。わたしたちが目指しているのは、信仰と靈性、天の御父と主イエス・キリストに対する改心を深めることで、教会と家庭で行うこととのバランスをうまく取ることです。

今回の変更、家庭中心と教会サポートの部分には、柔軟性があります。いつどのように実施するのかは、個人や家族がそれぞれよく祈って決めます。例えば、これがすべての家族を大きく祝福することになる一方で、地元の必要に基づいて考えた場合、若い独身者やひとり親、パートメンバーの家族、新会員などは通常の日曜日の礼拝行事のほかに福音を信じる者同士集まって交流を楽しんだり、家庭中心で教会がサポートするという概念を基にしたこの資料と一緒に学んで信仰を強めたりすることができるのです。¹⁰ これは、希望する人がそれで行います。

通常の日曜日の集会の後、集会所に残つて、人の交わりを楽しみたいという人は、世界中にたくさんいます。今回の変更の発表には、そのようなすばらしく、実りの多い習慣を妨げるような規定は一切ありません。

安息日の備えとして電子メールや携帯メール、ソーシャルメディアのメッセージで平日に情報を送っているワードが、すでにいくつもあります。この変更について言え

ば、この種の情報発信は大いに推奨します。会員は、その週の日曜日の集会スケジュールを思い出し、次のクラスのレッスンのテーマについて考えたり、家庭で福音の話題が出たりします。しかも、日曜日の成人の集会では、教会で学んだことと家庭で学ぶことを結びつける情報が、毎週提供されます。

聖餐会とクラスの時間は、よく祈って検討し、必ず、管理事項よりも靈的な事柄を優先させるようにしてください。例えば、発表事項は平日に送る集会へのお誘いメッセージや印刷物で大部分済ませることができます。聖餐会は祈りで始めて祈りで終えるべきですが、2時間目の集会は閉会の祈りだけ必要です。¹¹

先に述べたように、この新しい日曜日のスケジュールは2019年1月まで始まりません。これには幾つか理由があります。最大の理由は二つです。第1に、『わたしに従ってきなさい——個人と家族用』の資料を配布する時間を取るため、第2は、さらに早い時間帯に集会を持つという目標のもとで集会所スケジュールの変更を行う時間をステーク会長とビショップに与えるためです。

指導者たちが啓示を求めて祈った結果として過去何年かにわたって受けた導きは、聖餐会を強化し、安息日を尊ぶことであり、親と個人を励まし、助けて、家庭を靈的な力と信仰の源となる場、喜びと幸せの場所にするということでした。

比類ない祝福

この変更は、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員にとってどんな意味を持つのでしょうか。会員たちが驚異的な方法で祝福を受けると、わたしたちは確信しています。日曜日を、教会と家庭で福音を学び、教える日にできるのです。個人や家族が家族評議会や家族歴史、ミニスタリング、奉仕、個人の礼拝を行い、楽しい家族のひとときを過ごすのですから、



安息日はほんとうに喜びの日となることでしょう。

家庭用の新しい『わたしに従ってきなさい』の資料を試してみたステークの会員の家族の例を見てみましょう。帰還宣教師である父親のフェルナンドは妻ナンシーと4人の子供がおり、こう報告しています。「『わたしに従ってきなさい』のプログラムがステークで紹介されたとき、わたしは歓喜しました。『家庭での聖文学習の仕方が変わる』と思ったのです。実際に、我が家では学習方法が変わり、教会の指導者として、ほかの家庭でも変わったのを見ました。ほんとうの意味で聖文についての話し合いが、家庭でできました。妻とわたしは、学習したテーマに関する理解が深まりました。……福音の知識を豊かにし、信仰と証を強くするのに役立ちました。わたしは証します。……聖文に書かれている原則や教義を一貫性のある効果的な方法で学ぶことによって、……ますます堕落していくこの世の中で、信仰と証を強くし、家族に光が注がれるようにするために、主から靈感を受けて作られたプ

ログラムです。」¹²

世界中のステークでテスト試行したのですが、この新しい『わたしに従ってきなさい』の家庭用資料は非常に高い評価を受けました。聖文を読んでいた状態から聖文を研究する状態に進歩したという報告が、多く寄せられています。共通して、信仰が強まり、ワードにすばらしい影響があったという感想でした。¹³

永続する深い改心

この変更が目指すのは、成人と若い世代が永続する深い改心をすることです。個人と家族用の『わたしに従ってきなさい』の、最初のページには、こんな指摘があります。「福音を教え学ぶ目的はすべて、さらに深く改心し、さらにイエス・キリストのようになります。……これは、キリストに頼って自分の心……〔を〕変えるということです。」¹⁴ そのような学習は「教室だけでなく、心の中でも、家庭でも行われることによって促進されます。『日々福音を愛し、福音に従って生きる努力をしなければなりません。真の改心に

は、聖靈の導きが不可欠です。」¹⁵

永続する深い改心をすることの最大の目的であり究極の目的となるのは、ふさわしい状態で聖約の道の聖約と儀式を受けることです。¹⁶

皆さん、個人や家族に強制的な働きかけをすることなく、この変更について一緒に話し合い、啓示を求めてくれることを、わたしたちは信じています。詳しい情報は大管長会からの手紙など、今後発表される通知でお知らせします。

わたしは皆さんに証します。大管長会と十二使徒定員会の評議会が神殿で審議し、この変更の実施に向けて、愛する預言者が主に啓示を願い求めた後に、強い確信を全員が受けました。ラッセル・M・ネルソンは、生ける預言者であり、大管長です。本日行われた発表は、この変更を熱烈に支持し、聖靈の導きを求める人にとって、大きな祝福となるでしょう。わたしたが証する御二方、天の御父とわたしたちの主であり救い主であられるイエス・キリストにわたしたちは近づくことでしょう。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. ラッセル・M・ネルソン「開会のあいさつ」『リアホナ』2018年11月号, 8
2. 社会全般でも、大多数の情報伝達の行事や教育、娯楽などが大幅に短縮されていることに、わたしたちは気づいている。
3. この教科課程はデジタル版と印刷版で提供される。
4. 手引き『わたしに従ってきなさい——個人と家族用』(2019年), vi
5. 「わたしに従ってきなさい——長老定員会および扶助協会用」『リアホナ』2018年5月号, 140参照。第2, 第3日曜日ではなく、第2, 第4日曜日になる。
6. 『わたしに従ってきなさい——個人と家族用』参照4。家庭での福音学習と、家族で過ごす夕べ、家族の活動のどの部分が家庭の夕べになるのかは、個人と家族が決める。個人と家族がこれを決めるため、今回発表された変更では「家族で過ごす夕べ」と「家庭の夕べ」という言葉が同じように使われている。
7. 『わたしに従ってきなさい——個人と家族用』29参照
8. ラッセル・M・ネルソン「ともに前進するにあたり」『リアホナ』2018年4月号, 7参照
9. 『手引き 第2部——教会の管理運営』(2012年) 2.2 参照。神から与えられた責任には、「イエス・キリストの福音に従って生活するよう会員を助けることや、伝道活動を通じてイスラエルを集めること、貧しい人や助けの必要な人の世話をすること、神殿を建設し、身代わりの儀式を行うことによって死者が救いを得られるようにすることが含まれる。」教義と聖約110章も参照。ここには重要な鍵の回復に関する記述がある。
10. 両親が教会員でない子供や、教会にあまり来ていない親の子供には、特別な関心を払う。関係者全員にとって益となるのであれば、独身者などがある家族と集まるのもよい。
11. 2時間目の集会では通常、開会行事を行わない。
12. ブラジル在住のフェルナンド・ジ・カルバーリョとナンシー・ジ・カルバーリョの家族
13. テスト施行に参加した個人や家族では平均して、家庭での福音学習の頻度が増え、家庭での福音学習に身が入るようになり、家庭での福音に関する会話が増えている。家族やワードの会員との何気ない会話の中で福音の話題が出ることが多くなり、家族で聖典の同じ箇所を学んでいることに感謝しているという報告が寄せられている。特にこれは青少年の場合に顕著である。
14. 『わたしに従ってきなさい——個人と家族用』v。2コリント5:17も参照
15. 『わたしに従ってきなさい——個人と家族用』v
16. ラッセル・M・ネルソン「ともに前進するにあたり」7参照



中央若い男性会長会第二顧問
M・ジョセフ・ブラフ

頭を上げて喜びなさい

わたしたちが主の道にあって難しいことに直面するとき、わたしたちが頭を上げて、喜ぶことができますように。

19 81年のことです。父と二人の親友とわたしの4人でアラスカへ冒険に出かけました。遠くにある湖に着水し、そこから美しい高地に登る予定でした。一人一人が運ばなければならぬ荷物を軽くするために、物資を幾つかの箱に詰め、それを発泡スチロールで包み、目印に大きい派手な色のリボンを付け、小型飛行機の窓から、わたしたちが目標地点としたところに投げ落としました。

到着後、その箱を捜し回りましたが、残念ながら箱は一つも見つかりませんでした。最終的に、ようやく一つだけ見つけました。その箱の中には、小さなガスコンロが一つと、防水シート、甘いお菓子が少し、そしてハンバーグの素が何袋かありました。ひき肉はありませんでした。外界

と通信する手段がなかったばかりか、迎えが来るのは1週間後の予定でした。。

わたしはこの経験から二つの大切な教訓を学びました。一つは、窓から食料を投げ落としてはならないということ。そして、時にわたしたちは難しいことに直面しなければならないということです。

往々にして、わたしたちは困難に直面すると、まず「どうして自分に?」と尋ねます。ですが、そう尋ねたからと言って、決して困難が取り去られるわけではありません。主は、わたしたちが、問題を克服することを求めておられますし、「これらのこととはすべて、[わたしたちに] 経験を与え、[わたしたちの] 益となるであろう」¹と言われています。

主はわたしたちに難しいことを行うようお求めになることがあります。時に試練が、自分自身やほかの人の選択の自由が行使された結果起こることもあります。ニーファイは、こうした両方の状況を経験しています。リーハイは、息子たちに戻ってラバンから金版を手に入れて来





るよう伝えたとき、このように言いました。「あなたの兄たちは、わたしの求めていることが難しいと言って、つぶやいている。しかし、わたしが彼らにそれを求めたのでは決してない。それは主の命令なのだ。」²また、ニーファイの兄たちが、自分たちの選択の自由を使って、ニーファイの自由を束縛したこともありました。「彼らは非常に憤り、わたしを捕まえて、縄で縛った。……命を奪おうとしたのであった。」³

ジョセフ・スミスもリバティーの監獄で困難に直面しました。助けられる見通しもなく、絶望のうちに、ジョセフは次のように叫びました。「おお、神よ、あなたはどこにおられるのですか。」⁴わたしたちの中にも、間違いなくジョセフのように感じたことのある人がいるでしょう。

誰でも難しいことに直面します。愛する人の死を経験することもあれば、離婚、子供が道を離れてしまうこと、病気、信仰の試し、失業、またそのほかの問題を経験することもあります。

十二使徒定員会のニール・A・マックスウェル長老の言葉はわたしを永遠に変えました。長老はまだ白血病と闘っていたときに次のように言いました。「わたしが深く思索を巡らせていたとき、次のような教えに満ちた、確信を与える言葉がわたしの心に浮かんできたのです。『民を教えるあなたの言葉に重みがあるようにわたしはあなたを白血病にしたのです。』」彼はさらに、この経験を通じて得た祝福について次のように言いました。「永遠という偉大な現実に対する観点を持ち、……永遠というものを垣間見ることで、次の100メートルがどれほど困難だとしても、前進していくことができるのです。」⁵

永遠についてそのような観点をもって歩みを続け、難しいことを克服するために、わたしは二つのことを提案します。わたしたちが難しいことに直面するときには、まず人を赦す必要があり、次に、わたしたち自身を天父に委ねる必要があります。

わたしたちの困難の原因を作ったと思われる人々を赦し、「神の御心」と⁶和解することは、時に非常に難しいことです。特に、家族や親友、場合によっては自分自身が原因で困難を経験した場合には最も心が痛みます。

わたしがまだ若いビショップだったころ、ステーク会長のブルース・M・クックがてくれたお話から赦しについて学びました。彼はこのように説明してくれました。

「1970年代の後半のことですが、わたしは何人かの仲間と一緒に事業を起こしました。わたしたちは法律に添わないことは何一つしなかったのですが、幾つかまづい決断を下したために、当時の経済的な不況のあおりを受けて、事業は失敗に終わりました。

投資者の一部が、その損失の補填のために訴訟を起こしました。そして、彼らの弁護士が、たまたまわたしのワードのビショプリックの顧問の一人だったのです。わたしを糾弾しようとしていると考えられる人物を支持することは、非常に難しいことでした。わたしは彼に対して、実際に憎しみを増幅させ、彼を自分の敵として考えるようになりました。5年の法廷闘争が続いたあと、わたしたちは、自分たちの住宅を含む、あらゆる物を失いました。

2002年に、妻とわたしは、わたしが顧問として奉仕しているステーク会長会が再組織されることを知りました。その解任の前に、わたしたちは短期間の旅行に出かけ、そのときに妻が、もしわたしが新しいステーク会長に召されたら、だれを顧問として選ぶつもりかと尋ねてきました。あまりその話をしたくなかったのですが、妻はどうしても答えてほしい様子でした。最終的に一人の名前が心に浮かびました。そして、妻は20年前の苦難の原因となつた中心人物としてわたしたちが考えていた、あの弁護士の名前を挙げたのです。そのとき、彼こそもう一人の顧問になる人物だという御靈の確信がもたらされました

たが、彼を赦すことができるかどうか分かりませんでした。

デビッド・E・ソレンセン長老から、ステーク会長として奉仕するようにという召しが伝えられたとき、長老から顧問の選任のために1時間の猶予を与えられました。わたしは、涙を浮かべ、主がすでにその啓示を下さっていることを伝えました。自分の敵だと考えていた人物の名前を告げたとき、わたしが長い間抱いていた怒りや敵意、そして憎しみは、消えました。その瞬間、わたしはキリストの贖罪による赦しからもたらされる平安を身をもって学んだのです。」

言い換えれば、わたしのステーク会長は、古代のニーファイのように、「心から赦し」⁷たのです。わたしは、クック会長と義にかなった神権指導者である二人の顧問が互いに愛し合っていたことを知っていました。わたしも彼らのようになりたいと決意しました。

何年も前、アラスカで不運な出来事に遭遇したとき、わたしは、自分に与えられた環境を他人のせい、つまり薄暗い中で食料を投下したパイロットのせいにしても、何の解決策にもならないということをすぐに学びました。しかしながら、わたしたちが肉体的に極度に疲労し、食べ物もなく、体調を崩し、ひどい嵐のときに地面にたった1枚の防水シートだけで自分たちをくるんで横になっていたとき、わたしは、「神には、なんでもできないことは〔ない〕」⁸ということを学びました。

若い皆さん、神は皆さんに難しいことをするよう求められます。14歳のある若い女性が、競争の激しいバスケットボールのクラブに参加していました。彼女の夢は、姉のように高校のバスケットボールのチームで選手になることでした。そんなある日、彼女は両親がグアテマラで伝道部を管理するよう召されたことを知りました。

現地に到着するとすぐに、履修しているクラスの幾つかは、まだ彼女が話せない

スペイン語で行われることが分かりました。また学校には女子生徒のための運動部はありませんでした。彼女は、セキュリティーの非常に厳しい建物の14階に住んでいました。そしていちばん都合の悪いことは、安全上の理由で一人で外出することができなかつたことでした。

両親は、彼女が何か月にもわたって毎晩泣き明かしている声を耳にしていました。二人はそのことでほんとうに心を痛め、ついに、娘を故郷の祖母のもとに送り返して、そこで高校に通わせる決心をしました。

妻がわたしたちの決断を伝えるために娘の部屋に入ると、娘がベッドの上にモルモン書を広げてひざまずいて祈っている姿が目に入りました。御靈が妻に「彼女は大丈夫ですよ」とささやき、妻は静かに部屋を出て行きました。

それ以来、泣き明かす娘の声を聞いたことがありませんでした。娘は、固い決意と主の助けによって、以後の3年間を雄々しく過ごしました。

わたしたちの伝道が終わろうとするとき、わたしは娘に専任宣教師になるつもりがあるかどうか尋ねました。娘は答えました。「そのつもりはないわ、パパ。もう十分に奉仕したから。」

わたしはそれでも十分満足でした。しかし、それからおよそ6か月後、ある晩、御靈に呼び覚まされて、「わたしはあなたの娘を伝道に召した」という思いを告げられました。

わたしの反応は、「天のお父様、娘はこれまで十分にささげてきました」というものでしたが、わたしはすぐに御靈によって自分の思いを正され、娘が宣教師として奉仕することは主が求められていることなのだと理解しました。

わたしは間もなく娘を昼食に誘いました。テーブルの向こう側に座る娘にわたしはこう言いました。「ガンジー、どうしてお父さんがこうして誘ったか、分かるかい?」

彼女は答えました。「分かるわ、パパ。



わたしが伝道に出ないといけないことを知ってるのね。行きたくはないわ。でも行くつもりよ。」

娘は自分の意思を天の御父に委ねたがゆえに、心と勢力と思いと力を尽くして天父に仕えました。彼女は父親にも、難しいことをどう行うのか、教えてくれたのです。

ラッセル・M・ネルソン大管長は、全世界の青少年に向けたディボーショナルの中で、難しいことを青少年に求めました。ネルソン大管長はこう言いました。「皆さんへの5番目の勧めは、世の中から際立ち、異なる者になることです。……そのため、主は皆さんに、外見、言葉、行い、服装においても、イエス・キリストの真の弟子と見なされるようにすることを求めておられます。」⁹ それは難しいことかもしれません。しかし、皆さんなら喜びをもってそれをすることができます。

「人が存在するのは喜びを得るためにある」¹⁰ ということを忘れないでください。リーハイは、あれだけの困難に遭遇しながら、なお喜びを見いだしていました。アルマがアモナイハの民のために、「悲しみに打ちひしがれ」¹¹ ていたときのことを思い出してください。天使がアルマに言いました。「アルマ、あなたは幸いである。頭を上げて喜びなさい。……あなたは……忠実に神の戒めを守ってきたからである。」¹² アルマは偉大な真理を学びました。わたしたちは戒めを守るとき、常に喜ぶことができるのです。司令官モロナイの時代には戦争や問題がありました。それでも、「ニーファイの民にとって……当時以上に幸せな

時はかつて一度もなかった」¹³ ことを忘れないでください。わたしたちは、難しいことに遭遇しているときでも、喜びを見いだすことができます。またそうすべきです。

救い主も困難に遭遇されました。「世界の人々は……、この御方を取るに足りない者と判断する。それで彼らはこの御方を鞭打つが、この御方はそれに耐えられる。また彼らはその御方を打つが、この御方はそれにも耐えられる。まことに、彼らはこの御方につばきを吐きかけるが、この御方はそれにも耐えられる。それは、この御方が人の子らに対して愛にあふれた優しさと寛容に富んでおられるからである。」¹⁴

その愛にあふれた優しさのゆえに、イエス・キリストは贖罪を行われました。それゆえ、主はわたしたち一人一人にこう言っておられます。「あなたがたは、この世では悩みがある。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝っている。」¹⁵ キリストのゆえに、わたしたちも世に勝つことができます。

わたしたちが主の道にあって難しいことに直面するとき、わたしたちが頭を上げて、喜ぶことができますように。世に向かって証をするこの神聖な機会に、わたしは、救い主が生きておられ、御自分の教会を導いておられることを宣言します。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 教義と聖約 122:7
2. ニーファイ 3:5
3. 1 ニーファイ 7:16
4. 教義と聖約 121:1
5. ニール・A・マックスウェル「啓示」『第1回世界指導者訓練集会』6-7 参照
6. 2 ニーファイ 10:24
7. 1 ニーファイ 7:21
8. ルカ 1:37
9. ラッセル・M・ネルソン「シオンのつわもの」(2018年6月3日、青少年対象のワールドワイド・ディボーショナル)
10. 2 ニーファイ 2:25
11. アルマ 8:14
12. アルマ 8:15
13. アルマ 50:23
14. 1 ニーファイ 19:9
15. ヨハネ 16:33



七十人
スティーブン・R・バンガーター長老

一つの大いなる業の基を据える

家庭で築く伝統から学ぶ教訓は、小さな簡単なものかもしれません
が、今日の世界でますます重要になってきています。

わ たしたちはシオンの親として、子供たちの内に宿るイエス・キリストの福音の喜びや光、真理に対する情熱と決意を呼び覚ますという神聖な義務があります。子供たちを育てるうえで、家庭の中で伝統を築き、家族関係の中でコミュニケーションと振る舞いの規範を確立します。そうすると、築かれた伝統によって、強く搖るぎない善の特質が子供の内に植え付けられ、人生の試練に立ち向かうための強さで彼らを満たすのです。

長年の間、わたしの家族はユタ州北東部にあるユincta山地の高地で毎年キャンプを楽しんできました。32キロ以上に及ぶ岩だらけの砂利道を走り、美しい緑の渓谷に着きます。渓谷の壁は高くそびえ立ち、冷たく澄んだ水が流れています。毎年、子供たちや孫たちが心の内にある福音の教義と実践の価値を再確認できるようにと期待を込めて、スザンとわたしは6人の息子とその家族に、キリストを中心とした家庭の基となる重要な要素をテーマに短いメッセージを用意するよう頼みます。そして人目につかない場所に集まり、家族のディボーショナルをし、それぞれがメッセージを伝えます。

今年は孫たちが石に自分たちのメッセー

ジのテーマを書き、幸せな生活が確立される確かな土台を表すために、それらの石を一つずつ隣り合わせに埋めました。イエス・キリストがその基の隅石であるという不变で永遠の真理が、彼らの6つのメッセージに織り込まれていました。

イザヤの言葉にはこうあります。「それゆえ、主なる神はこう言われる、『見よ、わたしはシオンに一つの石をすえて基とした。これは試みを経た石、堅くすえた尊

い隅の石である。』」¹ イエス・キリストはシオンの基における尊い隅の石です。ジョセフ・スミスに次のように明らかにされたのも主御自身でした。「それゆえ、善を行うことに疲れ果ててはならない。あなたがたは一つの大いなる業の基を据えつつあるからである。そして、小さなことから大いなることが生じるのである。」²

家庭で築く伝統から学ぶ教訓は、小さな簡単なものかもしれませんが、今日の世界でますます重要になってきています。子供たちの人生で一つの大いなる業をなす、小さな簡単なことにはどのようなものがあるでしょうか。

ラッセル・M・ネルソン大管長は、カナダのトロントで大勢の人に向けて語り、子供たちを教えるという親の神聖な責任について語りました。挙げられた重要な責任の中で、ネルソン大管長は、聖餐を取る理由、聖約の子として生まれたことの意義、祝福師の祝福に備え、受けることの重要性を子供たちに教え理解させることに対する親の役割、そして家族の聖文学習をリードするという親の役割を強調しました。これらのことを行うことで家庭を「信仰を実践する聖所」



幸せな生活の土台がイエス・キリストを隅石としていることを表すメッセージ



とすると促しました。⁴

モルモン書の中で、エノスは父の模範に対して抱いた心からの感謝の思いを記録しています。父は「わたしを父の言葉で、また主の薫陶と訓戒によって教えてくれた……。」エノスは感情を込めてこう呼びました。「神の御名がほめたたえられるように。」⁵

35年以上にわたる結婚生活で、わたしたちの家庭で培われた小さな簡単な伝統をわたしは大切に思っています。多くはささいなものですが、意義のあるものです。例えば、

- わたしが夜家を留守にしているときは、家にいる長男が頼まれなくともその役割を引き受け、家族の聖文研究と祈り⁶をリードしてくれると知っていました。
- 家を出るときや電話を切るときには、必ず「愛してる」と言うこともまた、わたしたちの伝統です。
- わたしたちの生活は、時間を確保して息子たち一人一人と定期的に個人面接を持つことで祝福されてきました。あ

る面接で、わたしは伝道に出ることに対する彼の意思と備えについて尋ねました。幾らか言葉を交わした後、息子がふと口をつぐんで黙り込み、それから身を乗り出して考え深げに言いました。「お父さん。僕が小さかったころ、父親の面接を始めたのを覚えてる?」わたしは「覚えているよ」と答えました。すると息子はこう言いました。「あのとき、僕は伝道に出ると約束して、お父さんとお母さんは年を取ったら夫婦で伝道に出ると約束したよね。」それからまたしばらく黙り込んだ後、「お父さんたち、何か伝道に出られないような問題があるの? もしかすると何か僕が助けられることがあるかもしれないよ。」

祈り、聖文を読むこと、家庭の夕べ、教会の集会に出席することを含む健全な家族の伝統を続けることは、小さな簡単なことのように思えますが、それらは愛と尊敬、一致と平穏をもたらします。これらの取り組みに伴う御靈により、子供たちは現代のこの世的な文化に深くしみ込んだ悪

の矢から守られます。

ヒラマンが息子に与えた賢い助言が思い起こされます。「わが子らよ、覚えておきなさい。あなたたちは、神の御子でありキリストである贋い主の岩の上に基を築かなければならぬことを覚えておきなさい。そうすれば、悪魔が大風を、まことに旋風の中に悪魔の矢を送るときにも、まことに悪魔の雹と大嵐があなたたちを打つときにも、それが不幸と無窮の苦惱の淵にあなたたちを引きずり落とすことはない。なぜならば、あなたたちは堅固な基であるその岩の上に建てられており、人はその基の上に築くならば、倒れることなどあり得ないからである。」⁷

何年も前に、若いビショップとして奉仕していたとき、ある年配の男性がわたしに会いたいと尋ねてきました。彼は青少年のころ、教会と両親の義にかなった伝統から離れていたこと、この世がもたらす一時的な喜びの中で、持続する幸福をむなしく探し求めながら経験した心痛を事細かく説明してくれました。人生の晩期に差し掛かかった今、優しくも時折悩ませる

ような神の御靈のささやきが、彼が幼かつたころに受けた教訓や習慣、気持ち、靈的な平穏を取り戻すよう導いたのです。彼は両親の伝統に感謝を表し、「神の御名がほめたたえられるように」というエノスの宣言を現代の言葉で繰り返しました。

わたしは、この福音に戻って来た愛する男性のように、一時教会を離れた神の子供の多くが、青少年のころの教えと習慣に戻って来るのを繰り返してきました。このようなことが繰り返されるとき、わたしたちは「子をその行くべき道に従つて教えよ、そうすれば年老いても、それを離れることがない」と親に強く訴える箴言の著者の知恵を目の当たりにします。⁸

どの親も子育ての過程で、落胆することもあれば、様々な度合いの判断と力を示す瞬間に直面します。しかし、親が率直に愛をもって子供たちを教え、できることをすべて行うことによって信仰を働かせるときに、彼らは子供たちの心と思いにまかれた種が根を張るという大きな希望を得ることができます。

モーセは教え続けることの根本的な必要性をよく理解して、こう助言しました。「努めてこれ〔らの言葉〕をあなたの子らに教え、あなたが家に座している時も、道を歩く時も、寝る時も、起きる時も、これについて語らなければならない。」⁹

家族の祈りのときには子供たちのそばにひざまずき、意義深い家族の聖文学習を行えるよう取り組むことで彼らのことを気にかけ、家庭の夕べにともに参加するときに忍耐と愛をもって見守り、個人のひそかな祈りを天にささげるときにひざまずいて彼らのために心を痛めます。わたしたちがまく種が子供たちの心と思いに根を張ることを、わたしたちはどれほど切望していることでしょう。

聖文を読み、家庭の夕べを行い、ミュー チャルやそのほかの教会の集会に行くよう子供たちを助けるとき、わたしたちの教えていることを子供たちが受け入れたか



どうかは大きな留意点ではありません。彼らが活動の重要性をその時点で理解しているかどうかが問題なのではなく、わたしたちが親として、主の勧告に熱心に従つて生活し、教え、勧め、イエス・キリストの福音を基とする期待を示すことを通して、十分に信仰を働かせているかどうかということが問題なのです。これは信仰に基づいた努力です。いつの日か青少年のころにまかれた種が根を張り、芽を出し成長することを信じるのであります。

わたしたちが話すこと、説教すること、教えることこそが、将来わたしたちのに起こることを決定づけます。キリストの教義を教える健全な伝統を確立するとき、わたしたちが伝えるメッセージが真実であることを聖なる御靈が証し、その過程にお

いて払うあらゆる努力によって、子供たちの心の奥底にまかれた福音の種が養われるのです。イエス・キリストの御名により証します、アーメン。■

注

1. イザヤ 28:16
2. 教義と聖約 64:33
3. ニール・L・アンダーセンのフェイスブックページ、2018年8月19日付けの投稿参照 facebook.com/lds.neil.l.andersen.
4. サラ・ジェーン・ウイーバー、"President Nelson Urges 'Teach the Children'"（子供たちを教えるよう促すネルソン大管長）チャーチニュース 2018年9月23日、11
5. エノス 1:1
6. ダリン・H・オーカス「家庭と教会における神の権能」『リアホナ』2005年11月号、24-27 参照
7. ヒラマン 5:12
8. 箴言 22:6
9. 申命 6:7



十二使徒定員会
ロナルド・A・ラズバンド長老

心配することはない

兄弟姉妹の皆さん、勇気を出しましょう。確かに、わたしたちは苦難の時代に生きています。しかし、聖約の道にとどまるかぎり、恐れる必要はありません。

大 管長会と十二使徒定員会にある調和と一致を示すつい先ほどのラッセル・M・ネルソン大管長とケンティン・L・クック長老のメッセージにわたしも証を付け加えます。一連の啓示に基づく発表は主の御旨であり、主の御心であって、必ずや個人や家族そして末日聖徒イエス・キリスト教会を、これから幾世代にもわたって祝福し、強めるものであることをわたしは知っています。

数年前のことですが、結婚している娘の一人が夫と一緒にやって来て、ラズバンド姉妹とわたしに、非常に重要で人生に大きな影響のある質問をしてきました。それは、「わたしたちの住んでいる世界は邪悪と恐れに満ちているように思えるのに、それでも子供をもうけることは、安全で賢明なことなのだろうか」という疑問です。

さて、この疑問は、母親、また父親として、結婚した愛する子供たちと一緒に考えるべき実に大切な問題でした。二人の声から心の中にある恐れが感じ取れました。二人に対するわたしたちの答えは、断固として、「もちろんとも、問題ないどころかとても大切なことだよ」というものでした。こうしてわたしたちは、基本的な福音の教えを分かち合い、わたしたちの心からの思いと人生の経験について伝えました。

恐れは目新しいことではありません。ガ

リラヤの海へこぎ出したイエス・キリストの弟子たちも、夜の闇の中で「突風〔や〕波」を恐れました。¹ 現代の主の弟子として、わたしたちにも恐れがあります。教会のシングルアダルトたちは、結婚などの決断を下すことに恐れを抱いています。わたしたちの子供のように、若い夫婦は、邪悪が増大する世にあって子供をもうけることに恐れを抱いています。宣教師たちは特に知らない人たちに話しかけることなど、多くのことを恐れます。未亡人となった人は、これから独りで人生を歩まなければならぬことに恐れを抱きます。十代の若者は、ほかから受け入れてもらえないことに恐れを抱きます。学校に通う生徒は、授業の始まる日に恐れを抱き、大学生はテストが返されることに恐れを抱きます。失敗や拒否、失意や未知のことに恐れを抱きます。住んでいる土地や生活を脅かすハリケーンや地震や火災に恐れを抱きます。選ばれないことに恐れを抱き、反対に選ばれることに恐れを抱きます。自分がまだ十分に善良でないことに恐れを抱き、主の祝福はないのではと恐れを抱きます。変化を恐れ、その恐れがさらに大きな恐怖心に変わることもあります。これですべての恐れを網羅したでしょうか。

いにしえの時代から、恐れは神の子供たちの視点を制限してきました。わたし

は、以前から列王記下にあるエリシャの記録がとても好きです。シリアの王は、大軍を派遣し、その軍勢は「夜のうちに来て、その町を囲」² みました。彼らのねらいは預言者エリシャを捕らえて、殺すことになりました。こう記録されています。

「神の人の召使が朝早く起きて出て見ると、軍勢が馬と戦車をもって町を囲んでいたので、その若者はエリシャに言った、『ああ、わが主よ、わたしたちはどうしましょうか。』」³

これは恐れから発した言葉でした。

「エリシャは言った、『恐れることはない。われわれと共にいる者は彼らと共にいる者よりも多いのだから。』」⁴

しかし、エリシャはそこで終わりにはしませんでした。

「そしてエリシャが祈って『主よ、どうぞ、彼の目を開いて見させてください』と言うと、主はその若者の目を開かれたので、彼が見ると、火の馬と火の戦車が山に満ちてエリシャのまわりにあった。」⁵

わたしたちの恐れを除くために、また心配の種をもみ消すために、火の戦車が送られてくることはないかもしれません。し



かし、ここでの教えは明白です。主がわたくしたちとともにおられ、わたしたちのことを心に留め、主にのみ可能な方法でわたくしたちに祝福を注ごうとしておられるのです。わたしたちは、思いをイエス・キリストとその贖いの犠牲に集中させるために必要な強さと啓示を祈りを通して頂くことができます。主は、わたしたちがときには恐れを感じことがあるだろうと御存じでした。わたしもそのような場面に遭遇したことがありますし、皆さんもそうです。だからこそ、聖典は次のような主の勧告に満ちているのです。

「元気を出しなさい。恐れてはならない。」⁶

「あらゆる思いの中でわたしを仰ぎ見なさい。疑ってはならない。恐れてはならない。」⁷

「小さい群れよ、恐れてはならない。」⁸
わたしはこの「小さい群れ」という優しい言葉が大好きです。この教会は、世の中が影響力を図る方法においては、少人数かもしれません。しかし、わたしたちが靈の目を開きさえすれば、「われわれと共にいる者は彼らと共にいる者よりも多い」⁹のです。わたしたちの愛する羊飼いであるイエス・キリストは、さらに次のように続けています。「この世と地獄をあなたがたに対して連合させなさい。あなたがたがわたしの岩の上に建てられるならば、それらは打ち勝つことができないからである。」¹⁰

恐れはどのようにして退けることができるのでしょうか。あの若者について言えば、彼は神の預言者であるエリシャのすぐ隣に立っていました。わたしたちにも同じ約束が与えられています。ラッセル・M・ネルソン大管長の話に耳を傾け、その勧告を聞くとき、わたしたちは神の預言者とともに立っていることになります。ジョセフ・スミスの言葉を思い出してください。「そして今、小羊についてなされてきた多くの証の後、わたしたちが最後に小羊についてなす証はこれである。すなわち、『小



羊は生きておられる。」¹¹ イエス・キリストは生きておられます。わたしたちにイエスを思う愛とその福音があれば、恐れは退きます。

わたしたちが「いつも御子の御靈を受け」¹²たいという望みを持っていれば、恐れを払拭し、この死すべき世にあってより永遠を見る目を養うことができます。ネルソン大管長は次のように警告しました。「導き、指示し、慰める、変わることのない聖靈の影響力がなければ、これから先、靈的に生き残ることはできなくなるでしょう。」¹³

主は、全地を覆い、多くの人々の心をかたくにする災難について、次のように言われました。「わたしの弟子たちは聖なる場所に立ち、動かされない。」¹⁴

そして、次のような厳かな言葉が続きます。「心配することはない。これらすべてのことが起こるとき、あなたがたは、与えられた約束が果たされることが分かるからである。」¹⁵

聖なる場所に立つこと、心配しないこと、約束が果たされることについて、わたしたちの抱く恐れに関連付けながら、一つずつ見ていきましょう。

最初に、聖なる場所に立つことです。

わたしたちが、義にかなった家庭、奉獻された礼拝堂、聖別された神殿といった聖なる場所に立つとき、主の御靈がともにあることを実感します。わたしたちを悩ます疑問に対する答えを見つけたり、そうした疑問に心を奪われずに平安を見いだしたりします。それが御靈の働きです。地上における神の王国である、これら神聖な場所にいるためには、敬虔さや人々に対する敬意、福音に従って生きるよう最善を尽くす自分、そして、わたしたちの恐れを取り除き、贖罪を通じてイエス・キリストの癒しの力を頂きたいという望みが求められます。

こうした神の聖なる場所において、また神の子供たちの心の中には、恐れが入る余地はありません。なぜでしょうか。愛があるからです。神はわたしたちをいつも愛してください、わたしたちも神を愛しています。神を愛するわたしたちの思いはあらゆる恐れを取り除きます。そして、神の愛は聖なる場所に満ちています。考えてみてください。わたしたちが主に従う決意をためらったり、永遠の命へと導く道から迷い出たり、主の聖なる計画における自分の重要性に疑問を抱いたり、疑ったり、あるいは恐れに心を許したりして、その仲間である失意や怒り、不満や失望が扉を開ける



のを許してしまえば、御靈は退き去り、わたしたちは主から離れた状態に置かれます。それがどのような状態か分かっていたら、そんな場所にはいたくないということが分かるでしょう。反対に、聖なる場所に立っていると、神の愛を感じ、「完全な愛〔により〕あらゆる恐れ〔が〕取り除」¹⁶かれます。

次は、「心配することはない」¹⁷という約束です。邪悪や混乱がどれほど地を満たすとも、わたしたちには、イエス・キリストに日々忠誠を尽くすことによって、「人知ではとうてい測り知ることのできない神の平安」¹⁸が約束されています。そして、キリストがあらゆる力と栄光とをまとめて降臨されるとき、悪や反逆、不正は終わりを告げるのです。

はるか昔、使徒パウロはわたしたちの時代について預言し、若きテモテに向かってこう言いました。

「このことは知っておかねばならない。終りの時には、苦難の時代が来る。

その時、人々は自分を愛する者、金を愛する者、大言壯語する者、高慢な者、神をそしる者、親に逆らう者、恩を知らぬ者、神聖を汚す者、……

……神よりも快楽を愛する者〔となる。〕」¹⁹

幕の両側にいる「われわれと共にいる者」、そして心と勢力と思いと力とを尽くして主を愛する者は、「彼らと共にいる者よりも多い」²⁰ことを忘れないでください。わたしたちが積極的に主とその道に信頼を置き、主の御業に携わるなら、わたしたちは世界の動向に恐れを抱いたり、心を騒がせたりすることもありません。皆さんにお願いします。世の影響力や圧力を相手にせず、日々の生活の中で靈性を求めてください。主が愛しておられるものを愛してください。そこには、主の戒め、主の聖なる宮、主と交わした神聖な聖約、安息日ごとの聖餐、祈りによる交わりが含まれます。そうしたものを愛すれば、心配することはなくなるでしょう。

最後に、主とその約束を信頼することについてお伝えします。わたしは、主の約束が皆果たされることを知っています。この聖なる集会で皆さんの中にわたしが立っていることと同じくらい確かに、それを知っています。

主はこう啓示されました。「賢くて、真理を受け入れ、自分の導き手として聖なる御靈を受け、そして欺かれなかつた者、すなわち、まことにわたしはあなたがたに言うが、彼らは切り倒されて火の中に投げ込まれることなく、その日に堪えるであろう。」²¹

だからこそ、現在の混乱、大きくて広々とした建物の中の人々、裏表のない努力や主イエス・キリストに対する献身的な働きをあざ笑う人々に悩まされる必要はないのです。樂觀主義や勇気、そして慈愛も、不安や動搖した気持ちで押しつぶされそうな心から生まれるものではありません。「将来を樂観的に見〔る〕」ネルソン大管長は、わたしたちにこう言いました。「真理を攻撃する無数の声や人の哲学をふるいにかけたいと思うなら、啓示を受けられるようにならなければなりません。」²²

個人の啓示を受けるために、わたしたちは福音に従って生き、忠実さと靈性を自分自身や周りの人々が養えるようにすることに優先順位を置かなければなりません。

スペンサー・W・キンボールは、わたしが若いころの預言者の一人でした。ここ数年、使徒として召されたあと、わたしは1943年10月の総大会で語られた彼の最初の説教に平安を見いだしてきました。長老は自分の召しに圧倒されていました。わたしにはその気持ちが分かります。キンボール長老はこう言っています。「わたしは長い時間を、瞑想と祈り、断食と祈りに費やしてきました。わたしの心の中には、二つの対立する思いがわき上がっていました。声のように聞こえてきました。『あなたにはそんな仕事はできない。あなたはふさわしくないし、能力もない。』すると決まって、次のような思いがそれを制す

るのです。『あなたは与えられた仕事をしなければならない。あなたは能力のある者、ふさわしい者、資格ある者とならなければならない。』そしてその戦いは激しさを増しました。」²³

わたしは、この偉大な教会の第12代大管長となった使徒の真心からの証に励まされています。キンボール長老は、恐れを捨てて「与えられた仕事を」し、自分自身を「能力のある者、ふさわしい者、資格ある者」とするために、強さを求めて主に頼らなければならぬことを認識していました。わたしたちにもそれができます。戦いは激しさを増しますが、わたしたちは主の御靈を受けて立ち向かいます。「心配する」ことはありません。主とともに立ち、主の原則や主の永遠の計画に従っていくとき、わたしたちは聖なる地に立っているのです。

さて、何年か前に、真剣に思い巡らし、恐れの混じった質問をしたあの娘と義理の息子はどうなったでしょうか。二人はあの晩、わたしたちとの会話の内容を深く考え、二人で祈り、断食をし、自分たちなりの結論を導き出しました。二人にとっても、また祖父母に当たるわたしたちにとっ





十二使徒定員会
デビッド・A・ベドナー長老

ても幸せで喜ばしいことに、今では恵まれて7人のかわいらしい子供たちに囲まれ、信仰と愛を抱き歩んでいます。

7人のラズバンド長老と姉妹の孫たちです。

兄弟姉妹の皆さん、勇気を出しましょう。確かに、わたしたちは苦難の時代に生きています。しかし、聖約の道にとどまるかぎり、恐れる必要はないのです。そうするときに、わたしたちが住む今の時代に對して、また立ちふさがる問題に對して心を悩ませることがないように、皆さんを祝福します。皆さんが聖なる場所に立ち、動かされないことを選べるよう祝福します。主が生きておられること、また、わたしたちを見守り、気にかけ、わたしたちの側に立っておられるというイエス・キリストの約束を感じることができます。祝福します。主であり、救い主であられるイエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. マルコ4:37
2. 列王下6:14
3. 列王下6:15
4. 列王下6:16
5. 列王下6:17
6. 教義と聖約68:6
7. 教義と聖約6:36
8. 教義と聖約6:34
9. 列王下6:16
10. 教義と聖約6:34
11. 教義と聖約76:22
12. 教義と聖約20:77
13. ラッセル・M・ネルソン「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」『リアホナ』2018年5月号、96
14. 教義と聖約45:32
15. 教義と聖約45:35
16. モロナイ8:16
17. 教義と聖約45:35
18. ピリピ4:7
19. 2テモテ3:1-2, 4
20. 列王下6:16
21. 教義と聖約45:57
22. ラッセル・M・ネルソン「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」96
23. Spencer W. Kimball, in Conference Report, Oct. 1943, 16-17

ことごとく、 キリストにあって一つに 帰せしめる

わたしたちを変え、祝福する救い主の福音の力は、その教義と原則、実践することとの関連性を識別し、応用することから生じります。

□ ープはわたしたちにとってなじみのある、欠かすことのできない道具で、互いにより合わさった、あるいは編み込まれた布地、植物、針金、そのほかの素材の東からできています。興味深いことに、ごく普通の素材がより合わさることで、非常に頑丈なものとなります。このように、ありふれた素材を効果的に結び合わせることで、非常に優れた道具を生み出すことができます。

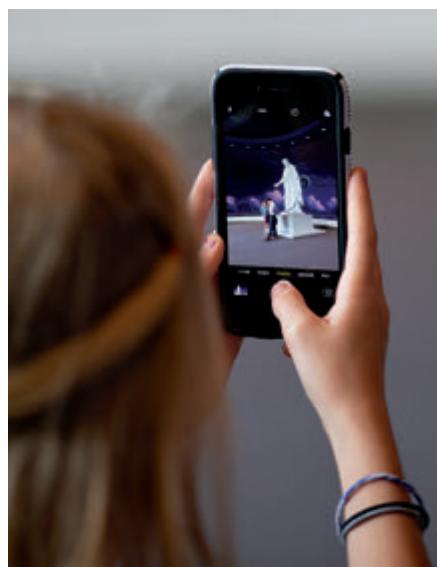
それぞれにより合わさった東によってロープが強固なものとなっているように、わたしたちが「天にあるもの地にあるものを、ことごとく、キリストにあって一つに帰せしめ〔る〕」ようにとのパウロの勧告を心に留めるなら、イエス・キリストの福音によって真理を見通す目が最大限に開かれ、最も豊かな祝福を得ることができます。¹重要な点は、この力強い真理の集合体が、主イエス・キリストを中心としたものであるということです。主こそが「道であり、真理であり、命」だからです。²

ことごとくキリストにあって一つに帰せしめるという原則が回復された福音を日々

の生活で学び、実践することと実際にどう関連しているのか考えるうえで聖霊がわたしたち一人一人を教え導いてくださるように祈ります。

啓示あふるる時

わたしたちは、回復されたイエス・キリ





ストの教会において際立った、啓示あふるる時に生きています。今日発表された歴史的な調整事項は、一つの包括的な目的に基づいています。すなわち、天の御父とその計画、また御子イエス・キリストとの贖罪に対する信仰を強めるということです。日曜日の集会が単に短くなったのではなく、これからは個人、家族がその時間を使い、家庭や教会においてさらに安息日を喜びとする機会と責任が増えたということなのです。

今年の4月、神権定員会の組織構造は單に変更されたわけではありません。むしろ、より高く、より神聖な方法をもって兄弟姉妹にミニスタリングするということを強調、強化されたのです。

ロープの編み込まれた束が、強固で耐久性の高い道具を生み出すように、相互に関連するこうした動きはすべて、救い主の回復された教会の焦点とリソース、業を、教会の基本的な使命によりよく沿わせるための一貫した取り組みの一環です。そして、教会の使命とは、神の子供たちに救いと昇栄をもたらす業において神の助け手になるということです。発表された事柄の物理的な側面に大きく焦点を当てることのないようお願いします。手順に関する

詳細が、こうした変更が現在行われている靈的な理由の全体を曇らせるようであってはなりません。

わたしたちが望んでいるのは、御父の計画と救い主の贖いの使命に対する信仰がこの地上で増し加えられ、神の永遠の聖約が確立されることです。³ わたしたちが抱く唯一の目的は、主に対する継続的な改心を手助けすること、また兄弟姉妹をさらに完全に愛し、彼らにより効果的に仕えることなのです。

分割と分離

教員であるわたしたちは時折、学習すべき個人的なテーマや果たすべき事項を連ねた非常に長いチェックリストを作成することで、生活において福音を区切り、引き離して実践していることがあります。しかし、そのような取り組みが、わたしたちの理解やビジョンを狭めてしまう可能性があります。パリサイ人のごとくチェックリストにしがみつくことは、主に近づくうえで妨げとなり得るため注意しなければなりません。

「〔わたしたちの〕心を神に従わせ」⁴、「〔わたしたちの〕顔に神の面影を〔受け〕る」⁵ ことからもたらされる決意と清め、

幸福と喜び、継続的な改心と守りは、果たすべきすべての靈的な事柄を單にこなし、チェックをつけることからは得られないのです。むしろ、わたしたちを変え、祝福する救い主の福音の力は、その教義と原則、実践することとの関連性を識別し、応用することから生じるのです。わたしたちが確固として主に心を向け、ことごとく、キリストにあって一つに帰せしめるときに初めて、福音の真理は相乗効果を生み出し、わたしたちは神の望んでおられるような人物となることができ、⁶ 最後まで勇敢に堪え忍ぶ⁷ ことが可能となります。

福音の真理を学び、関連づける

イエス・キリストの福音は「組み合わされ」⁸、織り合わされた真理の壮大なタペストリーです。明らかにされた福音の真理を学び、関連づけるなら、生活において主の御手を見ることのできる目、主の御声を聞くことのできる耳を通して、⁹ 貴い観点が与えられ、靈的な能力が増し加えられるという祝福を受けます。キリストにあって一つに帰せしめるという原則は、これまでのチェックリストを、一貫し、包括的で、完全なものに変えるうえで助けとなります。わたしがお勧めしていることについて、教義的な例と教会での例を挙げましょう。

例1——信仰箇条第4条は、「ことごとく、キリストにあって一つに帰せしめ〔る〕」ことについて説明するうえで最も有効なもの一つです。すなわち「わたしたちは、福音の第一の原則と儀式とは、第一に主イエス・キリストを信じる信仰、第二に悔い改め、第三に罪の赦しのために水に沈めるバプテスマ、第四に聖霊の賜物を授けるための接手であることを信じる」ということです。¹⁰

真の信仰は、主イエス・キリスト、すなわち神聖な御父の独り子としての役割、また主が果たされた贖いの使命に中心を据えたものです。「キリストは律法の目的を

達せられた。そして、キリストを信じるすべての者を、御自分に属するものと主張しておられる。また、キリストを信じる者は一切の善いものを固く守るので、キリストは人の子らを弁護してくださる」¹¹とあります。キリストを信じる信仰を働かせるとは、わたしたちの救い主として、主の御名とその約束を信じ、信頼を置くことです。

救い主に信頼を寄せるなら、わたしたちはまず、おのずと悔い改めに導かれ、悪を退けるようになります。主に対する信仰を働かせるにつれ、わたしたちの心は当然ながら主に向かい、わたしたちは主のみもとへ行き、主に頼るようになるのです。このように、悔い改めとは、わたしたちが自分では果たせないことを贖い主が負ってくだ

さると信じ、贖い主に頼ることです。わたしたちは皆、「人を救う力を備えておられるこの御方の功德にひたすら〔頼らなければ〕」なりません。¹²「聖なるメシヤの功德と憐れみと恵みに〔よって〕」のみ、¹³わたしたちはキリストにあって新しく造られた者¹⁴となることができ、最終的に神のみもとに戻り、そこに住むことができるからです。

罪の赦しのために水に沈めるバプテスマの儀式では、わたしたちが主を信じ、主に頼り、主に従うことが求められます。ニーファイは次のように宣言しました。「もしあなたがたが十分に固い決意をもって御子に従い、神の前に決して偽善と欺きを行うことなく誠意をもって行動し、罪

を悔い改め、バプテスマによって、まことに、あなたがたの主であり救い主である御方に従い、主の言葉のとおりに水に入り、バプテスマを受けることによって、キリストの名を喜んで受けることを御父に証明するならば、見よ、そのとき、あなたがたは聖靈を受ける。すなわち、そのとき火と聖靈によるバプテスマを受ける。」¹⁵

聖靈の賜物のための挨拶の儀式において、わたしたちは主を信じ、主に頼り、主に従い、また主の聖なる御靈の助けを受けて、主にあって力強く進むことが求められます。ニーファイが述べたように、「このことから、人は生ける神の御子の模範に倣って、最後まで堪え忍ばなければ救われないことが分かる」のです。¹⁶

信仰箇条第4条は、回復された福音の基本的な原則と儀式を単に明らかにするものではありません。それどころか、この靈感に満ちた信条の言葉は、すべてのものをキリストにあって一つに帰せしめるものです。すなわち主を信じ、主に頼り、主に従い、主に似た者となるべく、主とともに力強く進むことなのです。

例2——今度は、教会のプログラムや取り組みのすべてがいかにして、キリストにあって一つに帰せしめられるかを説明したいと思います。多くの例が考えられますが、選んだ幾つかのものだけを取り上げます。

1978年、スペンサー・W・キンボール大管長は教会員に対し、世界中に堅固なシオンを築くよう指示しました。聖徒たちに向けて、母国にとどまり、また神の家族を集め、彼らに主の道を教えることによって確固としたステークを築くよう勧告したのです。キンボール大管長はさらに、より多くの神殿が建てられることについて述べ、世界のどこにいようと聖徒たちに祝福が注がれることを約束しました。¹⁷

ステークの数が増えるにつれ、会員の家庭は、「家族が愛し合い、人生を豊かなものとし、互いへの愛、支え、感謝と励ましを感じられる場として」さらに多くを求





められるようになりました。¹⁸ その結果として、1980年、日曜日の集会は3時間プログラムに統合され、「福音を学び、実践し、教えるうえでの個人と家族の責任が再度強調される」こととなったのです。¹⁹ 家族と家庭に重点を置くことについては、1995年、ゴードン・B・ヒンクレー大管長により発表された「家族——世界への宣言」において再び確認されました。²⁰

1998年4月、ヒンクレー大管長はさらに多くの小規模神殿の建設を発表し、それにより、世界中に住む末日聖徒の個人や家族にとって、主の宮の神聖な儀式がさらに身近なものになったのです。²¹ こうした靈的な成長と発展にかかわるさらなる機会は、2001年、永代教育基金の導入を通して物質的自立の度合いが高められたことにより、補完されました。²²

トマス・S・モンソン大管長はその在任期間において、「救助に向かう」よう聖徒たちに繰り返し勧め、神が定められた教会が果たすべき責任の一つとして、貧しい人や助けを必要とする人を世話することについて強調しました。物質的な備えについても引き続き重点が置かれ、2012年には自立支援サービスが動き始めます。

過去数年にわたり、家庭と教会において安息日を喜びの日とすることについての重要な原則が強調され、強められてきました。このように、総大会の本部会で発表された日曜日の集会スケジュールの調整に、わたしたちは備えられていたのです。²³

また6か月前、より高く神聖な方法をもってミニスタリングできるよう、メルキゼデク神権定員会が強められ、補助組織とより効果的に一致して働くことができるよ

うになりました。

数十年にわたって、こうした動きが起った順序やタイミングは、わたしたちが一つの一致した包括的な業を見据えるうえで助けになるものだと信じています。独立した、別個の、単なる一連の取り組みではないのです。「儀式や教え、プログラムを通して、また、家庭を中心とした、教会が〔サポートする形の〕活動に参加することを通して、個人と家族が靈的に進歩するという過程を神は明らかにしておられる。教会の組織とプログラムは個人と家族に祝福をもたらすために存在するのであって、これら自体が目的ではない」とあります。²⁴

わたしたちが主の業を、一つの偉大な世界規模の業として認識できるようにと祈ります。この業はこれまで以上に、家庭を中心とし、教会がサポートする形で進んでいくのです。わたしは主がこれまで、また「この後も、神の王国に関する多くの偉大で重要なことを啓示される」ことを信じ証します。²⁵

約束と証

より合わさった、あるいは編み込まれた素材の束によって、ロープの強さが生み出される点に注目することから、わたしのメッセージを始めました。同じように、すべてのものをキリストにあって一つに帰せしめようと努めるなら、わたしたちの持つ観点や決意、力が深められ、それは回復されたイエス・キリストの福音を学び、実践することへつながると約束します。

永遠にかかわるすべての機会や祝福は、主イエス・キリストに始まり、主によっ

て可能となり、目的を生み、主を通して永遠に続くのです。アルマが証したとおりです。「人が救われるのはただキリストにより、キリストを通じてだけであり、決してほかの方法や手段はない……。見よ、キリストは世の命であり光であられる。」²⁶

わたしは喜びをもって、永遠の御父の神性と実在について、またその愛する御子、イエス・キリストについて証を述べます。救い主に、わたしたちは喜びを見いだします。また主にあって、わたしたちは「この世において平和を、また来るべき世において永遠の命を受ける」²⁷ という確信を得るのであります。これらを主イエス・キリストの神聖な御名により証します。アーメン。 ■

注

1. エペソ 1:10
2. ヨハネ 14:6
3. 教義と聖約 1:21 – 22 参照
4. ヒラマン 3:35
5. アルマ 5:14
6. マタイ 5:48; 3 ニーファイ 12:48 参照
7. 教義と聖約 121:29 参照
8. エペソ 2:21
9. 教義と聖約 136:32 参照
10. 信仰箇条 1:4
11. モロナイ 7:28
12. 2 ニーファイ 31:19
13. 2 ニーファイ 2:8
14. 2 コリント 5:17 参照
15. 2 ニーファイ 31:13, 強調付加
16. 2 ニーファイ 31:16
17. See Spencer W. Kimball, "The Fruit of Our Welfare Services Labors," Ensign, Nov. 1978, 76.
18. Instructions for stake presidencies and bishoprics, in "Church Consolidates Meeting Schedules," Ensign, Mar. 1980, 73.
19. "Church Consolidates Meeting Schedules," 73
20. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2017年5月号, 145 参照
21. ゴードン・B・ヒンクレー「福音の『最高の祝福』をもたらす新しい神殿」「聖徒の道」1998年7月号, 95 – 96 参照
22. ゴードン・B・ヒンクレー「『永代教育基金』」「リアホナ」2001年7月号, 60 – 62, 67 参照
23. ラッセル・M・ネルソン「安息日は喜びの日」「リアホナ」2015年5月号, 129 – 132 参照
24. 『手引き 第2部——教会の管理運営』1.4, 強調付加
25. 信仰箇条 1:9
26. アルマ 38:9
27. 教義と聖約 59:23



大管長会第一顧問
ダリン・H・オーカス管長

真理と計画

宗教についての真実を追求するのであれば、その探求にふさわしい靈的な方法で行う必要があります。

現代の啓示で、真理とは「現在あるとおりの、過去にあったとおりの、また未来にあるとおりの、物事についての知識である」と定義されています（教義と聖約 93:24）。これは救いの計画と「家族——世界への宣言」に完全に当てはまる定義です。

わたしたちは、情報が大いに広まり普及した時代に生きてています。しかし、こうした情報のすべてが真実とはかぎりません。真理を探し求め、その過程で頼る情報源を選ぶ際には、慎重になる必要があります。この世的な名声や権威を、適格な真理の情報源であるかのように考えてはなりません。芸能人や人気アスリート、あるいは匿名のインターネットの情報源から発信されている情報を信用することに関して気を付ける必要があります。一つの分野を極めているからといって、ほかのことに関わる真理をも極めていると見なしてはならないのです。

情報源となる側の動機についても、同様によく考える必要があります。聖文にも、偽善売教に対する警告があります（2 ニーファイ 26:29 参照）。情報源が匿名または不明な場合は、その情報自体も疑わしい場合があります。

個人的な決断は、その分野に関わる適切な情報源から来る情報を基に下すべきであり、利己的な動機に基づいた情報に

左右されるべきではありません。

I.

宗教についての真理を探し求める際は、祈りや聖霊の証、聖文や現代の預言者の言葉の研究など、その探求にふさわしい靈的な方法を用いるべきです。この世的な教えのために宗教上の信仰を失った人の話を耳にするといつも悲しくなります。かつては靈的な視野を持っていた人でも、自らの選びにより靈的に盲目になって苦しむことがあります。ヘンリー・B・アイリン

グ管長は、このように言いました。「問題は、彼らが自分に見えていると思うことの中にはないからです。問題は彼らがまだ見えていないことの中にあるのです。」¹

科学的方法は、いわゆる科学的真理へとわたしたちを導きますが、この「科学的真理」がすべてではありません。「研究によって、また信仰によって」（教義と聖約 88:118）学ぶことのない人々は、真理への理解を科学的手段で立証できるものに制限してしまうため、真実の探求において人為的な限界を設けてしまうことになります。

ジェームズ・E・ファウスト管長はこのように述べています。「バプテスマを受けておきながら何の配慮もないままこの世の知識の源だけを追求する人々は、永遠の観点から見て自分を危険にさらしているのです。わたしたちは末日聖徒イエス・キリスト教会にキリストの完全な福音があることを信じています。福音は真理と永遠の悟りの基盤です。」²

わたしたちは、自分が何者であり、なぜ現世で過ごし、死んだらどこへ行くのかといった真理を知るようになり、その真理に





従って行動することによって、眞の永続的な喜びを見いだします。科学的あるいはこの世的な方法では、このような真理を学ぶことはできないのです。

II.

これから、末日聖徒イエス・キリスト教会の教義の基盤である、回復された福音の真理についてお話しします。これらの真理について注意深く検討してください。恐らくまだ理解されていないものも含めて、わたしたちの教義や慣行について多くの説明しているからです。

神は実在し、これまで生を受け、これから生を受けるすべての人の靈の愛にあふれた御父であられます。

性別は永遠です。この地上に生まれる前、わたしたちは皆、男性あるいは女性の靈として神のもとで暮らしていました。

先ほどテンプルスクウェア・タバナクル合唱団が「主の計画にしたがう」³を歌うのを聞きましたが、その計画とは御自分の靈の子らが永遠に進歩することができるよう神が定められた計画です。この計画は、わたしたち一人一人にとって不可欠です。

この計画の下、神の愛する靈の子供たちが現世に生を受け、肉体を得、義にかなった選択をすることにより永遠に進歩することができるよう、神はこの地球を創造されました。

これを有意義なものとするには、現世において、相反する勢力である善と悪から選ぶ必要がありました。反対のものがなければならなかったため、背きのゆえに追

い出されたサタンは、神の計画に反して行動するよう神の子らを誘惑し、試すことを許されました。

神の計画の目的は、神の子供たちに永遠の命を選ぶ機会を与えることでした。これは、現世での経験に加えて、死後、靈界で成し遂げられる来世における成長によってのみ実現可能となります。

現世において、わたしたちはサタンの邪悪な誘惑に身を任せ、犯した罪のため汚れ、そして遂には死に至ります。わたしたちは計画にある通り、父なる神が御自分の独り子であられる救い主を備えてくださること、また救い主が全人類に復活をもたらすことであわしたちを救ってくださること、死後に完全な肉体を持って暮らせることを信頼してこれらの試練を受け入れました。救い主はまた、御自身の定められた条件に基づき、すべての人を罪から清めるための代価を支払うために贖罪ももたらしてくださいます。その条件には、キリストを信じる信仰や悔い改め、バプテスマ、聖靈の賜物、そして神権の権能によって執行されるそのほかの儀式が含まれます。

神の偉大な幸福の計画は、永遠の正義と、イエス・キリストの贖罪を通して得られる憐れみとの間に完全な調和をもたらします。また、わたしたちがキリストによって新しく造られた者と変貌することを可能とします。

愛に満ちた神は、わたしたち一人一人に手を差し伸べておられます。わたしたちは、神の愛と神の独り子の贖罪により、「全人類〔が〕福音の律法と儀式に従うことによって救われ得る」ことを知っています。

す（信仰箇条1：5。強調付加）。

末日聖徒イエス・キリスト教会は、家族を中心とする教会として適切に知られていますが、この家族中心主義がこの世における人間関係のみに焦点を当てているわけではないことはあまり理解されていません。永遠に続く関係もまた、わたしたちの神学の根底を成すものです。家族は神によって定められたものです。⁴ 愛に満ちた創造主の偉大な計画の下、回復された主の教会の使命は、神の子供たちが日の栄えの王国において昇栄を得られるよう助けることです。この天与の祝福は、男女の間の永遠の結婚を通してのみ得ることができます（教義と聖約131：1－3参照）。わたしたちは、神の教えにあるとおり、「性別は、人の前世、現世および永遠の状態と目的にとって必須の特性〔であること〕」、また「結婚は、神の永遠の計画に不可欠〔であること〕」を明言します。⁵

最後に、神の愛はとても深いため、神は故意に滅びの子となる少数の人々を除くすべての子供たちに栄えある行く末を備えておられます。この「すべての子供たち」の中にはすでに亡くなった人たちも含まれています。わたしたちは彼らのために神殿において身代わりの儀式を行うのです。イエス・キリストの教会の目的は、神の子供たちが最も高い栄光の階級である昇栄、すなわち永遠の命を得られるようにふさわしくすることです。それを望まない人々やふさわしくない人々にも、神は、より低い栄光の王国を備えておられます。

これらの永遠の真理を理解する人であればだれでも、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員の考え方や行動の理由を理解することができます。

III.

これから、これらの永遠の真理に当てはまる事柄を幾つかお話ししますが、それは神の計画に照らすことによってのみ理解することができます。

まず、わたしたちは個人の選択の自由を尊重しています。多くの人は、教会がアメリカ合衆国や世界中で信教の自由を促進するため、多大な努力を払っていることを知っています。こうした取り組みは、自らの利益のみを促進するだけのものではなく、神の計画に従って、神のすべての子供たちが選択の自由を享受できるようにするためのものなのです。

第2に、わたしたちは宣教の民です。時折、宣教師を非常に多くの国々に、キリスト教徒の人々の中にさえ送っている理由を尋ねられることがあります。また、教会員ではない人々のために何百万ドルもの人道援助を行っている理由や、こうした援助を伝道活動と結び付けない理由についても同様の質問を受けます。こうした努力を払っているのは、わたしたちがすべての人を神の子供、すなわちわたしたちの兄弟姉妹と見なしており、すべての人とわたしたちの持つ靈的および物質的な豊かさを分かち合いたいと思っているためです。

第3に、この世で与えられる命はわたしたちにとって神聖なものです。神の計画に忠実であろうとすれば、中絶や安楽死とは反対の立場を取ることが求められます。

第4に、教会の結婚や子供に関する立場に心を悩ませている人々もいます。神が明らかにされた救いの計画についての知識があるため、わたしたちは伝統的な結婚を離れ、性別の混乱や転換を招く変更を加えようとし、男女の違いを無くさせようとしている現在の社会的、法的な圧力の多くに反対する立場を取るよう求められています。わたしたちは、男女の関係、独自性、役割が、神の偉大な計画を成し遂げるために不可欠であると知っています。

第5に、わたしたちは子供たちに関する特有の視点を持っています。わたしたちは、子供をもうけ育てることは神の計画の一部であり、これに携わる力を与えられた人々にとっては喜ばしく神聖な



義務であると考えています。また、地上や天における究極の宝とはわたしたちの子供たちであり、わたしたちの子孫であると考えています。したがって、わたしたちは子供たち、つまりすべての子供たちの成長と幸福のために、最良の状態をもたらす原則や実践を教え、強く主張しなければならないのです。

最後に、わたしたちは天の御父の愛する子供であり、御父は、男性であることや女性であること、男女の間の結婚、子供をもうけ育てることはすべて、神の偉大な幸福の計画に欠かせないものであると教えておられます。これらの基本原則におけるわたしたちの立場が、しばしば教会に対する攻撃を引き起こすことがあります、これは不可避であると考えています。反対のものは計画の一部であり、サタンの最も激しい攻撃の矛先は、神の計画の中で最も重要な事柄に向けられるからです。サタンは、神の業を滅ぼそうとしています。常套手段として、サタンは救い主と主の神聖な権能を疑わせようとしたり、イエス・キリストの贖罪の効力を消し去ろうとしたり、悔い改めを妨げようとしたり、啓示を装ったり、個人の責任を否定させようとしたりします。また、性について混乱させ、結婚を歪め、出産——特

に真理において子供を育てる親による出産を阻止しようとします。

IV.

わたしたちが末日聖徒イエス・キリスト教会の教えに従うよう努める中で、反対勢力が組織的に絶え間なく立ちはだかってきたとしても、主の業は前進していきます。そうした反対勢力のために搖らいでいる人に向けて、3つの提案をしましょう。

第1に、イエス・キリストの贖罪の比類ない力によって可能となった悔い改めの原則を覚えていてください。ニール・A・マックスウェル長老が勧めているように、「自分を変えるよりも、むしろ教会を変えようとする」人々から離れてください。⁶

ジェフリー・R・ホランド長老が強く勧めたように、

「……すでに知っていることに固くしがみついて、新たな知識を得るまで、強くあってください。……

この教会では、わたしたちが知っていることの方が、知らないことよりも常に大切です。」⁷

福音の第一の原則である、主イエス・キリストを信じる信仰を働かせてください。

最後に、助けを求めてください。教会指導者は、皆さんを愛し、皆さんを助ける



大管長会第二顧問
ヘンリー・B・アイリング管長による提示

ために靈的な導きを求めています。LDS.orgを通じて得られるリソースや家庭での福音研究のためのサポートも多く提供しています。そして今、愛にあふれた助けを与えるために召された、ミニスタリングブラーとミニスタリングシスターがいます。

愛にあふれる天の御父は、御自分の子らに喜びを得て欲しいと願っておられます。それがわたしたちが創造された目的だからです。その喜びに満ちた行く末が永遠の命であり、この永遠の命は、わたしたちの預言者、ラッセル・M・ネルソン大管長がしばしば「聖約の道」と呼ぶ道に沿って、前進することにより得られるのです。教会の大管長としての最初のメッセージで、ネルソン大管長は次のように語っています。「どうぞ聖約の道にとどまつてください。主と聖約を交わして救い主に従う決意をし、それらの聖約を守るとき、世界中の男性、女性、子供たちのために備えられた、あらゆる靈的な祝福と特権を享受する門戸が開かれるのです。」⁸

わたしが述べた事柄が真実であることを厳粛に証します。これらのこととはイエス・キリストの教えと贋いを通して可能となりました。そして、このイエス・キリストこそが神の偉大な計画の下、すべてのことを可能にされた御方です。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. Henry B. Eyring, *To Draw Closer to God: A Collection of Discourses by Henry B. Eyring* (1997), 143
2. ジェームズ・E・ファウスト「豊かな命を求める」『聖徒の道』1986年1月号, 9
3. 「主の計画にしたがう」(『子供の歌集』86-87)
4. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2017年5月号, 145
5. 「家族——世界への宣言」145
6. Neal A. Maxwell, *If Thou Endure It Well* (1996), 101
7. ジェフリー・R・ホランド「『主よ、信じます』『リアホナ』2013年5月号 94, 強調は原文のまま
8. ラッセル・M・ネルソン「ともに前進するにあたり」『リアホナ』2018年4月号, 6-7

教会役員の支持



弟姉妹の皆さん、これから教会の中央幹部、地域七十人、中央補助組織会長会の名前を、皆さんの賛意の表明を頂くために提示いたします。

預言者、聖見者、啓示者、末日聖徒イエス・キリスト教会の大管長としてラッセル・マリオン・ネルソン、また、大管長会第一顧問としてダリン・ハリス・オーカス、大管長会第二顧問としてヘンリー・ベニオ

ン・アイリングを支持するよう提議します。

賛成の方はその意を表してください。

反対の方がいれば、その意を表してください。

十二使徒定員会会長として、ダリン・H・オーカスを、十二使徒定員会会長代理として、M・ラッセル・バラードを支持するよう提議します。

賛成の方はその意を表してください。

反対の方がいれば、その意を表してく



ださい。

十二使徒定員会会員として、M・ラッセル・バラード、ジェフリー・R・ホランド、ディーター・F・ウークトドルフ、デビッド・A・ベドナー、クエンティン・L・クック、D・トッド・クリストファーソン、ニール・L・アンダーセン、ロナルド・A・ラズバンド、ゲーリー・E・スティーブンソン、デール・G・レンランド、ゲレット・W・ゴング、ウリセス・ソアレスを支持するよう提議します。

賛成の方は、その意を表してください。

反対の方はその意を表してください。

大管長会顧問と十二使徒定員会を預言者、聖見者、啓示者として支持するよう提議します。

賛成の方はその意を表してください。

もし反対の方がいれば、同様にその意を表してください。

中央幹部七十人として仕えるよう召されたブルック・P・ヘイルズを支持するよう提議します。

賛成の方は、その意を表してください。

反対の方がいれば、その意を表してください。

マービン・B・アーノルド長老、クレグ・A・カードン長老、ラリー・J・エコー・ホーク長老、C・スコット・グロー長老、アラン・F・パッカー長老、グレゴリー・A・シュワイツァー長老、クラウディオ・D・シビック長老をこれまでの献身的な奉仕に感謝し中央幹部七十人から解任し、名誉職を付与することを提議します。

これらの兄弟たちの卓越した働きに対して、わたしたちとともに感謝を示してくださる方は、その意を表してください。

次の方々を地域七十人から解任することを提議します。B・セルジオ・アントウ

ネス、アラン・C・バット、R・ランドール・ブルース、ハンス・T・ブーム、フェルナンド・E・カルデロン、H・マルセロ・カルドゥス、ポール・R・コワード、マリオン・B・デ・アントニーヤー、ロバート・A・ドライデン、ダニエル・F・ダニガン、ジェフリー・D・エレクソン、マービン・C・ギディー、ジャオ・ロベルト・グラール、リチャード・K・ハンセン、トッド・B・ハンセン、マイケル・R・ジェンセン、ダニエル・W・ジョーンズ、スティーブン・O・レイング、アクセル・H・レイマー、タサラ・マカシ、アルビン・F・メレデス3世、アドネイ・S・オバンド、大田原勝幸、フレッド・A・パーカー、ホセ・C・ピネダ、ゲーリー・S・プライス、ミゲル・A・レイエス、アルフレッド・L・サラス、ネツアワルコヨトル・サリナス、マイケル・L・サウスワード、G・ローレンス・スペックマン、ウイリアム・H・ストード、スティーブン・E・トンプソン、デビッド・J・トムソン、ジョージ・J・トビアス、ジャック・A・ヴァン・リーネン、ラウル・エドガルド・A・ビセンシオ、キース・P・ウォーカー、ダニエル・イレンヤ・タウイア。

彼らの卓越した働きに対して、わたしたちとともに感謝を示してくださる方は、その意を表してください。

そのほかの中央幹部、地域七十人、中央補助組織会長会を現在のまま支持するよう提議します。

賛成の方はその意を表してください。

もし反対の方がいれば、同様にその意を表してください。

これまでの提議のいずれかに反対の方はご自分のステーク会長に連絡してください。

兄弟姉妹の皆さん、皆さんの変わらぬ信仰と教会の指導者のための祈りに感謝します。 ■





十二使徒定員会
D・Todd・クリストファーソン長老

キリストへの堅固で 揺るぎない信仰

キリストへの堅固で揺るぎない信仰を保つには、イエス・キリストの福音が心と精神を貫かなければなりません。

日 約の歴史の中では、イスラエルの子らがエホバと交わした聖約を尊び、主を礼拝していた時代もあれば、その聖約を無視し、バアル、つまり偶像を礼拝していた時代もありました。¹

アハブの統治期間は、イスラエルの北王国の背教の時代でした。預言者エリヤはある時、イスラエルの民とバアルの預言者あるいは祭司たちをカルメル山に集めるようアハブ王に言いました。民が集まると、エリヤは言いました。「『あなたがたはいつまで二つのもの間に迷っているのですか。〔言い換えると、『いつ最終的な結論を出すのですか。』〕主が神ならばそれに従いなさい。しかしふァルが神ならば、それに従いなさい。』民はひと言も彼に答えなかった。」² そこで、エリヤは自分とバアルの預言者がともに牛を切り裂き、それぞれの祭壇の上のたきぎの上に載せて、「火をつけずにお〔く〕」よう指示しました。³ それから、こう言いました。「『こうしてあなたがたはあなたがたの神の名を呼びなさい。わたしは主の名を呼びましょう。そして火をもって答える神を神としましょう。』民は皆答えて『それがよかろう』と言った。」⁴

バアルの祭司たちは何時間にもわたつ

て、火を送るようにと存在しない神に騒々しく呼び求めましたが、「なんの声もなく、答える者もなく、また顧みる者もなかつた」とあります。⁵ エリヤは自分の番が来ると、壊れた主の祭壇を直し、たきぎと燔祭を祭壇に載せて、それらに水を浴びせるよう命じました。1度ではなく、3度行うよう命じました。エリヤを始め、人間に火をともす力がないのは明らかでした。

「夕の供え物をささげる時になって、預言者エリヤは近寄って言った、『アブラハム、イサク、ヤコブの神、主よ、イスラエルでは、あなたが神であること、わたしがあなたのしもべであって、あなたの言葉に従つてこのすべての事を行ったことを、今日知らせてください。……』

そのとき主の火が下つて燔祭と、たきぎと、石と、ちりとを焼きつくし、またみぞの水をなめつくした。

民は皆見て、ひれ伏して言った、『主が神である。主が神である』。⁶

今日、エリヤは次のように言うでしょう。

- 天の父なる神は存在するかしないかのどちらかだが、もし存在するのなら、神を礼拝しなさい。
- イエス・キリストは神の御子、復活した人類の贖い主であるかないかのどちらかだが、もし主が救い主なら、主に従いなさい。
- モルモン書は神の言葉であるかないかのどちらかだが、もし神の言葉であるなら、「その教えを〔研究し〕守ることにより、…神に近づ〔き〕」なさい。⁷





・ジョセフ・スミスは1820年の春に御父と御子と会い、言葉を交わしたかそうでないかのどちらかだが、もしジョセフが神にまみえていたなら、預言者の外套に従いなさい。それには、わたしエリヤが彼に授けた結び固めの鍵も含まれている。

前回の総大会の中で、ラッセル・M・ネルソン大管長はこう宣言しました。「何が真実かと迷う必要はありません。〔モロナイ10:5参照〕間違いなく信頼できるのはだれかと迷う必要もありません。個人の啓示を通して、モルモン書が神の御言葉であること、ジョセフ・スミスが預言者であること、この教会が主の教会であることについて、自分自身の証を得ることができます。だれが何を言い、何をするとしても、皆さん的心と思いに何が真実かを告げた証を取り去ることは、だれにもできません。」⁸

知恵を求める人に対して神は「惜しみなくすべての人に与える」と約束したときに、ヤコブはこのように忠告しています。⁹

「ただ、疑わないで、信仰をもって願い求めなさい。疑う人は、風の吹くままに揺

れ動く海の波に似ている。

そういう人は、主から何かをいただけるもののように思うべきではない。

そんな人間は、二心の者であって、そのすべての行動に安定がない。」¹⁰

一方、救い主は、安定の完全な模範であられました。このように述べておられます。「わたしは、いつも神のみこころにかなうことをしているから、わたしをひとり置きざりになさることはない。」¹¹ 救い主のように堅固で揺るぎない男女についての次の聖文について考えてみてください。

彼らは「真実の信仰に帰依してい〔た〕。堅く確固として動かず、喜んで力の限り主の戒めを守っていたので、真実の信仰から離れようとしたかった。」¹²

「彼らは……考えはしっかりしていて、絶えず神に頼っています。」¹³

「見よ、あなたがた自身見て知っているとおり、彼らの多くは今真理を知っており、……信仰において、また彼らに自由を得させた事柄において確固として堅固である。」¹⁴

「そして一同はひたすら、使徒たちの教を守り、信徒の交わりをなし、共にパンをさき、祈をしていた。」¹⁵

キリストへの堅固で揺るぎない信仰を保つには、イエス・キリストの福音が心と精神を貫かなければなりません。つまり、福音が単に人の生活に及ぶ様々な影響の一つではなく、その人の生活と人格を決定づける中心的存在にならなければなりません。主はこう言っておられます。

「わたしは新しい心をあなたがたに与え、新しい靈をあなたがたの内に授け、あなたがたの肉から、石の心を除いて、肉の心を与える。

わたしはまたわが靈をあなたがたのうちに置いて、わが定めに歩ませ、わがおきてを守ってこれを行わせる。

あなたがたは、わたしの民となり、わたしはあなたがたの神となる。」¹⁶

これは、わたしたちがバプテスマや神殿の儀式で交わす聖約です。しかし、イエス・キリストの福音をまだ生活に完全に受け入れていない人がいます。パウロが言うように、そのような人々は「バプテスマによって、〔キリスト〕と共に葬られた」にもかかわらず、「キリストが……死人の中からよみがえられたように、わたしたちもまた、新しいのに生きる」という部分がまだ欠けているのです。¹⁷ 福音によって



特徴づけられてはいないのです。まだキリストを中心としてはいないのです。従うべき教義や戒めをえり好みし、いつ、どこで教会の奉仕をするかを選んでいます。対照的に、「聖約による選民」は、厳密に聖約を守ることによって欺きを避け、キリストを信じる信仰を固く保つのです。¹⁸

ほとんどの人は、現在二つの状態の間のどこかに位置しています。一方の状態は社会的な動機により福音の儀式に参加することであり、もう一方はキリストと同じように神の御心に沿おうと献身することです。この二つの状態の間のどこかでイエス・キリストの福音のよい知らせが心に入り、精神を占有します。一度には起こらないかもしれませんのが、だれもがこの祝福された状態に向かって進んでいくべきです。

「苦難の炉」¹⁹ の中で精錬されるときに、堅固で揺るぎなくあり続けることは難しいのですが、きわめて重要です。苦難の炉は、遅かれ早かれ、現世に生きるすべての人々に訪れます。神なしには、そのような暗い経験は、落胆や失望、そして苦しみさえもたらします。神の助けがあれば、慰めは苦痛に、平安は混乱に、希望は悲しみに取って代わります。キリストを信じる信仰を固く保つことにより、主の恵みと

支えに力づけられるでしょう。²⁰ 主は、試練を祝福に変え、イザヤの言葉で言えば「灰にかえて冠を与え」てくださるでしょう。²¹

個人的な経験を3つ、例として挙げたいと思います。

ある女性が慢性的な病気を患い、治療や神権の祝福を受け、断食や祈りをしたにもかかわらず、衰弱しています。しかしながら、祈りの力を信じる彼女の信仰と、神に愛されているという確信は薄らいではいません。彼女は、日々（時には、刻一刻と）前進しています。教会で召されるままに奉仕し、夫とともに、できるかぎりの笑顔で、若い家族の世話をしています。苦難により精錬され、周りの人への思いやりは深まり、度々我を忘れて人に仕えます。彼女は堅固であり続け、まわりの人々を幸せにしています。

教会の中で育ったある男性は、専任宣教師として奉仕し、愛情豊かな女性と結婚しましたが、驚いたことにきょうだいたちが教会と預言者ジョセフ・スミスについて批判するようになりました。程なくきょうだいたちは教会を離れ、彼にも離れるよう説得しました。そのような場合によくあることですが、きょうだいたちは彼に、批

評家が作成した論文やポッドキャストや動画を次々に見せてきました。批評家のほとんどは、不満を抱いた元教会員でした。きょうだいたちは彼の信仰をあざ笑い、彼がだまされやすく、欺かれていると言いました。きょうだいたちの主張にすべては答えられず、執拗な反対に遭って彼の信仰は揺らぎ始めました。教会に出席するのをやめた方がいいか考えました。妻と話し、信頼できる人々と話し、祈りました。この悩みについて瞑想していると、聖霊を感じそれが真実だという証を御霊から受けたことを思い出しました。そして、このように結論づけました。「自分に正直であるならば、御霊が何度もわたしを訪れ、確かに証をくださいたことを認めざるを得ない。」彼は、妻と子供たちからもらっていた幸せと平安を新たにしました。

これまで指導者の勧告に常に喜んで従ってきたある夫と妻は、子供をもうけることに関して苦難を経験し、深い悲しみを味わいました。相当な金額を費やして有能な医師とともに取り組み、やがて息子に恵まれました。ところが残念なことに、わずか1年後に、赤ん坊はだれのせいでもない事故の犠牲者となり、脳に深刻な

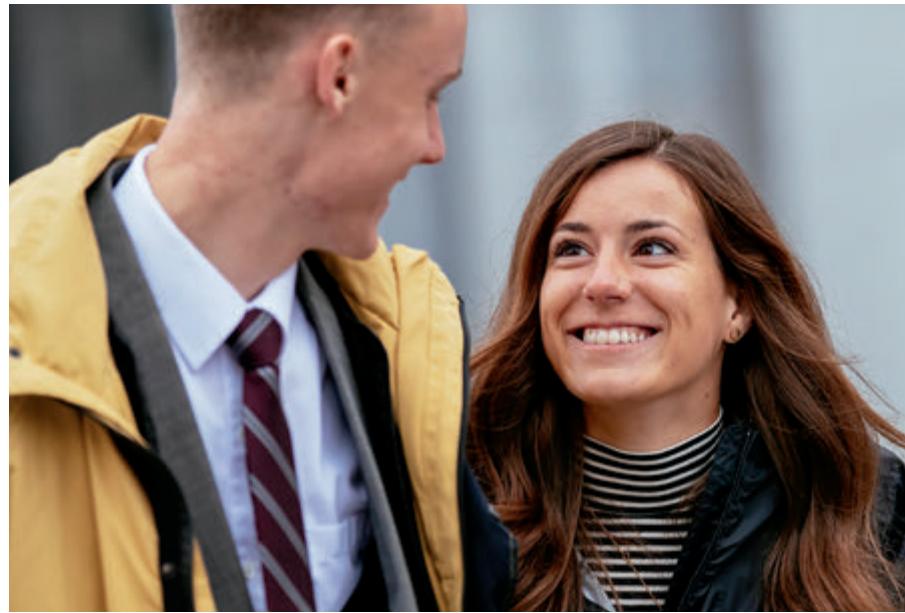
損傷を負って半昏睡状態となりました。赤ん坊は最善の治療を受けましたが、医師は今後の展開を見通すことができません。この夫婦が、一生懸命祈ってこの世に迎えようとした子供は、ある意味取り去られ、戻ってくるかどうかかもしれません。夫婦は、ほかの責任を果たしながらも、赤ん坊の重要な要求を満たすために必死で世話をしています。きわめて困難なこのさなかに、夫婦は主に目を向けています。主からいただく「日々のパン」に頼っています。思いやりの深い友人や家族に助けられ、神権の祝福に強められています。互いの結びつきが強くなり、ほかの方法では実現できなかったほど深く完全に一致しています。

1837年7月23日、主は当時の十二使徒定員会会長のトマス・B・マーシュに啓示をお授けになりました。次のような啓示です。

「また、十二使徒会の兄弟たちのために祈りなさい。わたしの名のために彼らを厳しく訓戒しなさい。そして彼らに、すべての罪のために訓戒を受けさせなさい。また、あなたはわたしの前でわたしの名に忠実でありなさい。

彼らが試練と多くの艱難を受けた後、見よ、主なるわたしは彼らを探ろう。そして、彼らがわたしに対してその心をかたくなにせず、強情でなければ、彼らは心を入れ替えるので、わたしは彼らを癒そう。」²²

この節で述べられている原則は、すべての人に当てはまると確信しています。わたしたちが経験する試練と艱難に加え、主がふさわしいとされるあらゆる試しは、わたしたちを完全な改心と癒しへと至らせます。しかしそれは、わたしたちが心をかたくなにせず、強情でない場合に限ります。わたしたちが堅固で揺るぎなくあるならば、何が起ころうと、救い主がペテロに語られた改心を成し遂げられます。「あなたが立ち直ったときには、兄弟たちを力づけてやりなさい。」²³ 完全な改心となり、



二度と元の状態に戻ることはできなくなります。約束された癒しは、罪のために傷ついた心を清め、浄化し、わたしたちを聖なる者としてくれます。

母親たちの勧告を思い出します。「野菜を食べなさい。あなたのためになるわよ。」母親たちは正しいものです。堅固な信仰に照らし合わせると、「野菜を食べる」とは常に祈ること、日々聖文を味わうこと、教会で奉仕し礼拝すること、毎週ふさわしい状態で聖餐を取ること、隣人を愛すること、日々神に従順に十字架を負うことです。²⁴

キリストへの固く揺るぎない信仰を保つ人には、今もこれからも良いことが訪れるという約束を常に覚えておきましょう。「永遠の命と聖徒たちの喜び」を心に留めましょう。²⁵ 「おお、あなたがた、心の清いすべての人よ、頭を上げて、喜びをもたらす神の御言葉を受け入れ、神の愛をよく味わいなさい。あなたがたの思いが確固としていれば、とこしえにそうすることができるからである。」²⁶ イエス・キリストの御名により、アーメン。 ■

注

1. 『聖句ガイド』「パアル」の項を参照
2. 列王上 18:21
3. 列王上 18:23
4. 列王上 18:24
5. 列王上 18:29
6. 列王上 18:36, 38 – 39
7. モルモン書の序文
8. ラッセル・M・ネルソン「教会のための啓示」「わたしたちの人生のための啓示」『リアホナ』

2018年5月号, 95

9. ヤコブの手紙 1:5 参照
10. ヤコブの手紙 1:6 – 8
11. ヨハネ 8:29, 強調付加
12. 3ニーファイ 6:14。アルマ 27:27 も参照
13. アルマ 57:27
14. ヒラマン 15:7 – 8
15. 使徒 2:42
16. エゼキエル 36:26 – 28。2コリント 3:3 も参照
17. ローマ 6:4
18. ジョセフ・スミス——マタイ 1:22 – 23。マタイ 24:24 – 25 も参照
19. 1ニーファイ 20:10。イザヤ 48:10 も参照
20. モルモン書の翻訳を紛失した22歳のジョセフ・スミスに主はこのように言われた。「あなたは人を神よりも恐れてはならなかった。……神はその腕を伸べて、敵対する者の放つすべての火の矢からあなたを助けたであろう。また、苦難のときには、いつもあなたとともにいたであろう。」(教義と聖約 3:7 – 8) アルマは改心した後にこのように証した。「わたしは、あらゆる試練と災難の下で、またあらゆる苦難の中で支えられてきた。まことに、神は牢から、また束縛から、死からわたしを救い出してくださった。わたしは神を信頼している。神はこれからもわたしを救い出してくださるであろう。わたしは、神が終わりの日にわたしをよみがえらせ、栄光のうちに御自身とともに住めるようにしてくださることを知っている。」(アルマ 36:27 – 28)
21. イザヤ 61:3
22. 教義と聖約 112:12 – 13
23. ルカ 22:32
24. ラッセル・M・ネルソン大管長はこのように述べている。「天を開くために何よりも強力な組み合わせは、清さを増すこと、完全に従順であること、熱心に求めること、モルモン書に記されたキリストの御言葉を日々味わうこと〔2ニーファイ 32:3 参照〕、そして神殿・家族歴史活動に一定の時間を割くことです。」(「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」95)
25. エノス 1:3
26. モルモン書ヤコブ 3:2



管理ビショップリック第一顧問
ディーン・M・ディビーズビショップ

来たれ、予言者より み言葉聞け

わたしたちが生ける預言者の声に聞き従うことをゆるぎない習慣として生活するとき、約束された永遠の祝福を刈り取ることができます。

末 日聖徒イエス・キリスト教会の大管長について、主は次のことを明らかにされました。

「さらによく、大神権の職の大管長の義務は、全教会を管理し、モーセのようであることである。

……まことに、神が教会の長に授ける神のすべての賜物を持つ聖見者、啓示者、翻訳者、および預言者となることである（教義と聖約 107: 91 - 92、強調付加）。

わたしは、預言者に神の賜物のいくつかが授けられるのを目の当たりにするという祝福にあずかってきました。そのような神聖な経験の一つを分かち合いたいと思います。現在の召しを受ける前、新しい神殿用地を見つけ、推薦するのを助ける仕事をしていました。2001年9月11日以降、アメリカの国境を渡る際の規制がより厳しくなりました。その結果、カナダのバンクーバーからワシントン州のシアトル神殿に国境を越えて行くのに、多くの会員は2、3時間かけていました。当時教会の大管長であったゴードン・B・ヒンクレー大管長は、バンクーバーに神殿があれば教会の会員にとって祝福となることを示唆しました。用地の調査が許可され、教会が所有している土地をいくつか検討した

あと、教会が所有していないほかの土地も調査しました。

カナダ横断高速道路に隣接する宗教施設用に区画された美しい土地が見つかりました。その土地は、アクセスが良く、美しいカナダ松が所どころに生えていて、車で通るたくさんの人の目に留まる絶好の場所でした。

神殿用地委員会の月例集会で、写真と



ともにその土地を提示しました。ヒンクレー大管長は、その土地を購入の対象として売り手に提示し、必要な調査を終えることを承認しました。その年の12月、わたしたちは委員会に、調査の完了を報告し、土地の購入を進める許可を申請しました。報告を聞いたヒンクレー大管長は、「この土地を自分で見るべきだと感じます」と言いました。

その月の後半、クリスマスの2日後に、わたしはヒンクレー大管長、モンソン管長、神殿設計士のビル・ウイリアムズに同行してバンクーバーに向かいました。地元のポール・クリステンセンステーク会長に出迎えられ、その土地に案内してもらいました。その日は少し湿った霧のかかった日でしたが、ヒンクレー大管長は元気に車から降り立ち、用地全体を歩き始めました。

そこでしばらく時間を過ごしたあと、候補にあがっていたほかの土地も見たいかヒンクレー大管長に尋ねると、大管長はそうしたいと答えました。お分かりのように、ほかの土地を見ることでそれぞれの良い点を比較することができたのです。

それから、バンクーバーを時計回りに大きく回って、ほかの候補地を見て回り、最初の土地に戻りました。大管長は「ここは美しい用地ですね」と言いました。そして「ここから400メートルほど離れた教会の集会所を見に行くことはできますか」と尋ねました。

わたしたちは「もちろんです、大管長」と答えました。

そして車に乗り込み、近くの教会堂に向かいました。教会に着くと、ヒンクレー大管長は「そこを左に曲がってください」と言いました。言われたとおりに曲がり、道を進んでいくと、わずかな上り坂になりました。

上り切って平地になり始めたところで、大管長は「車を止めて、車を止めて」と言いました。そして、右側の一区画の土地を

指さして言いました。「この土地はどうですか。ここが神殿の建つ場所です。主はここに神殿を望んでおられます。入手できますか。」

わたしたちはその土地を見たこともありませんでした。主要道路からかなり離れていて、売りにも出ていなかったからです。「分かりません」と答えると、大管長はこの土地を指し、「ここが神殿の建つ場所です」と繰り返しました。その場所に数分留まった後、わたしたちは家に帰るために空港に向かいました。

翌日、ウィリアムズ兄弟とわたしはヒンクレー大管長のオフィスに呼ばされました。大管長は一枚の紙にしっかりと図を描いており、道路、教会堂、左折のマークがあって、神殿の場所にはX印がついていました。調べたことを報告するように言わされたので、大管長が選んだ土地は、これ以上ないほど難しい土地だと答えました。土地の所有者が3人いて、一人はカナダ、一人はインド、もう一人は中国から來た人でした。また、建築規制においても宗教用の区画ではありませんでした。

「それでは、最善を尽くしてください。」と大管長は言いました。

その後、奇跡が起きました。数か月以内に土地を取得し、ブリティッシュコロンビア州ラングリー市から、神殿を建てる許可を得ることができたのです。

その経験を振り返って、わたしは謙遜になりました。ウィリアムズ兄弟とわたしには、不動産と神殿の設計についての正式な教育と長年の経験がありました。ヒンクレー大管長はそのような訓練は受けていませんでしたが、大管長ははるかに勝るものを持っていました。聖見者としての預言の賜物です。神の神殿がどこに建てられるべきかを心に思い描くことができたのです。

主が初期の聖徒たちに、この神権時代において神殿を建てるように命じられたとき、次のように言われました。



「しかし、わたしが彼らに示す型に従って、わたしの名のために家を建てなさい。

もしわたしの民が、わたしが大管長会に示す型に従ってそれを建てなければ、わたしは彼らの手からそれを受け入れない。」(教義と聖約 115:14-15)

それは初期の聖徒たちと同じように、今日のわたしたちにも当てはまります。主がこれまでと同様、引き続き大管長に現代において神の王国がどのように導かれるべきであるか、型を示されるのです。そして、個人に関しては、わたしたちの振る舞いが主の目にかなうように、生活における方向性を示してくださるので。

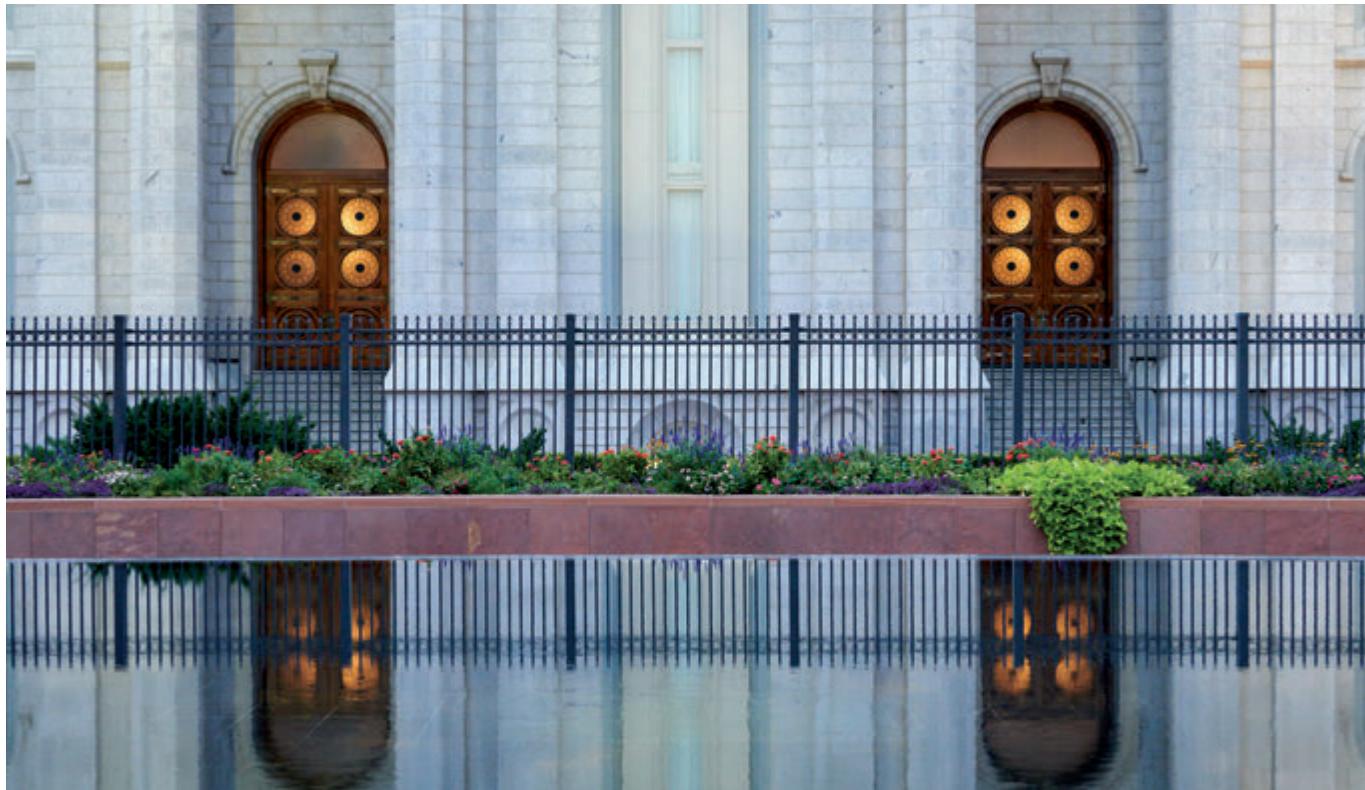
2013年4月の総大会で、すべての神殿について、遭遇する可能性のある嵐や災害に十分耐えることのできる基礎を築くために、どのように備えられているかお話ししました。しかし、基礎部分はほんの始まりに過ぎません。神殿はたくさんの中建築用ブロックで構成されていて、あらかじめ設計されたパターンに従って組み立てられています。わたしたちの人生そのものが神殿となるには、一人一人が主が示された方法で築くように努めなければなりません(1コ林ント3:16-17参照)。次のように自問してみるとよいでしょう。「自分の

人生を美しく、威厳があり、この世の嵐に耐えられるようにするには、どのようなブロックを積み重ねればよいのだろうか。」

その答えは、モルモン書の中に見ることができます。モルモン書について、預言者ジョセフ・スミスは次のように述べています。「わたしは兄弟たちに言った。『モルモン書』はこの世で最も正確な書物であり、わたしたちの宗教のかなめ石である。そして、人はその教えを守ることにより、ほかのどの書物にも増して神に近づくことができる。」(モルモン書の序文)モルモン書の序文では、聖なる御靈を通してモルモン書が神の言葉であるという神聖な証を得る人々は、それと同じ力によって、イエス・キリストが世の救い主であられ、ジョセフ・スミスが主の回復の啓示者であり、預言者であること、そして末日聖徒イエス・キリスト教会が、地上に再び設立された主の王国であることを知るようになると教えられています。

次のことは、わたしたちが個人の信仰と証を築くための大切なブロックです。

1. イエス・キリストは世の救い主である。
2. モルモン書は神の言葉である。
3. 末日聖徒イエス・キリスト教会は、地上



における神の王国である。

4. ジョセフ・スミスは預言者であり、今日、地上に生ける預言者が存在している。

ここ数か月、ネルソン大管長が初めて使徒に召されてから総大会で話したすべての説教を聞いてみました。それによってわたしの人生が変わりました。ネルソン大管長の34年におよぶ経験と知恵について学び、深く考えてみると、彼の教えから、明確で一貫性のあるテーマが幾つか浮かび上がってきました。それらのテーマの一つ一つが先に述べたブロックであり、わたしたち個人の神殿に必要な建材となるのです。それには、主イエス・キリストを信じる信仰、悔い改め、罪の赦しのためのバプテスマ、聖霊の賜物、死者の救いと神殿活動、安息日を聖く保つこと、最終目的を心に留めて始めること、聖約の道に留まることが含まれます。ネルソン大管長はそれらすべてについて愛を込めて献身的に話しました。

教会とわたしたちの人生における大切な隅石とブロックは、イエス・キリストです。この教会は主の教会です。ネルソン大管長は主の預言者です。ネルソン大管長の教えは、わたしたちの益となるよう

に、イエス・キリストの生涯と属性について証し、明らかにしています。大管長は救い主の属性とその使命について愛と確信をもって話しています。そして、彼がこれまで仕えてきた教会の大管長、生ける預言者たちの神聖な召しについて、頻繁に熱意を込めて証しています。

そして今日、地上の生ける預言者としてネルソン大管長を支持することは、わたしたちの特権です。わたしたちは、承認と支持を示すために、腕を直角に挙げる神聖な規範を通して教会の指導者を支持するという慣習があります。わたしたちはそれをほんの数分前に行いました。しかし、ほんとうの意味での支持は、この物理的なしるし以上のものです。教義と聖約第107章22節に記されているように、大管長会は「教員の信頼と信仰と祈りによって支持」されます。わたしたちは完全に心から生ける預言者を支持するためにここにいますが、同時に預言者の言葉を信頼し、それに従って行う信仰を持ち、主の絶えることのない祝福が預言者の上にあるように祈ります。

ラッセル・M・ネルソン大管長について考えるとき、わたしは主の次の言葉から慰めを受けます。「わたしの民が、わたしの

声と、わたしの民を導くためにわたしが任命した僕たちの声に聞き従うならば、見よ、まことに、わたしは言うが、彼らはその場所から移されることはない。」(教義と聖約124:45)

生ける預言者に聞き従うことは非常に重要で、人生に大きな変化をもたらします。わたしたちは強められます。より確信と自信を持つことができます。主の御言葉を聞くことができます。神の愛を感じます。目的を持って人生を歩む方法を知ることができます。

わたしはラッセル・M・ネルソン大管長と、これまでに預言者、聖見者、啓示者として召された方々を心から愛し、支持します。ネルソン大管長が主から賜物を与えられていることを証します。また、わたしたちが生ける預言者の声に聞き従うことをゆるぎない習慣として生活するとき、わたしたちは主の神聖なパターンに従って生涯を歩み、永遠の祝福を刈り取ることができることを証します。主はすべての人を招いておられます。来たれ、予言者よりも言葉聞け。まことに、キリストのもとに来て生きなさい。イエス・キリストの御名によって、アーメン。■



十二使徒定員会
ウリセス・ソアレス長老

「キリスト・イエスに あって一つ」

主の業における愛する同僚の皆さん、わたしたちは新しい友人を教会によりよく歓迎することができますし、そうする必要があるとわたしは信じています。

愛する兄弟姉妹の皆さん、こんに
ちは。わたしの母国ブラジルの
ポルトガル語で「ボア・タルジ!」
愛する預言者ラッセル・M・ネルソン大管
長の管理の下で、末日聖徒イエス・キリスト
教会のこのすばらしい総大会に集える
ことに、祝福を感じます。わたしたちが生
きているこの末日に、地上で主の僕を通し
て各自が主の声を聞くというすばらしい機
会に、わたしは驚嘆しています。

わたしの母国ブラジルは、豊かな自然
に恵まれています。その一つが、世界でも
最も大きく長い川の一つとしてあげられる、有名なアマゾン川です。それは二つ
の川、ソリモンエス川とネグロ川から成り
ます。興味深いことに、二つの川は源泉
や速さ、温度、成分が非常に異なってい
るため、混じり合うまで何マイルも一緒に
流れます。数マイル流れるごとに、水はつい
に混じり合い、個々の川とは異なる一つの大
河となります。この融合があつて初めて、アマゾン川は力強い流れとなり、大西
洋に達するとき、海水を押し戻して河口か
ら何マイルも真水で満たすことができる
のです。

ソリモンエス川とネグロ川が合流して大

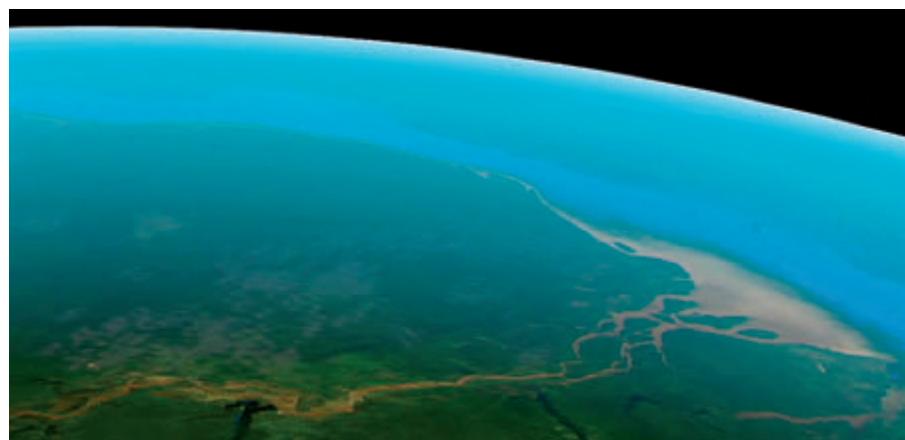
アマゾン川になるのと同じように、異なる
社会背景や伝統、文化を持つ神の子供た
ちが、回復されたイエス・キリストの教会
において一つとなり、キリストの聖徒とい
うこのすばらしいコミュニティーを形成し
ています。ひいては、互いに励まし合い、
支え合い、愛し合うとき、わたしたちは結
集して世の中に善をもたらす偉大な軍勢
を組織するのです。イエス・キリストに従
う者として、この善をもたらす川で一つと

なるなら、乾き切った世の中に福音という
「真水」をもたらすことができるでしょう。

主は預言者に靈感を与えて、互いに支
え合い、愛し合う方法をわたしたちに教え
てくださったので、わたしたちはイエス・
キリストに従うことで、信仰と目的におい
て一つになることができます。新約聖書
の使徒であるパウロが教えたように、「キ
リストに合うバプテスマを受けた〔人々〕
は……キリストを着たのである。……あ
なたがたは皆、キリスト・イエスにあって
一つだからである。」¹

わたしたちはバプテスマの際に救い主
に従うという約束をするとき、進んでキリ
ストの御名を受けることを御父の前で証
明します。² そして生活の中で主の神聖な
属性を得ようと努めるとき、主なるキリスト
の贖罪を通して、これまでとは異なる人
となり、すべての人に対する愛が自然に高
まります。³ すべての人の福利と幸福に心
から関心を寄せるようになります。お互
いを兄弟姉妹として、神聖な起源と属性と可
能性を持つ神の子供として見ます。お互い
を気にかけ、ほかの人の重荷を負い合
うことを願います。⁴

パウロは、これを慈愛であると説明しま
した。⁵ モルモン書の預言者モルモンは、



力強いアマゾン川が大西洋に達するときに海水を押し戻すのと同じように、イエス・キリストに従う者は、乾き切った世の中に福音という「真水」をもたらすことができる。

それを「キリストの純粋な愛」と表現しました。⁶ それは、愛の最も崇高で、高貴で、力強い形です。現代の預言者ラッセル・M・ネルソン大管長は、最近、このキリストの純粋な愛の現れをミニスタリングと表現し、救い主のように人を愛して思いやる、より神聖な方法にもっと焦点を当てるようになされました。⁷

最近改宗した人や教会の集会に参加することに興味を示し始めた人を励まし、助け、支えることにおいて、救い主が行われた、この愛と思いやりの原則について考えてみましょう。

これらの新しい友人は世を離れてイエス・キリストの福音を受け入れ、主の教会に加わるとき、主の弟子となり、主を通して再び生まれます。⁸ 彼らは熟知している世界を離れ、イエス・キリストに従うことを見つめ、心に完全な目標を抱いて、壮大なアマゾン川のような新しい「川」、すなわち神のみもとへと流れる善と義の勇敢な軍勢という川に加わるのです。使徒ペテロはそれを「選ばれた種族、祭司の國、聖なる国民、神につける民」と呼んでいます。⁹ この新しい友人たちはこの新しい川に加わるとき、最初は不慣れな環境に少し戸惑いを感じるかもしれません。彼らは独特の源泉や温度、成分、つまり独特の伝統や、文化、用語を持つ川へと溶け込むのです。キリストにおけるこの新しい生活に、圧倒されるかもしれません。「家庭の夕べ」「青少年委員会」「断食日曜日」「死者のためのバプテスマ」「合本」などの言葉を初めて聞いたとき、彼らはどう感じるか、少し考えてみてください。

自分の居場所がないと感じているかもしれないことは簡単に理解できるでしょう。そのような状況の中で、こう自問するかもしれません。「ここに自分の居場所はあるだろうか。」「末日聖徒イエス・キリスト教会になじめるだろうか。」「教会はわたしを必要としているだろうか。」「わたしを喜んで助けてくれる新しい友達が見つ



かるだろうか。」

愛する友人の皆さん、そのようなときに、主の弟子という長い旅路の中で異なる地点にいるわたしたちは、新しい友人に友情という温かい手を差し伸べ、彼らがどの地点にいようと受け入れて、助け、愛し、わたしたちの生活になじめるように助けなければなりません。これらの新しい友人は皆、神のかけがえのない息子、娘なのです。¹⁰ 一人と言えども失うわけにはいきません。アマゾン川が小さな支流に依存しているように、彼らがわたしたちを必要としているのと同じくらい、わたしたちも彼らを必要としているからです。

新しい友人たちは、神から与えられた才能や楽しさや善良さを教会にもたらしてくれます。福音に対する彼らの熱意は人から人へと広がり、それによってわたしたち自身の証に新たな活力を与えてくれるでしょう。また、生活や福音に対するわたしたちの理解に新たな見方を加えてくれるでしょう。

わたしたちは、新しい友人がイエス・キリストの教会で歓迎され愛されていると感じるよう助ける方法について、長い間教えられてきました。彼らが生涯にわたって強く忠実であり続けるためには、3つのことが必要です。

第一に、彼らに必要なのは、心から関心を寄せ、いつでも頼れる誠実な眞の友となり、ともに歩き、疑問に答えてくれる教会の兄弟姉妹です。わたしたちは会員として、教会の活動や集会に出席するとき、

自分の責任や割り当て、関心事にかかわらず、常に注意して見慣れない人を搜すべきです。わたしたちは、新しい友人が教会で受け入れられ歓迎されていると感じるよう助けるために、簡単なことを行えます。例えば、温かいあいさつをする、真心からほほえむ、隣りに座って一緒に歌い礼拝する、ほかの会員に紹介する、などです。このような方法で新しい友人に心を開くとき、わたしたちはミニスタリングの精神を実践しています。救い主がされたようにミニスタリングを行うとき、彼らは「教会内でおよそ者」のように感じることはないでしょう。彼らはわたしたちの心遣いを通して教会に溶け込める感じ、新しい友達を作り、そして最も大切なこととして、救い主の愛を感じることでしょう。

第二に、新しい友人には割り当て、すなわち、人に仕える機会が必要です。奉仕は、末日聖徒イエス・キリスト教会の偉大な特質の一つです。それはわたしたちの信仰をより強く成長させるプロセスです。すべての新しい友人は、その機会にふさわしい人です。ビショップとワード評議会にはバプテスマのすぐ後に割り当てをあたえる直接の責任がありますが、会員としてわたしたちが非公式に人を助けるよう新しい友人を招いたり、奉仕活動に誘うことを妨げるものはありません。

第三に、新しい友人は「神の善い言葉で養われ」なければなりません。¹¹ わたしたちは彼らが聖文を愛し、聖文に慣れ親しめるよう助けるために、一緒にその教えを読んで話し合い、物語の背景や難しい言葉を説明することができます。また、定期的な聖文研究を通して個人的な尊きを受ける方法を教えることもできます。さらに、新しい友人の家庭に手を差し伸べ、教会の定例集会や活動以外の時間に彼らを自分の家庭に招いて、聖徒のコミュニティという壮大な川に溶け込めるように助けることもできます。

わたしたちは、新しい友人が兄弟姉妹

として神の家族の一員になるときに直面する調整やチャレンジを理解しているので、自分の生活で同様のチャレンジをいかに克服したか分かち合うことができます。そうすれば、彼らが独りでないことを知り、主の約束を信じる信仰行使すれば神から祝福されることを知る助けになるでしょう。¹²

ソリモンエス川とネグロ川が混じり合うとき、アマゾン川は壮大で力強い流れになります。同様に、わたしたちと新しい友人が真に溶け込むとき、イエス・キリストの教会はより強く、より安定するようになります。愛する妻ホザナとわたしは、何年も前に母国ブラジルでイエス・キリストの福音を受け入れたとき、この新しい川に溶け込めるように助けてくださったすべての人にとって感謝しています。何年もの間、これらのすばらしい人々は真心からわたしたちに仕え、義に向かって流れ続けることができるよう助けてくださいました。わたしたちは彼らに深く感謝しています。

西半球の預言者たちは、新しい友人が永遠の命に至るこの新しい善という川を忠実に流れていくけるように助ける方法をよく知っていました。例えば、現代を見して、わたしたちが同じようなチャレンジに直面することを知ったモロナイは、¹³ モルモン書の自分の記録の中に、それらの重要なステップを幾つか記しました。

「そして人々はバプテスマを認められ、聖霊の力が働いて清められると、キリストの教会の民の中に数えられ、その名が記録された。それは、彼らが覚えられ、神の善い言葉で養われ、そして彼らを正しい道にとどめるため、また絶えず祈りを心に留めさせ、彼らの信仰の創始者であり完 成者であるキリストの功徳にだけ頼らせるためである。

教員は断食し、祈るために、また人の幸いについて互いに語り合うためにしばしば集まった。」¹⁴

主の業における愛する同僚の皆さん、



わたしたちは新しい友人を教会によりよく歓迎することができますし、そうする必要があるとわたしは信じています。この次の日曜日から、彼らをもっとよく歓迎し、受け入れ、助けるために何ができるかよく考えるよう招きます。教会の集会や活動で新しい友人を歓迎するときに、自分の教会の責任が妨げにならないように注意してください。やはり、これらの人々は神の目から見てかけがえのない存在であり、プログラムや活動よりもはるかに重要なのです。救い主が行なわれたように、純粋な愛で心を満たして新しい友人にミニスタリングを行うならば、主はわたしたちの働きを補ってくださることを主の御名によって約束します。救い主のように、忠実にミニスタリングを行うとき、新しい友人は最後まで力強く、献身的で、忠実であり続けるために必要な力を得ます。彼らはわたしたちに加わって神の偉大な民となり、イエス・キリストの福音の祝福を何よりも必要とする世の中に真水をもたらす業を助けるでしょう。これらの神の子供たちは、「もはや異国人でも宿り人でもなく、聖徒たちと同じ国籍の者」であると感じることでしょう。¹⁵ わたしは、彼らが主イエス・キリスト御自身の教会の中で、救い主の存在を認めるようになると約束します。彼らはわたしたちとともにあらゆる善の源に流れ込む川となって流れ続け、ついには主イエス・キリストの御腕に抱かれて、「あなたがたは永遠の命を受ける」と言われる御父の声

を聞くでしょう。

皆さんが主から愛されたようにほかの人を愛するときに、主の助けを求めるようにお勧めします。モルモンから与えられている助言に従いましょう。「したがって、わたしの愛する同胞よ、あなたがたは、御父が御子イエス・キリストに真に従う者すべてに授けられたこの愛で満たされるように、また神の子となれるように、熱意を込めて御父に祈りなさい。」¹⁷ これらが真実であることを、イエス・キリストの御名によつて証します、アーメン。■

注

1. ガラテヤ 3:27 – 28、強調付加
2. 教義と聖約 20:37 参照
3. モーサヤ 3:19 参照
4. モーサヤ 18:8 参照
5. 1コリント 13 章参照
6. モロナイ 7:47
7. ラッセル・M・ネルソン「神の力と権能によるミニスタリング」『リアホナ』2018年5月号、68 – 75
8. モーサヤ 27:25 参照
9. 1ペテロ 2:9
10. 教義と聖約 18:10 参照
11. モロナイ 6:4「ステークやワードの指導者と協力して働くにはどうしたらよいでしょうか」も参考『わたしの福音を宣べ伝えなさい』改訂版(2018年)、<https://www.lds.org/manual/preach-my-gospel-a-guide-to-missionary-service?lang=jpn>
12. 1ニーファイ 7:12 参照
13. モルモン 8:35 参照
14. モロナイ 6:4 – 5
15. エペソ 2:19
16. 2ニーファイ 31:20、強調付加
17. モロナイ 7:48



十二使徒定員会
ゲレット・W・ゴング長老

信仰の キャンプファイア

信仰を求め、受け入れ、それに従って生活するならば、徐々にくる場合もありますが、信仰の夜明けはやってきます。あるいは戻ってきます。

愛する兄弟姉妹の皆さん、ラッセル・M・ネルソン大管長と教会指導者を通して天から絶え間なく啓示を受けられることは、驚くべきことではないでしょうか。その啓示は、より神聖な新しい方法で¹、心と思いと力を尽くして家庭や教会で生活するようにと招いています。

自分が準備できていない、あるいは力不足だと感じることに挑戦する機会があり、それを行った結果祝福を受けたという

経験はありますか。

わたしにはあります。一例を紹介します。何年か前、十二使徒定員会のリチャード・G・スコット長老は、このように誘ってくれました。「ゲレット、一緒に水彩画を描きませんか。」

スコット長老は、水彩画を描くことにより観察力と創造性が増したそうです。スコット長老はこのように書いています。「創造性を発揮しようとすると、たとえその結果が芳しくなくても……人生や、主が

くださったものに対する感謝の念が生まれます。……賢明な選択をすれば、それほど時間はかかりません。」²

ヘンリー・B・アイリング管長は、芸術活動は「愛の感情」により動機付けられるとして述べています。この愛には、「神の子供たちが創造し、築くことによってご自身のようになることを期待しておられる創造主の愛」も含まれます。³ アイリング管長の創造的な作品は、「証と信仰に関する独自の靈的な視点」を示しています。⁴

ボイド・K・パッカー会長の作品は、次の基本的な福音のメッセージを示しています。「神が天地とその中にある万物の創造主であり、自然界の万物が神の御手による創造について証していること。そして自然と科学とイエス・キリストの福音が完全に調和しているということ。」⁵

アルマは、「万物は神がましますことを示している」と証しています。⁶ 初等協会の子供たちは次のように歌います。「鳥のさえずり聞いたり青空見たり……するときいつも創り主お父様を思い感謝します」⁷ 作家ビクトル・ユーゴーはこうたたえています。「生物と無生物との間には驚くべき関係が存在している。その無限なる全体のうちにあっては、太陽より油虫に至るまで、何ら軽蔑し合うものはない。……空飛ぶ鳥も皆、その足には無限なるものの糸をからまっている。……一片の星雲は無数の星である。」⁸

この言葉を受けて、スコット長老に誘われた話に戻ります。

わたしはこう答えました。「スコット長老、わたしは観察力と創造力をもっと身につけたいです。天の御父が描かれた波状雲や色とりどりの空や海を想像すると、胸が躍ります。ですが……」と言ってから、押し黙りました。「わたしには水彩画の技術がありません。教えてもらうときにはライラさせてしまうかもしれません。」

スコット長老はほほえみ、会う日取りを決めてくださいました。約束の日、スコッ



Campfire at Sunset (夕暮れのキャンプファイア), リチャード・G・スコット長老画



ト長老は紙と塗料と絵筆を用意し、輪郭のスケッチを描き、紙を湿らせるのを手伝ってくださいました。

「夕暮れのキャンプファイヤー」という題名のスコット長老の美しい水彩画をモデルに使いました。絵を描きながら、わたしたちは信仰について話しました。キャンプファイヤーの光と温かさを前にするときに、暗闇と疑念を拭うことができます。ときに長くて孤独な夜に、信仰のキャンプファイヤーは希望と確信をくれます。そして夜明けがやってきます。信仰のキャンプファイヤーは人生の中で味わってきた、神の善良さと深い憐れみにまつわる記憶や経験、信仰の受け継ぎであり、夜の間わたしたちを強めてくれます。

信仰を求める、受け入れ、それに従って生活するならば、徐々にくる場合もありますが、信仰の夜明けはやってきます。あるいは戻ってくると証します。光を望み、求めるときに光はもたらされます。忍耐し、神の戒めに従順なときに、そして神の恵みと癒し、聖約に心を開くときに、光はもたらされます。

絵を描き始めたときに、スコット長老はこのように励ましてくれました。「ゲレット、レッスンを一回受けるだけでも、大事にしたい、記憶に残る作品が描けますよ。」スコット長老の言う通りでした。スコット長老に手伝ってもらって描いた信仰のキャンプファイヤーの水彩画を大切にしています。わたしの芸術的な能力は相変わらずですが、わたしたちの信仰のキャンプファイヤーを思い出すことは、5つの方法でわたしたちを励ましてくれます。

1つ目、信仰のキャンプファイヤーは健全な創造性に喜びを見いだすよう励ましてくれます。

想像し、学び、価値ある新しいことを行うと、喜びを感じます。天の御父と御子イエス・キリストへの信仰と信頼を深めると、特にそうです。わたしたちは、自分自身を救えるほど自分を愛することはでき

ません。しかし、天の御父はわたしたち自身よりもわたしたちのことを愛し、知っておられます。わたしたちは、自分の知識に頼らず、主を信頼することができます。⁹

だれかの誕生会に自分だけ招かれなかった経験がありますか。

チーム選びのときに最後に選ばれたり、あるいは選ばれなかつたことがありますか。

学校のテストや仕事の面接、あるいは自分が心から望む機会のために準備をしたのに、失敗したと感じたことはありますか。

だれかとの関係のために祈ったのに、何らかの理由でうまくいかなかつたことがありますか。

慢性疾患にかかったり、伴侶から捨てられたり、家族のために苦悩したりしたことがありますか。

救い主はわたしたちの状況を御存じです。神から授かった選択の自由行使し、謙遜に、信仰をもって、能力を尽くすときに、人生の問題や喜びを経験するわたしたちを救い主イエス・キリストは助けてくださいます。信仰には、信じたいという望みと選択が含まれます。主の聖約の道を歩むとき、わたしたちを祝福するために授けられている神の戒めに従うことからも信仰がもたらされます。

不安や孤独、葛藤、怒り、落胆、失望を感じるときや、神と回復された教会から遠ざかっている人は、主の聖約の道に戻るために、より多くの努力と信仰が必要かもしれませんのが、その価値はあります。主イエス・キリストのもとに来てください。戻って来てください。神の愛は、肉体的、靈的な死の縄目よりも強いのです。¹⁰ 救い主の贖罪は、無限にして永遠です。わたしたちはそれぞれ、疑いを持ち、失敗します。時に、道を見失ってしまうかもしれません。神は、わたしたちがどこにいようと、何をしてこようと、引き返せないことは決してない、と愛をこめて断言されています。神は、わたしたちを抱き締めようと

待っておられるのです。¹¹

2つ目に、信仰のキャンプファイヤーは、新しく、より高く、より神聖な、御靈に満ちた方法で仕えるよう励まします。

そのようなミニスタリングにより、奇跡が起こり、聖約に基づいた結びつきが祝福として与えられます。神の愛を感じ、その精神で人に仕えようとするでしょう。

わたしと妻は最近、ある家族と知り合いました。ある忠実な神権者がビショップの元へ行き、その家族の父親とホームティーチングの同僚になれないかと尋ねたことにより、この家族は祝福を受けました。父親は当時活発ではなく、ホームティーチングに興味はありませんでした。しかし、父親の心が変わり、愛に満ちた同僚神権者とともに担当の家を訪問し始めました。ある訪問のあと、教会に出席していなかつた妻は彼に、訪問はどうだったか尋ねました。彼は「何かを感じたかも」と認め、台所へ行き、ビールを手にしました。¹²

しかし、一つの経験が次へとつながっていました。心温まる出来事や人々への奉仕を通して心の変化を経験し、神殿準備クラスを受け、教会に出席し、聖なる神殿で家族として結び固めを受けたのです。子供たちや孫たちが両親にどれほど感謝しているか想像してみてください。また、父親の友となり、ともに人々を愛し、仕えたミニスタリングの同僚にどれほど感謝しているでしょうか。

信仰のキャンプファイヤーが与えてくれる3つ目の励ましは、心と精神を尽くして主や人々を愛そうとするときに、創造的な福音の喜びと祝福がもたらされるということです。

聖文は、現在の自分と将来なる自分すべてを、愛と奉仕の祭壇に置くよう勧めてい



ます。旧約聖書の申命記は、心をつくし、精神をつくし、力をつくして、「あなたの神、主を愛〔する〕」よう求めています。¹³ ヨシュアは次のように勧めています。「あなたがたの神、主を愛し、そのすべての道に歩み、その命令を守って、主につき従い、心をつくし、精神をつくして、主に仕えなさい。」¹⁴

新約聖書の中で、救い主は二つの大切な戒めを述べておられます。「『心をつくし、精神をつくし、力をつくし……て、主なるあなたの神を愛せよ。』また、『自分を愛するように、あなたの隣り人を愛せよ。』」¹⁵

イエス・キリストのもう一つの証であるモルモン書の中で、ベニヤミン王は「体力の限りを尽くし、能力の限りを尽くして」働き、地に平和を確立しました。¹⁶ 宣教師ならだれもが知っているように、教義と聖約の中で、主は「心と、勢力と、思いと、力を尽くして」神に仕えるよう求めておられます。¹⁷ 聖徒がジャクソン郡に入ったとき、主は「心を尽くし、勢力と思いと力を尽くして、主なるあなたの神を愛〔し〕。……イエス・キリストの名によって、神に仕え〔る〕」ことにより安息日を聖く守るよう命じられました。¹⁸

神や周りの人を愛するために、精神を尽

くしてより高くより神聖な方法を求めるように、そして、心の中で、また家庭や教会で、天の御父とイエス・キリストを信じる信仰を強めるようにとの招きに、わたしたちは喜びを感じます。

4つ目に、信仰のキャンプファイヤーは、信仰と靈性を深める、規則的な義にかなった生活習慣を確立するよう励ましてくれます。

このような神聖な習慣や義にかなった日課、あるいは祈りを伴ったパターンには、次のものが含まれます。祈りや聖文研究、断食、聖餐の儀式を通して救い主と聖約を思い出すこと、伝道や神殿、家族歴史、その他の奉仕を通して福音の祝福を分かち合うこと、思慮に富んだ日記をつけることなどです。

義にかなった習慣と靈的な望みが合わざると、時間と永遠が一つになります。常に宗教を実践することにより天の御父と救い主イエス・キリストに近づくときに、靈的な光と命がもたらされます。律法をその意図と文字どおりの両面で愛するときに、永遠につける事柄は天からの露のように心に滴るでしょう。¹⁹ 日々従順であり、生ける水を新たにすることにより、答えと信仰と力を見いだし、日々の問題や機会

に、福音の忍耐と視点と喜びで対処することができるでしょう。

5つ目に、慣れ親しんだ習慣を最善に維持しつつ、神を愛し、わたしたちとほかの人たちが主にお会いできるよう備えるため、新しく、より神聖な方法を見いだそうとするときに、信仰のキャンプファイヤーは次のことを思い起こすよう促してくれます。完全は、自分自身やこの世の方法ではなく、キリストによって達成されるということです。

神の招きは愛と可能性に満ちています。なぜなら、イエス・キリストは「道であり、真理であり、命であ〔られ〕る」からです。²⁰ 重荷を負ってる人に、主は「わたしのもとにきなさい」と招いておられます。また、主のもとへ行けば「休ませてあげよう」と約束されています。²¹ 「キリストのもとに来て、キリストによって完全になり……、勢力と思いと力を尽くして神を愛するならば、神の恵みはあなたがたに十分であり、あなたがたは神の恵みにより、キリストによって完全になることができる。」²²

「神の恵みにより、キリストによって完全になることができる」という言葉には、慰めや平安、約束が含まれています。自分に落ち度はないのに、全力を尽くしても、自分の望みや期待や自分の努力に値する通りに物事が運ばないときでも、主に信仰と信頼をおいて前進し続けることができます。

だれもが、様々な時に、様々な方法で、不十分さや不安を感じたり、自分はふさわしくないと感じたりします。それでも、神を愛し、隣人に仕えようと思実に努力するときに、神の愛を感じ、新しくより神聖な方法で、その人々や自分の生活に必要な靈感を受けることができます。

主は思いやりをもって、「キリストを確固として信じ、完全な希望の輝きを持ち、神とすべての人を愛して力強く進〔むことができる〕」と励まし、約束しておられます。²³ キリストの教義と救い主の贖罪により、そして精神を尽くして主の聖約の道を心から

従順に歩むことにより、主の真理を知り、自由になることができます。²⁴

完全な福音と神の幸福の計画が回復され、末日聖徒イエス・キリスト教会や聖典で、また預言者ジョセフ・スミスから今日のラッセル・M・ネルソン大管長に至る預言者たちにより、それらが教えられていることを証します。主の聖約の道は、愛に満ちた天の御父が約束しておられる最大の賜物へと至る道であることを証します。それは「あなたがたは永遠の命を受ける」という約束です。²⁵

信仰のキャンプファイヤーのそばで心と希望と決意を温め、強めるときに、主の祝福と永続する喜びを得ることができるよう、イエス・キリストの御名により祈ります。アーメン。 ■

注

1. ラッセル・M・ネルソン「ミニスタリング」『リアホナ』2018年5月号、100参照
2. Richard G. Scott, *Finding Peace, Happiness, and Joy* (2007), 162 – 63; quoted in *Elder Richard G. Scott Art Exhibit: A Self-Guided Tour* (pamphlet, 2010).
3. *A Visual Journal: Artwork of Henry B. Eyring* (booklet, 2017), 2.
4. *A Visual Journal*, 28.
5. Boyd K. Packer, *The Earth Shall Teach Thee: The Lifework of an Amateur Artist* (2012), ix.
6. アルマ 30:44
7. 「天のお父様の愛」(『子供の歌集』16 – 17)
8. ビクトル・ユーゴー『レ・ミゼラブル』豊島与志雄訳、岩波書店「第三編：プリューメ街の家」「三：自然の個体と合体」
9. 箴言 3:5 – 6 参照
10. 教義と聖約 121:44 参照
11. ルカ 15:2 参照
12. 体験談は本人の承諾を得て掲載。
13. 申命 6:5
14. ヨシュア 22:5
15. ルカ 10:27
16. モルモンの言葉 1:18
17. 教義と聖約 4:2
18. 教義と聖約 59:5
19. 教義と聖約 121:45 – 46 参照
20. ヨハネ 14:6
21. マタイ 11:28
22. モロナイ 10:32
23. 2 ニーファイ 31:20
24. ヨハネ 8:32 参照
25. 2 ニーファイ 31:20



七十人
ポール・B・パイパー長老

すべての人は御父から 与えられている御名を 受けなければならぬ

救い主の御名には、比類のない本質的な力があります。救いを可能にする唯一の名前です。

数

週間前、わたしは数人の8歳の子供たちのバプテスマ会に参加しました。子供たちは両親や教師からイエス・キリストの福音を学び始めました。主に対する信仰の種が、育ち始めました。そして今、回復された主の教会の会員になるためにバプテスマの水に入って、主に従いたいと思っていま

した。子供たちの期待した様子を見たとき、バプテスマの聖約の重要な側面である、イエス・キリストの御名を受けることについて、彼らがどのくらい理解しているだろうかと思いました。

時の初めから、神は御自身の計画の中で、イエス・キリストの御名の卓越性を宣言されています。天使は最初の父である



アダムにこう教えました、「あなたが行うすべてのことを御子の御名によって行いなさい。また、悔い改めて、いつまでも御子の御名によって神に呼び求めなさい」¹。

モルモン書の預言者ベニヤミン王は、民に対して、「その御名を通じてでなければ、どのような名も道も方法も、……救いをもたらすことはできない。」²と教えました。

主は預言者ジョセフ・スミスにこの真理を繰り返されました。「見よ、イエス・キリストとは、父から与えられている名である。この名のほかには、人に救いを与えることのできる名は与えられていない。」³

現代において、ダリン・H・オーカス管長がこう教えています。「イエス・キリストの聖なる御名により信仰を実践し、……主の聖約に入……る人々は、イエス・キリストの贖いの犠牲を要求することができるのです。」⁴

天の御父は、神の御子イエス・キリストの御名が、数多くある単なる名前の一つではないことを完全に明確にされたいと望んでおられます。救い主の御名には、比類のないきわめて重要な力があります。救いを可能にする唯一の名です。すべての神権時代においてこの真理を強調することにより、愛にあふれる御父は神のすべての子供たちに、みもとに戻る道があることを伝えておられます。しかし、確かに道が用意されたからと言って、わたしたちが自動的にみもとに戻ることができるわけではありません。神はわたしたちの行動が必要であることを告げておられます。「それゆえ、すべての人は、父から与えられているこの名を受けなければならぬ。」⁵

イエス・キリストの御名によってのみもたらされる救いの力の恩恵を受けるには、「神の前にへりくだって、……打ち碎かれた心と悔いる靈をもって進み出て、……進んでイエス・キリストの名を受ける」必要があります。そうすれば8歳の友人たちのように資格を得て「バプテスマによってキリストの教会に受け入れられ」ます。⁶



救い主の御名を受けることを真心から望む人は皆、身をもって自分の決意を神に証明するために、資格を得てバプテスマの儀式を受けなければなりません。⁷しかし、バプテスマは始まりにすぎません。

「受ける」(英語では「take」)という言葉は、受け身ではありません。動作を表わす言葉で、多数の定義を持ちます。⁸同じように、イエス・キリストの御名を受けるという決意には、行動が求められますし、多くの側面があります。

例えば、「受ける」という言葉の意味の一つは、飲み物を飲むときのように、体に取り入れるということです。イエス・キリストの御名を受けることにより、主の教えや主の特質、最終的には主の愛を自分の中に深く受け入れて、自分の一部とすることをわたしたちは決意します。したがって、ラッセル・M・ネルソン大管長はヤングアダルトに、「[救い主] の様々な称号や呼び名が皆さんにとって個人的にどのような意味を持つか理解できるよう、祈り、熱心に求めてください」と勧めましたが⁹、この重要な勧告は、聖文、特にモルモン書の中のキリストの言葉を味わうという預言者の力強い教えに、新たな洞察と奥深さを加えています。¹⁰

「受ける」という言葉のほかの意味は、特定の役割にある人を受け入れ、アイデアや原則を真実なものとして受け入れること

です。キリストの御名を受けるとき、わたしたちは主を救い主として受け入れ、主の教えを生活の指針として絶えず取り入れます。わたしたちは一つ一つの有意義な選択において、心と勢力と思いと力を尽くして、従順に正しく生活するために、主の福音を受け入れることができます。

「受ける」という言葉は、主の御名または大義に自分自身を同調させることを意味します。ほとんどの人は、仕事で責任を引き受けた経験や、大義や活動に応じた経験があります。わたしたちはキリストの御名を受けるとき、まことの弟子という責任を引き受け、主の大義を擁護し、「いつでも、どのようなことについても、どのような所にいても……〔主〕の証人に」なります。¹¹ ネルソン大管長は、「すべての若い女性と若い男性に、イスラエルの集合を助けるために……青少年の大隊に加わるよう」呼びかけました。¹² そしてわたしたちは皆、末日聖徒イエス・キリスト教会という、救い主御自身によって明らかにされた回復された主の教会の名前を公言するという預言に満ちた呼びかけに喜んで応じます。¹³

救い主の御名を受ける過程で、わたしたちはキリストの大義と主の教会は一つであり、同じであることを理解しなければなりません。それらは切り離すことができません。同様に、救い主の弟子であるこ

とと、主の教会の活発会員であることも、互いに切り離せないものです。もし一方への決意が弱まるならば、昼の後に夜が来るよう確かに、他方への決意も衰えていくでしょう。

中にはイエス・キリストの御名と主の大義をひどく偏屈で、窮屈で、縛られるものと見なし、しぶしぶ受け入れる人もいます。実際には、キリストの御名を受けると、自由と広がりが与えられます。救い主を信じる信仰を通して神の計画を受け入れたときの願望がよみがえります。この生きた願望が心の中にあると、神から与えられた賜物や才能の真の目的を見いだし、力を与えてくれる主の愛を経験し、ほかの人の幸福を思う気持ちが高まります。救い主の御名を受けるとき、わたしたちはまさにあらゆる善いものを手に入れ、主のようになります。¹⁴

忘れてならない大切なことは、救い主の御名を受けることが、バプテスマで交わした聖約に始まる聖約への決意であるということです。ネルソン大管長はこう教えました。「主と聖約を交わして救い主に従う決意をし、それらの聖約を守るとき、……備えられた、あらゆる靈的な祝福と特権を享受する門戸が開かれるのです。」¹⁵ バプテスマによって救い主の御名を受けるときのすばらしい特権の一つは、聖約の道の次の儀式、確認にあづかれるようになることです。8歳の友人の一人にキリストの御名を受けるとはどういうことか尋ねると、彼女はシンプルに「聖靈を受けられるということ」と答えました。そのとおりです。

聖靈の賜物は、バプテスマの儀式で清められた後、確認によって受けます。この賜物は、聖靈を常に伴侶とする権利であり、機会です。聖靈の静かな細い声に聞き従うならば、わたしたちがバプテスマを通して入った聖約の道を歩み続けられるように助け、その道からそれるように誘惑されるときに警告し、悔い改めて調整するよ



う必要に応じて励ましてくださいます。バプテスマ後は、聖約の道に沿って進んで行けるように、聖靈を常に伴侶とすることに焦点を当てます。聖靈を伴侶とすることは、生活を清く保ち、罪のない状態にいなければなりません。

このために、主は、聖餐というもう一つの儀式を通して、バプテスマの清めの効力を絶えず更新する方法を備えられたのです。手を伸ばして、主の体と血の記念であるパンと水を手に取り、それらを自分の心と靈に取り入れることによって、わたしたちは毎週、「進んで御子の御名を受け……ることを、……証明」することができます。¹⁶ それに対して、主の清めの奇跡により、改めて聖靈の影響を絶えず受けるのにふさわしくしてくださいます。これはイエス・キリストの御名にのみ見いだされる無限の憐れみの証拠ではないでしょうか。わたしたちが主の御名を受けるように、主はわたしたちの罪と悲しみを御自身に受けられ、その「憐みの御腕を伸べて」¹⁷ わたしたちは主の愛の御腕に抱かれるのです。¹⁸

イエス・キリストの御名を受けることは、バプテスマの日の一度限りの出来事ではなく、現在も継続している決意であり、聖餐は毎週それを思い出させてくれます。¹⁹ わたしたちは続けて、そして繰り返し喜びをもって歌います。「われらが罪の 救しのため みからだと 血を 捧げましぬ。」²⁰ イエス・キリストの御名を受けることでも

たらされる力強い靈的な祝福を理解すれば、神の子供たちが常に喜びを感じ、神の聖約に入りたいと常に願うとしても、さほど不思議なことではありません。²¹

神が定められた聖約の道に従い、イエス・キリストの御名を受けるために決意して努力するとき、「この名をいつも心にしっかりと記しておく」力が与えられるでしょう。²² わたしたちは神と隣人を愛し、仕えたいと願っています。戒めを守り、さらに主と聖約を交わすことによってより主に近づくことを切望します。自分の義にかなった望みに従って行動することにおいて自分は弱く能力がないと知るとき、わたしたちは主の御名を通してのみもたらされる力を嘆願し、主から助けを得るでしょう。忠実に堪え忍ぶとき、いつの日か、主にまみえ、主とともにいて、自分が主に似たものになったことに気づき、御父のみとともに帰る資格を得ることでしょう。

救い主の次の約束は確かだからです。「イエス・キリストの名を信じ、イエス・キリストの名によって御父を礼拝し、またイエス・キリストの名を信じて最後まで堪え忍ぶ人々は、神の王国に救われるであろう。²³ イエス・キリストの御名を受け入れることによっていただけるこの比類ない祝福を皆さんとともに喜び、その御名によって証します、アーメン。 ■

注

1. モーセ 5:8
2. モーサヤ 3:17



十二使徒定員会
ディーター・F・ワークトドルフ長老

信じ, 愛し, 行う

主を信じ、主が愛されたように愛してイエス・キリストのまことの弟子になることにより、豊かな人生を実現することができます。主の方法に従い、主の業に携わることによるのです。

3. 教義と聖約 18:23
4. ダリン・H・オーカス「イエス・キリストのみ名を受ける」『聖徒の道』1985年7月号、83
5. 教義と聖約 18:24: 強調付加
6. 教義と聖約 20:37: 強調付加
7. ダリン・H・オーカス管長はこう教えている。
わたしたちは「末日聖徒イエス・キリスト教会の会員になることによって救い主の御名を受け……キリストを心から信じるクリスチヤンとして、心から喜んで主のみ名を受けます。」(「イエス・キリストのみ名を受ける」81-82)
8. メリアムウェブスターのオンライン辞書によれば、takeという動詞の他動詞形には20の異なる定義があり、その一例として“take upon us the name of Jesus Christ”(イエス・キリストの御名を受ける)という語句が使われている。
9. ラッセル・M・ネルソン「預言者、指導力、神の律法」(ヤングアダルトのためのワールドワイド・ディボーショナル、2017年1月8日)、broadcasts_lds.org
10. ラッセル・M・ネルソン「モルモン書——この書物なしの人生とは?」『リアホナ』2017年11月号、60-63参照
11. モーサヤ 18:9
12. ラッセル・M・ネルソン大管長「シオンのつわもの」(2018年6月3日、青少年対象のワールドワイド・ディボーショナル)、broadcasts_lds.org
13. 「主はわたしの心に、主が御自身の教会のために啓示された名称、すなわち『末日聖徒イエス・キリスト教会』という名称の重要性について、強い印象を与えられました。わたしたちの前には、主の御心にわたしたち自身を調和させるという務めがあります。」The Name of the Church [official statement, Aug. 16, 2018, mormonnewsroom.org].
14. モロナイ 7:19 参照
15. ラッセル・M・ネルソン「ともに前進するにあたり」『リアホナ』2018年4月号、7
16. 教義と聖約 20:77: 強調付加
17. 3 ニーファイ 6:14: アルマ 5:33-34も参照
18. 2 ニーファイ 1:15 参照
19. 「イエス・キリストの御名を喜んで受けるということは、御父の王国で永遠の生命を得るために、できることをすべて行うと約束することと言えます。つまり、日の栄の王国に入る候補者となる意志とその努力をするという決意を表明することです。……
わたしたちは単に主の御名を受けるだけでなく、喜んで受けることを証明するからです。つまり、わたしたちは自分で達成するのではなく、救い主ご自身の権能によって達成される将来の出来事、また状態を身に受けることを証明するのです。」(ダリン・H・オーカス「イエス・キリストのみ名を受ける」84)
20. 「天にまします永遠なる父」『贊美歌』99番
21. モーサヤ 5章; 6章; 18章; 3 ニーファイ 19章参照。
22. モーサヤ 5:12
23. 教義と聖約 20:29

愛する兄弟姉妹の皆さん、このすばらしい総大会の部会に参加し、靈感受けたメッセージを聞き、世界中にいる(わたしたちの娘、息子である)何千もの宣教師を代表しているこの宣教師のすばらしい聖歌隊の歌を聴き、そして特に今日信仰において一致し、わたしたちの愛する大管長であり預言者であるラッセル・M・ネルソン大管長、また大管長会、中央役員を改めて支持できるのはなんとすばらしい機会でしょうか。今日ここで皆さんとご一緒できるのは何という喜びでしょう。

古代のソロモン王は、歴史上最も外面的に成功を収めた人物の一人です。¹ 富や

権力、崇敬、譽れなど、あらゆるものを持っていたように思われます。しかし、身勝手で、ぜいたくな生活を数十年間送った後、ソロモン王は自分の人生をどのように言い表したでしょうか。

「いっさいは空である」と、述べています。²

この人はあらゆるものを持ったにもかかわらず、最後には幻滅を感じ、悲観的となり、不幸になりました。³

ドイツ語に、Weltschmerz(ヴェルトシュメルツ)という言葉があります。大まかに言うと、世界が本来あるべきだと思っている状態より劣っているということを思い悩んで抱く悲しみを意味します。

恐らく、わたしたち全員の中に、少しはWeltschmerz(ヴェルトシュメルツ)があることでしょう。

悲しみが音もなくわたしたちの人生に忍び寄るとき、昼にあふれた悲しみが夜に深い影を落とすとき、愛する人や自分の周囲に悲劇が起こり、不当な仕打ちを受けるとき、Weltschmerz(ヴェルトシュメルツ)はやってきます。孤独で不幸な旅路を歩み、苦しみで心が暗く、平穏でなくなるとき、わたしたちは、人生はむなしく無意味だというソロモンの言葉に同意したくなってしまうかもしれません。



大きな希望

幸い、希望はあります。空虚さやむなしさ、人生の *Weltschmerz*（ヴェルトシュメルツ）には、解決策があります。皆さんを感じるかもしれない、この上なく深いむなしさ、絶望、落胆に対してさえも、解決策があります。

イエス・キリストの福音がもつ人生を変える力の中に、また靈的な病からわたしたちを癒す救い主の贍いの力の中に、希望を見いだせます。

イエスはこう宣言されました。「わたしにきたのは、羊に命を得させ、豊かに得させるためである。」⁴

自分の必要や自分の業績に焦点を当てることではなく、イエス・キリストのまことの弟子になることにより、豊かな人生を得ることができます。主の方法に従い、主の業に携わることによるのです。自分のことを忘れて、キリストの偉大な大義に携わることによって豊かな人生を見いだすのです。

キリストの大義とは何でしょうか。それは、主を信じ、主が愛されたように愛し、主が行わされたように行うことです。

イエスは「よい働きをしながら……巡回されました。」⁵ 貧しい人、見放された人、病気の人、恥じ入っている人の間を歩かれました。無力な人、弱い人、友のいない人にお仕えになりました。彼らとともに時間を過ごし、言葉を交わし、そして「彼らを皆〔癒された〕」のです。⁶

救い主は行かれる先々で、福音の「良い知らせ」をお教えになりました。⁷ 人々を靈的にもこの世的にも自由にする永遠の真理を伝えられました。

このキリストの大義に献身する人々は、救い主のこの約束が真実であることを見いだします。「わたしのために自分の命を失う者は、それを見いだすであろう。」⁸

ソロモンは間違っていました。愛する兄弟姉妹の皆さん、人生は「空」ではありません。反対に、目的をもち、意義深く、平安に満ちた人生を送ることができます。



イエス・キリストの癒しの御手は、主を求めるすべての人に差し伸べられています。神を信じ、神を愛し、キリストに従うよう努めることによって、心を変え、⁹ 苦痛を和らげ、わたしたちの靈に「非常に大きな喜び」¹⁰ を満たすことができると、わたしは、疑うことなく知るようになりました。

信じ、愛し、行う

もちろん、わたしたちは、自分の生活にこの癒しの影響力を受けるため、ただ福音を頭で理解すること以上に、多くのことを行わなければなりません。福音を生活に取り入れなければなりません。それを、自分自身と自分の行動の一部とするのです。

次の3つの簡単な言葉で弟子としての務めを始めるようお勧めします。

信じ、愛し、行う。

神を信じることによって、神を信じる信仰を持ち、神の御言葉への信頼を築くようになります。信仰を持つと、わたしたちの心に、神とほかの人々に対する愛の気持ちが深まります。その愛が深まるとき、わたしたちは、弟子としての務めの道を進む自分自身の大いなる旅を続けるに当たって、救い主に習うよう促されます。

皆さんはこう言うかもしれません。でも、少し単純すぎませんか。人生の問題は、特にわたしの問題は、そんな解決策よりもはるかに複雑です。信じ、愛し、行うという3つの簡単な言葉では、*Weltschmerz*

（ヴェルトシュメルツ）を治療するなんてできません。

その言葉により治療されるのではありません。神の愛が救い出し、回復させ、よみがえらせるのです。

神は皆さんを御存じです。皆さんは神の子です。神は皆さんを愛しておられます。

皆さん自分が愛される価値がないと思っているときでさえ、神は皆さんに手を差し伸べておられます。

今日この日に、また毎日、主は皆さんを癒し、引き上げ、皆さんの中のむなしさをいつまでも消えない喜びに替えてほしいと願い、手を差し伸べておられます。皆さん的人生を覆う闇を一掃し、それを神の限りない栄光の神聖な輝かしい光で満たしたいと願っておられるのです。

わたしは自分でこのことを経験しました。

そして、主イエス・キリストの使徒として、神のもとに来るすべての人、すなわち、心から信じ、愛し、そして行うすべての人は、そのことを経験できると証します。

わたしたちは信じます

聖文はこう教えています。「信仰がなくては、神に喜ばれることはできない。なぜなら、神に来る者は、神のいますこと……を、必ず信じるはずだからである。」¹¹

ある人にとって、信じることは困難です。時々、自分たちのプライドが妨げとなるのです。自分には知性、教養、経験がある

のだから簡単には神を信じられない、と考えるかもしれません。そして、宗教を愚かな言い伝えととらえるようになります。¹²

わたしの経験から言えば、信じることというのは、鑑賞して称賛し、それについて語り合って理論化する絵画のようなものではありません。それは畑に持ち込み、額に汗して地にうねを作り、種をまいていつまでも残る実を結ぶようにする農具のすきのようなものです。¹³

神に近づいてください。そうすれば、神はあなたに近づいてくださいます。¹⁴ これは、信じようとするすべての人への約束です。

わたしたちは愛します

聖文が明らかにしているように、わたしたちは神と神の子供たちを愛すれば愛するほど、幸せになります。¹⁵ しかし、イエスの言われた愛は、ギフトカードのような、使い捨ての、すぐにほかのことに心が移るような愛ではありません。口にした後で忘れてしまうような愛ではありません。「わたしにできることができれば教えてください」というような愛ではありません。

神が語っておられる愛は、朝目が覚めたときに心に入って来て、一日中心にとどまり、一日の終わりに声に出て感謝の祈りをささげるときに胸がいっぱいになるような愛です。

これは、天の御父がわたしたちに対して抱いておられる言葉では言い表せない愛です。

この限りない思いやりがあつてこそ、わたしたちはほかの人々がどのような人であるか、もっとはつきりと見ることができるのです。純粋な愛のレンズを通して人を見るとき、無限の可能性と価値を備えた不滅の存在である全能の神の愛する息子や娘を見ます。

一旦そのレンズを通して見ると、いかなる人をも軽視、無視、差別することはできません。

わたしたちは行います

救い主の業において、「小さな、簡単なことによって大いなることが成し遂げられる」ということがよくあります。¹⁶

何かが上手になるためには、繰り返しの練習が必要であることを、わたしたちは知っています。クラリネットの演奏、ボーカルをネットに蹴り入れること、自動車の修理、飛行機の操縦はどれも、練習することですますます上達します。¹⁷

地上に設けられた救い主の組織である末日聖徒イエス・キリスト教会は、この練習ができるように助けてくれます。主から教えられた方法で生活し、主が行われた方法でほかの人に祝福をもたらす練習をする場を提供します。

教員として、わたしたちには、ほかの人に思いやりと仕えることを通して手を差し伸べる召しや責任、機会が与えられます。

最近教会は、新たな視点から、ほかの人に対するミニスタリング、つまり仕えて愛することについて強調するようになりました。この特別な強調事項をどう呼ぶべきか決めるに当たって、十分な検討が行われました。

検討された呼称の一つが、「シェーバーディング」です。「わたしの羊を養いなさい」というキリストの勧めに添った言葉です。¹⁸ しかし、少なくとも一つ不都合な点がありました。その用語を使えば、わたしはジャーマン・シェパードになるということです。結果として、わたしはミニスタリングという用語にとても満足しています。

この業はすべての人のためにある

もちろん、これを強調するのは今に始まったことではありません。実際にこれによって、教会の目的を実施し実践するための洗練された方法である「互に愛し合いなさい」という救い主の戒めを実践する、新たな洗練された機会が与えられます。¹⁹

伝道活動について考えてみてください。勇敢に、謙遜に、確信を持って福音を伝えることは、だれであろうとほかの人の靈的な必要を満たすためにミニスタリングを行うというすばらしい手本です。

あるいは、神殿活動を行うこと、つまり先祖の名前を探し出し、先祖に永遠の祝福を提供することです。何と神聖なミニ



タリングでしょう。

貧しい人や助けの必要な人を探し出す、垂れている手を上げる、あるいは病気の人や苦しんでいる人を祝福するという行為を考えてみてください。これは、主がこの地上におられたときに実践された純粋なミニスタリングの行いそのものではないでしょうか。

わたしは、この教会の会員ではない皆さんに、来て、見てくださるようお勧めします。²⁰ 来てともに協力してください。教会の会員であっても、現在活発に参加していない方は、どうぞ戻って来てください。わたしたちには皆さんが必要です。

来て、わたしたちに力を貸してください。

皆さんには独自の才能、能力、また個性がありますので、わたしたちがより良い人になり、より幸せになれるように助けてください。逆に、わたしたちも、皆さんがより良い人になり、より幸せになれるようお手伝いします。

さあ、神のすべての子供を癒し、思いやり、慈しむ文化を築き、強化することができるように助けてください。わたしたちは皆、「古いものは過ぎ去[り]」「すべてが新しく」なって、新しく造られた者になろうと努めているからです。²¹ 救い主ははわたしたちに進むべき方向、前進し向上すべき道を示しておられます。主はこう言っておられます。「もしあなたがたがわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである。」²² 皆で、神が意図しておられる人になれるように協力しましょう。

これが、わたしたちがイエス・キリストの教会の全域で育みたいと望んでいる福音の文化です。そこでは互いに赦し合い、あら探しやうわざ話、人を気落ちさせることをする誘惑をはねのけ、欠点を指摘する代わりに、わたしたちがなれる最善の人になるよう互いを高め合い、助け合う場所として教会を強めるのです。

再度、お招きします。来て、見てください。協力してください。皆さんが必要です。

不完全な人たち

この教会には、この世の中で出会える最良の人たちであふれていることに皆さんには気づくでしょう。親しみ深く、愛にあふれ、優しく、誠実な人たちです。勤勉で、快く犠牲を払う、時に応じて実際に勇敢な人たちです。

同時に、とても不完全です。

間違いを犯します。

時々、言うべきではないことを言ってしまったり、しなければよかったと思うことをしまったりします。

しかし、共通していることは、より良い人となり、救い主である主イエス・キリストにもっと近づきたいと思っていることです。

物事を正しく理解できるように努めています。

彼らは信じます。愛します。行います。

利己的にならず、もっと思いやり深く、もっと洗練され、もっとイエスのようになりたいと思っています。

幸福の青写真

そうです、人生は時折困難かもしれません。確かに、すべての人に失望と落胆の時期があります。

しかし、イエス・キリストの福音は希望をもたらします。そしてわたしたちは、イエス・キリストの教会で、家庭のように心休まる場所、ともに信じ、愛し、行うことのできる成長の場を探している人々と力を合わせて取り組みます。

様々な違いがあるにもかかわらず、わたしたちは、愛する神の息子や娘として互いに心から受け入れ合おうとします。

わたしは、末日聖徒イエス・キリストの教会の会員であることに感謝しています。また神が御自分の子供たちを愛しておられ、この人生の意味と幸福の青写真、ならびに来るべき世において栄光の広間で永遠の喜びを味わう方法を与えてくださっているということを知っていることに、とても感謝しています。



神が靈的な病と人生の *Weltschmerz* (ヴェルトシュメルツ) を癒す方法を与えてくださったことに、感謝しています。

神を信じ、心を尽くして神を愛し、神の子供たちを愛し、神から指示されているとおりに行うよう努めるときに、わたしたちは癒し、平安、幸福、意義を見いだすことができる証し、見いだせるよう皆さんを祝福します。イエス・キリストの聖なる御名により、アーメン。 ■

注

1. msn.com の調査では、ソロモンはかつて世に住んでいた人の中で第 5 位の金持ちであったとされている。「聖書によれば、ソロモン王は紀元前 970 年から 931 年まで統治し、その間、39 年の治世で毎年金 23 トンを受け取っていたと言われている。それは 2016 年の価値にして数十億ドル分に相当する。課税と貿易で集めたとてつもない富と併せて、聖書に述べられているその統治者の個人的な財産は、今日の金額で 2 兆ドルを超えていたと考えられる。」(“The 20 Richest People of All Time,” Apr. 25, 2017, msn.com)

2. 伝道 1:1 - 2 参照

3. 伝道 2:17 参照

4. ヨハネ 10:10

5. 使徒 10:38

6. マタイ 12:15。マタイ 15:30 も参照

7. 「福音」は、文字どおり「良い知らせ」という意味を持つギリシャ語の言葉に由来する言葉である (see Bible Dictionary, “Gospels”).

8. マタイ 16:25

9. エゼキエル 36:26; エレミヤ 24:7 参照

10. 1ニーファイ 8:12

11. ヘブル 11:6

12. 2ニーファイ 9:28 参照

13. ヨハネ 15:16 参照

14. ヤコブの手紙 4:8 参照

15. 4ニーファイ 1:15 - 16 参照

16. アルマ 37:6

17. アリストテレスは、「正しい行為をすることによってこそ、正しい人が生まれる」と信じていた (*The Nicomachean Ethics*, trans. David Ross, rev. Lesley Brown [2009, 28]).

18. ヨハネ 21:15 - 17 参照

19. ヨハネ 15:12

20. ヨハネ 1:39

21. 2コリント 5:17

22. ヨハネ 14:15

中央初等協会会長
ジョイ・D・ジョーンズ

主のために

だれに、なぜ、奉仕するのかを知ることで、愛の最大の表現が神への献身であることが分かるようになります。

この歴史的な夕べに、愛する姉妹の皆さん一人一人に愛と感謝をお伝えします。年齢、場所、状況がどうであれ、わたしたちは今晚、一致、強さ、目的、証のもとに集まっています。その証とは、天の御父、救い主イエス・キリスト、そして生ける預言者ラッセル・M・ネルソン大管長に愛され、導かれているという証です。

若いころ、夫とわたしは何年も教会に来ていらない家族を夫婦で訪問し、ミニスタリングを行うようビショップから召されました。わたしたちは喜んでその割り当てを受け入れ、数日後、彼らの家を訪ねました。その家族が教会からの訪問者を望んでいないことはすぐに分かりました。

ですから次の訪問の際には、クリッキーを持参しました。チョコレートチップが彼らの心を溶かしてくれるという自信があったからです。でも、そうはいきませんでした。彼らの応対が網戸越しだったため、歓迎されていないことがさらにはっきりしました。ですが、家へ帰る車の中で、ライスクリスピーオのやつだったらもっとうまくいっていたかもしれない、と思ったものです。

わたしたちは靈的な視野に欠けていたため、何度も試してもうまくいかずがっかりしました。拒絶されるのはいつだって嫌なものです。そのうち、わたしたちはこう自問し始めました。「なぜこんなことをし

ているのだろう。何のためなのだろう。」

カール・B・クリク長老はこのような見解を述べています。「……恐れを感じるようなことを依頼されたり、奉仕することに疲れたり、最初は魅力的と思えないようなことを依頼されたら、教会で奉仕することはチャレンジとなるかもしれません。」¹ クリク長老のこの言葉が真実だと知ったのは、自分たちよりも遠くを見通す力を持つ御方に導きを求める決心をしたときでした。

そして、心からの祈りと研究を重ねた後、なぜ奉仕するのかについて答えを受けたのです。それは、理解と心の変化を伴う、まさに目からうろこが落ちる体験となりました。² 聖文からの導きを求めていたときに、主は、人々にさらに容易に意義深く奉仕する方法を教えてくださいました。わたしたちの心と姿勢の両方を変えたのは次の聖句でした。「あなたは心を尽くし、勢力と思いと力を尽くして、主なるあなたの神を愛さなければならぬ。また、イエス・キリストの名によって、神に仕えなければならない。」³ なじみのある聖句でしたが、新たに、重要なことを教わったように感じました。

わたしたちは、この家族とビショップに仕えようと誠実に努力していたものの、ほんとうに主への愛のゆえに仕えているかどうかを自問する必要があることに気づきました。ベニヤミン王は次のように述べた際

に、この違いを明らかにしています。「見よ、わたしはあなたがたに言う。わたしは自分の生涯をあなたがたのための務めに費やしてきたと言ったが、それは自慢したくて言ったのではない。わたしは神のために務めてきたにすぎないからである。」⁴

では、ベニヤミン王が実際に仕えていたのはだれだったのでしょうか。天の御父と救い主です。だれに、なぜ、奉仕するのかを知ることで、愛の最大の表現が神への献身であることが分かるようになります。

わたしたちの焦点が徐々に変化するにつれ、わたしたちの祈りも変わってきました。主への愛ゆえに、このすばらしい家族への訪問を心待ちにするようになりました。⁵ 主のために行っていたのです。主のおかげで、苦労は苦労でなくなりました。玄関先に立ち続けて数か月後、家族はわたしたちを中へ招き入れてくれるようになりました。やがて、ともに定期的に祈りをささげ、福音について親しく話し合うようになり、永続する友情が育まれました。わたしたちは神の子供たちを愛することで、神を礼拝し、愛していました。

皆さんは、困っている人を助けるために真摯に努力し、愛情を込めて手を差し伸べたにもかかわらず、その努力に気づいてもらえなかったり、感謝されなかったり、必要とさえされなかったと感じたことはありますか。そのとき、自分の奉仕の価値に疑問を抱きましたか。もしそうであれば、ベニヤミン王の次の言葉が皆さんの疑問や傷ついた心に取って代わりますように。「あなたがたの神のために務めるのである。」⁶

憤りを募らせる代わりに、わたしたちは奉仕を通して天の御父とより完成された関係を築くことができます。御父への愛と献身が、認められたい、感謝されたいという欲求に打ち勝ち、御父の愛がわたしたちへと流れ込み、そしてわたしたちを通して流れていくようになります。

時折、義務感や責任感から奉仕を始め



こともあるでしょう。しかし、そうした奉仕でさえ、わたしたちの内にある、より貴いものを引き出し、「最もすぐれた方法」⁷すなわちネルソン大管長の招きにある、「人々を心にかけ、仕えるに当たって、より新しく、より神聖な方法」⁸で行えるようにしてくれます。

神がしてくださったすべてのことに焦点を当てるとき、感謝の念から奉仕するようになります。奉仕をする際、自分がどう思われるかを気にかけなくなるにつれ、わたしたちの奉仕の焦点が神を第一とするものになっていくことに気づくでしょう。⁹

M・ラッセル・バラード会長は次のように教えてています。「心と精神と思いを尽くして、神とキリストを愛する場合のみ、親切な行いと奉仕を通して、その愛が隣人に伝わるのである。」¹⁰

十戒の第一の戒めにもまた、この神の知恵が記されています。「わたしはあなたの神、主で……ある。あなたはわたしのほかに、なにものをも神としてはならない。」¹¹ この戒めを第一としているのは、もし神を最優先にすれば、ほかのすべてのものは——人々への奉仕でさえも——最終的に然るべきところに落ち着くということを教えているのです。自らの選びにより、神をよりも大切にするとき、神はわたしたちの行いを祝福し、自分やほかの人々の益とすることがおできになります。

主は「あらゆる思いの中でわたしを仰ぎ見なさい」¹²と勧めておられます。また、わたしたちは毎週そうする、つまり「いつ

も御子を覚え「る」と聖約しています。¹³それはすべての行いに当てはまるのでしょうか。単純作業をしているときでさえも、神への愛と献身を示す機会にすることができるでしょうか。そうできるし、そうなると信じています。

することリストの各項目を、主をあがめる手段とすることができます。わたしたちはこの一つ一つの務めを神に仕える特権や機会として捉えることができるのです。締め切りや仕事、汚れたおむつ交換の真っ最中であってもです。

アンモンはこう述べています。「まことに、わたしは自分が何の価値もない者であることを知っている。わたしは力の弱い者である。だから、わたしは自分のことを誇るつもりはない。しかし、わたしは神のことを誇ろう。わたしは神の力によって何事でもすることができるからである。」¹⁴

神に仕えることを生活の最優先にするとき、わたしたちは自分を失い、やがて自分を見いだすのです。¹⁵

救い主はこの原則を簡潔かつ率直に教えておられます。「だから、あなたがたの光をこの民の前に輝かせて、この民があなたがたの善い行いを見て、天におられるあなたがたの父をあがめるようにしなさい。」¹⁶

インドのカルカッタにある孤児院の壁に書かれた賢明な教えを分かち合いましょう。「親切にしても、利己的な思惑があると責める人がいるかもしれない。それでもなお、親切にしなさい。何年もかけて築いたものが一夜にして崩れ去るかもしれない

い。それでもなお、築き上げなさい。今日の善い行いは明日になれば忘れられてしまうだろう。それでもなお、善いことをしなさい。世界のために最善を尽くしても、充分尽くすことはできないかもしれない。それでもなお、世界のために最善を尽くしなさい。お分かりだろうが、結局のところ、あなたと神との間のことなのだ。」¹⁷

姉妹の皆さん、いつもわたしたちと主との間のことなのです。ジェームズ・E・ファウスト管長はこのように述べています。「『世の中でいちばん必要なことは何か。』……『世界の中でいちばん必要なことは、すべての人が救い主との関係を持ち、その関係を深め、また毎日、絶えず主と交わることではないだろうか。』救い主とのような関係を築くことにより、わたしたちの内にある神性が解き放たれる。そして、神と自分との神聖な関係について知識を得、その知識を自分のものとすること以上に、その人の生活に大きな変化をもたらすものはないのである。」¹⁸

同様に、アルマも息子に次のように説明しています。「まことに、あなたの行うことはすべて、主のために行うようにしなさい。どこへ行くにも主にあって行くようにしなさい。まことに、あなたの思いを常に主に向けるようにしなさい。まことに、あなたの心の愛情をとこしえに主に向けるようにしなさい。」¹⁹

そしてラッセル・M・ネルソン大管長も同じように教えています。「主が自ら進んでなされた贖いの業について深く考える



中央若い女性会長会第一顧問
ミッシェル・D・クレーグ

と、自分が犠牲を払っているという思いは、主に仕える特権に深く感謝する気持ちによって、完全に薄れてしまいます。」²⁰

姉妹の皆さん、わたしは、イエス・キリストが贅いの力を通してわたしたちに働きかけ、わたしたちの内で働かれるときに、わたしたちを通して人々を祝福されることを証します。主を愛し主に仕えることで人に仕えるとき、わたしたちは聖文に記されている、次のような者となります。「すべての者はその隣人の益を図〔り〕、また神の栄光にひたすら目を向けてすべてのことをな〔している〕。」²¹

恐らくビショップは、神の愛する息子、娘に仕えるために夫とわたしが払った、あの最初の、善意はあるものの完璧ではなかった努力からわたしたちが学ぶべき教訓を知っていたのかもしれません。わたしたちが主に仕えようと努力しているとき、主は慈しみと愛を分かち合ってくださることを、個人的に、心から証します。イエス・キリストの聖なる御名により、アーメン。■

注

1. カール・B・クック「仕える」『リアホナ』2016年11月号、110
2. モーサヤ5:2 参照
3. 教義と聖約 59:5, 強調付加
4. モーサヤ2:16, 強調付加
5. 1ニーファイ11:22 参照
6. モーサヤ2:17
7. 1コリント12:31
8. ラッセル・M・ネルソン「ミニスタリング」『リアホナ』2018年5月号、100
9. マタイ6:1-4, 33 参照
10. M・ラッセル・バラード「愛ある奉仕を通じて喜びを見いだす」『リアホナ』2011年5月号、47 参照
11. 出エジプト20:2-3
12. 教義と聖約6:36
13. 教義と聖約20:77, 79
14. アルマ26:12
15. マタイ16:24-25 参照
16. 3ニーファイ12:16, 強調付加
17. Often attributed to Mother Teresa; See Kent M. Keith, *The Paradoxical Commandments* (1968)
18. ジェームズ・E・ファウスト「救い主との個人的な関係」「聖徒の道」1977年2月号、88 参照
19. アルマ37:36
20. ラッセル・M・ネルソン「贅い」『リアホナ』1997年1月号、41
21. 教義と聖約82:19 参照

聖なる不満足感

聖なる不満足感は、信仰による行いへとわたしたちを動かし、善を行いうようにという救い主の招きにわたしたちが従い、生活を謙遜に主にささげられるようにしてくれるのです。

小 学生のころ、丘の斜面を往復する舗装された道を通学していました。もう一つ、「男の子の道」と呼ばれる舗装されていない道もありました。丘をまっすぐに上る、土の道です。距離は短くても、かなり急でした。幼かったわたしは、男の子が歩けるなら自分にも歩けると知っていましたし、それ以上に、自分は末日に生きているのだから、開拓者がしたように困難なことでもする必要があると知っていました。そして、そのためには備えたいと思っていました。それで時折、舗装された道をゆっくり歩いて友達の群れから離れ、靴を脱いで男の子の道を

はだしで上りました。足を鍛えようとしていたのです。

初等協会の小さな女の子のわたしにとっては、それが備えだったのです。今は違います。山道をはだしで歩くではなく、聖霊の招きに応じることで、聖約の道を歩むための足を鍛えられると知っています。主が預言者を通して、「より高く神聖な道」を選んで生活し、人々を気にかけ、より高い一步を踏み出すようにわたしたち一人一人を呼んでおられるからです。¹

行動を起こすようにというこれらの預言的な呼びかけと、自分はもっとできるという、持って生まれた感覚は、時折、ニール・



A・マックスウェル長老が言う「聖なる不満足感」と表したものを見たときに、わたしたちの内面に生み出することができます。² 聖なる不満足感は、ありのままの自分と、「潜在的な力を持った自分」とを比較するときに生じます。³ 正直であれば、わたしたちは現在の自分と、なりたい自分との、ずれを感じます。わたしたちは、もっとすばらしい個人の特質を身につけたいと切望しています。こういった感情を持つのは、わたしたちが堕落した世に住みながらも、生まれながらにキリストの光を持つ神の娘、息子だからです。このような感情は神から与えられたものであり、行動するようにという切迫感を抱かせます。

より高い道へと導く聖なる不満足感は歓迎すべきものですが、悪魔の偽りによってもたらされる無力感や落胆には気をつけ、避けるべきです。悪魔は隙を見つけて飛び込んで来ようとするからです。わたしたちは、神とその平安と恵みを求めるよう導く、より高い道を歩くか、あるいは、お金や賢さ、美しさなど十分なものは何もない、決して足ることはないのだと苦しめる悪魔の声に耳を傾けるかを選ぶことがあります。不満足感は、わたしたちを強めるものにも、弱めるものにもなり得るのです。

信仰をもって行動する

聖なる不満足感と悪魔の偽りを見分ける一つの方法があります。前者はわたしたちを信仰ある行動に導いてくれます。聖なる不満足感は、居心地の良いところにとどまるようにという招きでも、絶望への導きでもありません。わたしは、自分の足りない点や進歩できていないことについて考えすぎると、御靈を感じて従うことが難しくなるということを学びました。⁴

ジョセフ・スミスは少年のころ、自分の弱点を見つめ、「自分の不滅の魂の安らぎ」が心配になりました。彼はこう記しています。「わたしの心はひどく沈んでいました。自分に罪があることを自覚したから



だ。……わたしは自分の罪と世の人々の罪を嘆き悲しんでいた。」⁵ こうして、彼は「深く考えさせられ、大きな不安を感じないでいる」ませんでした。⁶ 似たような経験はありませんか。皆さんは自分の弱点のことで不安になったり、悩んだりしていませんか。

ジョセフは、あることをしました。次のように話しています。「わたしはしばしば心に問うた。『何をしなければならないのだろうか。』」⁷ ジョセフは信仰をもって行動しました。彼は聖典を開き、ヤコブの手紙第1章5節の招きを読んで、神に助けを求めました。その結果与えられた示現により、回復が始まりました。ジョセフが感じた、聖なる不満足感、不安や混乱の感情にとても感謝しています。それらが彼を信仰深い行いへと突き動かしたのです。

よい働きをするようにという促しに従う

世間一般ではよく不満という感情を、自己陶酔の言いわけ、内向きや後ろ向きになり、自分だけの世界に閉じこもり、自分の要求をすることの言いわけとして使います。聖なる不満足感は、「よい働きをしながら、……巡回され」た救い主の模範に従うよう、動機づけるものです。⁸ 弟子の道を歩みながら、わたしたちは人々に手を差し伸べるようにという靈的な促しを受けます。

何年も前に聞いた物語は、わたしが聖靈の促しに気づき、行動するよう助けてくれ

ました。前中央扶助協会会長のボニー・D・パーキン姉妹は次のように話しました。

「スーザンはすばらしい裁縫師でした。キンボール大管長が〔彼女の〕ワードの地域に住んでいました。ある日曜日、スーザンは大管長が新しいスーツを着ているのに気づきました。ちょうどそのころ、彼女の父親が非常に美しい絹の生地を持ち帰りました。スーザンは、その生地でキンボール大管長の新しいスーツに似合うさてできなネクタイができると思いました。それで、月曜日にネクタイを作りました。それを薄い紙に包んで、キンボール大管長の家へ歩いて向かいました。

玄関へ続く道で、突然彼女は立ち止まりこう思いました。『わたくしたら、大管長にネクタイを作ったですって？ きっとたくさん持つていらっしゃるわ。』ネクタイをプレゼントしようなんて間違いだったと、彼女は引き返しました。

すると、キンボール姉妹が玄関のドアを開けて言いました。『あら、スーザン！』

緊張し、恥ずかしくなったスーザンはこう言いました。『日曜日に、キンボール大管長が新しいスーツを着ていらっしゃるのを見ました。父がニューヨークから絹を持ち帰ったので、……大管長にネクタイを作りました。』

スーザンが言葉を続けようとすると、キンボール姉妹は彼女を止め、肩に手を置いて言いました。『スーザン、親切な思い



つきを抑えつけてはだめよ。」⁹

この話が大好きです。「親切な思いつきを抑えつけてはだめよ。」だれかのために何かするようにという印象を受けると、それが促しなのか、単に自分の考えなのかと思うことがあります。そこで思い出したのはこの言葉です。「神から出るものはいつも善を行うように誘い、促す。したがって、善を行い、神を愛し、神に仕えるように誘い、促すものはすべて、神の靈惑を受けているのである。」¹⁰

直接の促しだとしても、ただ衝動的に助けるよう感じたとしても、善い行いは無駄にはなりません。「慈愛はいつまでも絶えることがない」からです。¹¹

タイミングが悪いことはよくあります。それに、小さな奉仕の行いの結果を知ることは滅多にありません。しかし、折に触れて、わたしたちが神の御手にある道具であったと分かるでしょう。そして、神が認めてくださっているので聖霊が自分を通して働かれるのだと知り、感謝するでしょう。

姉妹の皆さん、やるべきことのリストがすでにいっぱいのように思えるときでも、「なすべきことをすべて」¹² 示してくださるよう聖霊に願うことができます。促されたときには、流し台の皿をそのままにし、注意を要する多くの課題を脇に置いて、子供に本を読んだり、友人を訪問したり、隣人の子供の子守をしたり、神殿で奉仕したりできます。誤解しないでください。わたしたちはするべきことのリストを作つて、一つず

つ達成していくのが大好きですが、より多くのことをすることで必ずしも自分がより善い人になるわけではないという認識があるので安心です。促しに従うことで不満足感を解消すると、「自分の時間」についての考え方方が変わります。周りの人を、邪魔をする人たちとしてではなく、自分の人生の目的として考えられるようになります。

聖なる不満足感はわたしたちをキリストへ導く

聖なる不満足感は、わたしたちが陥りやすいほかとの比較から生まれる自己憐憫や落胆ではなく、謙遜さへと導いてくれます。聖約を守る女性たちの、家族背景や人生経験、置かれた状況は様々です。

神が与えてくださっている自分の潜在能力と比較すれば皆、足りない点があり、一人では弱いのです。しかし、福音によれば、神の恵みによりわたしたちは満ち足りているのです。キリストの助けがあれば何でもできます。¹³ 聖文では「恵みにあずかって、時機を得た助けを受ける」と約束しています。¹⁴

弱さがあるがゆえに謙遜になり、キリストに頼るとき、弱さが祝福となるのは驚くべきことです。¹⁵ わたしたちが自己憐憫に浸るのではなく、望みをもって謙遜にイエス・キリストに近づくとき、不満足感は聖なるものとなります。

事実、イエスの奇跡は、望みや必要、失敗、不足などを認識することでもたらされ

ています。パンと魚の話を思い出してください。福音書の筆者たちはそれぞれ、イエスがどのように、従つて来た多くの人々を奇跡的に食べさせたのかについて記しています。¹⁶ 物語は弟子たちが不足に気づいたところから始まっています。「パン五つと、さかな二ひき〔しかない。〕しかし、こんなに大せいの人では、それが何になります。」¹⁷ 弟子の言つていることはほんとうでした。十分な食べ物がなかつたのですが、あるだけのものをイエスに差し出し、主は奇跡を起こされたのです。

皆さんは自分の才能や賜物が十分ではないと感じたことはありませんか。わたしはあります。しかし、皆さんもわたしもキリストに、自分にあるだけのものを差し出せば、主はわたしたちの努力を何倍にもしてくださるでしょう。人間のもろさや弱さがあるとしても、神の恵みに頼るなら、ささげられるものは、有り余るほどあります。

わたしたちは神から見て一世代後の子供であるということは真理です。¹⁸ そして、神が世の歴史を通して預言者とごく普通の男女になさったように、天の御父はわたしたちを作り変えようとしておられます。

C・S・ルイスは、作り変える力を次のように説明しました。「自分自身を1軒の家だと考えてください。神がその家を改築するために入つて来られます。最初のうちは、神が何を行われているかを理解できるでしょう。神は排水管を直し、屋根の雨漏りを止めるなどされます。このような作業は行う必要があったものなので、あなたは驚くことはありません。しかし、やがて神は、ひどく痛みを感じる方法で家の改造を始められます。……あなたは、思っていたのとはかなり違う家を神がお建てになっていることに気がつきます。……自分は小さな小屋になるのかと思ったのでしょうか、神は、宮殿を建てておられるのです。神御自身がそこに住むおつもりなのです。」¹⁹

救い主の贅いの犠牲があるので、わたしたちは将来待ち受ける業に備えること

ができます。預言者たちは、わたしたちが弟子の道を上るとき、キリストの恵みを通して聖められると教えました。聖なる不満足感は、信仰による行いへとわたしたちを動かし、善を行うようにという救い主の招きにわたしたちが従い、生涯を謙遜に主にささげられるようにしてくれるのであります。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. Russell M. Nelson, in Tad Walch, “‘The Lord’s Message Is for Everyone’: President Nelson Talks about Global Tour,” *Deseret News*, Apr. 12, 2018, deseretnews.com
2. Neal A. Maxwell, “Becoming a Disciple,” *Ensign*, June 1996, 18
3. Neal A. Maxwell, “Becoming a Disciple,” 16; emphasis added
4. 「落胆はあなたの信仰を弱めるからです。期待する基準を下げてしまうと、効果が弱まり、望みが低くなってしまう。御靈に従うことが非常に難しくなります。」(『宣教師としてのわたしの目的は何でしょうか?』『伝道活動のガイド——わたしの福音を宣べ伝えなさい』1-16)
5. 『歴代大管長の教え——ヨセフ・スミス』28
6. ヨセフ・スミス——歴史1:8
7. ヨセフ・スミス——歴史1:10, 強調付加
8. 使徒10:38
9. Bonnie D. Parkin, “Personal Ministry: Sacred and Precious” (*Brigham Young University devotional*, Feb. 13, 2007), speeches.byu.edu.
10. モロナイ7:13
11. 1コリント13:8
12. 2ニーファイ32:5
13. 「わたしを強くして下さるかたによって、何事でもすることができる。」(ピリピ4:13)
14. ヘブル4:16
15. 「もし人がわたしのもとに来るならば、わたしは彼らに各々の弱さを示そう。……(その後)わたしは人を謙遜にするために、人に弱さを与える。わたしの前にへりくだるすべての者に対して、わたしの恵みは十分である。もし彼らがわたしの前にへりくだり、わたしを信じるならば、そのとき、わたしは彼らの弱さを強さに変えよう。」(エテル12:27, 強調付加)
16. マタイ14:13-21; マルコ6:31-44; ルカ9:10-17; ヨハネ6:1-14 参照
17. ヨハネ6:9
18. ボイド・K・パッカー会長は次のように教えました。「皆さんの肉親の先祖が、何代先までさかのぼろうと、皆さんがどのような人種や民族に属そうと、皆さんの靈の系図はたった1本しかありません。皆さんは、神の子なのです。」(「若い男性、女性の方々へ」『聖徒の道』1989年7月号, 59)
19. C. S. Lewis, *Mere Christianity* (1960), 160



中央初等協会会长会第二顧問
クリスティーナ・B・フランコ

無私の奉仕の喜び

わたしたちは愛をもって神と周りの人に仕え、すべてのことにおいて御心を行うと天の御父と約束しました。

前回の総大会後、多くの人から同じ質問を受けました。「あの椅子は座り心地が良いの?」わたしの返答は毎回同じでした。「お話をする必要がなければ、椅子はとても快適よ。」そうですね。今回の総大会では座り心地はそれほど良くはないですが、この祝福に感謝し、お話しできることを光栄に思います。

わたしたちは奉仕するとき、様々な椅子に座り責任を果たします。心地良いものもありますし、そうでないものもあります

が、わたしたちは愛をもって神と周りの人間に仕え、すべてのことにおいて御心を行うと天の御父と約束しました。

何年か前に、教会の青少年は以下のことを学びました。「『神の務めに出で立つ』[教義と聖約4:2]とき、皆さんは最も偉大な旅に加わることになります。業を速めておられる神の手助けをしているのであり、それはすばらしく、喜びに満ちた、驚くべき経験となります。」¹ この旅は年齢にかかわらず、すべての人が出られます。そしてこれはわたしたちの愛する預言者が話した「聖約の道」²に沿った旅でもあります。

残念ながらわたしたちは利己的な世界に住んでいます。人々は「今日だれを助けることができるだろうか」「どうしたらさらに主に仕えて召しを果たすことができるだろうか」「自分は全力で主に仕えているだろうか」と言う代わりに、「自分にとってそれはどんな得になるだろうか」と常に尋ねます。

わたしの人生において無私の奉仕の偉大な模範となったのは、ビクトリア・アントニエッティ姉妹です。ビクトリアはわたしが子供のころ、アルゼンチンの支部で初等協会の教師をしていました。毎週火曜日の午後、初等協会で集まるときに、わたしたちのためにチョコレートケーキを持って来ました。みんなそのケーキが





大好きでした。—わたし以外は。わたしはチョコレートケーキが大嫌いだったのです。彼女がケーキをくれようとしても、必ず断っていました。

ある日、彼女がみんなにチョコレートケーキをあげた後、わたしは「どうしてオレンジとかバニラとか、ほかの味を作らないのか？」と尋ねました。

彼女は少し笑い、「あなたも少し食べてみない？ このケーキは特別な材料でできているのよ。食べてみたら必ず好きになると約束するわ」と言いました。

周りを見渡してみると、驚くことにみんなケーキを満喫しているようでした。それでわたしは食べてみることにしました。どうだったと思いますか。おいしかったのです！ チョコレートケーキをおいしく感じたのはそのときが初めてでした。

アントニエッティ姉妹のチョコレートケーキの秘訣が何だったのか知ったのは、それから何年もたった後でした。わたしは子供を連れて母を毎週訪ねていました。ある日、母と一緒にチョコレートケーキをおいしく食べながら、わたしがチョコレートケーキを食べられるようになったときを話しました。すると母はこう話してくださいました。

「クリス、ビクトリアの家族はあまりお金がなくて、毎週初等協会に行くのに子供4人のバス代を払うか、初等協会のクラスのためにチョコレートケーキの材料を買うか選ばなくてはいけなかったの。彼女は

いつもバスよりチョコレートケーキを選んで、彼女と子供たちはどんな天気でも、片道3キロ以上歩いていたのよ。」

その日わたしは彼女のチョコレートケーキにさらに感謝しました。何よりも、ビクトリアのケーキの秘訣は、仕える人々への彼女の愛と無私の犠牲だったことを知ったのです。

ビクトリアのケーキは、主が神殿のさい銭箱に向かって歩きながら弟子たちに教えられた、時代を超えた無私の犠牲の教訓を思い出させてくれます。皆さん御存じのお話です。ジェームズ・E・タルメイジ長老はこう教えました。さいせん箱が13個あり「人々はその箱の上に刻んである言葉の示すいろいろな目的に従い、各自寄付する金を入れていきました。イエスは、さいせんを入れている様々な人の列を見ておられました。「真心」からさいせんを入れている人もいれば、人を見てもらいたいと見えられるために「多くの金銀」を投げ入れている者もいました。

「多くの者の中に、一人の貧しいやもめがいました。彼女はやって来ると、……さいせん箱にレプタという小さな銅貨二つを入れました。それはアメリカのお金で1セントの半分以下の値段です。そこでイエスは弟子たちを呼び寄せ、この貧しいやもめとその行いに彼らの気持ちを向けさせ、次のように言われました。『よく聞きなさい。あの貧しいやもめは、さいせん箱に投げ入れている人たちの中で、だれよ

りもたくさん入れたのだ。みんなの者はありますから投げ入れたが、あの婦人はその乏しい中から、あらゆる持ち物、その生活費全部を入れたからである。』〔マルコ12:43-44〕」³

そのやもめには、目立った社会的地位はなかったようですが、もっと大切なものを持っていました。つまり、彼女には純粋な意図があり、持っていたすべてをささげたのです。彼女はほかの人々よりも少ない金額を、ほかの人々よりも目立たず、異なる方法でささげたかもしれません。ある人々の目には彼女のささげものは取るに足りないものと映ったかもしれませんが、「心の思いと志とを見分ける者である」⁴ 救い主の目から見れば、彼女はすべてをささげたのです。

姉妹の皆さん、わたしたちはためらいなくすべてを主にささげているでしょうか。若者が主を愛するよう学び、主の戒めを守るよう、わたしたちは時間と才能をささげているでしょうか。周りの人々や割り当て先の人々へ思いやりをもって勤勉にミニステッキングをしているでしょうか。そのために時間や労力を犠牲にしているでしょうか。神を愛し、御自分の子供たちを愛するようにとある二つの偉大な戒めを守っているでしょうか。⁵ その愛は奉仕としてよく表されます。

ダリン・H・オークス管長はこのように教えました。「救い主は、無私の奉仕に御自身のすべてをささげられました。そして、わたしたち一人一人が自分の利益を捨てて人々に仕えることで、主に従うようにと教えられました。」

そしてこう続けています。

「……自分を捨てて人のために奉仕する身近な例として、親が子供のために払う犠牲が挙げられます。苦しんで子供を産み、一人一人を育てながら、母親は自分で優先したいことや快適な生活を犠牲にします。父親は自分の生活と優先順位を変え、家族を養います。……

……また、体の不自由な家族や年老いた両親の世話をする人々がいることをうれしく思います。『自分の得になるだろうか』と考えながらこのような奉仕をする人はいません。こうした奉仕はすべて、無私の心で個人の都合を犠牲にすることが求められます。……

これらはすべて、何かを得るためではなく、与えるために行動し、奉仕するときに、わたしたちの幸福と充実感は増し加わるという永遠の原則を示しています。

救い主は、自分を捨てて人に仕えるのに必要な犠牲を払うことで、御自分に従うようにと教えておられます。」⁶

トマス・S・モンソン大管長も同様にこう教えました。「造り主と顔と顔を合わせて話すときに、恐らく『幾つの肩書きを持っていましたか』と聞かれることはないでしょう。むしろ『何人の人を助けました



か』と聞かれるでしょう。実際、主の民に仕えることで主に仕えるまで、主を愛することはできないのです。」⁷

言い換れば、心地良い椅子に座ろうが、後ろの列のさびたパイプ椅子に座ってなんとか集会を乗り切ろうが、それはどうでもよいことです。泣く赤ちゃんをあやすため、やむを得ずロビーに出てもまったく問題はないのです。重要なことは、奉仕をしたいという望みを持っていることです。

それはミニスタリングをすべき人に気づき、喜んでいさつをし、また、同じ列に座っている人には自己紹介をすることです。ミニスタリングをするよう割り当てられていなくても、友情の手を差し伸べるのです。わたしたちのすべての行動において、奉仕の特別な材料に愛と犠牲が伴うことが大切です。

初等協会の教師として成功する、あるいは勤勉な働きをするためにチョコレートケーキを作る必要はないことが分かりました。大切なのはケーキではなく、愛をもって行動することなのです。

愛は犠牲を通して神聖なものとされることを証します。教師の払う犠牲、そしてそれ以上に神の御子の究極で、永遠の犠牲がそれです。主が生きておられることを証します。わたしは主を愛しています。利己心を捨て、主がされるように人を愛しミニスタリングできるようにと望んでいます。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. 中央若い男性会長会「この驚くべき業」『リアホナ』2015年1月号, 49
2. ラッセル・M・ネルソン「ともに前進するにあたり」『リアホナ』2018年4月号, 7
3. ジェームズ・E・タルメージ『キリスト・イエス』第3版, 545。
4. 教義と聖約 33:1
5. マタイ 22:37, 39 参照
6. グリン・H・オーカス「無私の奉仕」『リアホナ』2009年5月号, 93, 96
7. "Great Expectations" (ブリガム・ヤング大学ディボーショナル, 2009年1月11日) 6, speeches.byu.edu





大管長会第二顧問
ヘンリー・B・アイリング管長

女性と家庭における福音学習

家庭における福音学習がさらに重視されていく中で、救い主は皆さんに果たすべき重要な役割を示した完全な模範であられます。

愛する姉妹の皆さんにお会いできるのはすばらしいことです。今は、末日聖徒イエス・キリスト教会において胸躍る時です。主は約束どおり、御自身の教会に知識を注いでおられます。

主がこう言われたのを御存じでしょう。「流水はいつまで濁ったままでいられようか。いかなる力が天をとどめるであろうか。全能者が末日聖徒の頭に天から知識を注ぐのを人が妨げようとするのは、人がそのか弱い腕を伸べて、定められた水路を流れるミズーリ川をとどめようとするようなもの、あるいは逆流させようとするようなものである。」¹

主が現在知識を分け与えておられるのは、主が御自分の民の頭と心に永遠の真理を注ぐ速度を速めておられることと一部関連しています。主は、御父の娘たちが、この奇跡的な知識の増進において重要な役割を果たすことを明らかにされています。家庭と家族における福音の指導をさらに強調するよう、主が生ける預言者を導いておられるのが、この奇跡の一つの証拠です。

「それがどう、忠実な姉妹たちが、主が聖徒たちに知識を注ぐのを助ける主力と

なることつながるのだろう」と思うかもしれません。主の答えは、「家族——世界への宣言」の中にはあります。聞き覚えのある言葉かもしれません、皆さんはこの言葉に新たな意味を見いだし、主が一連の胸躍る、現在起きている変化を予見しておられたことに気づくことでしょう。宣言の中で、主は姉妹たちに家族の中で重要な福音の教師となるよう、次のような言葉で責任を課しておられます。「母親には、子供を養い育てるという重要な責

任があります。」² これには、福音の真理と知識で養うことも含まれています。

宣言はさらに続きます。「父親と母親は対等のパートナーとして互いに助け合うという義務を負っています。」³ 夫婦は対等のパートナーであり、靈的に成長し、知識を会得する能力において等しいため、互いに助け合うことにより一致します。夫婦はともに昇栄するという神聖な行く末が同じであり、実際、男性と女性は、一人では昇栄できないのです。

では、この一致した対等な関係にある神の娘が、すべての人に不可欠な最も重要な栄養素、すなわち天からの真理の知識で養うという主要な責任を担っているのはなぜでしょうか。わたしの理解では、それがこの世に家族が創造されたころからの主の方法だからです。

例として、神のすべての戒めを守り、家族を築くため、知識の木の実を食べる必要がアダムにあるとの知識を得たのはエバでした。なぜエバが先にそれを得たのかは分かりませんが、その知識がアダムに注がれたときに、アダムとエバは完全に一致したのです。

人を養い育てるという女性の賜物を主が用いられた別の例としては、主がヒラマ





ンの息子たちを強められた方法があります。この話を読むと胸に熱いものがこみ上げてきて、わたしが兵役のために家を離れるときに母が語った静かな励ましの言葉を思い出します。

ヒラマンはこのように記しています。

「彼らは母親から、疑わなければ神が救ってくださると教わっていたのです。

そして彼らは、わたしに母親たちの言葉を告げて、『わたしたちは、母たちがそれを知っていたことを疑いません』と言いました。」⁴

わたしは、家族を養うという主要な責任を主が忠実な姉妹たちに与えられた理由のすべてを知っているわけではありませんが、それが皆さんの愛する能力と関連していることを確信しています。自分の必要よりも人の必要を感じ取るには、大いなる愛が必要とされます。それは、養う相手に対するキリストの純粋な愛であり、このような慈愛の心は、イエス・キリストの贖罪の効力を受けるにふさわしい、選ばれた養い手からもたらされます。「慈愛はいつまでも絶えることがない」という扶助協会のモットーは靈感されたものでしょう。わたしの母はこのモットーの模範でした。

神の娘である皆さんは、人の必要を感じ取り、愛するというすばらしい能力を生まれながらにして持っています。そのため、皆さんは御靈のささやきに対してより敏感であり、人々を養うために何を考え、語り、行うべきか御靈から導きを得ること

ができます。こうして、主から人々に知識と真理と勇気が注がれるのです。

この話を聞いている姉妹の皆さんはそれぞれ、人生の旅路の異なる地点にいます。初めて中央女性部会に出席している少女もいるでしょうし、神が望んでおられるような養い手となる備えをしている若い女性もいるでしょう。結婚後間もない、まだ子供のない妻や、何人か子供のいる若い母親もいるでしょう。10代の子を持つ母親や、子供が伝道地にいる母親もいるでしょう。信仰が弱まった、実家から離れて暮らしている子供を持つ母親もいるかもしれません。忠実な伴侶のいない一人暮らしの人や、孫のいる女性もいるでしょう。

個人的な状況がどうであれ、皆さんは神の家族の大切な一員ですし、将来かこの世か靈界でかは分かりませんが、皆さん自身の家族の重要な一員です。神は皆さんに、できるだけ多くの神の家族や自分の家族の一員を、愛と、主イエス・キリストを信じる信仰で養うよう期待しておられます。

実際の問題は、いつ、だれを、どのように養うかということですが、皆さんには、主の助けが必要です。主は人の心を御存じであり、人があなたの養いを受け入れる準備ができる時期も御存じです。信仰の祈りは、成功への鍵となります。主の導きに頼ることができます。

主はこう励ましておられます。「与えられると信じて、信仰をもって、わたしの名によって父に求めなさい。そうすれば、あ

なたがたは人の子らに必要なすべてのこととを示す聖靈を受けるであろう。」⁵

祈りに加え、聖典を真剣に研究することは、養うための力を増すのに欠かせません。主はこのように約束しておられます。「また、あなたがたは何を言おうかと、前もって思い煩ってはならない。ただ絶えず命の言葉をあなたがたの心の中に大切に蓄えるようにしなさい。そうすれば、それぞれの者に必要な部分が、必要なそのときに授けられるであろう。」⁶

祈り、深く考え、靈的な事柄について瞑想する時間をもっと取るなら、真理の知識が皆さんに注がれ、家族を養う力が増すでしょう。

もっと良い養い手となるにはどうすればよいかが、なかなか分からないと感じことがあるかもしれません。忍耐には信仰が必要です。救い主はこのように励ましておられます。

「それゆえ、善を行なうことに疲れ果ててはならない。あなたがたは一つの大いなる業の基を据えつつあるからである。そして、小さなことから大いなることが生じるのである。

見よ、主は心と進んで行う精神とを求める。そして、進んで行う従順な者は、この終わりの時にシオンの地の良いものを食べるであろう。」⁷

皆さんがこの場に参加していることは、養うようにといふ主の招きを進んで受け入れたいと思っている証拠です。今夜ここ



にいる中で最年少の皆さんにも同じことが言えます。皆さんも家族のだれを養うべきかを知ることができます。誠心誠意祈るならば、だれかの名前か顔が思い浮かぶことでしょう。何を行い、何を言うべきか分かるようにと祈るならば、答えを感じることでしょう。従うたびに、皆さんの養う力は増し、自分の子供を養う日に備えることができます。

10代の子供を持つ母親は、皆さんのがいに無反応に思える息子や娘をどう養えばよいか知るために祈ることができます。子供が必要としている靈的な影響力を持つ、子供に受け入れられる人が分かるよう祈ってもよいでしょう。神は、不安な母親のそのような心からの祈りを聞き、助けを送ってくださいます。

また、今日この場に、子供や孫の試練や困難のために心を痛めている姉妹がいるかもしれません。皆さんは、聖典にある家族の経験から勇気と導きを得ることができます。

エバとアダムの時代から父イスラエル、モルモン書の様々な家族に至るまで、無反応な子供への悲しみにどう対処すればいいかということに関して、共通するある教

訓があります。それは、愛することをやめない、ということです。

天の御父の反抗的な靈の子供たちを養われた救い主の模範が励みとなります。彼らやわたしたちが苦痛を引き起こしていたとしても、救い主の手は伸ばされたままなのです。⁸ 主は第3ニーファイの中で、養おうとしたものの、うまくいかなかつた靈の兄弟姉妹についてこのように語られています。「おお、……イスラエルの家に属する者……よ。めんどうが羽の下にひなを集めるように、わたしはあなたがたを幾度集め、養ってきたことか。」⁹

人生の旅路の様々な段階にいる、様々な家族の状況を抱えた、文化の異なる姉妹の皆さん、家庭と家族における福音学習がさらに重視されていく中で、救い主は皆さんに果たすべき重要な役割を示した完全な模範であられます。

皆さんに生来備わっている慈愛の心が、家族の活動や習慣に変化をもたらす、それが、さらなる靈的な成長をもたらすことでしょう。家族とともに、家族のために祈るときに、家族に対する自分の愛と救い主の愛を感じ、求めるときに、靈的な賜物としてその愛をさらに受けるでしょう。皆

さんがさらに信仰を込めて祈るときに、家族はそれを感じることでしょう。

家族で集まって声に出して聖文を読むとき、皆さんはすでにその箇所を読み、何度もそれについて祈って備えていることでしょう。また、御靈が思いを照らしてくださるよう、時間を見つけて祈っていることでしょう。自分が読む番が来ると、家族はあなたが神と神の言葉を愛しているのを感じ、家族は主と主の御靈により養われることでしょう。

祈り、計画するなら、家族のどのような集まりであろうと、同様に豊かな経験ができるのです。努力と時間を要するかもしれません、奇跡はもたらされます。幼いころに母から教わったあるレッスンを覚えています。母が作ってくれた使徒パウロの旅の色付きの地図を今でも思い浮かべることができ、それを作る時間やエネルギーをどうやって見つけたのだろうと思うのです。わたしは今でも、その忠実な使徒に対する母の愛から祝福を受けています。

皆さんは各々、回復された主の教会において家族に真理を豊かに注ぐため貢献する方法を見いだすことができます。祈り、研究し、自分なりの方法でどう貢献できるかを一人一人が深く考えるのです。わたしは、神の御子のくびきをともにしている皆さん一人一人が、福音を学び、福音に従って生活するという奇跡の重要な一部となり、イスラエルの集合を速め、神の家族を主イエス・キリストの栄えある再臨に備えることができると確信しています。イエス・キリストの聖なる御名により、アーメン。■

注

1. 教義と聖約 121:33
2. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2017年5月号, 145
3. 「家族——世界への宣言」145
4. アルマ 56:47 – 48
5. 教義と聖約 18:18
6. 教義と聖約 84:85
7. 教義と聖約 64:33 – 34
8. 2ニーファイ 19:12, 21 参照
9. 3ニーファイ 10:4



大管長会第一顧問
ダリン・H・オーカス管長

親と子供たち

天の御父の偉大な幸福の計画は、あなたが何者であるか、また人生の目的は何かを明らかにしています。

愛する姉妹の皆さん、8歳以上の教会の女性のための新しい部会が開けることは、何とすばらしいことでしょう。わたしたちは、指導者である姉妹たちとアイリング管長の靈感あふれる話をきました。アイリング管長とわたしは、ラッセル・M・ネルソン大管長の指示の下で働くことを心からうれしく思います。預言者の話を楽しみにしています。

I.

永遠に増し加わるもの、つまり神から授かった最も貴い賜物は、子供です。とこ

ろがわたしたちは、出産や子育てに携わりたくないと考える女性が多くいる時代に住んでいます。多くのヤングアダルトは、物質的な必要が満たされるまで結婚を遅らせています。わたしたちの教会の会員の平均結婚年齢は2歳以上高くなっています。教員の出生数は減少しつつあります。アメリカ合衆国をはじめとする一部の国は、将来退職する成人の数を支えることになる子供の数があまりにも少ないという現実に直面しています。¹ アメリカ合衆国では40%以上の子供が、未婚の母親から生まれています。そうした子供たち

は不安にさらされています。こうした傾向はいずれも、御父の神聖な救いの計画に反しています。

II.

末日聖徒の女性は、母親であることは最優先事項であり、無上の喜びであることを理解しています。ゴードン・B・ヒンクリー大管長は、次のように語っています。「大部分の女性は、家庭と家族の中に最大の満足感と幸福を見いだします。神は女性の内面に、神聖な特質を植え付けられました。それらは、穏やかな強さ、優雅さ、平安、善良さ、美德、誠実、愛といった形で表れます。こうしたすばらしい資質は、母親の務めの中にこそ最も真の姿が現れ、最大の満足感を与えるのです。……」

そしてこう続けています。「女性がなし得る最大の働きは、義と真理のうちに子供たちを養い、教え、生活し、励まし、育てることです。現在どんな仕事に就いていようとも、この働きに匹敵する業はほかにありません。」²

母親である愛する姉妹の皆さん、わたしたちは皆さんを愛しています。皆さん的存在、また皆さんのがすべての人のためにしてくださることに心から感謝しています。

2015年に行われた重要な説教「姉妹たちへの懇願」の中で、ラッセル・M・ネルソン大管長はこのように述べています。

「神聖な聖約を交わし、それを守る女性、神の力と権能をもって語ることできる女性がいなければ、神の王国は完全ではありませんし、そうはなりません。……

今日、……わたしたちは信仰を行使して、価値あることを起こす方法を知っている女性、罪の蔓延する世界で道徳や家族を雄々しく擁護する女性が必要です。聖約の道を、昇栄を目指して歩めるように、神の子供たちを献身的に導く女性が必要です。個人の啓示を受ける方法を知っている女性、神殿のエンダウメントから得ら





れる力と平安を理解している女性、子供と家族を守り、強めるために天の力を呼び求める方法を知っている女性、恐れることなく教える女性が必要です。」³

これらの靈感あふれる教えはすべて、「家族——世界への宣言」に基づいたものです。この宣言の中で、この回復された教会は、地球の創造以前に創造主がお立てになった計画の中心となる教義と慣習を再確認しています。

III.

さて、若い世代の皆さんにお話しします。若い姉妹の皆さん、イエス・キリストの回復された福音を知っている皆さんは、際立った存在です。その知識により、皆さんは成長に伴う困難に耐え、克服することができるのです。皆さんは幼いころから数々のプロジェクトやプログラムを通して、書く力や話す力、計画をする力などを身につけてきました。また、責任を持って行動することを学び、うそ、ごまかし、盗み、アルコールや薬物への誘惑に対抗する方法を学んできました。

皆さんが特別であることは、アメリカの10代と宗教に関する、ノースカロライナ大学の研究で認められています。現地の新聞「シャーロット・オブザーバー」(Charlotte Observer) の記事には、「研究の結果、モルモンの10代は、同世代の中で思春期を乗り越えるのが最も上手であると判明」という見出しが付けられています。記事によると、「モルモンは、危険な行動を避け、

学校で良い成績を収め、将来に対して前向きな姿勢で臨むことに関する調査で最高の数値を記録した」と伝えられています。教会の多くの青少年にインタビューした調査員の一人は、こう言っています。「我々が調査した項目の大半において、明確なパターンがありました。モルモンが最も優れていましたのです。」⁴

皆さんが、思春期に伴う困難に最もよく対処できるのはなぜでしょうか。若い女性の皆さん、それは皆さんが、天の御父の偉大な幸福の計画を理解しているからです。この計画は、あなたが何者であるか、また人生の目的は何かを明らかにしています。このことを理解している青少年は、問題を解決するのも、正義を選ぶことも、いちばん上手です。皆さんは、思春期の様々な困難を克服するに当たって、主の助けを頂くことができると知っているからです。

皆さんが最も際立っているもう一つの理由は、皆さんが自分を愛しておられる天の御父の子供であるということを理解しているためです。「最愛の子供たち、主は近くにおられる」(Dearest Children, God Is Near You) という題名のすばらしい賛美歌があります。だれもが歌い、信じている1番の歌詞には、こうあります。

最愛の子供たち、主は近くにおられる
昼も夜も見守ってくださる
神の子らを喜んで祝福してください
あなたが正義を行うよう努めるならば⁵

この歌詞には、二つの教えが含まれています。まず、天の御父はわたしたちの近くにおられ、朝も夜も見守ってくださっています。考えてみてください。神はわたしたちを愛しておられ、すぐ近くで見守ってくださっているのです。第2に、神は「正義を行いうよう努める」人を喜んで祝福してください。不安と困難の只中にあって、何という慰めでしょう。

そうです、若い女性の皆さんは祝福されたすばらしい女性です。それでも、天の御父のすべての子供と同様、「正義を行いうよう努める」必要があります。

勧告できることは幾つもありますが、ここでは二つだけ選んでお話しします。

最初の勧告は、携帯電話に関するものです。最近の全国調査によると、アメリカ合衆国の10代の半数以上が、携帯電話にあまりにも多くの時間を費やしています。40パーセント以上の若者が、スマートフォンが手元にないと不安を感じる、と答えているのです。⁶ この傾向は一般的に、少年よりも少女に強く見受けられます。若い姉妹の皆さん、また成人女性の皆さんも、携帯電話の使用と依存を制限するなら、皆さんの生活に祝福がもたらされることでしょう。

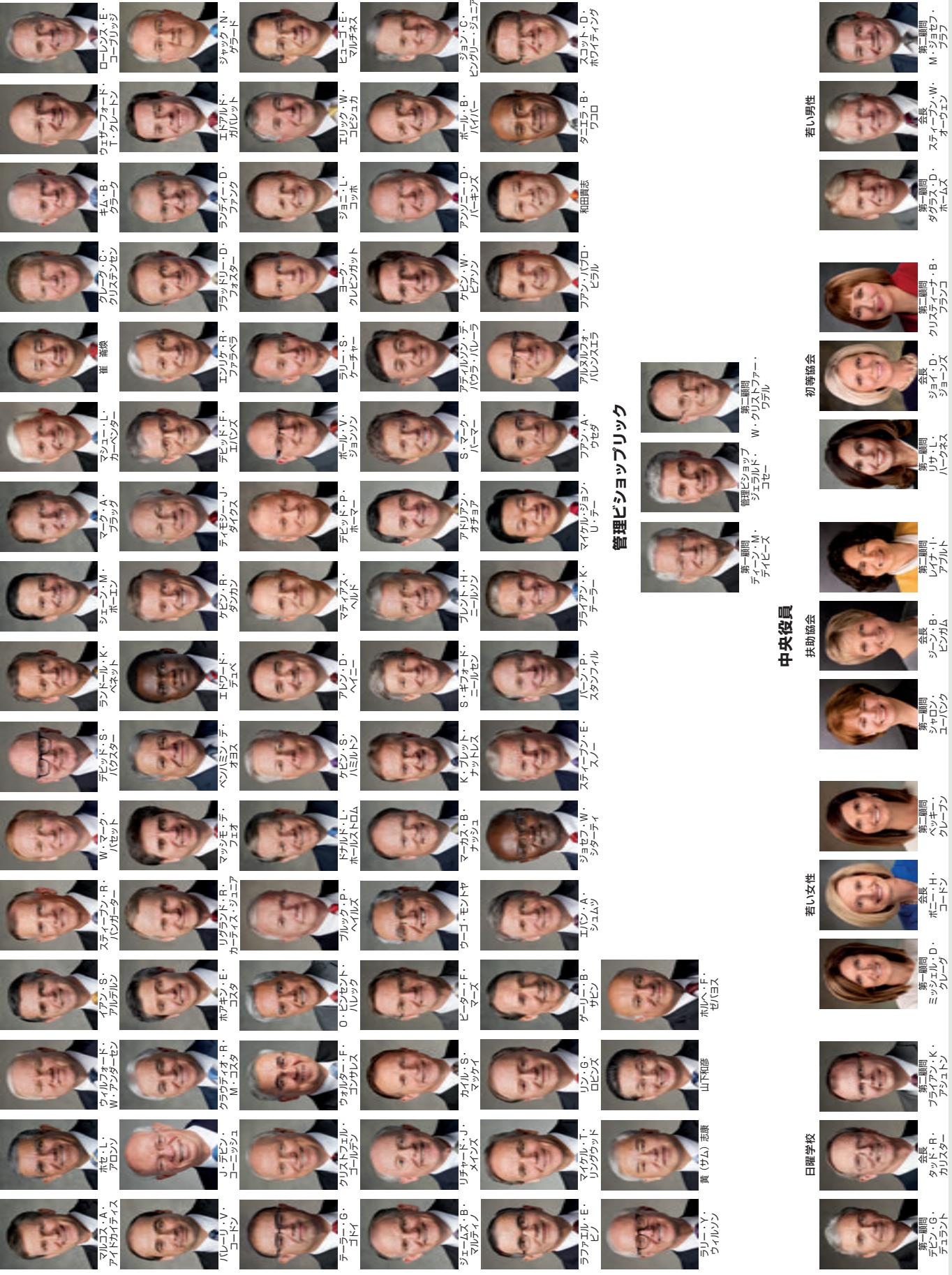
二つ目の勧告は、さらに重要です。周囲の人に優しくしてください。すでに多くの青少年が、何かしら親切な行いをしています。幾つかの地域の青少年グループは、わたしたち皆に、その方法を示してくれています。愛や助けの必要な人々に対する、教会の若人の親切な行いに、わたしたちは感化されてきました。そして皆さんも様々な方法で人を助け、愛を示し合っています。わたしたちはすべての人が皆さんの模範に従うよう望んでいます。

反対に、サタンはわたしたち皆に、不親切であるよう働きかけています。こうした例は、子供や青少年の中にさえも多く見られます。この世にはびこる不親切は、いじめ、集団での攻撃、あるいは集団でだれか



中央幹部七十人
(ア) フアベット(眞)

順治朝



2018年10月



を仲間外れにするなど、様々な名前で知られています。こうした例は、クラスメートや友達を意図的に傷つけるものです。若い姉妹の皆さん、人に冷たくしたり、意地悪をしたりすることを、主は喜ばれません。

一つの例を紹介しましょう。ここユタ州で難民として暮らす、ある知り合いの若い男性は、母国語を日々話すことも含め、周りと違うことをからかわっていました。優位な立場にある青少年グループから嫌がらせを受け、とうとう仕返しをして、70日以上も拘留され、国外追放を検討されることとなってしまいました。この青少年グループの多くは、皆さんと同じ末日聖徒です。何が彼らを驅り立てたのかは分かりませんが、卑劣な行いの結果、神の子供の一人が悲劇と苦痛を味わったのです。たわいもない不親切な行いが、深刻な事態を招くことがあります。

この話を聞いたとき、わたしはそれを、預言者ネルソン大管長が最近のワールドワイド・ユースディボーショナルで話した事柄と比較しました。皆さんとすべての青少年に向けて、イスラエルの集合を助けるよう呼びかける中で、ネルソン大管長はこのように言いました。「世の中から際立ち、異なった者にな〔ってください〕。御存じのように、さんは世の光となる必要があります。そのため、主は皆さんに、外見、言葉、行い、服装においても、イエス・キリストの眞の弟子と見なされるようにすることを求めておられます。」⁷

ネルソン大管長が皆さんに加わるよう招いた青少年の大隊は、互いに意地悪などしないでしょう。救い主の教えに従い、人に手を差し伸べ、愛と思いやりを示し、不当な扱いを受けたと感じるときには別の顔を向けることさえするでしょう。

皆さんの多くが生まれたころの総大会で、ゴードン・B・ヒンクレー大管長は、「福音に従って生活しようと努めている、麗しい若い女性」を称賛しています。わたしも皆さんに対して同じように、こう感



じています。

「彼女たちは互いに対し寛容です。強め合おうとしています。彼女たちは、両親や育っている家庭の誇りです。彼女たちは一人前の女性になりつつあり、今自分たちを動機づけている理想を生涯にわたって抱き続けることでしょう。……」⁸

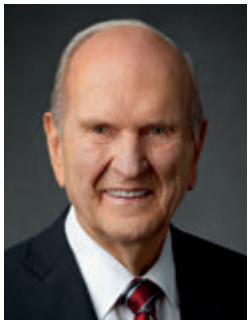
主の僕として、若い女性の皆さんに申し上げます。この世は皆さんの善良さと愛を必要としています。互いに親切にしてください。イエスはわたしたちに、互いに愛し合うように、また自分にしてほしいことを人にもするようにと教えられました。親切になろうと努力するとき、わたしたちは主と主の愛に満ちた影響力にさらに近づきます。

愛する姉妹の皆さん、個人でもグループでも、どのような卑劣なことやくだらないことであろうと、そうした行いに加わっているなら、今すぐ自分を変え、周りの人にも変わらよう勧めると決意してください。以上がわたしの勧告です。この大切なテーマについて話すよう御靈の促しを受けたので、主イエス・キリストの僕として、皆さんにこの勧告を与えます。御自身が愛されたように互いに愛し合うようにと教

えられたイエス・キリストについて証します。わたしたちがこの教えに従えるよう、イエス・キリストの御名によって祈ります、アーメン。■

注

1. See Sara Berg, "Nation's Latest Challenge: Too Few Children," AMA Wire, June 18, 2018, wire.ama-assn.org
2. *Teachings of Gordon B. Hinckley* (1997), 387, 390; M・ラッセル・バラード「母と娘」『リアホナ』2010年5月号, 18も参照; «わたしの王国の娘——扶助協会の歴史と業』156で引用
3. ラッセル・M・ネルソン「姉妹たちへの懇願」『リアホナ』2015年11月号, 95–97; ラッセル・M・ネルソン「誓約にあずかる者」『聖徒の道』1995年7月号, 37も参照
4. The study was published by the Oxford University Press as *Christian Smith and Melinda Lundquist Denton, Soul Searching: The Religious and Spiritual Lives of American Teenagers*, (2005).
5. "Dearest Children, God Is Near You," Hymns, no. 96
6. See "In Our Opinion: You Don't Need to Be Captured by Screen Time," Deseret News, Aug. 31, 2018, deseretnews.com.
7. ラッセル・M・ネルソン「シオンのつわもの」(2018年6月3日, 青少年対象のワールドワイド・ディボーショナル)
8. ゴードン・B・ヒンクレー「さらに親切になる必要性」『リアホナ』2006年5月号, 61



ラッセル・M・ネルソン大管長

イスラエルの集合への 姉妹の参加

わたしは、預言者として教会の女性の皆さんに切にお願いします。散らされたイスラエルの集合を助けて未来を形作ってください。

愛する貴い姉妹の皆さんとご一緒にできるのは、すばらしいことです。恐らく、最近経験したこと話をせば、わたしが皆さんについて感じていることと、皆さんに与えられている崇高な能力とを、垣間見てもらえるのではないかでしょうか。

ある日、南米で教会員に向けて話しているときに、テーマに熱が入り、ここぞというときにわたしはこう言いました。「わたしは10人の子供の母ですから、こう申し上げることができます……。」そして、言葉を続け、話を終えました。

わたしは「母」という言葉を使ったことに、自分では気づいていませんでした。通訳者は言い間違いだと思って、「母」という言葉を「父」と訳しましたから、会場にいた人々はわたしが自分のことを「母」と言ったことを知りません。しかし、妻のウェンディーはそれを聞いて、わたしの「フロイト的失言」(訳注：言い間違いによって本心や無意識の願望などを表現してしまうこと)を喜んでいました。

そのときわたしは、母親のみができる方法で世界を変えたいと、心の奥底から望んでいたために、思わず言葉を出てしまつたと思いました。長年の間、わたしは、なぜ

医師になることを選んだのかと聞かれる度に、必ずこう答えてきました。「母親になることを選ぶことはできなかったからです。」

わたしが「母」という言葉を使うときは、この世で子供を産んだり養子に迎えたりした女性だけを指しているのではないことに、ご注意ください。天の両親の成人した娘たち全員のことを言っているのです。すべての女性は母親です。それは、神から永遠の行く末に通じる徳を受けているからです。

そこで今晚わたしは、一男九女の10人の子供の父親として、そして、教会の大管長として、皆さんについて、皆さんが何者であるかということと、皆さんすべての善い行いについて、心の底からどう感じているかを知っていただけるようにと祈ります。義にかなった女性にしかできないことがあります。母親の影響力を与えることのできる人は、母親のほかにはいません。

確かに男性も、しばしば天の御父と救い主の愛を人に伝えることができます。しかし、女性にはそれを行う特別な賜物、神から授かった賜物があるのです。皆さんには、人に必要なことを、必要なときに察知する能力があります。だれかが困っているまさにそのときに、手を差し伸べ、慰

め、教え、力づけることができます。

女性のものの見方は、男性とは違います。そして、わたしたちは女性の視点をどれほど必要としていることでしょうか。女性は本能的に、ほかの人を第一に考えます。ある行動がほかの人々に与える影響を考えるのです。

アイリング管長が指摘したように、「堕落」と呼ばれるものの発端となる行動を取ったのは、天の御父の計画を幅広く理解していた栄光ある母、エバでした。彼女の賢く勇気ある選択と、それを支えたアダムの決断が、神の幸福の計画を前進させたのです。アダムとエバは、わたしたち皆がこの地上に来て、肉体を受け、前世でしたようにこの世でもイエス・キリストを擁護することを証明できるようにしました。

愛する姉妹の皆さん、皆さんには特別な靈的賜物と性質があります。わたしは今晚、心の望みをすべて託して、皆さんにお願いします。自分に与えられた靈的な賜物を理解できるよう祈ってください。そして、その賜物を育て、活用し、これまでになかったほど強化するのです。これを行うならば、皆さんは世界を変えるでしょう。

女性として皆さん、人々を啓発し、見



倣う価値のある標準を示しています。前回の総大会で行われた二つの大きな発表の背景を少し話しましょう。愛する姉妹の皆さんには、そのどちらにも欠かせない存在でした。

第1に、ミニスタリングです。ミニスタリングの崇高な基準は、救い主イエス・キリストの基準です。一般的に、女性は男性よりもその基準に近いのです。今まで常にそうでした。ほんとうの意味でのミニスタリングをしているとき、皆さんは救い主の愛をほかのだれかにもっと感じてほしいという気持ちに動かされています。ミニスタリングをしたいという自然な気持ちが、義にかなった女性には元々あるのです。毎日こう祈る女性を、わたしは知っています。「今日わたしにだれを助けることをお望みですか。」

人を愛するさらに崇高で神聖な方法に関するこの発表が2018年4月になされるまで、男性の中には、ホームティーチングの割り当てが済むと「済」の印を付けてリストから外し、次の作業に取りかかるような傾向のある人がいました。

しかし皆さんは、訪問先の姉妹が困っていることを察したとき、即座に対応して、それからその月の間ずっと助けました。ですから、より高いミニスタリングという方法に変わったのは、皆さんの家庭訪問の仕方に啓発されたからなのです。

第2に、前回の総大会では、メルキゼデク神権定員会の再編成もありました。教会の男性たちがその責任をさらに効果的に果たせるようにするにはどんな助けをすればよいのか祈って検討する際に、わたしたちは扶助協会の例を綿密に調べたのです。

扶助協会では、様々な年齢、様々な人生の局面にいる女性たちが一堂に会します。どの人生の局面にもそれなりの苦勞がありますが、そこに皆さんがいて、毎週交流し、成長しながら福音を一緒に教え、ほんとうに世の中のためになる影響を与



えているのです。

さて、皆さんの例に従うと、メルキゼデク神権者は長老定員会の一員です。この男性たちの年齢層は18歳から98歳（もしくはそれ以上）で、やはり、神権の経験も教会での経験も多岐にわたっています。この兄弟たちはさらに強い兄弟愛で結ばれ、一緒に学び、さらに効果的に人々を祝福することができるようになりました。

去る6月、ネルソン姉妹とわたしが、教会の青少年を対象に話をすることを皆さんは覚えているでしょう。わたしたちは、主の青少年の大隊に進んで加わり、幕の両側からイスラエルの集合を助けるようにと彼らに勧めました。この集合は、今日この地上で最も大いなるチャレンジであり、最も大いなる大義であり、最も大いなる業です。¹

この大義にはどうしても女性が必要です。なぜなら、女性は未来を形作るからです。ですから、今晚わたしは、預言者として教会の女性の皆さんに切にお願いします。散らされたイスラエルの集合を助けて未来を形作ってください。

何から始めればよいのでしょうか。

4つのことをお勧めします。

第1に、ソーシャルメディアと、否定的な考え方や清くない思いを皆さん的心に持ち込むそのほかのメディアを断つという、メディア断食を10日間行うようお勧めし

ます。この断食の間にどのメディアの影響を断てばよいのか分かるよう、祈ってください。10日間の断食の成果に、皆さんは驚くことでしょう。自分の靈を傷つけてきたこの世的なものの見方を一休みしたら、皆さんはどんなことに気づくでしょうか。自分の時間と労力を今度はどこに費やしたくなるでしょうか。優先順位は、ほんの少しでも変わるでしょうか。感じたことを一つ一つ書き留めて、実行するようお願いします。

第2に、モルモン書を、今から年末までの間に読むようお勧めします。生活の中でやりくりしていることがほかにあるから無理だと思えるかもしれません。しかし、もしも十分に固い決意をもってこの勧めを受け入れるならば、成し遂げる方法が見つかるよう主が助けてくださいます。しかも、よく祈ってモルモン書を研究するならば、天が開くことをわたしは約束します。主が靈感と啓示をますます豊かに祝福してくださいになるでしょう。

読む際に、救い主について述べているすべての節に印を付けるようお勧めしたいと思います。そして、家族や友達とともに、意識的にキリストのことを話し、キリストのことを喜び、キリストのことを宣べ伝えてください。² この過程で、皆さんも彼らも、救い主に近づきます。そして、変化が起こり、奇跡さえも起こり始めるでしょう。



今朝、日曜日の新しいスケジュールと、家庭中心で教会がサポートする教科課程について発表がありました。愛する姉妹の皆さん、皆さんは、この新しいバランスの取れた、調整された福音教授法の成功への鍵となります。聖文から学んだことを、どうか、愛する人々に教えてください。罪を犯したときには、救い主の癒しと清めの力にどう頼ればよいのかを彼らに教えてください。そして、人生で毎日、主の、人を強める力にどう頼ればよいのかを教えてください。

第3に、定期的な神殿参入の習慣を確立してください。そのためには、生活の中でもう少し犠牲を払わなければならないかもしれません。もっと定期的に神殿にいる時間を作るならば、主の神殿で授けられた、主の神権の力に頼る方法を、主から教えていただくことができるようになります。神殿が近くにない人には、聖文や生ける預言者の言葉の中から、よく祈って神殿について調べるようお勧めします。神殿について、これまでになかったほど知ろうと努力し、理解しようと努力し、感じようと努力してください。

去る6月、青少年のためのワールドワイド・ユース・ディボーショナルで、わたしは、自分のスマートフォンを親に折り畳み式の携帯電話に変えられたことで人生が変わった若い男性について話しました。この若い男性の母親は、恐れを知らない信仰ある女性です。この母親は、息子が伝道に出る選択をしなくなるような方向に道をそれつつあるのを見て、神殿に行き、息子を助けるのにいちばん良い方法を知ろうと必死で祈りました。そして、受けた答えにすべて従ったのです。

こう言っています。「息子の携帯を特定の時間に見て特定のことを見つけるよう御

靈が導くのを感じました。スマートフォンなどの見方は分かりませんが、御靈の導きのおかげで、自分では使ってさえいないソーシャルメディアを全部見ることができました。子供を守るために導きを求める親を、御靈は助けてくれるのです。〔最初、〕息子はわたしに激怒しました。……でも、わずか3日後には、感謝の言葉を言ってきました。息子は違いを感じることができたようです。」

息子さんの行動と態度が劇的に変わったそうです。家でよく手伝うようになり、笑顔が増え、教会にも身が入るようになりました。神殿のバプテスマ室で奉仕する時間や伝道の準備が大好きだったそうです。

4つの勧めは、成人の皆さんに對象で

扶助協会の目的

扶助協会は、女性たちが以下の事柄を行うことによって、永遠の命の祝福に備えられるように助ける。

- 天の御父とイエス・キリストと主の贖罪を信じる信仰を深める。
- 儀式と聖約を通して個人と家族、家庭を強める。
- 困っている人を助けるために一致して働く。

「扶助協会の目的」は、lds.org/callings/relief-society/purposesあるいは配達センターで入手可能

ですが、扶助協会にしっかりと参加することです。現在の扶助協会の目的の文言を研究してください。啓發されます。皆さんのが自分の人生の目的を文章化する際に役立つかもしれません。また、20年ほど前に発表された扶助協会の宣言に書かれている真理をよく味わうこともお勧めします。³ この宣言の写しは、額に入れて大管長会のオフィスの壁に掛けてあります。それを読む度に、わたしはうれしくなります。ここには、散らされたイスラエルの集合を助けるために自分の役割を果たすまさに今この時に、皆さんのが何者であるか、主が皆さんにどんな人物になってほしいと思っておられるかが書かれています。

愛する姉妹の皆さん、教会には皆さんが必要です。わたしたちは、「皆さんの力、皆さんの改心、皆さんの確信、皆さんの指導力、皆さんの知恵、そして皆さんの声を必要としています。」⁴ 皆さんなしでは、イスラエルの集合などできません。

皆さんを愛し、皆さんに感謝しています。そして今、この重大な急務を助ける際に世を引き離すことのできる力を、祝福として皆さんに与えます。力を合わせれば、愛する御子の再臨に世を備えるために天の御父がわたしたちに行うよう望んでおられるることを、わたしたちはすべて行うことができます。

イエスはキリストであられます。この教会は主の教会です。このことをイエス・キリストの御名により証します、アーメン。■

注

1. ラッセル・M・ネルソン「シオンのつわもの」（2018年6月3日、青少年対象のワールドワイド・ディボーショナル）
2. 2 ニーファイ 25:26 参照
3. これらの文書のコピーはオンラインで見ることができます。扶助協会の目的については、lds.org/callings/relief-society を参照。扶助協会の宣言については、メアリー・エレン・スマート「シオンの娘よ、喜び歌え」『リアホナ』2000年1月号、110–113を参照。
4. ラッセル・M・ネルソン「姉妹たちへの懇願」『リアホナ』2015年11月号、96 参照。強調付加



十二使徒定員会会長代理
M・ラッセル・バラード会長

死者の贖いに関する示現

ジョセフ・F・スミス大管長が受けた啓示が真実であることを証します。すべての人がそれが真実であると知ることができると証します。

兄 弟姉妹の皆さん、わたしの話は、最愛の妻バーバラが亡くなる少し前に準備したものです。わたしと家族は、皆さんの愛と優しさに感謝しています。今朝、皆さんにお話するに当たり、主が祝福してくださるように祈っています。

100年前の1918年10月、ジョセフ・F・スミス大管長は、栄光に満ちた示現を受けました。末日聖徒イエス・キリスト教会においてほぼ65年間献身的に主に仕えてから、1918年11月19日に死去する数週間前に、スミス大管長は自分の部屋に座り、キリストの贖いの犠牲に思いをはせ、救い主が十字架上で亡くなられた後に靈界で教え導かれたことに関する使徒ペテロの文章を読んでいました。

そしてこう記しました。「わたしは……読んでいたときに、……深く胸を打たれた。……これらのことを深く考えていると、わたしの理解の目が開かれ、主の御靈がわたしのうえにとどまった。そして、死者が……群れを成しているのが見えた。」¹ この示現の全文は、教義と聖約第138章に記録されています。

このすばらしい啓示を受ける備えとなったジョセフ・F・スミス大管長の生涯をもっとよく理解できるように、生い立ちを少し紹介しましょう。

彼は大管長だった1906年にノーブーを訪れ、5歳だったころの思い出を振り返ってこう言いました。「[おじのジョセフと父のハイラムが]馬でカーセージに向かうとき、わたしはまさにこの場所に立っていました。父は馬から降りずに鞍から身を乗り出して、わたしを抱き上げました。さよならのキスをして、わたしを地面に下ろし、馬に乗って去っていきました。」²

次にジョセフ・F・スミスが二人を見たのは、彼らがカーセージの牢獄で無惨に殺害された1844年6月27日のことでした。母親のメアリー・フィールディングに抱き上げられて、ジョセフ・F・スミスは二人が殉教者として並んで横たえられているの目にしました。

2年後、ジョセフ・F・スミスとその家族は、信仰深い母親メアリー・フィールディング・スミスとともに、ノーブーの自宅を後にしてウインタークォーターズに向いました。まだ8歳になつてないジョセ

フでしたが、1組2頭の雄牛を御してアイオワ州モントローズからウインタークォーターズまで行くことが求められました。その後ソルトレーク・バレーに向かい、到着したときはほぼ10歳でした。男の子や若い男性の皆さん、少年時代のジョセフ・F・スミスに課された責任と期待を聞いて、理解してほしいと思います。

わずか4年後の1852年、13歳のときに、愛する母親が亡くなり、ジョセフと彼の兄弟姉妹は孤児になりました。³

ジョセフは1854年、15歳のときにハワイ諸島で伝道する召しを受けました。この伝道は3年以上続き、教会で奉仕する生涯の始まりでした。

ユタ州に戻ったジョセフは1859年に結婚しました。⁴ それから数年間の生活で、仕事、家族の責任、さらに2度の伝道に出ました。1866年7月1日、27歳のときに、ブリガム・ヤング大管長によって使徒に聖任され、ジョセフの生活は永遠に変わりました。翌年の10月に、十二使徒評議会の空席を埋めました。⁵ そしてブリガム・ヤング、ジョン・ティラー、ウィルフォード・ウッドラフ、ロレンゾ・スナーの顧問を務め、1901年に大管長になりました。⁶





1918年10月、栄光に満ちた示現の中で、ジョセフ・F・スミス大管長は彼の父ハイラム、そして預言者ジョセフ・スミスを見た。

ジョセフ・F・スミスと妻のジュリアは、最初の子供、マーシー・ジョセフインを家族に迎えました。⁷ 彼女はわずか2歳半で亡くなりました。間もなくして、ジョセフはこう記しました。「……愛するジョセフインが亡くなつて昨日で1か月になる。ああ、娘が女性へと成長できるように、命を救うことができていたら。毎日あの子が恋しく、寂しくてならない。……わたしの幼い子供たちをこれほど愛するのが間違っているなら、神よ、わたしの弱さをお赦しください。」⁸

スミス大管長は生涯で、父親、母親、1人の兄弟、2人の姉妹、2人の妻、そして13人の子供の死に遭遇しました。愛する人を失うことやその悲しみをよく知っていました。

息子のアルバート・ジェシーが亡くなつたとき、ジョセフが妹のマーサ・アンに書いた手紙によれば、彼は息子の命を助けてくださるよう主に嘆願し、尋ねました。「なぜなのですか？ おお、神よ、なぜこうならねばならないのですか？」⁹

そのときの祈りにもかかわらず、ジョセフはこの問い合わせに何の答えも受けませんでした。¹⁰ 彼はマーサ・アンに言いました。死と靈界に関して、「天は〔まるで〕、

真鍮で覆われている〔かのようだ〕。」しかし、主の永遠の約束に対する彼の信仰は、確固として揺らぎませんでした。

主の定められた時に、求めていた靈界についてのさらなる答えと慰め、そして理解が、1918年10月に受けた驚嘆すべき示現を通して、スミス大管長に与えられました。

この年は、大管長にとって特につらい年でした。第一次世界大戦の犠牲者が増え続けて2千万人を超えたことを深く悲しんでいました。さらに、インフルエンザが世界中で大流行して、1億人の命が奪われました。

その年にスミス大管長も、3人の大切な家族を失いました。彼の長男でわたしの祖父でもある、十二使徒定員会のハイラム・マック・スミス長老は、虫垂破裂で突然亡くなりました。

スミス大管長はこう書いています。「悲しみのあまり、言葉にならない。心は張り裂け、生きる気力もない。……ああ、愛する息子……。いつまでもずっと愛している。それはわが子全員に対して言えることだが、あの子はわたしの最初の息子、人々から常に信望を得て、喜びと希望をもたらしてくれた最初の子だ。わたしは息子

を授けてくださったことを心の底から神に感謝している。しかし、……ああ、わたしにはあの子が必要だった！ だれもが必要としていた。教会にとってとても役立つ存在だった。……そして今……ああ、どうすればいいのか！ ……ああ、神よ、わたしを助けたまえ。」¹¹

翌月、スミス大管長の義理の息子、アロンゾ・ケスラーが、悲惨な事故で亡くなりました。¹² スミス大管長は日記にこう記しました。「このとても悲惨で、胸が張り裂けるような死亡事故により、わたしの家族全員が再び深い悲しみに沈んだ。」¹³

7か月後の1918年9月に、スミス大管長の義理の娘で、わたしの祖母にあたるアイダ・ボーマン・スミスが、5番目の子供である、わたしのおじハイラムを産んすぐり亡くなりました。¹⁴

こうして1918年10月3日、世界中で戦争や病気により犠牲になった数百万人のことや、亡くなった自分の家族のこと、深い悲しみを経験したスミス大管長は、「死者の贖いに関する示現」として知られる天からの啓示を受けたのです。

その翌日、大管長は10月総大会の最初の部会の中でその啓示について触れました。スミス大管長の健康状態は弱っていましたが、簡潔にこう話しました。「今朝わたしの胸の内にある多くの事柄について話すことはあえてしません。わたしの思いと心に宿る幾つかの事柄を皆さんに話すのは、主の御心にかなう将来のときまで延ばそうと思います。この5か月間、わたしは独りではありませんでした。祈りと、嘆願と、信仰と、決意の精神をもって生活し、主の御靈と絶え間なく交わっていました。」¹⁵

10月3日に受けた啓示は、大管長の心を慰め、多くの疑問に答えました。この啓示を研究し、毎日の生活の中でその重要性について深く考えることにより、死んで靈界に行く自分自身と愛する人たちの将来について、わたしたちも慰めを受け、さ

らに学ぶことができます。

スミス大管長が見た多くの事柄の中に、十字架上での死後、救い主が靈界の忠実な靈を訪れたことがありました。示現から引用します。

「見よ、主は義人の中から軍勢を組織し、力と権能をもった使者たちを任じて、暗闇の中にいる者たち、すなわちすべての人の靈¹⁶のもとへ行って福音の光を伝えるように彼らに命じられた。このようにして、福音が死者に宣べ伝えられたのである。……

これらの者は、神を信じる信仰、罪の悔い改め、罪の赦しのための身代わりのバプテスマ、按手による聖靈の賜物について教えを受けた。

またこのほかに、肉においては人間として裁きを受けるが、靈においては神のように生きるために資格を得るうえで知っておく必要のある、福音のすべての原則が教えられた。……

死者は、その靈が体から長い間離れていることを一つの束縛と考えたからである。

この預言者たちを主は教え、彼らに力を与えて、彼らが、主が死者の中から復活された後に出て来て、御父の王国に入り、そこで不死不滅と永遠の命を冠として受け、主から約束を受けたようにその後も働きを続け、主を愛する者たちのために取つておかれたすべての祝福にあずかる者となるようにされた。」¹⁷

示現の中で、スミス大管長は父親のハイラムと、預言者ジョセフ・スミスを見ました。ノーブーで幼い少年のときに最後に会ってから、74年たっていました。愛する父親とおじに会ったときの喜びは、想像することしかできません。大管長は、すべての靈が死すべき体に似ていることと、約束された復活の日を心待ちにしていることを知って、靈が鼓舞され慰めを受けたに違いありません。この啓示は、神の子供たちのための天の御父の計画と、キ



リストの贖いの愛、主の贖罪の比類ない力について、その深さと広さをより完全に明らかにしました。¹⁸

100周年になるこの特別な年に、この啓示を注意深く読むようお勧めします。そうすれば、皆さんは主から祝福されて、神の愛と、神の子供たちのための救いと幸福の計画をもっと完全に理解し、感謝するでしょう。

ジョセフ・F・スミス大管長が受けた啓示が真実であることを証します。すべての人がそれを読んで、真実であると知ることができると証します。現世の生涯でこの知識を受けない人々は、すべての人が靈界に行くときに、それが真実であることを確かに知るようになるでしょう。そこで、すべての人が、肉体と靈が再び結合して二度と離れなくなるとき、偉大な救いの計画と約束された復活の祝福のゆえに、神と主イエス・キリストを愛して賛美することでしょう。¹⁹

兄弟姉妹の皆さん、愛するバーバラが今どこにいて、わたしたちが再び一緒にになって永遠の家族になれると知っていることに、わたしはどれほど感謝していることでしょう。主の平安がわたしたちすべて

をこれからも支えてくれますように、イエス・キリストの御名により、へりくだり祈ります、アーメン。■

注

1. 教義と聖約 138:6, 11
2. Joseph F. Smith, in Preston Nibley, *The Presidents of the Church* (1959), 228.
3. See Joseph Fielding Smith, *Life of Joseph F. Smith* (1938), 12.
4. 彼は1859年にレビラ・クラークと結婚し、1866年にジュリナ・ランブソンと、1868年にサラ・リチャーズと、1871年にエドナ・ランブソンと、1883年にアリス・キンボールと、1884年にメアリー・シュワルツとそれぞれ結婚した。
5. ジョセフ・F・スミスは大管長会（ブリガム・ヤング、ヒーバー・C・キンボール、ダニエル・H・ウェルズ）に追加された顧問として召された。また、ジョン・ティラーとウイルフォード・ウッドラフ、ロレンゾ・スナー、教会の3人の大管長の下で第二顧問として奉仕した。
6. ジョセフ・F・スミスはブリガム・ヤングの時代に大管長会の顧問として、またジョン・ティラー、ウイルフォード・ウッドラフ、ロレンゾ・スナーの時代に大管長会第二顧問として仕えた。大管長に召される前に大管長会で仕えた、最初の大管長だった。
7. ジョセフ・Fの最初の子供、マーシー・ジョセフィンは、1867年8月14日に生まれて、1870年6月6日に亡くなった。
8. Joseph F. Smith, journal, July 7, 1870, Church History Library, The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, Salt Lake City, Utah.
9. Joseph F. Smith to Martha Ann Smith



中央若い女性会長
ボニー・H・コードン

Harris, Aug. 26, 1883, Church History Library; see Richard Neitzel Holzapfel and David M. Whitchurch, *My Dear Sister: The Letters between Joseph F. Smith and His Sister Martha Ann* (2018), 290–91.

10. ジョセフ・F・スミスは日記や回想録や説教の中で、聖靈を通して受けた数多くの夢や靈感、啓示、示現を記録したが、それらは、使徒や大管長として様々な義務を果たすとき、主の業において個人的な慰めや勧告、指示の源となつた。教義と聖約第138章に記録された啓示に加えて、スミス大管長は教会の大管長として、「什分の一と断食獻金および自由意志による獻金の受領と支出」に関する啓示を記録した。See “Revelation to Joseph F. Smith, November 1, 1918,” Minutes of the Apostles of The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 1910–1951, 246, Church History Library; as cited in David W. Smith, “The Development of the Council on the Disposition of the Tithes,” Brigham Young University Quarterly 58, no. 3 (2017) : 142.
11. Joseph F. Smith, journal, Jan. 23, 1918, Church History Library; capitalization modernized. see Joseph Fielding Smith, *Life of Joseph F. Smith*, 473 – 74.
12. See “A. [P.] Kesler Is Killed in Fall from a Building,” *Ogden Standard*, Feb. 5, 1918, 5.
13. Joseph F. Smith, journal, Feb. 4, 1918, Church History Library.
14. See “Ida Bowman Smith,” *Salt Lake Herald-Republican*, Sept. 26, 1918, 4.
15. Joseph F. Smith, in Conference Report, Oct. 1918, 2.
16. 「わたしたちの栄光ある母エバ」と「まことの生ける神を礼拝した多くの忠実な娘たち」(教義と聖約138:39) 参照。〔訳注：教義と聖約130:30にある「すべての人の靈」は英語で all the spirits of men となっているため、women (女性) も含まれることを強調している〕
17. 教義と聖約138:30, 33 – 34, 50 – 52
18. 啓示の原文は、スミス大管長が11月19日に逝去してから11日後に、1918年11月30日付けの *Deseret News* (『デゼレトニュース』) で最初に公表された。また、12月には *Improvement Era* (『インプルーブメント・エラ』), 1919年1月には *Relief Society Magazine* (『扶助協会マガジン』), *Utah Genealogical and Historical Magazine* (『ユタ系図・歴史マガジン』), *Young Woman's Journal* (『若い女性ジャーナル』), (『ミレニアル・スター』) にも掲載された。
19. 減びの子らは復活するが、栄光の王国を受け継ぐ人々のように、天の御父とイエス・キリストに愛と賛美をささげることはできないであろう。アルマ 22:18; 教義と聖約88:32 – 35 参照

羊飼いとなる

ミニスタリング先の人々が皆さんを友人として見ることができるよう、あなたという支援者、良き相談相手がいることを実感できるようにと願っています。

1 年前、チリで会った初等協会の男の子が、わたしを笑顔にしてくれました。こう言うのです。「ねえ、ぼくはデビッドっていうんだ。ぼくのことを見つけてくれないかな?」

静かな時間に、デビッドの予想外のあいさつについて思い巡らしました。人は皆、認められたいと願っています。大切にされたい、覚えていてもらいたい、愛を感じたいと思うのです。

姉妹と兄弟の皆さん、皆さん一人一人は大切な存在です。総大会の話に登場しなくとも、救い主はあなたを御存じで、あなたを愛しておられます。ほんとうだろうかと疑うなら、主が「あなたを〔御自分〕の手のひらに彫り刻〔まれた〕」ことをじっくりと考えるだけよいのです。¹

救い主がわたしたちを愛しておられることを知ると、今度はどうしたら主への愛を最もよく示せるだろうかと思うかもしれません。

救い主はペテロにこう尋ねられました。「『わたしを愛するか』。」

ペテロは答えました。「『主よ、そうです。わたしがあなたを愛することは、あなたがご存じです』。イエスは彼に『わたしの小羊を養いなさい』と言われた。」

「わたしを愛するか」という質問を2度目、3度目と尋ねられたペテロは、心を痛

めつつも、主への愛を確かにします。「『主よ、あなたはすべてをご存じです。わたしがあなたを愛していることは、おわかりになっています』。イエスは彼に言われた、『わたしの羊を養いなさい。』」²

ペテロは自分が愛するキリストに従う者であることを、すでに証明していたのではなかったでしょうか。海岸での最初の出会いから、ペテロは救い主に従おうと「すぐに」網を捨てたのです。³ ペテロはまことに人間をとる漁師になりました。救い主御自身が教導の業に携わっておられる間、ペテロは主と行動を共にし、人々にイエ





ス・キリストの福音を教える助け手となっていました。

しかし、復活を経て、もはやペテロのそばにいられないことを御存じであった主は、いつ、どのように仕えるべきかをペテロに示されたのです。救い主が不在となった場合、ペテロは御靈の導きを求め、自ら啓示を受ける必要があり、さらに行動する勇気と信仰を持たなければならなくなります。救い主は御自分の羊のことを考え、御自身が地上にいたらなさるであろうことを行うようペテロに望まれました。主はペテロに、羊飼いとなることを求められたのです。

今年の4月、ラッセル・M・ネルソン大管長も同じようにわたしたちを招きました。ミニスタリングを通して、御父の羊をより神聖な方法で養うよう求めたのです。⁴

この招きに実際に応じるには、羊飼いのような心を育み、主の羊が何を必要としているかを理解しなければなりません。それでは、主が望まれているような羊飼いとなるには、どうすればよいでしょうか。

すべての質問と同様、わたしたちは良い羊飼いである、救い主イエス・キリストに目を向けることができます。救い主は御自分の羊を知り、数えておられます。御自分の羊を見守り、神の群れに集めておられるのです。

知り、数える

救い主の模範に従おうと努めるなら、わたしたちはまず、主の羊を知り、数えなければなりません。主の群れの中にいる全員が確実に覚えられ、だれも忘れられることがないように、わたしたちには心を配るべき特定の個人や家族が割り当てられています。しかし、数えるとは、数字に集中することではありません。それは、主に代わって奉仕するだれかを通して、一人一人が確実に救い主の愛を感じられるようにすることです。それにより、愛に満ちた天の御父が自分のことを御存じであるとすべての人が認識できるのです。

最近出会ったある若い女性は、自分の5倍近くの年齢になる姉妹をミニスタリング先として割り当てられていました。ともに過ごすうちに、二人とも音楽が大好きであることが分かりました。この若い女性が訪問すると、二人は一緒に歌を歌い、お気に入りの音楽を分かち合います。二人は友情を培いながら、お互いの生活に祝福を見いだしているのです。

わたしは、ミニスタリング先の人々が皆さんを友人として見ることができるように、あなたという支援者、良き相談相手、すなわち自分の状況に気づき、自分の望みや心に抱く夢をサポートしてくれる人がいることを実感できるようにと願っています。

最近、わたしはある姉妹をミニスタリングする割り当てを受けました。同僚もわたしもよく知らない姉妹です。ミニスタリングの同僚である16歳のジェスと話し合うと、ジェスは賢明にもこう提案してくれました。「彼女と知り合いになる必要があるわ。」

そこで、すぐに決めたのは、まず自撮りの写真と紹介メールを送ることでした。わたしは携帯を持ち、ジェスがボタンを押して、写真を撮りました。同僚との共同作業が、わたしたちにとって最初のミニスタリングの機会となったのです。

初めての訪問で、わたしたちの祈りに入れてほしいことがあるかどうかその姉妹に尋ねました。彼女は心を痛めている個人的な試練について分かち合うと、祈ってくれるのはうれしいことだと言いました。彼女の誠実さと信頼が、すぐさま愛のきずなをもたらしたのです。日々の祈りで彼女を思い起こすことができるのは、何とすばらしい特権でしょう。

祈る中で、皆さんはミニスタリング先の人々に対するイエス・キリストの愛を感じることでしょう。その愛を彼らに分かち合ってください。皆さんを通して彼らが主の愛を感じられるよう助ける以上に、主の羊を養うのに良い方法があるでしょうか。

見守る

羊飼いのような心を育てる2番目の方法は、主の羊を見守ることです。末日聖徒イエス・キリスト教会の会員として、わたしたちは、ほとんど何でも移動、修理、修復、復元できます。援助の手、あるいは一皿のクッキーで、わたしたちは素早く必要を満たします。しかし、これだけではないようです。

わたしたちの羊は、わたしたちが愛をもって彼らを見守っており、彼らを助けるためには行動を起こすことを知っているでしょうか。

マタイ25章にはこうあります。

「『わたしの父に祝福された人たちよ、さあ、……あなたがたのために用意されている御国を受けつけなさい。』

あなたがたは、わたしが空腹のときに食べさせ、かわいていたときに飲ませ、旅人であったときに宿を貸し……てくれたからである。』

そのとき、正しい者たちは答えて言うであろう、『主よ、いつ、わたしたちは、あなたが空腹であるのを見て食物をめぐみ、かわいているのを見て飲ませましたか。』

いつあなたが旅人であるのを見て宿を貸し……ましたか。』⁵

兄弟姉妹の皆さん、鍵となるのは見るという言葉です。正しい者たちが助けの必要な人々を見いだしたのは、彼らを見守つており、気にかけていたからです。わたしたちも、助けや慰めの必要性や、お祝いの機会に気づいたり、人の可能性さえも見ることのできる目を持つ者となれます。実際に行動を起こすとき、わたしたちはマタイによる福音書にある約束を確信することができるのです。「『……これらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである。』」⁶

ある友人（ジョンと呼ぶことにします）が、表面的には気づきにくい必要を見いだした際に起こり得ることを分かち合ってくださいました。「わたしのワードのある姉妹が



自殺しようとしました。2か月後に分かったのは、この心に傷を残すような経験に向かい合おうと、その姉妹のご主人に働きかけた人が定員会の中にだれもいなかつたということです。残念なことに、わたしもそれまで何もしていませんでした。ようやくわたしはその兄弟を昼食に誘いました。内気で、たいてい感情を表に出さない人でしたが、わたしから『奥さんことを聞きました。ほんとうに大変だったでしょう。よかつたら話していただけませんか』と言うと、彼は人目もはばからずに涙を流しました。わたしたちは心のこもった深い話し合いをし、数分のうちに特別な親密さと信頼を築くことになったのです。」

ジョンはこう付け加えています。「思うにわたしたちは、誠実さと愛をもってそのような機会に足を踏み入れる方法を見いだすよりも、ただブラウニーを持って行くだけになります。」⁷

わたしたちの羊は、傷を負い、迷っているか、あるいは故意にさまよっているかもしれません。わたしたちは羊飼いとして、羊の必要を最初に見いだす者となることができます。わたしたちは耳を傾け、裁くことなく愛し、希望を与え、聖霊の導きを識別できるよう助けることができるのです。

姉妹と兄弟の皆さん、靈感を受けた皆さんの親切な行いによって、世界はさらに希望に満ちた、喜ばしいものとなります。ミニスタリング先の人々に主の愛を伝える方法、その必要を見いだす方法について主の導きを求めるなら、わたしたちの目は開かれます。神聖なミニスタリングの割り当ては、皆さんに靈感を受ける神聖な権利をもたらします。皆さんは、確信を持つてその靈感を求めることができます。

神の羊の群れを集めること

3番目に、わたしたちは羊を神の群れ

の中に集める必要があります。そうするには、彼らが聖約の道のどこにいるかをよく考え、彼らの信仰の旅路を喜んでともに歩まなければなりません。わたしたちは、彼らの心を理解し、救い主に向かわせるという神聖な特権が与えられています。

フィジーに住むヨシビニ姉妹は、自分の進む聖約の道が見えにくくなっていました。文字どおりの意味です。彼女の友人は、ヨシビニ姉妹が聖文を読むのに苦労している姿を目にするとき、ヨシビニ姉妹に新しい老眼鏡と明るい黄色の色鉛筆をプレゼントし、モルモン書でイエス・キリストについて述べられている箇所すべてに線を引けるようにしました。奉仕したい、聖文研究を手助けしたいというささやかな願いから始まったことが、ヨシビニ姉妹が初めて神殿に参入するという結果をもたらしました。彼女がバプテスマを受けて28年後のことです。

羊が強いか弱いか、喜んでいるか苦しんでいるかにかかわらず、わたしたちはだれもが一人で歩くことのないように計らうことができます。靈的な面でどこにいるかにかかわらず、彼らを愛し、次の段階へと進めるように助けや励ましをもたらすことができるのです。わたしたちが祈り、彼らの心を理解しようと努めるときに、天の御父がわたしたちを導き、主の御霊がわたしたちに伴ってくださることを証します。主が彼らに先立って行かれるときに、わたしたちには、彼らの「周間にい[る]」「天使たち」⁸となる機会が与えられているのです。

主は御自身がなさるように、御自分の羊を養い、群れを見守るよう、わたしたちを招いておられます。主は、わたしたちがすべての国民と国々に対して羊飼いとなるよう招いておられるのです。（ウーグトドルフ長老、もちろんドイツの羊飼いも必要です。〔訳注：ジャーマン・シェバード（「ドイツの牧羊犬」の意味）という犬種名を使ったユーモア。土曜午前の部会の

ウーグトドルフ管長の説教を参照〕。）また、主は若い人々がこの大義に加わることを望んでおられます。

教会の青少年は、とても力強い羊飼いとなれるのです。ラッセル・M・ネルソン大管長が話したように、彼らは「主がこれまでにこの地上に送ってこられた人々の中でも選りすぐりの人々です。」「高貴な靈」であり、救い主に従う「最も優れた選手たち」なのです。⁹ そのような羊飼いたちが羊の世話をする際にもたらす力を想像できるでしょうか。青少年とともにミニスタリングに携わるなら、驚くべきことを目にするでしょう。

若い女性、若い男性の皆さん、わたしたちは皆さんが必要です！ ミニスタリングの割り当てを受けていない場合は、扶助協会や長老定員会の会長に話してください。彼らは、主の羊が知られ、数えられ、見守られ、神の羊の群れに集められるようにしたいと願う皆さんのお意欲を知って喜ぶことでしょう。

主の羊の群れに養いを与え、愛する救い主の足もとにひざまずく日が来たら、ペテロのごとく答えられるようにと祈っています。「主よ、そうです。わたしがあなたを愛することは、あなたがご存じです。」¹⁰ これらのあなたの羊は愛されており、無事に家にたどり着きました。イエス・キリストの御名により、アーメン。 ■

注

1. ニーファイ 21:16
2. ヨハネ 21:15–17 参照、強調付加
3. マタイ 4:20 参照
4. ラッセル・M・ネルソン「ミニスタリング」『リーアホナ』2018年5月号参照
5. マタイ 25:34–35, 37–38、強調付加
6. マタイ 25:40
7. 個人的な書簡
8. 教義と聖約 84:88
9. ラッセル・M・ネルソン「シオンのつわもの」（2018年6月3日、青少年対象のワールドワイド・ディボーショナル）、www.lds.org/languages/jpn/content/broadcasts/worldwide-devotional-for-young-adults/2018/06/hope-of-israel
10. ヨハネ 21:15



十二使徒定員会
ジェフリー・R・ホーランド長老

和解の務め

わたしたちが柔軟になり、勇気をもって神と和解し、人と互いに和解するならば、魂に安らぎが与えられることを証します。

去る4月、ラッセル・M・ネルソン大管長は、ミニスタリングの概念を紹介し、これが、神を愛し、互いに愛し合うという大切な戒めを守る一つの方法であることを強調しました。¹ わたしたち教会の役員は、この件に関して、皆さん非常に精力的に応じてくださったことに、率直に感謝と賛辞をお伝えします。このすばらしい取り組みについて、愛する預言者に従っている皆さんに感謝しつつ、もっと多くの指示が来るのを待つことのないようにと提案します。とにかくプールに飛び込んで、助けの必要な人の所に泳いで行ってください。背泳ぎにしようかとかきにしようかと考えて泳ぐのをやめないでください。教えられた基本原則に従い、神権の鍵と協調して働き、聖なる御靈の導きを求めるならば、失敗することはありません。

今朝わたしは、割り当てで行うのでもなければ面接の予定もなく、天を除いてはどこにも報告することのない、ミニスタリングのもっと個人的な側面について話したいと思います。そのようなミニスタリングの身近な例を一つ挙げましょう。

グラント・モレル・ボーウェンは勤勉で献身的な夫であり父親でしたが、土地を耕す仕事で生計を立てていた多くの人と同じく、地元でジャガイモが不作であったときに経済的に行き詰りました。妻の

ノーマと一緒に別の仕事に就き、結局別の都市に引っ越し、経済的な安定を取り戻そうとしました。ところが、非常に不幸な出来事が起こり、ボーウェン兄弟は深く傷ついてしまいました。神殿推薦状の面接で、什分の一を完全に納めているというモレルの申告に、ビショップが少々不信感を示したのです。

この二人の言い分のどちらがより正確な事実であったのかは分かりませんが、わたしが知っているのは、ボーウェン姉妹が新しい神殿推薦状を持って部屋を出たのに対し、ボーウェン兄弟は怒って部屋を出たきり、その後15年間教会を離れたということです。

什分の一についてどちらが正しかったのかにかかわらず、明らかなのは、モレル

もビショップも「早く仲直りをしなさい」²という救い主の命令と、「憤ったままで、日が暮れるようであってはならない」³というパウロの勧告を忘れていた、ということです。二人は仲直りをせず、ボーウェン兄弟が憤ったまま日が暮れました。そして、それが何日も続き、何週間、何年にもなったというのが事実です。「怒りは、抑えなければ、そのもととなった被害そのものよりも〔破壊的〕であることがしばしばある」という古代ローマの賢人の言葉が真実であるとの証明です。⁴ しかし、和解の奇跡はいつでも起こり得ます。そして、家族を愛し、真実だと分かっている教会を愛していたことから、モレル・ボーウェン兄弟は教会に完全に戻ってきました。どうしてそうなったのかを、簡単に話しましょう。

ボーウェン兄弟の息子ブラッドは、わたしたちの良き友であり、アイダホ州南部で奉仕している献身的な地域七十人です。この事件が起きたときにブラッドは11歳で、その後父親が信仰深い献身的な行いをしなくなっていく様子を、15年間見てきました。怒りと誤解の種をまくと恐ろしい結果を刈り取ることになるということの証人です。何かをする必要がありました。そこで、1977年の感謝祭の祝日が近づいたころ、ブリガム・ヤング大学の26歳の学生であったブラッドと妻のバレリーは、生れて間もない息子のミックを連れて





学生の身分にふさわしいぼろ車に乗り込むと、悪天候にもかかわらず、モンタナ州ビリングズに向かいました。ウェストイエローストーンの辺りで車が雪だまりに突っ込んでも、この3人はミニスタリングをするために父親であるボーウェン兄弟に会いに行くのをやめませんでした。

到着すると、ブラッドと妹のパムは、父親と親子水入らずで話す時間を取りたいと言いました。ブラッドは熱意を込めて話し始めました。「お父さんはこれまでばらしい父親だったよ。どんなにぼくたちを愛してくれていたか、いつでも分かっていた。でも、どこかが違うと長い間感じてきたんだ。お父さんが一度傷ついたことがあって、そのために家族全員が何年も痛みを感じてきた。ぼくたちはバラバラだ。修復できるのはお父さんだけだよ。こんなに長い時間がたってしまったけれども、どうか、どうかあのビショップとの不幸な出来事を水に流して、昔のようにこの家族を福音の中で導くことを考えてもらえないかな。」

沈黙の時間が流れました。しばらくしてボーウェン兄弟は顔を上げ、自分の骨の骨であり、肉の肉である子供たち二人を見つめると、⁵ とても小さな声で、こう言ったのです。「分かった、そうするよ。」

予想外の答えに驚きながらも、喜んだブラッド・ボーウェンとその家族は、自分たちの夫であり父親が人生を改善するために和解の精神で現在のビショップのもとに行くのを見守ったのです。勇気があると

はいえまったく予期せぬこの訪問に、ボーウェン兄弟が教会に戻れるよう何度も呼びかけてきたこのビショップは、完璧な対応をしました。両腕をモ렐の肩に回すと、長い間ずっと彼を抱き締めたのです。

ほんの何週間かで、ボーウェン兄弟は教会に活発に集うようになり、神殿に戻るふさわしさを身に付けました。程なくして25人で奮闘している小さな支部の支部会長の召しを受け、それを100人を優に超える活発な集団にまで成長させました。これはすべて半世紀近く前に起こったことですが、息子と娘が父親に対して行ったミニスタリングによる懇願の結果として、また父親がほかの人の不完全さを水に流して進んで赦し、前進したことで、ボーウェン家族に祝福がもたらされ、その祝福は今も、そしてこれからもずっと続いていくのです。

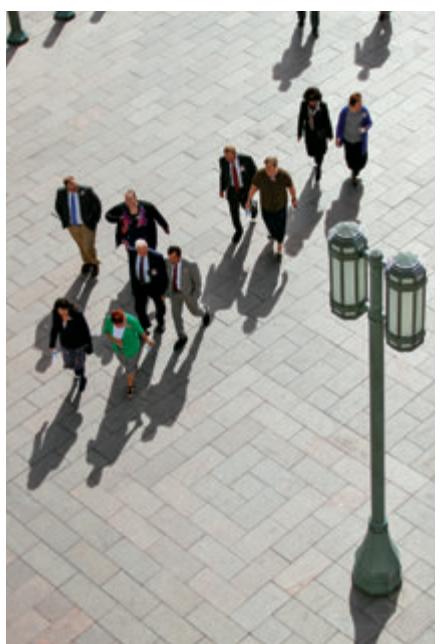
兄弟姉妹の皆さん、イエスはわたしたちが「ともに愛をもって生活」し、⁶「[わたしたち]の中に決して論争が……ない」ように求めておられます。⁷「争いの心を持つ者はわたしにつく者ではな[い]」と、二ファイ人に警告されました。⁸確かに、わたしたちとキリストとの関係は、かなりの程度、わたしたちと周りの人々との関係で決まりますし、少なくともそれに影響されます。

イエスはこう言われました。「あなたは……わたしのもとに来たいと思うとき、兄弟があなたに対して何か恨みを抱いていることを思い出したら、あなたの兄弟のところに行って、まずその兄弟と和解し、そ

れから十分に固い決意をもってわたしのもとに来なさい。そうすれば、わたしはあなたを受け入れよう。」⁹

確かに、わたしたちは、人の心の平安や、家族や隣人の平安を今この瞬間にもかき乱している過去の苦しみや悲しみ、つらい思い出を際限なくあげつらうことができるかもしれません。自分がその苦しみの加害者であるか被害者であるかにかかわらず、神が意図しておられる実りある人生を送れるように、そのような傷を癒す必要があります。皆さんの代わりに孫たちが小まにチェックしている冷蔵庫の中の食べ物のように、そのような昔の悲しみは、賞味期限がとうの昔に切れているのです。皆さん的心の大切なスペースに、そのようなものを入れておかいでください。『テンペスト』の中でプロスペローが悔やむアロンゾに言ったように、「お互いの思い出に、過ぎ去った悲しみの重荷を負わせるのはよしましょう。」¹⁰

キリストは新約聖書の時代に、「ゆるしてやれ。そうすれば、自分もゆるされるであろう」¹¹と教え、現代では、「主なるわたしは、わたしが赦そうと思う者を赦す。しかし、あなたがたには、すべての人を赦す





ことが求められる」¹²と教えておられます。しかしながら、現在苦悩の中にいる人にとって、主がおっしゃらなかつたことに注目するのは大切なことです。主は、「ほかの人のせいでつらい経験をしたからといって、それは真の苦しみやほんとうの悲しみを味わっているわけではない」とは言っておられず、「完全に赦すためには、再度不快な人間関係に戻ったり、あるいは暴力的、破壊的な環境に戻ったりしなければならない」とも言っておられません。しかし、どんなにひどく傷つくことがあろうとも、その苦しみを乗り越えることができるの、眞の癒しの道に足を踏み入れたときだけです。その道とは、「わたしに従ってきなさい」¹³とすべての人に呼びかけるナザレのイエスが歩まれた、赦しの道です。

主の弟子になって主がなされたように行う努力をするようにという、この招きの中で、イエスはわたしたちが主の恵みを与える者になることを求めておられます。つまりそれは、パウロがコリント人に説明した「和解の務め」において「キリストの使者」になるということです。¹⁴ あらゆる傷を癒し、あらゆる間違いを正す御方が、ほかのどのような方法でも見いだせない平安を世にもたらすという難しい業を行なうために、御自分とともに働くことを、わたしたちに求めておられるのです。

まさに、フリップ・ブルックスが書いています。「ひどい誤解を何年もほうっておいていつか晴らせばいいと考え

ている人、今日こそ自分のプライドを犠牲にして〔和解する〕という決意がなかなかできないために悲しい口論を続けている人、愚かな恨みのために……道で出会っても言葉を交わさず仮頂面で通り過ぎる人、いつかは……言おうとしているのに感謝や思いやりの言葉を言わないためにだれかの心に痛みを与えていたり。そんな人は、直ちに行って、行うべきことを行いなさい。その機会は二度と巡ってこないかもしれないのだから。」¹⁵

愛する兄弟姉妹の皆さん、新旧を問はず、つまずきの元となった相手を赦し、その事柄を捨てることが、イエス・キリストの壮大な贖罪の中心であることを、証します。そのような靈的な癒しは「その翼に……いやす力を備えて」助けに駆けつけてくださる聖なる贖い主によってしか結局は得られないことを、わたしは証します。¹⁶ 主と、主を遣わしてくださった天の御父に感謝しています。気持ちを新たにして再び生まれ、過去の悲しみや過ちは、小羊の血が流れたことに象徴される究極の苦しみを伴う代価を払って、すでに買い取られているのです。

世の救い主から与えられた使徒の権能により、わたしは証します。わたしたちが柔軟になり、勇気をもって神と和解し、人と互いに和解するならば、魂に安らぎが与えられます。「互いに言い争うのをやめなさい」と救い主は言われました。¹⁷ 古い傷

があることが分かっているのであれば、それを修復してください。愛をもっていたわり合ってください。

愛する友人の皆さん、和解の務めとともに果たすに当たり、平和を作り出す者、つまり、平和を愛し、追求し、生み出し、平和を心に抱く者となるようお願いします。「友の家で受け〔る〕傷」¹⁸についてすべてを御存じであり、それでいて赦し、忘れる強さと、癒し幸福になる力をお持ちの平和の君の御名によってこれをお願いします。わたしたちがそのようになりますように、主イエス・キリストの御名によって祈ります、アーメン。■

注

1. マタイ 22:36 – 40；ルカ 10:25 – 28 参照
2. マタイ 5:25
3. エペソ 4:26
4. Seneca, in Tryon Edwards, *A Dictionary of Thoughts* (1891), 21.
5. 創世 2:23 参照
6. 教義と聖約 42:45
7. 3 ニーファイ 11:22。3 ニーファイ 11:28 も参照
8. 3 ニーファイ 11:29
9. 3 ニーファイ 12:23 – 24, 強調付加
10. ウィリアム・シェイクスピア『テンペスト』第5幕、第1場、松岡和子訳、ちくま文庫
11. ルカ 6:37
12. 教義と聖約 64:10
13. ルカ 18:22
14. 2 コリント 5:18 – 20
15. Phillips Brooks, *The Purpose and Use of Comfort* (1906), 329.
16. マラキ 4:2。2 ニーファイ 25:13; 3 ニーファイ 25:2 も参照
17. 教義と聖約 136:23
18. ゼカリヤ 13:6。教義と聖約 45:52 も参照



七十人
シェーン・M・ボーエン長老

改心におけるモルモン書の役割

わたしたちは、改心における最も力強い道具の一つであるモルモン書を使って、最後のイスラエルの集合に携わっています。

今 日、多くの人々が神の存在や神とわたしたちとの関係について疑問を持っています。多くの人が、神の偉大な幸福の計画について少ししか、またはまったく知らないのです。30年以上前に、エズラ・タフト・ベンソン大管長はこう述べています。「今日〔世界〕の多くは救い主の神性を否定しています。主の奇跡的な生誕や、完璧な生涯、栄光ある復活の真実性に疑いを抱いているのです。」¹

現代において、疑問の対象は救い主だけでなく、主の教会にも及んでいます。それは末日聖徒イエス・キリスト教会、すなわち主が預言者ジョセフ・スミスを通して回復された主の教会のことです。これらの疑問は、救い主の教会の歴史、教え、慣習が焦点となっていることがよくあります。

モルモン書は証を強める助けとなる

『わたしの福音を宣べ伝えなさい』にはこうあります。「〔天の御父とその幸福の計画について〕わたしたちが理解している事柄は現代の預言者、すなわちジョセフ・スミスとその後継者から来ていることを忘れてはなりません。彼らは神から直接啓示を受ける者です。したがって、人が最初に答えを見つけなければならぬ

のは、ジョセフ・スミスが預言者であったかどうかという問題です。この答えはモルモン書を読んで祈ることにより得ることができます。」²

預言者ジョセフ・スミスが受けた神からの召しに対するわたしの証は、イエス・キリストのもう一つの証であるモルモン書を祈りを込めて研究することにより強められました。モルモン書が真実であること

を知るために、「キリストの名によって永遠の父なる神に問うように」³ というモロナイの勧めを実行したのです。わたしはモルモン書が真実であることを証します。わたしが「聖霊の力によって」⁴ この知識を得られたように、皆さんも得ることができます。

モルモン書の序文にはこうあります。「聖なる御靈を通じて神からのこの証を得る人々は、その同じ力によって、イエス・キリストが世の救い主であられ、ジョセフ・スミスがこの終わりの時代の主の啓示者であり、主の預言者であることを、そして末日聖徒イエス・キリスト教会が、メシヤの再臨に先立って地上に再び設立された主の王国であることを知るであろう。」⁵

わたしは若い宣教師としてチリに伝道に行こうとしていたとき、モルモン書の持つ、改心させる力について、人生を変えるような教訓を学びました。ゴンザレスさんは所属する教会で何年も尊敬される地位を占めていました。神学の学位を含む、豊富な宗教訓練も受けっていました。聖書に関する専門知識にはかなり自信があったのです。彼が宗教学者であることは明



確でした。

彼は、故郷であるペルーのリマ市で末日聖徒イエス・キリスト教会の宣教師たちが伝道していることをよく知っていました。彼は宣教師と会って、聖書について教育したいといつも思っていました。

ある日、彼にとってまるで天からの贈り物と思えるようなことが起きました。二人の宣教師が通りで彼を呼び止め、彼の家に行って一緒に聖文を読んでもいいかと聞いてきたのです。彼の願いがかないました！ 祈りが聞き届けられたのです。ついに、誤った理解をしている青年たちを正してやることができます。彼は聖典について話し合うため、喜んで彼らを家へ招こうと言いました。

彼は、約束の日が待ち遠しくて仕方ありませんでした。聖書を使って宣教師たちの信じていることが間違っていると証明する準備はできていました。はっきりと明瞭に、彼らの間違いを聖書によって示せるという自信がありました。約束の夜が来て、宣教師たちが彼の家を訪れました。彼は興奮していました。待ちに待った瞬間がついにやって來たのです。

彼は宣教師たちを招き入れました。宣教師の一人が青い本を彼に渡し、その本に神の言葉が載っていると知っているという誠実な証を述べました。もう一人の長老も、その本がジョセフ・スマスという現代の神の預言者によって翻訳されたこと、そしてキリストについて教えていることを力強く証しました。宣教師は退席を申し出て、帰っていました。

ゴンザレスさんは非常にがっかりしました。しかし、その本を開いてページをめくり始めました。最初のページを読みました。次々にページを読んでいき、次の日の午後遅くまで止まりませんでした。全部を読んで、それが真実だと分かりました。彼は何をすべきか分かっていました。宣教師に電話し、レッスンを受け、今までの生活を変え、末日聖徒イエス・キリスト教会



の会員になりました。

この善良な男性は、ユタ州プロボ市の宣教師訓練センターにいたわたしの先生でした。ゴンザレス兄弟の改宗談とモルモン書の持つ力はわたしにとって印象深いものとなりました。

チリに着いたとき、当時伝道部会長だったロイデン・J・グレード会長は、「ジョセフ・スマス——歴史」に記録された預言者ジョセフ・スマスの証を毎週読むようわたしたちに言いました。最初の示現に対する証は、わたしたち自身の福音に対する証とモルモン書に対する証に直接関係があると教えてくれました。

わたしは会長の勧めを真剣に受け止めました。最初の示現の話を読んで、モルモン書を読みました。モロナイが教えたように祈り、モルモン書が真実かどうか、「キリストの名によって、永遠の父なる神に問」⁶いました。今、預言者ジョセフ・スマスが言ったように、モルモン書が「この世で最も正確な書物であり、わたしたちの宗教のかなめ石である。そして、人はその教えを守ることにより、ほかのどの書物にも増して神に近づくことができる」⁷と知っていると証します。預言者ジョセフ・スマスはこのようにも宣言しました。「モルモン書と……啓示を取り去ったならば、わたしたちの宗教はどこにあるのでしょうか。どこにもありません。」⁸

個人の改心

自分が何者であるかということと、モルモン書の目的を理解するにつれ、わたしたちの改心は深まり、さらに確かなものとなります。神と交わした聖約を守るというわたしたちの決意が強められます。

モルモン書の主要な目的は、散らされたイスラエルを集めることです。この集合は、すべての神の子供たちに、聖約の道に入り、聖約を尊ぶことで御父のみもとに戻る機会を与えます。悔い改めを教え、改心した人にバプテスマを施すとき、わたしたちは散らされたイスラエルを集めています。

モルモン書は、イスラエルの家に108回言及しています。モルモン書の初めに、ニーファイは次のように教えました。「わたしが一心に志すのは、人々がアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神のもとに来て救われるよう、説き勧めることである。」⁹ アブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神とは、旧約聖書の神であるイエス・キリストのことです。主の福音に沿って生活することを通してキリストのもとに行くとき、わたしたちは救われます。

後に、ニーファイはこう書きました。

「まことに父は、異邦人とイスラエルの家について多くの話をし、イスラエルの家は、枝が折られて地の全面に散らされる、一本のオリーブの木にたとえられると語った。……



そして、イスラエルの家は散らされてから、再び集められる。要するに、異邦人が完全な福音を受け入れてから、オリーブの木の自然の枝、すなわちイスラエルの家の残りの者たちは接ぎ木される。すなわち、彼らの主であり贖い主であるまことのメシヤを知るようになる。」¹⁰

同様に、モルモン書の終わりで預言者モロナイは次のように言って、聖約について思い起こさせています。「おお、イスラエルの家よ……決して二度と乱されることのないようにし、また永遠の御父があなたに立てられた聖約が果たされるようにしなさい。」¹¹

永遠の御父の聖約

モロナイが言った「永遠の御父〔の〕……聖約」とは何でしょうか。アブラハム書にこうあります。

「わたしの名はエホバであり、わたしは初めから終わりを知っている。それゆえ、わたしの手はあなたのうえにある。

わたしはあなたを大いなる国民とし、あ

なたを計り知れないほど祝福し、あなたの名をすべての国民の間で大いなるものとしよう。あなたはあなたの後の子孫にとって祝福の基となり、彼らはすべての国民にこの務めと神権を携えて行くであろう。」¹²

ラッセル・M・ネルソン大管長は、最近の全世界に向けた放送で次のように教えました。「今は確かに末日であり、主はイスラエルの集合という主の業を速めておられます。この集合は、今日地上で行われていることの中で最も重要な事柄です。規模において、重要性において、また偉大さにおいて、ほかに類を見ません。皆さんが自ら選び、望むならば、大きな役割を果たすことができます。重要で、崇高で、偉大な御業において、重大な役割を果たせるのです。

集合について話すとき、わたしたちは次の基本的な真理について述べています。すなわち、幕の両側にいるすべての天の御父の子供たちは、回復されたイエス・キリストの福音のメッセージを聞くに値しま

す。彼らはさらに知りたいかどうかを自分で判断するのです。」¹³

これが、末日聖徒イエス・キリスト教会の会員としてわたしたちのしていることです。世に、イエス・キリストの福音への理解と改心をもたらそうとしているのです。わたしたちは「末日の集める者」¹⁴です。わたしたちの使命は明確です。兄弟姉妹の皆さん、わたしたちはモロナイの約束を心から受け入れ、モルモン書が真実であると知るために祈り、答えを受けた人々として、そしてその知識を言葉と何よりも行きでほかの人に分かち合った人々として知られるようになります。

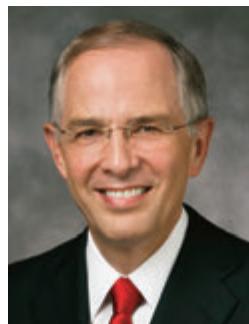
改心におけるモルモン書の役割

モルモン書には、完全なイエス・キリストの福音が載っています。¹⁵ これにより、わたしたちは御父の聖約へと導かれます。聖約を守れば、神の最も大いなる賜物である永遠の命を確かなものとすることができます。¹⁶ モルモン書は、天の御父のすべての息子や娘の改心のかなめ石なのです。

再び、ネルソン大管長の言葉を引用しましょう。「モルモン書を……毎日読むならば、集合の教義について学び、イエス・キリストに関する真理、贖罪、聖書には記されていない主の完全な福音について学ぶでしょう。モルモン書はイスラエルの集合の中核を成すものです。事実、モルモン書がなければ、約束されたイスラエルの集合は起こらなかつたでしょう。」¹⁷

救い主がニーファイ人に約束された祝福を教えられたときの言葉で終わりたいと思います。「見よ、あなたがたは預言者たちの子孫であり、イスラエルの家に属する者であり、父があなたがたの先祖と交わされた聖約を受けている者である。父はアブラハムに、『あなたの子孫により、地のすべての部族は祝福を受けるであろう』と言われた。」¹⁸

わたしたちは神の息子、娘であり、アブラハムの子孫、イスラエルの家であること



十二使徒定員会
ニール・L・アンダーセン長老

を証します。わたしたちは、モルモン書を使って最後のイスラエルの集合に携わっています。この書物は、主の御靈と相まって、改心における最も力強い道具です。わたしたちは、今、イスラエルの集合を指揮する神の預言者ラッセル・M・ネルソン大管長に導かれています。モルモン書は真実です。わたしの人生を変えました。モロナイと歴史上の多くの預言者がしているように、わたしもモルモン書が皆さん的人生を変えると約束します。¹⁹ イエス・キリストの御名により、アーメン。 ■

注

- 1.『歴代大管長の教え——エズラ・タフト・ベンソン』121
- 2.「モルモン書の役割は何でしょうか?」「わたしの福音を宣べ伝えなさい——伝道活動のガイド」109
- 3.モロナイ 10:4
- 4.モロナイ 10:4
- 5.モルモン書序文
- 6.モロナイ 10:4
- 7.モルモン書序文
- 8.『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』196
- 9.1ニーファイ 6:4
- 10.1ニーファイ 10:12, 14
- 11.モロナイ 10:31
- 12.アブラハム 2:8 - 9
- 13.ラッセル・M・ネルソン「シオンのつわもの」(2018年6月3日、青少年対象のワールドワイド・ディボーショナル) broadcasts_lds.org.
- 14.モルモン書ヤコブ 5:72 参照
- 15.エズラ・タフト・ベンソン大管長は次のように教えた。「モルモン書に『イエス・キリストの完全な福音』が載っていると言われたのは主御自身です(教義と聖約 20:9)。それはすべての教え、これまでに明らかにされたすべての教義が載っているということではありません。そうではなく、モルモン書には救いに必要な完全な教義が取められているということなのです。そして、それは分かりやすく簡単に教えられており、子供さえも救いと昇栄の道について学ぶことができるようになっています。」(『歴代大管長の教え——エズラ・タフト・ベンソン』123)
- 16.教義と聖約 14:7 参照
- 17.ラッセル・M・ネルソン「シオンのつわもの」「リアホナ」2018年9月号別冊、13
- 18.3ニーファイ 20:25
- 19.例として、ヘンリー・B・アイリング「モルモン書はあなたの人生を変えてくれます」「リアホナ」2004年2月号、12 - 18 参照

傷を負った人

この世の試練のるつぼにあって、わたしたちが忍耐をもって前に進むなら、救い主の癒しの力が、光と理解、平安、希望をもたらしてくれます。

20 16年3月22日、朝8時を迎える直前のこと、2人のテロリストにより爆弾がブリュッセル空港で炸裂しました。リチャード・ノービー長老、メイソン・ウェルズ長老、ジョセフ・エンペイ長老は、オハイオ州クリーブランドの伝道部に飛行機で向かうファニー・クライン姉妹を空港へ送つて来たところでした。32人が死亡、宣教師全員が負傷しました。

最も重傷を負ったのは、妻のパム・ノービー姉妹と奉仕していた66歳のリチャード・ノービー長老でした。

ノービー長老は、当時をこう振り返って



入院中のリチャード・ノービー

います。

「瞬時に、何が起こったのか分かりました。

安全な場所に逃げようとしたが、すぐさま倒れてしまいました。……左足をひどく負傷したのが分かりました。両腕から、くもの巣のような黒くすすけたものが垂れ下がっていました。そっと引っ張ると、それはすすではなく、焼け焦げたわたしの皮膚でした。白いシャツは、背中に受けた傷の血で赤く染まっていました。

今しがた起きたことで頭がいっぱいになりながらも、強く心に感じたのは……救い主はわたしがその瞬間、どこにいて、何に巻き込まれ、どのような経験をしていくか御存じだということです。」¹

その後、リチャード・ノービーと妻のパムには苦難の日々が待ち受けていました。彼は麻酔による昏睡状態の中で手術を受け、感染症にかかり、先行きが見えない状態でした。

リチャード・ノービーは一命を取り留めたものの、生活は一変しました。2年半たっても治療を続けていて、足の欠損部は装具で補っており、ブリュッセル空港での事件以降、以前のように歩くことはできません。

なぜ、このようなことがリチャード・ノービーとパムに起きたのでしょうか。² 二人



リチャードとパム・ノービー夫妻

は聖約に忠実で、以前にコートジボワールの伝道部でも奉仕していて、すばらしい家族を築いていました。ある人は、もっともらしくこう言うことでしょう。「不公平だ。納得できない。イエス・キリストの福音のために生活をささげている彼らに、なぜこのようなことが起こるのか。」

これが現世

詳細は異なるものの、悲劇、予想だにしない試練や苦難は、肉体的にも靈的にも、すべての人にやって来ます。なぜなら、それが現世だからです。

今朝方考えていたところ、総大会のこの部会の話者だけをとってみても、2人が子供を、3人は孫を、思いも寄らず天の家路へと送り出していることに気がつきました。病や悲しみを免れる者はなく、すでに話されたように、地上における天使、わたしたちの愛するバーバラ・バラード姉妹もまた今週、穏やかに幕のかなたへと旅出ちました。バラード会長、わたしたちはバラード会長の今朝の証を忘れることはないでしょう。

わたしたちは幸福を探し求めます。平和を切望します。愛を望みます。そして主は、驚くほど豊かに祝福を注いでくださいます。しかしながら、その喜びと幸福に混じって、一つ確かなのは、心に傷を受けるであろう瞬間、時間、日々、あるいは年月があるということです。

聖文が教えてるように、わたしたちは苦いことと甘いことを経験するのであり、³ 「すべての事物には反対のものが」⁴ あります。イエスは言われました。「父は、悪い者の上にも良い者の上にも、太陽をのぼらせ、正しい者にも正しくない者にも、雨

を降らして下さる……。」⁵

心に受ける傷は、富める者や貧しい者、あるいは一つの文化や国、世代に特有のものではありません。すべての人に起こるものであり、この世での経験から得る学びの一部なのです。

義人も免れることはない

わたしの今日のメッセージはとりわけ、ノービー夫妻や、世界中でこの話を聞いている男性女性、また子供たちのように、神の戒めに従い、神との約束を守りながらも、思いも寄らないつらい試練やチャレンジに直面している人々に向けたものです。

心の傷をもたらすのは、自然災害や不運の事故かもしれません。義にかなった伴侶や子供の生活を一転させる、不誠実な夫や妻かもしれません。鬱の闇や沈んだ気持ち、予期せぬ病気、愛する人の苦しみや早すぎる死かもしれません。家族が信仰を失ったことの悲しみ、永遠の伴侶に巡り会えない状況にいる寂しさ、あるいはそのほか数多くの、胸を締めつけるような、つらい「目には見えない悲しみ」⁶ かもしれません。

わたしたちは皆、苦難が人生の一部であることを理解していますが、それが自分に降りかかるくると、動搖することがあります。恐れずにいるには、備える必要が

あるのです。使徒ペテロは、「あなたがたを試みるために降りかかるて来る火のような試練を、何か思いがけないことが起つたかのように驚きあやしむこと」⁷ のないようにと語っています。御父が計画された織物には、幸福と喜びという明るい色とともに、試練や悲劇という、それより深い色をした糸が深く織り込まれています。こうしたチャレンジは困難を伴うものですが、しばしばわたしたちに最大の教訓をもたらしてくれるのです。⁸

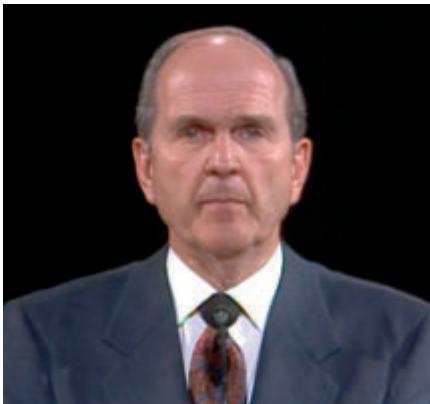
ヒラマンが率いた2,060人の若き兵士たちの奇跡的な物語を話すとき用いられるこの聖句は、皆さんにとっても愛着があることと思います。「神の慈しみによってだれ一人死なずに済んだことは、わたしたちにとってまったく驚きであり、またわたしたち全軍の喜びでもありました。」

しかし、次の文にはこうあります。「彼らの中には傷をたくさん負わなかった者は一人もいませんでした。」⁹ 2,060人が全員残らずたくさんの傷を負ったように、わたしたちも皆人生の戦いにおいて、肉体や靈に、あるいはその両方に傷を受けるのです。

イエス・キリストはわたしたちの良いサマリア人

決して諦めないでください。心の傷が





どれほど深くとも、何が原因であろうと、いつどこでそれが起ころうと、またどんなに短期間あるいは長期間であっても、皆さんは靈的に滅びるよう意図されてはいません。靈的に生き残り、神への信仰と信頼をもってさらに成長するように望まれているのです。

神は、人の靈を御自身から隔絶した存在として創造されたわけではありません。主なる救い主イエス・キリストは、贖罪という計り知れない賜物を通してわたしたちを死から救い、悔い改めを通して罪の赦しを与えてくださるだけでなく、傷ついた心の悲しみや痛みから、わたしたちをいつでも救おうとしておられます。¹⁰

救い主はわたしたちの良いサマリヤ人¹¹であり、「心のいためる者をいや」¹²すために遣わされたのです。人々が通り過ぎる中、わたしたちのそばに来られ、思いやりを胸に、傷口に癒しの香油を塗って包帯で巻き、わたしたちを運び、世話をしてくれます。主はこう告げておられます。「わたしのもとに来〔なさい。〕そうするならば、わたしは〔あなたがた〕を癒そう。」¹³

「そして〔イエス〕は、あらゆる苦痛と苦難と試練を受けられ……御自分の民の苦痛と病を身に受けられます。御子は「憐れみで満たされ〔ているため、わたしたちの〕弱さを御自分に受けられる」のです。¹⁴

来たれ、嘆き悲しみ、落胆せし者よ、
憐れみの座に来て、真にひざまずかん。
ここに傷ついた心をゆだね、苦惱を語れ。
天が癒せぬ悲しみは、この地にあらず。¹⁵

預言者ジョセフが非常な苦痛を強いられていましたとき、主はこう語られました。「これらのことはすべて、あなたに経験を与え、あなたの益となるであろう。」¹⁶ 痛みをもたらす傷が、どうしてわたしたちの益となるのでしょうか。この世の試練のるっぽにあって、わたしたちが忍耐をもって

前に進むなら、救い主の癒しの力が、光と理解、平安、希望をもたらしてくれます。¹⁷

決して諦めない

心を尽くして祈ってください。イエス・キリストを信じる信仰と、主の実在や主の恵みに対する信仰を強めてください。次の主の言葉から力を得るのです。「わたしの恵みはあなたに対して十分である。わたしの力は弱いところに完全にあらわれる。」¹⁸

悔い改めが靈的な特効薬であることを忘れないでください。¹⁹ 戒めを守り、慰め主にふさわしくあり、救い主の約束を心に留めるのです。「わたしはあなたがたを捨てて孤児とはしない。あなたがたのところに帰って来る。」²⁰

神殿で感じる平安は、傷ついた心の痛みを和らげてくれる香油です。傷ついた心と、自分の先祖の名前を携えて、できるだけ頻繁に主の宮に参入してください。神殿では、現世での短い時間を永遠という広大なスクリーンに映し出してくれます。²¹

過去を振り返り、前世で自分のふさわしさを証明したことを覚えていてください。皆さんは神の勇敢な子供であり、主の助けを受け、この堕落した世での戦いに勝利することができます。かつてのように、もう一度戦いに打ち勝つことができるのです。

ネルソン大管長は1995年4月の総大会で、亡くなつた娘のエミリーについて話す中で、イエス・キリストが復活の鍵をお持ちであることを証した。

今度は未来を見てください。問題や悲しみは確かに実在しますが、永遠に続くのではありません。²² なぜなら、御子が「〔御自分の〕翼に癒しを携えて」²³ よみがえられたからです。

ノービー夫妻はわたしに言いました。「落ち込むことは時折あっても、決してそのままではいません。」²⁴ 使徒パウロはこう述べています。「わたしたちは……患難を受けても窮しない。途方にくれても行き詰まらない。迫害に会っても見捨てられない。倒されても滅びない。」²⁵ 疲れ果てることがあっても、絶対に諦めないでください。²⁶

ひどい傷を負っていても、皆さんは本能的に人々に手を差し伸べ、救い主の約束に信頼を寄せるでしょう。「わたしのために自分の命を失う者は、それを見いだすであろう。」²⁷ 自分も傷を負っていながら



ネルソン大管長はプエルトリコの聖徒に向けて言った。「神の戒めを守ることにより、わたしたちは最悪の状況にあっても喜びを見いだすことができるのです。」



ら、ほかの人の傷を手当てる人は、地上における神の天使です。

わたしたちは間もなく、愛する預言者ラッセル・M・ネルソン大管長から話を聞きます。イエス・キリストに対する搖るぎない信仰を持ち、希望と平安をたたえ、神から愛される大管長でさえ、心の傷を免れることはありませんでした。

1995年のこと、娘のエミリーが、妊娠中にがんと診断されたのです。健康な赤ん坊が産まれたときは、希望と幸福の日々でした。ところが、がんが再発し、愛娘のエミリーは37歳の誕生日を迎えた2週間後、愛する夫と5人の幼い子供を残して亡くなりました。

彼女が亡くなった直後の総大会で、ネルソン大管長はこう打ち明けています。「娘……のために、もっと何かしてあげられていたらと思うと、悲しみの涙が込み上げてきます。……もしわたしに人を復活させる力があったら、〔娘〕を呼び戻そうとしたかもしれません。……〔しかし〕イエス・キリストがその鍵を持っておられ、主の時に応じて、エミリーや……すべての人々のためにそれを使われるでしょう。」²⁸

先月、ペルトリコの聖徒たちを訪問したとき、ネルソン大管長はハリケーンによる昨年の壊滅的な被害を思い返し、愛と思いやりを込めて語りました。

「〔これは〕人生の一部です。わたしたちがここにいるのはそのためです。肉体を授かり、試練を受け、試されるためです。肉体的な試しがあり、靈的な試しがあります。皆さんはこの地で双方の試しを経験しました。²⁹

それでも、皆さんは諦めませんでした。皆さんを心から誇りに思います。忠実な聖徒である皆さんは多くのものを失いましたが、その間ずっと、主イエス・キリストを信じる信仰を養ってきました。³⁰

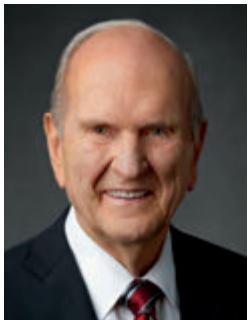
神の戒めを守ることにより、わたしたちは最悪の状況にあっても喜びを見いだすことができるのです。」³¹

すべての涙はぬぐわれる

兄弟姉妹の皆さん、主イエス・キリストを信じる信仰を増し加えるならば、より大きな力と希望がもたらされることを約束します。義にかなった皆さんのために、わたしたちの心の癒し主は、主の時に、主の方で、皆さんの傷をすべて癒してくださいましょう。³² いかなる不義も、迫害も、試練も、悲しみも、心痛も、苦難も、傷も、それがどれほど深く、大きく、つらいものであっても、みもとに戻るわたしたちを、両腕を広げ傷ついた御手をもって迎えてくださる御方の慰めや平安、永続する希望から、わたしたちを引き離すことではありません。その日には、使徒ヨハネが証したように、「大きな艱難をとおってきた」³³ 義人は「白い衣を身にまとって……神の御座の前に」立つでしょう。小羊は「〔わたしたち〕の牧者となって……〔わたしたち〕の目から涙をことごとくぬぐいとて下さる」³⁴ ことでしょう。その日は必ずやって来ます。イエス・キリストの御名により証します、アーメン。■

注

- 個人的な会話、2018年1月26日
- 今年の初めに話したとき、リチャード・ノービーはわたしにこう言った。「わたしたちは与えられたものに應えます。」彼の日記から分かち合ってくれた言葉。「各自にやって来る試練と苦難は、さらに救い主を知り、主の贋いの犠牲をより深く理解する機会と特権を与えてくれる。わたしたちが頼みとするのは主。求めるのは主。よりどころとするのは主。信頼するのは主。心を尽くし、無条件で愛するのは主。救い主は、この世の一部である肉体的、情緒的な苦痛をすべて包み込んでくださる。痛みを取り去り、悲しみを和らげてください。」
- 教義と聖約 29:39 参照
- 2 ニーファイ 2:11
- マタイ 5:45
- “Lord, I Would Follow Thee,” *Hymns*, no. 220.
- 1 ペテロ 4:12
- 「わたしたちはこれによって彼らを試し、何であろうと、主なる彼らの神が命じられるすべてのことを彼らがなすかどうかを見よう。」(アブラハム 3:25。教義と聖約 101:4-5も参照)
- アルマ 57:25
- 友人からの手紙：「程度の異なる情緒的な『暗闇と憂鬱』との5年近くに及ぶ鬱いにより、能力と決意、信仰、忍耐の限界まで追い詰められていく。『苦しみ』の日々を重ねて、疲れ果てる。」
- 『苦しみ』の月を重ねて、力尽きる。『苦しみ』の年を重ねて、土台を失い始める。『苦しみ』の週を重ねて、力尽きる。『苦しみ』の月を重ねて、土台を失い始める。『苦しみ』の年を重ねて、再起不能という見込みに屈服する。希望は、賜物の中で最も貴く、とらえにくいもの。要するに、[救い主]以外に、この試練を切り抜けた方法がわたしには分からない。それが唯一の解釈。どのようにしてかは説明できないが、自分で知った。救い主のおかげで、わたしは試練を切り抜けたのだ。」
- ルカ 10:30-35 参照
- ルカ 4:18。イザヤ 61:1も参照
- 3 ニーファイ 18:32
- アルマ 7:11-12。「イエス・キリストは……万物の下に身を落とし、それによってすべてのことを悟〔られた。〕」(教義と聖約 88:6)
- “Come, Ye Disconsolate,” *Hymns*, no. 115
- 教義と聖約 122:7
- 「あなたは神の偉大さを知っている。神はあるあなたの苦難を聖別して、あなたの益としてくださる。」(2ニーファイ 2:2)「神に頼る者はだれであろうと、試練や災難や苦難の中にあって支えられ、また終わりの日に高く上げられる……。」(アルマ 36:3)
- 2 コリント 12:9
- See Neil L. Andersen, “The Joy of Becoming Clean,” *Ensign*, Apr. 1995, 50-53
- ヨハネ 14:18
- 「もしわしたちが、この世の生活でキリストにあって単なる望みをいだいているだけだとすれば、わたしたちは、すべての人の中でも最もあわれむべき存在となる。」(1コリント 15:19)
- モルモン書の最初の節で、ニーファイはこう説明した。「わたしはこれまでの人生で多くの苦難に遭った」(1ニーファイ 1:1)。後に、ニーファイはこう語った。「それでもわたしは神に頼り、一日中神を賛美し、わたしの遭った苦難のことで主に対してつぶやくことはしなかつた。」(1ニーファイ 18:16)
- 3 ニーファイ 25:2
- 個人的な会話、2018年1月26日
- 2 コリント 4:8-9
- ヒュー・B・ブラウン管長はイスラエルを訪問中に、なぜアブラハムは息子をささげるよう命じられたのかと尋ねられた際に、こう答えた。「アブラハムは、アブラハムについて何かを学ぶ必要がありました。」(in Truman G. Madsen, *Joseph Smith the Prophet* [1989], 93)
- マタイ 16:25
- ラッセル・M・ネルソン「誓約にあずかる者」『聖徒の道』1995年7月号, 35
- Russell M. Nelson, in Jason Swensen, “Better Days Are Ahead for the People of Puerto Rico,” *Church News*, Sept. 9, 2018, 4
- Russell M. Nelson, in Swensen, “Better Days Are Ahead,” 3.
- Russell M. Nelson, in Swensen, “Better Days Are Ahead,” 4.
- ラッセル・M・ネルソン「イエス・キリスト——偉大な癒し主」『リアホナ』2005年11月号, 85-88 参照
- 黙示 7:14
- 黙示 7:13, 15, 17 参照



ラッセル・M・ネルソン大管長

教会の正しい名称

イエス・キリストは、教会を主の御名で呼ぶように指示されました。なぜなら、主の力に満ちた主の教会だからです。

する兄弟姉妹の皆さん、この美しい安息日にわたしたちはともに主からたくさん祝福を受けて喜びを感じています。回復されたイエス・キリストの福音に対する皆さんの証と、主の聖約の道を歩み続けるため、またはその道に戻るために払ってきた犠牲と、主の教会での皆さんの神聖な奉仕に心から感謝します。

今日、わたしはとても大切なことについて話さなければならぬと感じています。何週間か前に、わたしは教会の名称に関する軌道修正の声明を発表しました。¹ そうしたのは、御自身の教会のために定められた名称、すなわち「末日聖徒イエス・キリスト教会」という名称の重要性を、主がわたしの心に深く刻みつけられたからです。²

皆さんの予想どおり、この声明と更新された表記のガイドラインに対する反応は様々でした。³ 多くの会員は自分のブログとソーシャルメディアのページですぐに教会の名称を教えてくれました。一方で、世の中ではかにいろいろなことが起こっているのに、どうしてそのような「ささいなこと」を強調する必要があるのかといぶかしく思う人もいました。そんなことはできないから、やる意味がないと言う人たちもいました。どうしてこれがそれほど大切なことを説明しましょう。最初に、これは

どういうことではないのかを話します。

- 名前を変えるのではありません。
- ブランドを変えるのでもありません。
- 表面的な変更でもありません。
- 気まぐれな変更でもありません。
- ささいなことでもありません。

そうではなく、誤りを正すことなのです。これは主がお命じになったことなのです。ジョセフ・スミスを通して回復された教会を、ジョセフ・スミスは命名しませんでしたし、モルモンも命名していません。「わたしの教会は、終わりの時にこのように、

すなわち末日聖徒イエス・キリスト教会と呼ばれなければならない」⁴とおっしゃったのは救い主御自身でした。

それよりもさらに前、紀元34年に、復活された主は、アメリカ大陸の主の教会の会員たちを訪れたときに同じような教えを与えられました。そのとき主はこう言われました。

「あなたがたは教会をわたしの名で呼びなさい。……

わたしの名で呼ばれなければ、どうしてわたしの教会であろうか。ある教会がモーセの名で呼ばれれば、それはモーセの教会である。あるいは、ある人の名で呼ばれれば、それはその人の教会である。しかし、わたしの名で呼ばれ……れば、それはわたしの教会である。」⁵

したがって、教会の名称を変えることはできません。主が御自分の教会の名称を明言されたときに、その名で「呼ばれなければならない」とまでおっしゃったのです。主にとってとても大切なことです。そしてわたしたちがニックネームの使用を容認したり、自分でも採り入れたり、ましてや奨励したりするようなことがあれば、主は悲しまれます。

名称またはこの場合にはニックネームに





は、どんな要素があるでしょうか。「LDS教会」「モルモン教会」「末日聖徒教会」などの教会のニックネームに関して言えば、ここでいちばん重大なことは救い主の御名が抜けてしまっていることです。主の教会から主の御名を取り除くのはサタンにとって大きな勝利です。わたしたちは主の御名を切り捨てるとき、イエス・キリストがしてくださったすべてのことを暗にないがしろにしているのです。主の贖いさえもです。

主の見地から考えてみてください。前世で主はエホバ、すなわち旧約聖書の神でした。御父の指示の下に、イエス・キリストは地球とそのほかの世界を創造されました。⁶ 主は御父の御心に従うことを選ばれ、神のすべての子供たちのためにほかのだれもできないことを選ばれました。肉における御父の独り子として地上に降られ、冷酷にのしられ、あざけられ、つばきを吐きかけられ、鞭で打たれたのです。ゲツセマネの園で、救い主は皆さんとわたし、そしてこれまでに地上に生を受けた、あるいはこれから生を受けるすべての人々が経験するあらゆる痛み、あらゆる罪、そしてすべての悩みと苦しみを、御自分の身に受けられました。その堪え難い重荷のゆえに、主はすべての毛穴から血を流されました。⁷ 残酷にもカルバリで十字架につけられると、このすべての苦しみは、さらに激しさを増しました。

このような堪え難い経験とそれに続く主の復活という、無限の贖罪を通して主は

すべての人に不死不滅を与えられ、また悔い改めを条件としてわたしたち一人一人を罪の結果から解放してくださいました。

救い主の復活と使徒たちの死後、世の中は何百年もの暗黒の時代に入りました。そして1820年に、父なる神と御子イエス・キリストが預言者ジョセフ・スミスに御姿を現されて、主の教会の回復が始まったのです。

主がこれほどのことに寛容、これほどのことを見地から考えてみてください。前世で主はエホバ、すなわち旧約聖書の神でした。御父の指示の下に、イエス・キリストは地球とそのほかの世界を創造されました。⁶ 主は御父の御心に従うことを選ばれ、神のすべての子供たちのためにほかのだれもできないことを選ばれました。肉における御父の独り子として地上に降られ、冷酷にのしられ、あざけられ、つばきを吐きかけられ、鞭で打たれたのです。ゲツセマネの園で、救い主は皆さんとわたし、そしてこれまでに地上に生を受けた、あるいはこれから生を受けるすべての人々が経験するあらゆる痛み、あらゆる罪、そしてすべての悩みと苦しみを、御自分の身に受けられました。その堪え難い重荷のゆえに、主はすべての毛穴から血を流されました。⁷ 残酷にもカルバリで十字架につけられると、このすべての苦しみは、さらに激しさを増しました。

わたしたちは主の御名を主の教会の名称から外すとき、気づかないうちに主を自分の人生の中心から外してしまっています。

救い主の御名を受けるということには、行いと言葉を通して、周りの人にイエスがキリストであられるることを宣言し、証することが含まれます。わたしたちのことを「モルモン」と呼ぶ人の気分を害するのを恐れるあまり、救い主の御名を冠する教会の名称についてすら、救い主を擁護してこなかったのでしょうか。

もし民として、そして個人としてイエス・キリストの贖いの力、つまり清め、癒し、強め、大いなる者とし、最終的に昇栄させる力を受けるのであれば、わたしたちは主をその力の源としてはっきりと認めなければなりません。最初にできることは、主の教会を主が定められた名称で呼ぶことです。

世の多くの人々は、現在、主の教会を「モルモン教会」だと思い込んでいます。しかし、主の教会の会員としてわたしたちは、どなたがこの教会の頭として立っておられるかを知っています。それはイエス・キリスト御自身です。残念なことに、多くの人はモルモンという言葉を聞くとわたしたちがモルモンを礼拝していると思うかもしれません。これはまったく違います。わたしたちはその偉大な古代アメリカの預言者を尊び、敬意を払いますが、⁹ モルモンの弟子ではありません。主の弟子なのです。

教会が回復された初期の時代、モルモン教会やモルモンという言葉¹⁰は、悪意とのしりを含めた蔑称としてしばしば使われており、その意図するところは、この末日にイエス・キリストの教会を回復するために働いた神の御手を完全に見えなくさせることでした。¹¹

兄弟姉妹の皆さん、教会の正しい名称を回復することに対してこの世的な議論がたくさんあります。わたしたちの生きているデジタルの世界では、必要な情報をほぼ即時に見つけられるようにサーチエンジンが最適化されています。それには主の教会の情報も含まれています。そのため、評論家は今の時点で名称を正すのは賢明ではないと言います。また、「モルモン」とか「モルモン教会」として広く知られているのだからそれを最大限に活用すればいいと感じる人たちもいます。

もしこれが人が作った組織のブランド戦略の話なら、そのような議論が優勢になるかもしれません。しかしこのきわめて重大な問題に関して、わたしたちはこの教会の頭である主を仰ぎ見て、主の道は

今も将来人の道とは異なることを認めているのです。忍耐をもってすべきことをきちんと行えば、主はこの重大な問題を切り抜けられるよう導いてくださいます。詰まるところ、ニーファイが海を渡るための船を作るという責任を果たせるように主が助けてくださった¹²と同じように、主の御心を行おうとする者を主が助けてくださることをわたしたちは知っています。

この誤りを正すうえで礼儀正しく忍耐強くありましょう。責任能力の高いメディアはわたしたちの要請に思いやりのある対応をしてくれるでしょう。

以前の総大会で、ベンハミン・デ・オヨス長老がそうした出来事について話しました。このような話です。

「〔何年か前に〕メキシコの教会広報部で奉仕していたとき、〔わたしと同僚は〕ラジオのトークショーに招かれました。〔番組のディレクターの一人が〕こう尋ねました。『どうして教会の名称はそんなに長いのですか?……』

わたしたちはまたとない質問を受けて笑みを浮かべると、教会の名称は人が付けたものではないことを説明しました。それは主から与えられたものです。……すると司会者はすぐさま敬意を表して『喜

んでその名称を使わせていただきます』と答えました。」¹³

この報告から学べる法則があります。長い年月をかけて徐々に定着してしまった誤りを正すためには、わたしたちが一つ一つに全力を尽くすことが求められるでしょう。¹⁴ 世の人々は教会を正しい名称で呼ぶというわたしたちの取り組みに倣ってくれるかもしれませんし、そうならないかもしれません。しかし、もしわたしたちが教会と教会員を間違った名称で呼ぶなら、世の人々の多くが同じように呼ぶことに対して不満に思うのは、誠実ではありません。

更新された表記のガイドラインが役に立つでしょう。こう書いてあります。「最初に言及するときは、教会の正式名称、『末日聖徒イエス・キリスト教会』が望ましいです。短縮した表現が必要な場合は、『教会』または『イエス・キリスト教会』という言葉が推奨されます。『回復されたイエス・キリストの教会』も正確であり、使用を推奨します。」¹⁵

もしだれかから「あなたはモルモンですか」と尋ねられたら、このように答えられます。「末日聖徒イエス・キリスト教会の会員であるかと問われているのでしたら、はい、そうです。」

「末日聖徒ですか」¹⁶と尋ねられたら、このように答えるもいいでしょう。「はい、そうです。わたしはイエス・キリストを信じて、キリストの回復された教会の会員です。」

愛する兄弟姉妹の皆さん、わたしたちが主の教会の正しい名称を回復するために全力を尽くすならば、この教会の頭である主は末日聖徒の頭に、わたしたちが今まで見たことのないような力と祝福を注いでくださる¹⁷ということを、皆さんに約束します。わたしたちは、必要な神の知識と力を持つようになるでしょう。そしてイエス・キリストの回復された福音の祝福をあらゆる国民、部族、国語の民、民族に携えて行き、世を主の再臨に備えさせるでしょう。

では、名称にはどんな要素がありますか。主の教会の名称に関して言えば、その答えは「すべて」です。イエス・キリストは、教会を主の御名で呼ぶように指示されました。なぜなら、主の力に満ちた主の教会だからです。

わたしは神が生きておられることを知っています。イエスはキリストです。主は今日御自分の教会を導いておられます。このことを、イエス・キリストの聖なる御名によって証します、アーメン。 ■

注

1. 「主はわたしの心に、主が御自身の教会のために啓示された名称、すなわち『末日聖徒イエス・キリスト教会』という名称の重要性について、強い印象を与えられました。わたしたちの前には、主の御心にわたしたち自身を調和させるという務めがあります。この数週間、教会の様々な指導者や部門が、そのための必要なステップを開始しました。この重要な事柄に関する詳しい情報は、来月以降に提供される予定です。」(ラッセル・M・ネルソン「教会の名称に関する声明」[公式声明, 2018年8月16日] mormonnewsroom.org)

2. 過去の大管長も同じような要請をしている。例えば、ジョージ・アルバート・スミス大管長はこう話した。「この教会をモルモン教会と呼ぶことによって、主をがっかりさせないでください。主は教会をモルモン教会と呼ばれませんでした。」(in Conference Report, Apr. 1948, 160)

3. 「表示ガイド——教会の名称」
mormonnewsroom.org 参照





大管長会第二顧問
ヘンリー・B・アイリング管長

トライ、トライ、トライ

救い主はその御名を、皆さんの中に刻み込んでおられます。そして皆さんには、キリストの純粋な愛を、人に対しても自分に対しても感じています。

親 愛なる兄弟姉妹、皆さんにお話
しできるこの機会に感謝します。
わたしはこの大会で励まされ、
教化されてきました。歌われた歌も、語ら
れた言葉も、聖霊によってわたしたちの心
に届きました。わたしの言葉も同じ御霊
によって皆さんのもとに届くよう祈ります。

何年も前、わたしはアメリカ合衆国東部
で地方部会長の第一顧問をしていました。
地方部内の小さな支部まで車を走らせな
がら、会長は一度ならずこう言いました。
「ハル、だれに会うときでも、相手が深刻
な苦難の中にいると考えて接すれば、優
に半分は当たっているよ。」その言葉のと
おりでした。そればかりか、何年かたって

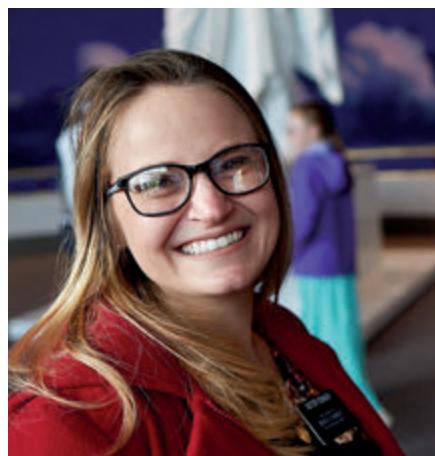
分かったのは、会長の推測はとても控え
めだったということです。今日わたしは、
苦難のさなかにある皆さんを励ましたい
と願っています。

現世は、各人が試され、成長する場とす
るため、愛にあふれる神によって用意さ
れました。御存じのように、神は世界を創
造する際に、御自分の子供たちについてこ
う言されました。「そして、わたしたちは
これによって彼らを試し、何であろうと、
主なる彼らの神が命じられるすべてのこ
とを彼らがなすかどうかを見よう。」¹

世の初めから、試しは容易ではありません
でした。わたしたちは死すべき肉体を持
つがゆえの試練を経験します。わたしたち
は皆、真理にも個人の幸福にも敵対するサ
タンの戦いがますます激しくなる世界に生
きています。世界も皆さん的生活も、混迷
を深めていくように見えるかもしれません。

安心してください。愛にあふれる神は、
皆さんがこれらの試練に遭うのをお認め
になりますが、乗り越えられる確かな方法
を用意してもらいました。天の御父は
この世を非常に愛されたので、わたしたち
の助け手として、愛する御子を送ってくだ
さったのです。² 御子イエス・キリストは、
わたしたちのために命をささげてください
ました。イエス・キリストは、ゲツセマネ
と十字架上で、わたしたちすべての罪の重

4. 教義と聖約 115:4
5. 3 ニーファイ 27:7 – 8
6. モーセ 1:33 参照
7. 教義と聖約 19:18 参照
8. モロナイ 4:3; 教義と聖約 20:37, 77 参照
9. モルモンはモルモン書のおもな筆者4人のうちの一人。ほかの3人はニーファイ、ヤコブ、モロナイである。この4人は全員が主にまみえた証人であり、それは靈感を受けて翻訳をした預言者ヨセフ・スミスも同様であった。
10. 「モルモン人」という言葉さえあざけりの言葉として使われた（see *History of the Church*, 2:62 – 63, 126）。
11. 蔑称が使われた例は、ほかに新約聖書の時代に見られたようである。使徒パウロはペリクスの法廷に立ったときに、「ナザレ人らの異端のかしら」とと言われている（使徒 24:5）。「ナザレ人」という言葉の使用についてある人はこう書いている。「この呼称は通常クリスチヤンを侮辱するために使われた。そのように呼ばれたのはイエスがナザレ出身だったからである。」（Albert Barnes, *Notes, Explanatory and Practical, on the Acts and Apostles* [1937], 313）
- 同様に、別の注釈にもこうある。「わたしたちの主を人々が侮辱を込めて『ナザレ人』と呼んだように（マタイ 26:71）、ユダヤ人は主の弟子たちも『ナザレ人』であるとした。弟子たちがクリスチヤン、つまりメシヤの弟子であると認めようとはしなかったのである。」（The Pulpit Commentary: *The Acts of the Apostles*, ed. H. D. M. Spence and Joseph S. Exell [1884], 2:231）
- 同様のことをニール・A・マックスウェル長老も述べている。「聖典に書かれた歴史を見れば、預言者たちを追い払うために彼らの面目をつぶすようなことをしたり、その影響力をそぐためにあしがまに言ったりしたことが分かります。しかし、ほとんどの場合、預言者たちはただ単に同時代の人々と世俗的な歴史から無視されました。結局のところ、初期のクリスチヤンは『ナザレの一宗派』としか見なされませんでした（使徒 24:5）。」（「人に知られぬ所より」『聖徒の道』1985年1月号、10参照）
12. 1 ニーファイ 18:1 – 2 参照
13. ベンハミン・デ・オヨス「召された聖徒」『リアホナ』2011年5月号、106
14. わたしたちはどう呼ばれるかについてはどうに
もできないが、自分自身をどう呼ぶかについて
は完全に自分の意志で決めることができる。
もしわたしたち会員が教会の正しい名称を尊
重しなかったならば、どうやってほかの人たち
にそれを尊重してもらうことができるだろうか。
15. 「表示ガイド——教会の名称」
mormonnewsroom.org
16. 聖徒という言葉は聖書でしばしば使われる。
例えば、パウロが書いたエペソへの手紙では、すべての章で聖徒という言葉を少なくとも1回は使っている。聖徒とはイエス・キリストを信じて、キリストに従おうと努力する人のことである。
17. 教義と聖約 121:33 参照





荷を背負ってくださいました。人生で遭遇するあらゆる試練の中でわたしたちを慰め、力づけることができるよう、あらゆる悲しみと苦しみ、罪の結果を経験されました。³

主が御自分の僕たちにこう言われたことを覚えているでしょう。

「父とわたしとは一つである。わたしは父により、父はわたしにおられる。そして、あなたがたがわたしを受け入れたので、あなたがたはわたしにより、わたしはあなたがたにいる。

それゆえ、わたしはあなたがたの中にいる。わたしは良い羊飼いであり、イスラエルの石である。この岩の上に建てる者は、決して倒れることはない。」⁴

わたしたちの預言者ラッセル・M・ネルソン大管長も、同じことを述べて安心させてくれています。それだけでなく、その岩の上に建て、主の御名を心に刻み込んで試練の中を導いてもらう方法を説明しました。

次のように述べています。「落胆することがあったら、思い出してください。人生は楽なことばかりではありません。試練に耐え、悲しみを忍ばなければならぬのです。『神には、なんでもできないことはありません。』（ルカ1:37）この言葉の『神』が皆さんの御父であられることを、忘れないでください。皆さんは神の形に造られた息子、娘であり、ふさわしさによって、義にかなった努力の助けとなる啓示を受ける資格があります。皆さんは主の聖なる御名を受けることができます。また神

の神聖な御名によって語る資格があります（教義と聖約1:20参照）。」⁵

このネルソン大管長の言葉から、聖餐の祈りの中にある約束を思い出します。わたしたちが約束したことを行った場合に天の御父が果たしてくださる約束です。

聞いてください。「永遠の父なる神よ、わたしたちは御子イエス・キリストの御名によってあなたに願い求めます。このパンを頂くすべての人々が、御子の体の記念にこれを頂けるように、また、進んで御子の御名を受け、いつも御子を覚え、御子が与えてくださった戒めを守ることを、永遠の父なる神よ、あなたに証明して、いつも御子の御靈を受けられるように、このパンを祝福し、聖めてください。アーメン。」⁶

わたしたちを代表してささげられるこの祈りでアーメンと言う度に、パンを頂くことによって進んでイエス・キリストの聖なる御名を受け、いつも御子を覚え、御子の戒めを守ることを、わたしたちは誓います。そして、この誓いを果たせばいつも御子の御靈を受けられる、という約束を受けます。この約束があるために、救い主は岩なのです。その岩の上に立てば安全であり、わたしたちはどんな嵐が来ようと恐れる必要はありません。

わたしはこの聖約の言葉とそれに対しで約束されている祝福について深く考えながら、進んでイエス・キリストの聖なる御名を受けるとはどういう意味なのだろうかと思いました。

ダリン・H・オーカス管長はこう説明し

ています。「わたしたちは聖餐を受けるときに、イエス・キリストの御名を単に受け取ることを証明するのではありません。進んで受けることを証明するのです（教義と聖約20:77参照）。進んで受けることを証明するには、実際に神聖な御名を最も重要な意味において受ける前に、何かもつとほかのことをしなければなりません。」⁷

わたしたちはまずバプテスマを受けるときに救い主の御名を受けるわけですが、「進んで御子の御名を受け〔る〕」という言葉は、御名を受けるのはバプテスマで終わるわけではないことを教えています。生涯にわたって常に御子の御名を受けなければなりません。これには、聖餐の席で聖約を更新したり、主の聖なる神殿で聖約を交わしたりするときのことも含まれます。

そこで、だれもが二つの重大な疑問を持ちます。「御子の御名を受けるためには何をしなければならないだろうか」「自分が進歩していることはどうすれば分かるだろうか」という疑問です。

ネルソン大管長の言葉が、役立つ答えを示唆しています。救い主の御名を受けることで、救い主に代わって語ることができと言っているのです。救い主に代わって語るとき、わたしたちは主に仕えます。「なぜならば、仕えたこともなく、見も知らぬ他人で、心の思いと志を異にしている主人を、どのようにして人は知ることができますか。」⁸

救い主に代わって語るには、信仰の祈りが必要です。救い主の業において役に



立つためにどんな言葉を語ればよいのか知るために、天の御父に熱心に祈らなければなりません。主の次の約束にふさわしくならなければならないのです。「わたし自身の声によろうと、わたしの僕たちの声によろうと、それは同じである。」⁹

しかし、御名を受けるには、主に代わって語る以上のことが求められます。主の僕としてふさわしい者になるために必要な心の状態というものがあるのです。

預言者モルモンは、主の御名を受けるにふさわしくなり、御名を受けることを可能にする心の状態について説明しています。そのような心の状態には信仰と希望、慈愛があります。慈愛とは、キリストの純粋な愛です。

モルモンの説明はこうです。

「あなたがたが柔軟であるのを見て、あなたがたにはキリストを信じる信仰があると思うからである。あなたがたはキリストを信じていなければ、キリストの教会の民の中に数えられるにふさわしくない。

また、わたしの愛する同胞よ、わたしは希望についてあなたがたに話したいと思う。あなたがたに希望がなければ、どうして信仰が得られるであろうか。

また、あなたがたは何を望めばよいのであるか。あなたがたは、キリストの贖罪とキリストの復活の力によって永遠の命によみがえることを望まなければならない。あなたがたがキリストを信じることで、約束のとおりこれが果たされるのである。

したがって、もし人に信仰があれば、必ず希望もあるに違いない。信仰のない希望はあり得ないからである。

さらに見よ、あなたがたに言う。柔軟で心のへりくだった人でなければ、信仰と希望を持つことはできない。

たとえ持てたとしても、その人の信仰と希望はむなしいものである。柔軟で心のへりくだった人でなければ、神の御前に受け入れられないからである。また、人が柔軟で、心がへりくだっており、イエスがキリストであることを聖霊の力によって認めるならば、その人は慈愛が必ずなければならない。慈愛がなければ、その人は何の価値もない。したがって、人には慈愛が必ずなければならない。」

慈愛の説明をした後、モルモンは続けてこう言っています。

「しかし、この慈愛はキリストの純粋な愛であって、とこしえに続く。そして、終わりの日にこの慈愛を持っていると認められる人は、幸いである。

したがって、わたしの愛する同胞よ、あなたがたは、御父が御子イエス・キリストに真に従う者すべてに授けられたこの愛で満たされるように、また神の子となれるように、熱意を込めて御父に祈りなさい。また、御子が御自身を現されるときに、わたしたちはありのままの御姿の御子にまみえるので、御子に似た者となれるように、またわたしたちがこの希望を持てるように、さらにわたしたちが清められて清い御子と同じようになれるよう、熱意を込めて御父に祈りなさい。アーメン。」¹⁰

わたしの証は、救い主がその御名を皆さん的心に刻み込んでおられるということです。というのは、皆さんのが、救い主を信じる信仰を増し加えているからです。さんは希望が膨らみ、楽観的になっています。そしてさんは、キリストの純粋な愛を、人に対しても自分に対しても感じています。

わたしはこれを、世界中で伝道する宣教師の中に見ます。また、末日聖徒イエス・キリスト教会のことを友達や家族に話す会員たちの中に見ます。男性や女性、若い人、そして子供までもが、救い主と隣人への愛によってミニスタリングをしています。

世界のどこかで災害が起きると、第一報を

受けて会員たちは救援計画を立てます。時には海を越えて、要請がなくとも救援に向かいます。被災地の受け入れ態勢が整うのが待ち切れることもあります。

わたしに分かるのは、信仰と希望が苦難に打ち負かされそだだと感じている人が、今日この話を聞いている人の中にいるということです。そして、皆さんは愛を感じたいと切望しているかもしれません。

兄弟姉妹の皆さん、主は、主の愛を感じてそれを分かち合う機会を、皆さん近くに用意しておられます。主に代わってだれかを愛せるよう導いてください、と主を信頼して祈ることができます。皆さんのような進んで奉仕する柔軟な人の祈りに、主はこたえてくださいます。皆さんは自分に対する神の愛と、主に代わって奉仕する相手に対する神の愛を感じるでしょう。苦難の中にある神の子供たちを助けるうちに、自分の苦難が軽く思えるようになるでしょう。皆さんの信仰と希望は強くなります。

わたしはその真理をこの目で見た証人です。妻は生涯、主の代わりに語り、主に代わって奉仕してきました。以前にも話しましたが、ビショップからこう言われたことがあります。「驚きですよ。ワードの人が困っていると聞いて助けに駆けつけると、わたしが着くころには、必ず奥さんがすでに来ているようなのです。」わたしたちがどこに住んでいようと、56年間、常にそうでした。

現在、妻は一日に二言三言しか話すことができません。妻のもとには、妻が主に代わって愛してきた人たちが来てくれます。毎日朝晩、妻とともに賛美歌を歌い、二人で祈ります。声に出して祈り、歌うのはわたしです。時々賛美歌に合わせて妻が口を動かすのを見ることができます。妻のお気に入りは子供の歌です。妻のいちばんの思いと望みは、「イエス様のように」¹¹という歌に凝縮されています。

先日、繰り返し部分の、「互いに愛し合え イエス様のように」のくだりを歌った後で、妻がかすかですが、はつきりと「トライ、



中央日曜学校会長会第二顧問
ブライアン・K・アシュトン

御 父

わたしたち一人一人には、……御父のようになる可能性があります。御父のようになるために、御子の御名によって御父を礼拝しなければなりません。

「トライ、トライ」と言いました〔訳注——この「トライ(Try)」という言葉が英語の歌詞に何度も出てくる。「やってみる、努力する」という意味で、主のようになる、主のように愛する、御靈の声を聴く、思いやりを示す、主の教えを覚えているといった歌詞が続く〕。妻は救い主にお会いするとき、主によって御名が心に刻まれており、自分が主のような者になっていることを知るでしょう。救い主は、今、妻を苦難の中で支えてくださっているように、皆さんを苦難の中で支えてくださいます。

救い主が皆さんを御存じで、皆さんを愛しておられることを証します。皆さんが救い主の御名を知っているように、救い主も皆さんの名前を御存じです。皆さんの苦しみを御存じです。それらを経験されたからです。贖罪によって、救い主は世に勝っておられます。進んで救い主の御名を受けることによって、皆さんは無数の人々の重荷を軽くするのです。そして、いつかさんは、救い主をさらによく知り、さらに深く愛するようになっていることに気づくでしょう。救い主の御名が皆さんの中にあり、皆さんの記憶に刻まれることでしょう。皆さんはその御名によって呼ばれるようになります。わたしと愛する家族に対する、そして皆さんに対する救い主の愛と優しさへの感謝を込めて、これらのこととイエス・キリストの御名によって証します。アーメン。■

注

1. アブラハム 3:25
2. ヨハネ 3:16 – 17 参照
3. アルマ 7:11 – 12 参照
4. 教義と聖約 50:43 – 44
5. ラッセル・M・ネルソン「神には、できないことはない」『聖徒の道』1988年6月号、36
6. 教義と聖約 20:77
7. ダリン・H・オーカス「イエス・キリストのみ名を受ける」『聖徒の道』1985年7月号、82 参照
8. モーサヤ 5:13
9. 教義と聖約 1:38
10. モロナイ 7:39 – 44, 47 – 48
11. 「イエス様のように」『子供の歌集』40 – 41 参照

わたしの妻のメリンドは、生涯にわたくてイエス・キリストの忠実な弟子であるよう一心に努めてきました。しかし、青少年の年代になったばかりのころ、天の御父の愛と祝福を受けるのにふさわしくないと感じていました。なぜなら御父の特質を誤解していたからです。メリンドは悲しみを感じていたものの、幸いなことに戒めを守り続けました。数年前、御自分の子供たちに抱いておられる愛と、御自分の業を行おうとするわたしたちのつたない努力に感謝しておられることも含め、神の特質をよりよく理解する助けとなつた一連の経験をしました。

彼女はその経験からどのように影響を受けたかをこう説明しています。「わたしは今、御父の計画が成就することを確信しています。御父はわたしたちの成功に直接力を注ぎ、御父のみもとに帰るために必要な教訓や経験を与えてくださるのです。わたしは以前よりもっと神がわたしたちを御覧になるように自分自身やほかの人を見るることができます。もっと愛をもって、また、あまり心配せずに親としての役目を果たし、教え、仕えることができます。心配や不安よりも、平安を感じ自信を持てます。裁かれていると感じるよりも、支えられていると感じます。わたしの信仰はより



確かにものとなっています。御父の愛をもっと頻繁に、深く感じます。」¹

「〔天の御父の〕属性、完全さ、特質についての正しい知識を持つことは、昇栄を得るのに十分な信仰を働かせるために不可欠です。² 天の御父の属性について正しく理解することにより、自分自身やほかの人に対する見方が変わり、御自分の子供たちに対する神の偉大な愛と、わたしたちが御自身のようになれるように助けたいという神の切なる願いを理解できるようになります。御父の特質に対する間違った考えは、御父のみもとに戻ることは不可能であるかのように思われます。

今日のわたしの目的は、御父について重要な教義のポイントを教えることです。そうした教義によって、わたしたち一人一人、特に神に愛されているかどうか疑問に思っている人が、御父の真の属性をさらによく理解し、御父と御子、そして御父の計画に対するさらに深い信仰を働かせられるようになるでしょう。

前世

前世において、わたしたちは天の両親の靈の子として生まれ、御二方とともに家族として生活していました。³ 天の両親は



わたしたちのことを御存じで、わたしたちを教え、愛されました。⁴ そしてわたしたちは、天の御父のようになりたいと切に望みました。しかし、そのようになるには、次のことが必要であるということははっきり分かりました。

1. 荣光を受けた、不死不滅の肉体を得る。⁵
2. 神権の結び固めの力によって結婚し、家族を築く。⁶
3. あらゆる知識、力、神聖な特質を身につける。⁷

このすべてが必要なため、御父は一定の条件の下に⁸、復活のときに不死不滅で榮光を受けた肉体をわたしたちが得られる計画をお作りになりました。その計画によれば、わたしたちは死すべき世で結婚して家族を築くことができます。その機会がなかった忠実な人は、死すべき世の後でそれができます。⁹ また完全に向けて進歩することができ、最終的には天の両親のみもとに戻り、昇栄した永遠に幸福な状態で御二方や家族とともに住むことができるのです。¹⁰

聖文ではこれを救いの計画と呼んでいます。¹¹ わたしたちはこの計画が提示されたとき、喜び呼ばわったほど、この計画に感謝しました。¹² わたしたちはそれぞれ、この計画の条件を受け入れました。そこには神聖な特質を身につける助けとなる、現世での経験や困難が含まれていました。¹³

死すべき世

天の御父は御自分の計画の中でわたしたちが進歩するために必要な状況を死すべき世で与えてくださいます。御父は肉においてイエス・キリストをもうけ¹⁴、主がこの世での使命を果たせるよう神聖な助けを与えられました。天の御父は同様に、わたしたちが御父の戒めを守るよう努めるならば、一人一人を助けてくださいます。¹⁵ 御父は選択の自由を与えてくださいます。

わたしたちの人生は御父の御手にあり、「命数は知られており」「短くされることは【ありません】。」¹⁷ また御父は、御自分を愛する者たちにとって、やがては万事が益となるようにしてくださいます。¹⁸

天の御父こそ、日ごとの食物を与えてくださる御方であり¹⁹、その食物には、わたしたちが食する食物と、御父の戒めを守るために必要な力の両方が含まれます。²⁰ 御父は良い贈り物をしてくださいます。²¹ わたしたちの祈りを聞き、こたえてくださいます。²² 天の御父は、わたしたちがそうしていただくなれば、悪しき者から救ってくださいます。²³ わたしたちが苦しむとき、わたしたちのために泣いてくださいます。²⁴ 結局のところ、すべての祝福は御父から来るのです。²⁵

天の御父はわたしたちを導いてくださり、良い実を結べるように、わたしたちの強さ、弱さ、また選びに基づいて、必要な経験を与えてくださいます。²⁶ 御父はわたしたちを愛しておられるので、必要に応じて懲らしめられます。²⁷ 御父は「賢慮の人」であり²⁸、わたしたちが求めれば、助言を与えてくださいます。²⁹

天の御父こそ、わたしたちの生活に聖霊の影響と賜物を送ってくださる御方です。³⁰ 聖霊の賜物を通して、御父の榮光、すなわち英知、光、力が、わたしたちの内に宿することができます。³¹ 自分の目がひたすら神の榮光に向くまでわたしたちが光と真理を増すように努めるならば、天の御父はわたしたちを永遠の命に結び固めるために約束の聖なる御霊を送り、この世または次の世において、御顔を現してくださいます。³²

来世

死後の靈界においても、天の御父は引き続き聖霊を注いでくださり、福音を必要とする人々に宣教師を遣わされます。御父は祈りにこたえ、救いの儀式がまだ行われていない人々が身代わりの儀式を受

けられるように助けられます。³³

御父はイエス・キリストをよみがえらせ、復活をもたらす力を主にお与えになりました。³⁴ この復活はわたしたちが不死不滅の体を得る手段です。救い主の贖いと復活により、わたしたちは御父のみもとへ戻ることができ、そこでイエス・キリストにより裁きを受けます。³⁵

「聖なるメシヤの功德と憐れみと恵み」³⁶に頼る人々は、御父のような栄光に満ちた体を受け、³⁷「決して終わりのない幸福な状態で」³⁸御父とともに住むことができるのです。そこで御父はわたしたちの目から涙をことごとくぬぐい取ってくださり³⁹、御父のようになるための旅路を歩み続けるのを助けてくださいます。

お分かりのように、天の御父はわたしたちのためにいつもそこにいてくださいます。⁴⁰

御父の属性

御父のようになるには、その特性を育む必要があります。天の御父の完全さと特質には以下が含まれます。

- 御父は「無窮〔かつ〕永遠」であられる。⁴¹
- 御父は完全に公正で、憐れみ深く、思いやりがあり、寛容で、わたしたちにとつていちばん良いことだけを望んでおられる。⁴²
- 天の御父は愛に満ちた御方である。⁴³
- 御父は御自身の聖約を守られる。⁴⁴
- 御父がお変わりになることはない。⁴⁵
- 御父は決して偽りをおっしゃらない。⁴⁶
- 御父は人を公平に御覧になる。⁴⁷
- 御父は、初めから過去も現在も未来もすべてのことを御存じである。⁴⁸
- 天の御父は、わたしたち全員よりも英知に優れておられる。⁴⁹
- 御父はあらゆる力を持っておられ⁵⁰、行おうと心にかけたことをすべて行われる。⁵²



兄弟姉妹の皆さん、わたしたちは御父を感じ、頼りにすることができます。御父は永遠の観点から物事を見ておられるので、わたしたちに見えないことを御覧になれます。御父の喜び、業、栄光とは、わたしたちの不死不滅と永遠の命をもたらすことであり、⁵³御父はすべてのことをわたしたちの益となるよう行われます。御父は「[わたしたち] 自身が願うよりも[わたしたち] の[永遠]の幸福を願っておられ[ます]。」⁵⁴ ですから、「その困難が[わたしたち] や[わたしたち] の愛する人々のためにどうしても必要なものでなければ、[わたしたち] にこれ以上に苦しい思いをさせるはずがありません。」⁵⁵ 結果的に、御父は裁くことや罪に定めることに焦点を絞るのではなく、わたしたちが進歩するのを助けることに焦点を絞っておられます。⁵⁶

御父のようになる

わたしたち一人一人には、神の靈の息子や娘として、御父のようになる可能性があります。御父のようになるために、御子の御名によって御父を礼拝しなければなりません。⁵⁷ 救い主がそうされたように、御父の御心に従うよう努め⁵⁸、絶えず悔い改めます。⁵⁹ これらのことを行うとき、御父のすべてを受けるまで「恵みに恵みを加えられる」でしょう。⁶⁰ また、「御父の属性、完全さ、特質」を授かるでしょう。⁶¹

わたしたち人間と完全になられた天の御父との違いを考慮すると、御父のようになるのは不可能だと思う人がいるのも当然のことです。しかし、聖文にははつきり

と説明されています。信仰を持ってキリストにすがり、悔い改め、従順であることによって神の恵みを求めるならば、やがてわたしたちも御父のようになることができます。従順であるように努力する者は「恵みに恵みを加えられ」、やがて「[御]父の完全を受け[る]」ということに、とても慰められます。⁶² つまり、自分の力で御父のようになるわけではないのです。⁶³ むしろ、恵みの賜物によって受けられます。恵みの賜物は大きいものもありますが、大抵は小さいもので、わたしたちが完全を受けるまで、積み重ねられています。兄弟姉妹、それでも、御父の完全を受ける時は必ずやって来ます。

天の御父があなたを昇栄させる方法を知っておられるということを信じるようお勧めします。日々の支えとなる御父の助けを求め、神の愛を感じられないときでもキリストを信じる信仰をもって前進してください。

御父のようになることについて、理解できないことはたくさんあります。⁶⁴ しかし、御父のようになるよう努力することは、あらゆる犠牲を払う価値があるということを確かに証できます。⁶⁵ この死すべき世で払う犠牲は、その大きさにかかわらず、神のみもとで感じる計り知れない喜びや幸福、愛とはまったく比べものになりません。⁶⁶ 求められている犠牲を払う価値があると信じることが難しいのであれば、救い主が次のように呼びかけておられることを知ってください。「あなたがたは……父がどれほどの大いなる祝福を……持っていて、あなたがたのために備えておられるかをまだ理解していない。あなたがたは、今はすべてのことに耐えることはできない。しかし、元気を出しなさい。わたしがあなたがたを導いていくからである。」⁶⁷

天の御父はあなたを愛し、再びあなたとともに住むことを望んでおられると証します。イエス・キリストの御名により、アーメン。 ■

注

1. 本人の手元にあるメモ：see also D. Melinda Ashton, "The Holy Ghost: Direction, Correction and Warning" (Brigham Young University Women's Conference, Apr. 28, 2016), byutv.org.
2. *Lectures on Faith* (1985), 38
3. 「家族——世界への宣言」「リアホナ」2017年5月号, 145；福音のテーマ「天の母」の項, topics_lds.org 参照
4. 使徒パウロは以下のように述べている。わたしたちは御父をよく知っていたため、靈は今でも御父のことを「お父さん」を意味するアバと呼びたいと切望している。アバとは、非常に慣れ親しんでいる父親に向けられる言葉である（ローマ8:15 参照）。
5. 教義と聖約 130:22 参照
6. 教義と聖約 132:19 – 20 参照
7. マタイ5:48 参照。2ペテロ1:3 – 8 も参照
8. 条件には、第一の位を守り（アブラハム3:26 参照）、死すべき世でイエス・キリストとその贖いを信じる信仰を勧かせ、悔い改め、神の権能を持つ者によって水に沈めるバプテスマを受け、聖靈の賜物を受け、最後まで堪え忍ぶことが含まれる（3ニーファイ27:16 参照）。
9. ダリン・H・オーカス管長はこう教えている。「わたしの話を聞いている人の中には、『でもわたしはどうしたらいいのかしら』と思う人がきっといることでしょう。わたしたちは、進歩を望んでも現在は理想的な機会と基本的な条件を欠いている、ふさわしくすばらしい末日聖徒が大勢いることを理解しています。独身生活、子供を授からない生活、死、離婚は理想を打ち碎き、約束された祝福の実現を遅らせます。……しかし、このような苦しみは一時的なものです。戒めに従い、聖約を忠実に守り、正しい望みを抱く神の息子、娘たちには、永遠の世界では何の祝福も拒まないと、主は約束されました。」（「人に幸福を与える偉大な計画」「聖徒の道」1994年1月号, 84）
10. モーサヤ2:41 参照
11. アルマ42:5 参照。贖いの計画（例として、モルモン書ヤコブ6:8 参照）、また、幸福の計画（アルマ42:8, 16 参照）とも呼ばれている。
12. ヨブ38:4 – 7 参照
13. 例として、ヘブル5:8;12:11; エテル12:27 参照。少なくとも最初、死すべき世で直面する困難の中には、理解力が限られるために、最も待ち望む約束された祝福を受ける妨げとなるように思えるものがある。相反するように見えるが、忠実であり続けるならば、神は約束されたあらゆる祝福を授けてくださる。
14. ルカ1:31 – 35; ヨハネ1:14; 1ニーファイ11:18 – 21; 「聖句ガイド」「イエス・キリスト」の項, scriptures_lds.org 参照
15. 教義と聖約 93:4 – 5, 16 – 17, 19 – 20 参照
16. モーセ7:32 参照
17. 教義と聖約 122:9
18. ローマ8:28 参照
19. マタイ6:11 参照
20. N・エルドン・タナー「祈りの重要さ」「聖徒の道」1974年8月号, 376 参照



21. ルカ11:10 – 13; ヤコブの手紙1:17 参照
22. ルカ11:5 – 10; 3ニーファイ13:6 参照
23. マタイ6:13 参照
24. モーセ7:31 – 40 参照
25. ヤコブの手紙1:17 参照
26. ヨハネ15:1 – 2; 教義と聖約122:6 – 7 参照
27. ヘブル12:5 – 11; 教義と聖約95:1 参照
28. モーセ7:35
29. アルマ37:12, 37 参照
30. ヨハネ14:26; 2ニーファイ31:12 参照
31. ヨハネ17:21 – 23, 26; 教義と聖約93:36 参照
32. 教義と聖約76:53; 88:67 – 68 参照
33. 1ペテロ4:6 参照。メルビン・J・バラード長老は、自らバプテスマを授けた男性が、なぜ教会に加わったのかについて、こう述べている。「靈界にいる彼の先祖たちが何年も前に福音を受け入れ、地球にいる家族のだれかが扉を開けてくれるよう祈っていたことがわたしに示されました。彼らの祈りは奏功し、主はこの男性の家まで宣教師を導かれたのです。」（in Melvin R. Ballard, *Melvin J. Ballard, Crusader for Righteousness* [1966], 250）
34. モルモン7:5 – 6 参照。ヨハネ5:21, 26; 1コリント6:14; 2ニーファイ9:11 – 12; アルマ40:2 – 3; 3ニーファイ27:14 も参照
35. ヨハネ5:22; モルモン書ヤコブ6:9; アルマ11:44; ヒラマン14:15 – 18 参照。キリストの贖罪は、肉体の死と靈の死を含むアダムの堕落のあらゆる影響に打ち勝つ。天の御父のもとに戻れるようにするには、肉体の死と靈の死の両方を克服しなければならない。罪を悔い改めた人は、永遠に御父と御子とともに住むことができる。しかし、悔い改めない人は、自分の罪によってもたらされる第2の死を受ける（ヒラマン14:15 – 18 参照）。
36. 2ニーファイ2:8
37. 教義と聖約76:56; 88:28 – 29 参照
38. モーサヤ2:41
39. 黙示7:17 参照
40. モーセ7:30 参照。実に天の御父は、イエス・キリストとほかの日の榮えの者の働きによって月の榮えの王国にいる者を引き続き見守り、養われる（教義と聖約76:77, 87 参照）。また、聖靈と天使の働きによって星の榮えの王国にいる者にもそうなさる（教義と聖約76:86, 88 参照）。
41. モーセ7:35。詩篇90:2 も参照
42. 詩篇103:6 – 8; ルカ6:36; モーセ7:30 参照
43. 1ヨハネ4:16 参照
44. 教義と聖約84:40 参照
45. ヤコブの手紙1:17 参照
46. 民数23:19 参照
47. 使徒10:34 – 35 参照
48. 1ニーファイ9:6; 教義と聖約130:7 参照
49. アブラハム3:19 参照。栄光を受けた完全な御方であるイエス・キリストは、わたしたち全員よりも英知に優れておられる。
50. Dictionary.comでは「英知」(intelligence)をこう定義している。「學習、推論、理解をする能力。また、同様の精神的活動を行う能力。真理、関係、事実、意味などを把握する才能」および「知識」。
51. 默示21:22 参照
52. アブラハム3:17 参照
53. モーセ1:39 参照
54. リチャード・G・スコット「主を信頼する」「聖徒の道」1996年1月号, 19
55. リチャード・G・スコット「主を信頼する」18
56. ヨハネ5:22; モーセ1:39 参照。わたしたちを罪に定めるのは、サタンとわたしたち自身である（黙示12:10; アルマ12:14 参照）。
57. ヨハネ4:23; 教義と聖約18:40; 20:29 参照
58. 3ニーファイ11:11; 教義と聖約93:11 – 19 参照
59. 悔い改めとは、神のようになるために、性質そのものを変える過程である。したがって、「何か間違ったことを行う」ときだけでなく、絶えず悔い改めるべきである。
60. 教義と聖約93:19 – 20 参照
61. *Lectures on Faith*, 38。モロナイ7:48:10:32 – 33; 教義と聖約76:56, 94 – 95:84:33 – 38 も参照
62. 教義と聖約93:20, 強調付加
63. モロナイ10:32 – 33; 教義と聖約76:69, 94 – 95 参照
64. 神はなぜ御自分になる過程について、さらに明らかにおできにならない、または明らかにされないのでどうか。正直なところ、わたしたちはそのすべての理由を知らない。しかし、少なからずとも理解している二つの理由がある。一つは、死すべき世の位では、ある物事はまったく理解不可能だということである（教義と聖約78:17 参照）。それは中世に生きた人にインターネットについて説明しようとするようなものかもしれない。脈絡も全体像もまったくそこにはない。二つ目は、わたしたちは知らないということを苦悶せざるを得ないため、恵みの賜物が往々にして時宜にかなってもたらさざるということである。
65. 扱うように求められる犠牲は、完全に到達するために欠かせない可能性がある。
66. ローマ8:18 参照
67. 教義と聖約78:17 – 18



七十人会長会
ロバート・C・ゲイ長老

イエス・キリストの御名を受ける

主が御覧になるように見、主が奉仕されたように奉仕し、主の恵みは十分であることを信頼して、わたしたちが忠実にイエス・キリストの御名を受けられますように。

わたしの友である兄弟姉妹の皆さん、最近わたしは、啓示された名稱でこの教会を呼ぶようにといいうラッセル・M・ネルソン大管長の呼びかけについて思い巡らしながら、救い主が教会の名称についてニーファイ人に指示をお与えになった箇所を聖典で開きました。¹ 救い主の言葉を読んで、「キリストの名を受けなければならぬ」とニーファイ人にも言われていることに驚きました。² そこで、わたしは自らを省みてこう自問したのです。「わたしは救い主が望まれているよう、救い主の御名を受けているだろうか。」³ 今日わたしは、この問いかけの答えとして心に感じたことを、話したいと思います。

第一に、キリストの御名を受けるということは、わたしたちは神が御覧になるように人々を見るよう忠実に努力することを意味します。⁴ 神はどのように人々を御覧になるのでしょうか。ジョセフ・スマスは次のように述べています。「人類が互いに無慈悲に裁き、罪に定めている一方で、宇宙の偉大な親である御方は、全人類を父親としての思いやりと心遣いをもって見ておられます。」なぜなら「その愛は果てしな〔い〕」からです。⁵

安らかに天の家へ帰れるよう姉に祝福を与えました。そのとき、自分が姉の人生を試練と教会に活発でないという面だけで見ていたことがあまりにも多かったことに気づきました。その晩、姉の頭に手を置いたときに、わたしは御靈から厳しい叱責を受けました。わたしは姉が善良な人だったことに痛切に気づかされ、神が御覧になるように姉を見させていただいたのです。福音と人生に苦闘していた人ではなく、わたしが経験していない困難な問題に立ち向かわざるを得なかった人として見られるようにしてくださったのです。大きな問題がありながらも4人のすばらしい子供たちを育てた立派な母親として姉を見ました。父が亡くなった後、時間を取つて母を見守り、話し相手になっていた、母の友として姉を見ました。

姉との最後の夜、神はわたしにこう問い合わせておられたのだと思います。「周りにいる人が皆聖なる存在だということが分からぬのですか。」

ブリガム・ヤングはこう教えました。
「人を自分の都合ではなくありのままに





……理解するようにと、聖徒たちにお願いしたいと思います。⁶

このようなことを言う人がよくいます。『悪いことをしたのだから、あんな人は聖徒とは言えない』……中傷の言葉やうそも耳にします。……〔または、〕安息日を破る人もいます……そのような人たちを裁かないでください。主が彼らにどのような計画をお持ちかあなたには分からぬからです。……〔彼らを裁かずに〕彼らの話に耳を傾けましょう。」⁷

救い主が皆さんのことや皆さんの重荷のことを御存じないなどと想像できる人がいるでしょうか。救い主はサマリヤ人も、姦淫を犯した人も、取税人も、重い皮膚病の人も、精神的な疾患のある人も、罪人も、皆同じ目で御覧になりました。すべて御父の子供であり、贖われることが可能だったのです。

神の王国に用意されている自分たちの場所に疑念を抱いている人や、いかなる事柄であれ悩み苦しむ人に、救い主が背を向けられる姿を想像できるでしょうか。⁸わたしは想像できません。キリストの目には、一人一人に永遠の価値があるのです。失敗するよう任されている人などいません。永遠の命は、すべての人が受けられ

るのです。⁹

姉のベッドの傍らで御靈に叱責されて、わたしは大きな教訓を学びました。つまり、主が御覧になるように人々を見ると、わたしたちが接する相手と自分の両方が贖われるという二重の勝利が得られるのです。

第二に、キリストの御名を受けるためには、神が御覧になるように見るだけでなく、主の業を行い、主がなさったように奉仕しなければなりません。二つの大切な戒めに従って生活し、神の御心に従い、イスラエルを集合させ、光を「人々の前に輝かし」ます。¹⁰回復された主の教会の聖約と儀式を受け、それに従った生活をします。¹¹これを行うときに、自分自身と家族とほかの人たちの生活を祝福する力を、神は授けてくださいます。¹²「自分の知っている人の中に、人生で天の力を必要としない人がいるだろうか」と自問してみてください。

自らを聖めるならば、神はわたしたちの中で驚くべき業を行われます。¹³わたしたちは心を聖めることによって、自らを聖めます。¹⁴主に聞き従い、¹⁵罪を悔い改め、¹⁶改心し、¹⁷主が愛されたように愛する¹⁸ときに心が聖められるのです。「あなたがたが自分を愛する者を愛したからとて、な

んの報いがあろうか」と救い主は問い合わせされました。¹⁹

わたしは最近、ジェームズ・E・タルメージ長老の生涯である経験を知り、自分が周囲の人をどう愛し、どのように奉仕しているかについて考えさせられました。使徒になる前、若き教授だったタルメージ長老は、ジフテリアが猛威を振るい、死者が出ていた1892年、近所に住む、教会員ではない見知らぬ家族がジフテリアで苦しんでいることを知りました。感染者のいる家に入るなどという、危険に身を投じることを望む人はだれもいませんでした。ところが、タルメージ長老は直ちにその家に向かったのです。そこには子供が4人いました。2歳半の子供がベッドの上で亡くなっていて、5歳と10歳の子供はひどく苦しんでおり、13歳の子供は衰弱していました。両親は悲しみと疲労にさいなまれていました。

タルメージ長老は生死を問わず世話をし、部屋を掃除し、汚れた衣類を外に出し、病原菌にまみれた不潔なぼろ切れを焼き捨てました。一日中働き、自宅に戻ったのは翌朝でした。その晩、10歳の子が亡くなりました。5歳の子を抱き上げると、せきとともに血の混じった粘液をタルメージ長老の顔や服に吐き散らしましたが、「下に降ろすことなどできませんでした」とタルメージ長老は書いています。そして、その子が腕の中で息を引き取るまで抱いていたのです。3人の子供の埋葬をすべて助けると、悲しみに暮れるその家族のために食事と清潔な衣類を用意しました。タルメージ兄弟は帰宅すると着ていた服を処分し、亜鉛の溶液を入れた風呂に入り、家族から自分を隔離しました。その後、軽度のジフテリアを患いました。²⁰

わたしたちの周囲では、多くの命が危険にさらされています。聖徒たちは、聖くなり、場所や状況を問わず、すべての人にミニスティングをすることによって、救い主の御名を受けます。そうすることで多くの

命が救われるのです。²¹

最後に、主の御名を受けるためには主を信頼しなければならない、とわたしは信じています。ある日曜日に出席した集会で、若い女性が次のような内容の質問をしてきました。「最近、ボーイフレンドと別れました。そして、彼は教会を去ることになりました。彼はわたしに、今まで以上に楽しいよ、と言います。なぜそうなるのでしょうか。」

救い主がニーファイ人に語られた言葉が、この質問の答えになっています。「しかし、〔あなたの人生〕がわたしの福音の上に築かれておらず、人の業の上に、あるいは悪魔の業の上に築かれていれば、まことにあなたがたに言う、彼らはしばらくの間は自分たちの業を楽しむが、やがて最後が来〔る〕。」²² イエス・キリストの福音なしに永続する喜びはないのです。

その集会でわたしは、大きな重荷やどう頑張っても守れそうにない戒めで悩んでいる多くの人について考えました。こう自問しました。「主であれば、彼らにほかにどんなことを言われるだろうか。」²³ きっと主はこうお尋ねになると思います。「わたしを信頼していますか。」²⁴ 長血を患う

女に主はこう言われました。「娘よ、あなたの信仰があなたを救ったのです。安心して行きなさい。」²⁵

わたしの好きな聖句の一つは、ヨハネによる福音書第4章4節です。「しかし、イエスはサマリヤを通過しなければならなかった。」

なぜこの聖句が好きなのかというと、イエスにはサマリヤに行く必要がなかったからです。その時代、ユダヤ人はサマリヤ人をさげすんでいて、サマリヤを迂回する道を通って旅をしていました。しかし、イエスは御自分が約束されたメシヤであることを全世界に向けて初めて宣言するために、あえてそこに行かれたのです。それを伝える相手として、のけ者にされていた民を選んだだけでなく、女性を選ばれました。しかも、罪深い生活をしていた女性、すなわち、当時最も見下げられていた人を選ばれたのです。イエスがそうされたのは、恐れや心の傷、依存症、疑念、誘惑、罪、崩壊した家庭、うつや不安、慢性の病気、貧困、虐待、絶望、孤独などよりも主の愛の方が大いに勝ることを、すべての人が常に理解できるようにするために、わたしは確信しています。²⁶ 御自分の力で

癒して、永続する喜びへと導くことのできないものや人はないことを、すべての人々に知らせたいと、イエスは望まれたのです。²⁷

主の恵みは十分なのです。²⁸ 主のみが、すべてのものの下に身を落とされました。主の贍いの力は、人生のどんな重荷をも克服する力です。²⁹ 井戸の傍らにいた女に与えられたメッセージは、主はわたしたちの生活状況を御存じで、³⁰ わたしたちはどのような状況にあろうといつでも主とともに歩むことができるということです。この女とすべての人に向けて主は述べておられます。「わたしが与える水を飲む者は、いつまでも、かわくことがないばかりか、わたしが与える水は、その人のうちで泉となり、永遠の命に至る水が、わきあがるであろう。」³¹

どんな人生の旅をしているのであれ、皆さんにはなぜ、自分を癒し、解放するあらゆる力をお持ちの御方に背を向けるのでしょうか。主に頼るためなら、どんな代価でも払う価値はあるのです。兄弟姉妹の皆さん、天の御父と救い主イエス・キリストを信じる信仰を強めることを選びましょう。

わたしは心の底から証します。末日聖徒イエス・キリスト教会は、救い主の教会であり、まことの預言者を通して生けるキリストによって導かれています。主が御覧になるように見、主が奉仕されたように奉仕し、主の恵みは天の家と尽きることのない喜びに導くに十分であることを信頼して、わたしたちが忠実にイエス・キリストの御名を受けるようにと、祈ります。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

- 3 ニーファイ 27:3-8 参照
- 3 ニーファイ 27:5-6 参照。教義と聖約 20:77、および聖餐の聖約も参照
- イエス・キリストの御名を受けたその証人になることについての包括的な研究は、以下を参照。Dallin H. Oaks, *His Holy Name* (1998)
- モーサヤ 5:2-3 参照。キリストの御名を受けたベニヤミン王の民の心の中の大きな変化の一つは、目を開けて「はっきりと示された」とのことであった。日の光の王国を受け継





- ぐ人々は「彼らが見られているように見」の人たちである（教義と聖約 76:94）。
- 5.『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』39
 6. Brigham Young, in *Journal of Discourses*, 8: 37.
 7. *Discourses of Brigham Young*, sel. John A. Widtsoe (1954), 278.
 8. 3 ニーファイ 17:7 参照
 9. ヨハネ 3:14 – 17; 使徒 10:34; 1 ニーファイ 17:35; 2 ニーファイ 26:33; 教義と聖約 50:41 – 42; モーセ 1:39 参照。D・トッド・クリストファーソン長老もこう教えてている。「イエス・キリストの贖罪は、イエス・キリストを頼るすべての人々の喪失や損失を予測し、最終的に、それらすべてを補うために成し遂げられたことを、確信をもって証します。御父が子供たちのために準備しておられるすべてのうちの一部にしかあずかれない運命にある人はだれ一人としていないのです。」（「なぜ結婚、なぜ家族か」『リアホナ』2015年5月号）
 10. マタイ 5:14 – 16; 22:35 – 40; モーサヤ 3:19; 教義と聖約 50:13 – 14; 133:5 参照。ラッセル・M・ネルソン「散らされたイスラエルの集合」『リアホナ』2006年11月号も参照
 11. レビ 18:4; 2 ニーファイ 31:5 – 12; 教義と聖約 1:12 – 16; 136:4; 信仰箇条 1:3 – 4 参照
 12. 教義と聖約 84:20 – 21; 110:9 参照
 13. ヨシア 3:5; 教義と聖約 43:16 参照。ヨハネ 17:19 も参照。救い主はわたしたちを祝福する力を持つために、自らを聖められた。
 14. ヒラマン 3:35; 教義と聖約 12:6 – 9; 88:74 参照
 15. ジョセフ・スミス——歴史 1:17, 預言者ジョセフ・スミスに与えられた最初の命令参照。2 ニーファイ 9:29; 3 ニーファイ 28:34 も参照
 16. マルコ 1:15; 使徒 3:19; アルマ 5:33; 42:22 – 23; 教義と聖約 19:4 – 20 参照。罪に関する以下の二つの思索についても考えるとよい。まずは、ヒュー・ニブリーの書いた言葉である。「罪とは無駄である。もっと良いことで自分にできることをしているべきときに別のことをしているのだから。」（*Approaching Zion*, ed. Don E. Norton [1989], 66）ジョン・ウェスリーの母であるスザンナ・ウェスリーは、息子にあててこう書いている。「これを判断の基準にしなさい。自分の判断力を弱め、良心の感覚を鈍くさせ、神を感じにくくさせるもの、あるいは靈的なものに対する喜び

- を奪うものは何でも、つまり心よりも肉体に力と支配力を与えるものは何であろうと、それ自体がどれほど無害なものであろうと、それはあなたにとって罪となるのです。」（Susanna Wesley: *The Complete Writings*, ed. Charles Wallace Jr. [1997], 109）
17. ルカ 22:32; 3 ニーファイ 9:11, 20 参照
 18. ヨハネ 13:2 – 15, 34 参照。贖いの業を行った夜に救い主がその足を洗われた者たちの中には、その後御自分を裏切った者、御自分を否定した者、肝心なときに眠り込んでしまった者がいた。その夜、主はこう教えられた。「わたしは、新しいましめをあなたがたに与える、互に愛し合ひなさい。わたしがあなたがたを愛したように……。」
 19. マタイ 5:46
 20. See John R. Talmage, *The Talmage Story: Life of James E. Talmage — Educator, Scientist, Apostle* (1972), 112 – 14.
 21. アルマ 10:22 – 23; 62:40 参照
 22. 3 ニーファイ 27:11
 23. マタイ 11:28, 30 で主はこう言われている。「すべて重荷を負うて苦労している者は、わたしのもとにきなさい。あなたがたを休ませてあげよう。……わたしのくびきは負いややすく、わたしの荷は軽いからである。」2コリント 12:7 – 9 についても考察していただきたい。パウロは「肉体に」強力な「とげが与えられ」て苦しみ、取り去るよう祈ったと書いている。ところがイエスはこう言われた。「わたしの恵みはあなたに対して十分である。わたしの力は弱いところに完全にあらわわれる。」エテル 12:27 も参照。
 24. モーサヤ 7:33; 29:20; ヒラマン 12:1; 教義と聖約 124:87 参照
 25. ルカ 8:43 – 48; マルコ 5:25 – 34 参照。長血を患う女は必死で、ほかに選択肢がなかった。12年もその病を患い、持っていた金をすべて医者に使い果たしてしまったものの、病は悪くなるばかりだったのである。周囲の人にも家族にも見離されていたため、あえて大群衆の中に入り、救い主のもとに身を投じたのだ。救い主を完全に信頼し、信仰があったため、救い主は衣の裾にだれかが触れたのに気づかれた。その信仰のおかげで主は直ちに完全に彼女を癒されたのである。そして主は、彼女を「娘よ」と呼ばれた。彼女はもはや見捨てられた者ではなく、神の家族の一員となつたのである。彼女は肉体的にも、社会的にも、情緒的にも、靈的にも癒された。悩みが何年にも

わたる場合や生涯にわたる場合もあるかもしれないが、癒されるという主の約束は確実で絶対的なのである。

26. ルカ 4:21; ヨハネ 4:6 – 26 参照。ヨハネの記録にはないが、イエスは、教えを説き始めたころにナザレにある御自分の会堂に行かれてメシヤに関するイザヤの預言の聖句を読み、次のように宣言したとルカは記録している。「この聖句は、あなたがたが耳にしたこの日に成就した。」救い主が御自分のことをメシヤと言われたのは、記録上、これが初めてである。しかしヨハネは、ヤコブの井戸での出来事を記録している。これは、イエスが公の場で初めて御自分がメシヤであると宣言された場面の記録である。この状況として、サマリヤ人はユダヤ人ではないとされていたため、イエスは御自分の福音がユダヤ人であれ、異邦人であるにもかかわらずすべての人のためにあることも教えられた。この宣言をされたのは「昼の十二時ごろ」であり、太陽の光がさんさんと地上に降り注ぐ時間である。また、ヤコブの井戸は、昔イスラエルが約束の地に入った後に主と契約を交わす儀式を行ったちょうどその場所に近い、谷の中にある。興味深いことに、この谷は片側が乾燥した山で、もう片方の山には、命の水が湧き出る泉が散在している。
 27. ニール・A・マックスウェル長老はこう教えている。「ストレスのある状況の中、自分にこれ以上ささげるものがあるだろうかと疑問に思うときには、自分の能力を完全に御存じの神が、成功させるためにわたしたちを地上に送られたことを理解すると、心が安らぎます。失敗するよう予任された人もいなければ、邪悪な行いをするように予任された人もいません。……圧倒される思いがあるとき、神はわたしたちの能力以上のこと命じられることはされないという確かな事実を思い出してください。」（“Meeting the Challenges of Today” [Brigham Young University devotional, Oct. 10, 1978], 9, speeches.byu.edu）
 28. ラッセル・M・ネルソン大管長は次のように教えている。
- 「いつの日か、皆さんは救い主の前に立ちます。聖なる主の前にいることに圧倒され、涙することでしょう。皆さんの罪の代価を支払い、ほかの人への不親切を赦し、現世の生涯で味わった痛みや不義から癒してくださった主に、感謝の言葉を伝えるのに苦労するでしょう。
- 不可能を可能にできるように皆さんを強め、弱さを強さに変え、主と家族とともに永遠に住めるようにしてくださったことを主に感謝するでしょう。主の存在、贖罪、特質は皆さんにとって個人的で現実のものとなります。」（[預言者、指導力、神の律法] [ヤングアダルトのためのワールドワイド・ディボーショナル 2017年1月8日], broadcasts_lds.org）
29. イザヤ 53:3 – 5; アルマ 7:11 – 13; 教義と聖約 122:5 – 9 参照
 30. ジョセフ・スミス——歴史 1:17; イレイン・S・ダルトン「主は皆さんの名前を御存じです」『リアホナ』2005年5月号, 109 – 111 参照
 31. ヨハネ 4:14



七十人
マーシュー・L・カーペンター長老

なおりたいのか

イエス・キリストの贖いのおかげで、わたしたちが悔い改めるという選択をし、心を完全に救い主に向けるならば、主はわたしたちを靈的に癒してくださいます。

我 が家の末の息子が伝道に出てから数か月たったころのことです。同僚と一緒に勉強会を終えようとしたとき、息子は頭に鈍い痛みを覚え、甚だしい異変を感じました。最初は左腕が思うように動かなくなり、その後、舌がしびれてきたのです。顔の左側が力なく垂れ始め、しゃべるのもままなりません。息子には、何か悪い事態に陥っていることは分かるものの、脳の3つの部位で重い脳卒中の発作を起こしているさなかであることまでは思い至りませんでした。体が部分的にまひしていくにつれ、次第に恐怖が広がり始めました。脳卒中患者がどの程度迅速に治療を受けられるかが、治癒の程度に多大な影響を及ぼします。息子の信仰深い同僚は、毅然として行動しました。救急車を呼んだ後、息子に祝福を施してくれたのです。奇跡的に、救急車はほんの5分ほど離れた所にいました。

息子が大急ぎで病院に運び込まれた後、医療スタッフはすぐさま状況を見極め、時間を経て脳卒中によるまひからの回復効果を見込める薬を投与すべきであると判断しました。¹しかし、もし息子が脳卒中を起こしていない場合、その薬は脳内出血などの深刻な結果をもたらす恐れがありました。息子は選択の必要に迫られ、結局、薬を投与してもらうことを選び

ました。完全に回復するには、さらに数回の手術と多くの時間が必要でしたが、息子は脳卒中の後遺症から十分に回復した後、最終的に伝道に復帰し、その務めを終えたのでした。

天の御父は全知全能の御方です。わたしたちの肉体的な苦しみを御存じです。病気や老化、事故、先天異常による、わたしたちの肉体的な苦痛を承知しておられます。不安症や孤独、うつ病、精神疾患に伴う情緒的な苦悩をも承知しておられます。また主は、不当な扱いに苦しんでいた人や虐待を受けてきた人を個人的に御存じです。わたしたちの弱さや、苦しんでいる性癖も誘惑も御存じです。

現世にあって、わたしたちは悪よりも善を選ぶかどうか試されているのです。主の戒めを守る人々は、「決して終わりのない幸福な状態」²で主とともに住むことができます。御自身のような者になるべく、進歩の過程にあるわたしたちを助けるために、天の御父は御自身の御子イエス・キリストに、すべての力と知恵をお与えになりました。キリストが癒すことのおできにならない肉体的、情緒的、あるいは靈的な病は一つもありません。³

聖典には、地上における救い主としての教導の業の間、イエス・キリストが御自身的神聖な力を行使し、肉体的な苦しみを

受けている人々を癒された奇跡的な出来事が多く記されています。

ヨハネによる福音書には、38年間、衰弱していく病気に苦しんだ男の話が記されています。

「イエスはその人が横になっているのを見、また長い間わざわざしていたのを知って、その人に『なおりたいのか』と言われた。」

この病人は、自分が最も助けを必要としていたとき、周囲のだれ一人として助けてくれなかった、と答えました。

「イエスは彼に言われた、『起きて、あなたの床を取りあげ、そして歩きなさい。』

すると、この人はすぐにいやされ、床をとりあげて歩いて行った。」⁴

この男がどれほど長く苦しんでいたか(38年間)、そして一旦救い主がかかわられると、どれほど速やかに癒しが訪れたか、その対比に注目してください。「すぐに」癒されたのです。

また別の例では、12年の間長血を患っていた女性は、「医者のために自分の身代をみな使い果してしまったが、……〔主の〕うしろから近寄ってみ衣のふさにさわったところ、その長血がたちまち止まった」のです。





「イエスは言われた、『わたしにさわったのは、だれか。』……『力がわたしから出て行ったのを感じたのだ。』

女は隠しきれないのを知って、……さわるとたちまちおったこと……を、みんなの前で話した。」⁵

教導の業を通して、キリストは、御自身が肉体を司る力を備えていることを教えられました。キリストによる肉体的な病の癒しがいつ起こるのか、わたしたちはその時期をコントロールすることはできません。癒しは、主の御心と知恵にかなって起こるからです。聖典には、何十年も苦しんだ人たち、あるいは現世の生涯にわたって苦しんだ人たちが登場します。現世における病気によって、わたしたちは精錬され、神への信頼を深める場合があります。しかし、キリストにかかわっていたとき、主は常にわたしたちを靈的に強め、自身の重荷に耐えるさらに大きな能力を持てるようにしてくださいます。

最終的に、すべての肉体的な病気や弊害、あるいは不完全さも、復活の際に癒されることを、わたしたちは知っています。それこそ、イエス・キリストの贖いを通して全人類に与えられる賜物なのです。⁶

イエス・キリストはわたしたちの肉体だけでなく、靈も癒すことがおできになります。わたしたちは、聖典を通して、キリストが靈的に弱い人々をどのように助け、彼らを完全な者とされたかを学ぶことができます。⁷ こうした経験について深く考えるとき、わたしたちの生活に祝福をもたらす救い主の力に対する希望と信仰が増します。イエス・キリストはわたしたちの心を

変え、わたしたちが経験し得る不公平または虐待による影響からわたしたちを癒すことがおできになります。また喪失や心痛を耐え忍ぶ能力を高め、平安をもたらし、わたしたちが人生の試練に耐えられるよう助け、心を癒してくださいます。

キリストはまた、わたしたちが罪を犯すとき、癒すことがおできになります。故意に神の律法の一つを破ることで、わたしたちは罪を犯します。⁸ 罪を犯すと、わたしたちの魂は汚れたものとなります。清くないものは神の御前にとどまることはできません。⁹ 「罪から清められると、靈的な癒しを受けます。」¹⁰

父なる神はわたしたちが罪を犯すであろうことを御存じですが、わたしたちが贖われる方法を用意してくださっています。リン・G・ロビンズ長老はこう教えていました。「悔い改めは、失敗したときのための〔神の〕代替策ではありません。悔い改めは主の計画であり、わたしたちが悔い改める必要があることを、主は御存じなのです。」¹¹ 罪を犯すとき、わたしたちは悪を選ばずに善を選ぶ機会があります。罪を犯した後に悔い改めるとき、わたしたちは善を選びます。イエス・キリストとその贖いの犠牲を通して、わたしたちは罪からの贖いを受けます。悔い改めるならば、父なる神のみもとに戻ることができます。靈的な癒しは一方的に与えられるものではありません。救い主の贖いの力と、罪を犯した側の心からの悔い改めが必要なのです。悔い改めの道を選ばない人々は、キリストが与えてくださる癒しを拒んでいるのです。彼らにとって、あたかも贖いが

なかったかのようです。¹²

悔い改めるべく努力している人々に助言を与えるに当たり、わたしは、罪のうちに生活をしていた人々が正しい決断をするうえで困難を抱えていることに驚かされました。聖霊が離れ去っており、彼らはしばしば、自身を神に近づけてくれる選択をするのに苦闘します。何か月、あるいは何年にもわたって苦しみ、自分の罪の結果を恥じたり、おびえたりしているのです。変わることなど決してできない、あるいは赦しを得られるはずがないと感じることもしばしばでした。わたしは彼らが、もし愛する人々が自分の行いを知ったなら、もう愛してくれなくなるか、離れて行ってしまうのではといった恐れを口にするのをよく耳にしました。こうした考え方方に捕らわれると、彼らはだれにも言わないと決め、悔い改めを遅らせます。愛する人々をさらに傷つけないために、今は悔い改めない方がよいといった間違った感じ方をするのです。今悔い改めの過程を踏むよりも、この人生の後に苦しむ方がましだと思うのです。兄弟姉妹の皆さん、悔い改めを引き延ばすことは、決して良い考えではありません。サタンはしばしば恐れの感情を利用し、わたしたちがイエス・キリストに対する信仰に基づいて迅速に行動するのを妨げます。

罪深い行動に関する真実に立ち向かうとき、愛する人々は時として心に深い傷を負いながらも、心から悔い改める罪人が変わり、神と和解するよう助けたいと思うものです。実際、罪人が罪を告白し、自分を愛し、罪を捨てるよう助けてくれる人々に取り囲まれると、靈的な癒しは促進されます。イエス・キリストは、罪の犠牲者となりながらも主に心を向ける、純真な人の癒しにおいても、大いなる力をお持ちであることを覚えておいてください。¹³

ボイド・K・パッカー会長はこう述べています。「わたしたちが間違いや罪を犯すと靈は傷つきます。しかし肉体の場合とは

異なり、悔い改めの過程が終わると、イエス・キリストの贖いのおかげで傷跡はまったく残りません。主はこのように約束されています。『見よ、自分の罪を悔い改めた者は赦され、主なるわたしはもうそれを思い起こさない。』(教義と聖約 58:42)」¹⁴

わたしたちが「十分に固い決意をもって」悔い改めるとき、¹⁵「偉大な贖いの計画はすぐに」わたしたちの生活に「効果を及ぼします。¹⁶ 救い主は、わたしたちを癒してくださいます。

伝道地で発作を起こした息子を救ってくれた同僚と医療の専門家たちは、迅速に行動しました。息子は、脳卒中改善薬の投与を受けることを選択しました。現世での残りの生涯にわたって影響を及ぼす恐れのあった発作によるまひから、彼は回復しました。同様に、悔い改めて、イエス・キリストの贖いの効力を生活にもたらすのが早ければ早いほど、わたしたちは速やかに罪の影響からの癒しを得ることができます。

ラッセル・M・ネルソン大管長はこのように招いています。「もし今、聖約の道からそれてしまっている人がいるなら、……戻って来るようお招きします。どのような心配事や問題があるにしろ、この主の教会には、皆さんの居場所があります。今、聖約の道に戻るなら、その行動は皆さんだけでなく、これから生まれる何世代もの人々に祝福をもたらすことになるでしょう。」¹⁷

わたしたちが靈的な癒しを得るには、救い主が示された条件に従う必要があります。先延ばしにしてはなりません。今日行動しなければなりません。靈的なまひによって、あなたの永遠の進歩が妨げられることのないように、今すぐ行動してください。わたしの話を聞きながら、もし皆さんが犯した過ちについて、だれかの赦しを請う必要があると感じたならば、そうするようお勧めします。その人に、自分がしたことを話してください。赦しを求めて



ください。神殿のふさわしさに影響を及ぼすような罪を犯しているのなら、今日、ビショップに相談するようお勧めします。引き延ばさないでください。

兄弟と姉妹の皆さん、神は愛にあふれるわたしたちの天の御父です。神は愛する御子イエス・キリストに、すべての力と知識をお与えになりました。主のおかげで、全人類はいつの日か、あらゆる肉体的な病気からの永遠にわたる癒しを受けます。イエス・キリストの贖いのおかげで、わたしたちが悔い改めるという選択をし、心を完全に救い主に向けるならば、主はわたしたちを靈的に癒してくださいます。その癒しの効力は、すぐにも發揮されます。選ぶのはわたしたちです。わたしたちはなおりたいでしょうか。

イエス・キリストは、わたしたちが完全になれるよう代価を支払ってくださったことを証します。しかしわたしたちは、主が与えてくださる癒しの薬を受けるという選択をしなければなりません。今日、それを受けてください。引き延ばさないでください。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. この薬は t-PA (組織型プラスミノーゲンアチペーター) と呼ばれている。
2. モーサヤ 2:41
3. マタイ 4:24 参照。キリストは出て行って、「いろいろの病気」や「苦しみ」とに悩んでいる者、「悪霊につかれている者」、「てんかん……

の者」を癒された。

4. ヨハネ 5:5 - 9 参照、強調付加
5. ルカ 8:43 - 47 参照、強調付加
6. アルマ 40:23; ヒラマン 14:17 参照
7. ルカ 5:20, 23 - 25 参照
Joseph Smith Translation, Luke 5:23 にはこう記されている：“Does it require more power to forgive sins than to make the sick rise up and walk?” (「病人を起きて歩けるようにするよりも罪を赦す方がより大きな力を必要とするだらうか」)
8. 1 ヨハネ 3:4 参照
9. 3 ニーファイ 27:19 参照
10. 「イエス・キリストの福音」『わたしの福音を宣べ伝えなさい』(英語) 改訂版 (2018年), <https://www.lds.org/manual/preach-my-gospel-a-guide-to-missionary-service?lang=jpn>
11. リン・G・ロビンズ「七たびを七十倍するまで」『リアホナ』2018年5月号, 22
12. モーサヤ 16:5 参照
13. わたしは、忠誠と信頼の誓いを破った人を、助け支えようとする家族一人一人が速やかに癒される様子を何度も目にしてきた。彼らは、家族の一員が人生に主の癒しの力を得られるよう、もっと完全に救い主の方に立ち返るのを助けたのである。誠実に悔い改める人が心から変わりたいと望むなら、彼らの聖典学習や心からの祈り、キリストのような奉仕を助ける家族たちは、罪人が変わるために助けるだけでなく、生活中に救い主による癒しをますます受けるための扉が開く。適切であれば、罪のない被害者は、道を踏み外した罪人を助けることができる。ともに何を学ぶべきか、どのように奉仕すべきか、そして悔いる人が変われるよう、またイエス・キリストの贖いの力から恩恵を受けられるよう、また彼らを支え強めたためにどのように家族の人々がかかわるかについて、天からの導きを求めるのである。
14. ボイド・K・パッカー「幸福の計画」『リアホナ』2015年5月号, 28
15. 3 ニーファイ 18:32
16. アルマ 34:31, 強調付加
17. ラッセル・M・ネルソン「ともに前進するにあたり」『リアホナ』2018年4月号, 7



十二使徒定員会
デール・G・レンランド長老

「きょう、選びなさい」

永遠の世でどれほど幸福になるかは、生ける神を選び、神とともに御業に携わるかどうかにかかっているのです。

架空の人物メリー・ポピンズは——たまたま魔法を使いますが——典型的なイギリスのナニー、つまり乳母兼家庭教師です。¹ 時はエドワード朝時代。ロンドンの桜通り17番地に住む、もめ事を抱えるバンクス家族を助けるために、東風に乗ってやって来ます。そして、子供たちジェーンとマイケルの世話を託されます。厳しいながらも思いやりを持ち、すてきな魔法を使いながら二人に大切な教訓を与え始めます。

ジェーンとマイケルは大きな成長を遂げ、メリーは、自分の去る時が来たと判断します。舞台作品では、メリーの友人である煙突掃除夫パートが、行かないよう説得しようとして、メリーにこう言います。「でも、彼らは良い子たちだよ、メリー。」

メリーは答えます。「良い子たちでなかったら、わたしはわざわざここにいたかしら？ でも、受け入れてもらえないければ、助けられなかったの。すべてを知っている子供ほど教えにくい生徒はいないわ。」

「それで？」とパートが尋ねると、

メリーは答えます。「だから、二人は次の段階には自分で対処しなければならないの。」²

兄弟姉妹の皆さん、バンクス家のジェーンとマイケルのように、わたしたちは、面倒をかける価値のある「良い子たち」です。天の御父はわたしたちに助けと祝福を与

えたいと思っておられます。わたしたちは必ずしもそれを受け入れるわけではありません。時には、すでにすべてを知っているかのように振る舞うことさえあります。わたしたちも、「次の段階」に自分で対処する必要があるのです。そのために、前世の天の家から地上にやってきました。自分で対処する「段階」には、選択することが含まれます。

天の御父の子育ての目標は、子供たちに正しいことを行うようにさせることではありません。正しいことを行って最終的に御父のようになることを選ぶようにさせることなのです。従順であってほしいだけ



であれば、御父は、すぐに報奨や罰を与えて、わたしたちの行動に影響を与えられたことでしょう。

しかし神は、御自分の子供たちを、日の栄えに入ったときに居間で神のスリッパをかじったりしない、よくしつけられた従順なだけの「ペット」にしたいと思ってはおられません。³ そうではなく、神は、御自分の子供たちが靈的に成長して、一緒に神の家族としての御業に携わるようになることを望んでおられるのです。

神は、わたしたちが神の王国の相続人になれるようにする計画、すなわち、神のようになります。神が持っておられるような命を得、神のみもとで永遠に家族で暮らせるようになるために歩む、聖約の道を定められました。⁴ 個人の選択は、前世でわたしたちが学んだこの計画に不可欠でした。今も不可欠です。わたしたちはその計画を受け入れて、この世に来ることを選びました。

信仰を働かせて選択の自由を適切に行使できるようになるために心に忘却の幕が引かれたので、わたしたちは神の計画を覚えていません。その幕がなければ、わたしたちが進歩して神の望まれるような信頼できる相続人になることは不可能ですから、神の目的は達せられなかつたでしょう。

預言者リーハイはこう言っています。「そのようにして、主なる神は思いのままに行動することを人に許された。しかし人は、一方に誘われるか他方に誘われるかでなければ、思いのままに行動することはできなかった。」⁵ 基本的なレベルで、一つの選択肢の代表は御父の長子イエス・キリストであり、もう一つの選択肢の代表はサタン、すなわち選択の自由を損なって権限を奪おうとしているルシフェルです。⁶

イエス・キリストが与えられたため、「わたしたちには御父に対する弁護者……がおられ〔ます。〕」⁷ 贖いの犠牲となられた後、イエスは、「人の子らに対して持つておられる御自分の憐れみの権利を御父に求

めるために、天に昇って」行かれました。そして、憐れみの権利を求めて、「人の子らを弁護してください」とのです。⁸

キリストがわたしたちのことを御父に弁護してくださるのは、救いの計画に反する行為ではありません。御自分の御心が御父の御心にのみ込まれるに任せられたイエス・キリストは、⁹ 最初から御父が望んでおられたこと以外を擁護しようとはなさらないのです。天の御父は疑いなく、わたしたちの成功を応援し、認めてくださいます。

キリストが弁護してくださることを考えると、キリストがわたしたちの罪の代価を払ってくださっており、神の憐れみを受けられない人がいないということが、少なくともある程度、分かってきます。¹⁰ イエス・キリストを信じ、悔い改め、バプテスマを受け、最後まで堪え忍ぶ人々、すなわち、和解に至る道を歩む人々を、¹¹ 救い主は赦し、癒し、弁護してくださいます。イエス・キリストは、わたしたちの助け主、慰め主、執り成す御方であられ、御父との和解のために証言し、保証してくださいます。¹²

これとはまったく対照的に、ルシフェルは訴える者、あるいは追い詰める者です。黙示者ヨハネは、ルシフェルが最終的に敗北する様子を描いています。「その時わたしは、大きな声が天でこう言うのを聞いた、『今や、われらの神の救と力と国と、神のキリストの権威とは、現れた。』」なぜでしょうか。その理由はこうです。「われらの兄弟らを訴える者、夜昼われらの神のみまえで彼らを訴える者は、投げ落された。兄弟たちは、小羊の血と彼らのあかしの言葉とによって、彼にうち勝ち、死に至るまでもそのいのちを惜しまなかった。」¹³

ルシフェルはこの「訴える者」です。彼は前世でわたしたちに反対し、現世でも引き続きわたしたちを責め、引きずり落とそうとしています。わたしたちに無窮の苦悩を味わわせたいと思っています。おまえはふさわしくないと告げる者、あまりい人間ではないと告げる者、過ちから立ち



直るすべはないと告げる者です。わたしたちがうなだれているときに蹴飛ばしてくれる、極め付きの乱暴者です。

ルシフェルは、子供に歩くことを教えても、その子がつまずくと怒鳴り散らして罰し、歩こうとするのをやめるように告げます。ルシフェルの方法は、最終的にそして常に、落胆と絶望をもたらします。この偽りの父は、偽りの究極の喧伝者であり、¹⁴ する賢く働きかけて人々を惑わし、悩ませます。「悪魔は、すべての人が自分のように惨めになることを求めているから〔です〕。」¹⁵

キリストは、子供に歩くことを教えると、その子がつまずいたら起き上がるよう助け、歩み続けるよう励されます。¹⁶ キリストは、助け主であり、慰め主であられます。キリストの方法は、最終的にそして常に、喜びと希望をもたらします。

神の計画にはわたしたちに対する指示が含まれており、その指示は、聖文では戒めと呼ばれます。この戒めは、従順になる訓練をするだけのために定められたおし付けがましい規則の気まぐれな集合体でも、いいかげんな寄せ集めでもありません。神のような属性を伸ばし、わたしたちの天の御父のもとに戻り、永続する喜びを得ることに結びついているのです。神の戒めに従うことは、盲従ではありません。神と、神のもとに帰る道を、意識的に選ぶのです。わたしたちの規範は、アダムとエ

バに与えられたものと同じです。それに よって、「神は、贖いの計画を人々に示された後、……戒めを彼らに与えられた」のです。¹⁷ 神は、わたしたちが聖約の道を歩むよう望んでおられます、が、わたしたちに尊い選択の自由を与えてくださいました。

実に神が願い、期待し、指示しておられるのは、御自分の子供たち一人一人が自分で選ぶ、ということです。神はわたしたちに強制されません。選択の自由という賜物によって、わたしたちは「思いのままに行動することができ、強いられることはない」のです。¹⁸ 選択の自由によって、わたしたちは道を進むことも、進まないことも選べます。道を外れることもできれば、外れないこともできるのです。従うことを強制されないと同様、背くことも強制されません。本人の同意なしに、だれもわたしたちを道から連れ出すことはできないのです。（このことを、選択の自由を侵害されている人々と混同するべきではありません。彼らは道を外れているのではないのです。そのような人々は犠牲者であり、神の理解と愛、哀れみを受けることでしょう。）

しかし、わたしたちが道から外れるとき、神は悲しまれます。最終的に必ず幸福でなくなり、祝福を失うことを、神は御存じだからです。聖文では、道を外ることを罪と呼び、その結果として幸福でなくなり、祝福を失うことを、罰と呼びます。



この意味で、わたしたちを罰するのは神ではありません。罰は、神がお与えになるのではなく、わたしたち自身の選択の結果なのです。

自分が道を外れていることが分かった場合、外れたままでいることもできますし、イエス・キリストの贖罪があるので、引き返して道に戻るという選択をすることもできます。聖文では、方向を転じて道に戻る決心をする過程を悔い改めと呼びます。悔い改めないということは、神が与えたいと望んでおられる祝福を得る資格を失う選択を、自分でしているということです。わたしたちは「[自分が] 受けることのできたはずのものを進んで享受しな[ければ、自分が] 進んで受け入れるものを受けするために、再び[自分] 自身の場所に帰る[でしょう]。」¹⁹ — それは神の選択ではなく、自分の選択なのです。

どれほど長い期間道を外れていようと、あるいは、どれほど遠く離れてさまよっていようと、変わろうと決心した瞬間に、神はわたしたちが戻れるよう助けてくださいます。²⁰ 心から悔い改め、キリストを確固として信じ、力強く進んで道に戻るなら、神の目には、まったく道を外れたことがなかったかのようになります。²¹ 救い主は罪の代価を払ってください、幸福と祝福が失われつつある状態からわたしたちを解き放つてくださいます。これは聖文では、赦しと呼ばれます。バプテスマの後、会員は皆、

道で滑ったり転んだり、時には道から飛び出したりします。ですから、イエス・キリストを信じる信仰を働く、悔い改め、主の助けを受け、赦しを得るのは、一度ではありません。生涯にわたるプロセスであって、何度も繰り返されます。これが、「最後まで堪え忍ぶ」²² ということなのです。

わたしたちは、自分が仕える方を選ぶ必要があります。²³ 永遠の世でどれほど幸福になるかは、生ける神を選び、神とともに御業に携わるかどうかにかかっているのです。「次の段階に対処」しようと自分で努力するのは、選択の自由を正しく行使する練習になります。二人の元中央扶助協会会长が述べたように、わたしたちは、「常に褒めたりしかったりしなければならない赤ん坊であってはなりません。」²⁴ そうではなく、神はわたしたちに、成熟した大人になり、自分自身を治めてほしいと望んでおられるのです。

御父の計画に従うことを選ぶのは、御父の王国の相続人になれる唯一の方法です。その場合にのみ、御心に反することを求めることがすらしない者として、御父はわたしたちを信頼することがおきになるのです。²⁵ しかし、「すべてを知っている子供ほど教えにくい生徒はいない」ことを覚えておく必要があります。わたしたちは、進んで主と主の僕たちから、主の方法によって教えを受ける必要があります。自分が天の両親から愛されている子供であり²⁶、

「面倒をかける」価値のある者であって、「自分で」とは「単独で」ということではないことを信じてください。

モルモン書の預言者ヤコブが語っていますように、わたしもこう言います。

「それゆえ、心を喜ばせなさい。そしてあなたがたは、自分の思うとおりに行動すること、すなわち永遠の死の道を選ぶことも、永遠の命の道を選ぶことも自由であるのを覚えておきなさい。

さて、わたしの愛する〔兄弟姉妹〕よ、神の御心と和解しなさい。悪魔の意志……に自らを従わせてはならない。また、神と和解した後にあなたがたが救われるのは、ただ神の恵みによること、また神の恵みを通じてであることを覚えておきなさい。」²⁷

ですから、キリストを信じる信仰を選び、悔い改めを選び、バプテスマと聖靈を受けることを選び、誠実に聖餐に備えてふさわしい状態で聖餐を受けることを選び、神殿で聖約を交わすことを選び、生ける神と神の子供たちに仕えることを選んでください。自分の選択が、自分の人となりを決め、自分がどのような者になるかを決めることができます。

ヤコブの祝福の言葉の続きを読んで、わたしの話を終わります。「そして、神が……あなたがたを……贖罪の力によって、永遠の死から……よみがえらせてください、あなたがたが神の永遠の王国に迎え入れられますように。」²⁸ イエス・キリストの御名により、アーメン。 ■

注

1. P・L・トラバースの作品では、架空の人物メリー・ボビンズが生き生きと描かれている。彼女の本を基にして、ウォルト・ディズニーは1964年にミュージカル・ファンタジー映画を作成し、後に、その映画を基に演劇が上演されるようになった。

2. 舞台演劇にはこの場面が含まれている。See *Libretto to Mary Poppins: The Broadway Musical*.

3. See Spencer W. Kimball, in Brisbane Area Conference 1976, 19. キンボール大管長はこう推測している。「わたしたちのこの世界を創るに当たって、まず初めに主はこう言われま



七十人
ジャック・N・ゲラード長老

今がその時である

皆さんの人生において、何か考慮することがあるとすれば、今がその時です。

数年前、仕事で出張の準備をしていたときに、胸の痛みを覚えました。心配になった妻は、わたしに同伴することにしました。最初のフライトの途中で、胸の痛みがひどくなり、呼吸をするのも困難なほどでした。着陸後、空港から現地の病院に向かい、幾つか検査を受けた後、医師からそのまま出張を続けても大丈夫だと告げられました。

わたしたちは空港に戻り、最終目的地までのフライトに搭乗しました。着陸体勢に入ったころ、パイロットが機内放送でわたしに名乗り出るように告げました。客室

乗務員が近づいて来て、たった今、空港でわたしを病院に搬送する救急車が待機しているという連絡を受けたと言いました。

わたしたちは救急車に乗り、すぐに現地の緊急治療室へと搬送されました。病院では、心配そうな二人の医師が待機していて、前の病院での診断が間違っていて、実際には深刻な肺塞栓はいそくせんつまり肺の血管が詰まっている状態であり、すぐに処置が必要だと告げられました。また、この症状の患者は助からない場合が多いということも知らされました。わたしたちが自宅からは遠く離れた場所にいて、このよう



- した。『わたしはあなたがたに選択の自由を与える。信仰が強く献身的であることは当然であるから、わたしは、そのような強い男女を欲している。義にかなっていなければならぬからということだけで義にかなう者となっている弱い者たちを、わたしは欲しない。』
4. 例として、ラッセル・M・ネルソン「ともに前進するあたり」『リアホナ』2018年4月号、7を参照。聖約の道は、幸福の計画（アルマ42:8、16参照）とも、贋いの計画（アルマ12:25-35参照）とも呼ばれる。
5. 2ニーファイ2:16
6. モーセ4:3参照
7. ジョセフ・スミス証1ヨハネ2:1。1ヨハネ2:1-2も参照
8. モロナイ7:27, 28
9. モーサヤ15:7参照
10. 1ヨハネ2:2参照
11. 2コリント5:16-21；コロサイ1:19-23；2ニーファイ10:24参照
12. 弁護者に相当するギリシャ語(*paraklētōs*)には、執り成す者、助け手、慰める者という意味がある（1ヨハネ2:1; *The New Strong's Expanded Exhaustive Concordance of the Bible* [1984], Greek dictionary section, 55; 2ニーファイ10:23-25；教義と聖約45:3-5参照）。
13. 黙示12:10-11
14. エテル8:25参照
15. 2ニーファイ2:27。2ニーファイ2:6-8, 16, 26も参照
16. See Fiona and Terryl Givens, *The Christ Who Heals* (2017), 29, 124. For original citation, see Anthony Zimmerman, *Evolution and the Sin in Eden* (1998), 160, citing Denis Minns, *Irenaeus* (2010), 61.
17. アルマ12:32。
18. 2ニーファイ2:26。2ニーファイ2:16も参照
19. 教義と聖約88:32
20. アルマ34:31参照
21. 2ニーファイ31:20；モーサヤ26:29-30；教義と聖約58:42-43；ボイド・K・パッカー「幸福の計画」『リアホナ』2015年5月号、28参照。パッカーカー会長はこう述べている。「悔い改めのプロセスが終わると、イエス・キリストの贋いのおかげで傷跡はまったく残りません。」
22. 2ニーファイ31:20。
23. ヨシュア24:15参照
24. ジュリー・B・ベック「その日わたしはわが靈をあなたがたに注ぐ」『リアホナ』2010年5月号、12。ベック姉妹は、エライザ・R・スノーが1869年10月27日にリーハイワードの扶助協会で語った話を引用している。Relief Society, Minute Book, 1868-79, Church History Library, Salt Lake City, 26-27。
25. 2ニーファイ4:35；アルマ10:5参照
26. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2017年5月号、145参照
27. 2ニーファイ10:23-24
28. 2ニーファイ10:25



な人生を大きく変えるような出来事に対しで備えができているか心配した医師は、わたしたちの人生において何か考慮する必要があるとすれば、今がその時ですと言いました。

不安を感じたまさにその瞬間に、自分の価値観がすっかり変わってしまったのをよく覚えています。その一瞬前にはとても大事だと思ったことには、ほとんど関心がなくなっていました。わたしの思いは、この世での快適さや必要から、永遠の観点、つまり家族や子供たち、妻、そして最終的には自分の生涯の振り返りへと変わっていきました。

家族として、また個人としてわたしたちはどうでしょうか。わたしたちが交わした聖約や主から期待されていることに沿った生活をしているでしょうか。それとも意図的ではないにしろ、最も大切なことよりもこの世的なことに気をとられてしまっているでしょうか。

この経験から学んだ大切な教えについて皆さんにお勧めしたいと思います。この世的な視点から一歩下がって、自分の生活を吟味してみてください。医師の言葉を借りれば、皆さんの人生において、何か考慮すべきことがあるとすれば、今がその時です。

自分の生活を吟味する

わたしたちは、あまりに多くの情報にあふれ、気をそらせようとするものが常に増加している世の中に住んでおり、世の喧騒にあって永遠の価値のあるものに集中することが、さらに難しくなっています。日々の生活においては、急速なテクノロジーの進歩によって、注意を引く見出しが至る所で目につきます。

じっくりと振り返る時間を取りなければ、日々の生活における早いペースで変わる環境や自分の選びがもたらす影響について気づかないことでしょう。自分の生活の多くの時間をインターネット上のミームや動画、派手な見出しが盛り込まれた膨大な情報に費やしていることに気がつくかもしれません。興味深く、楽しいかもしれませんのが、これらのほとんどは、わたしたちの永遠の進歩に関係がないにもかかわらず、現世の経験に対する見方を形成してしまっているのです。

これらの気をそらせるこの世的なものは、リーハイの夢に出てくるものにたとえることができるでしょう。わたしたちが、鉄の棒をしっかりとつかんで、聖約の道を進めば、大きく広々とした建物から「指さ[されたり]、あざけり笑[われたり]」することでしょう（1ニーファイ8:27）。その

ようなつもりがなくても、時には立ち止まって、何の騒ぎか気になってしまうこともあるかもしれません。中には、もっとよく見るために鉄の棒から手を離して、近づいて行く人がいるかもしれません。また、「あざけり笑われた」ために完全に道から離れてしまう人もいるでしょう（1ニーファイ8:28）。

救い主は「あなたがたが……世の煩いのために心が鈍っているうちに……捕え〔られ〕ることがないように、よく注意していなさい」と警告しています（ルカ21:34）。近代の啓示は、多くの者が召されているが、選ばれる者は少ないことを思い起こさせてくれます。彼らが選ばれないのは、「彼らがあまりにもこの世のものに執着し、人の誉れを得ることを望んでいる……から」なのです（教義と聖約121:35。34節も参照）。自分の生活を吟味することは、この世から一歩離れて、聖約の道において自分がどこにいるのか認識して、必要であれば、鉄の棒を握ってまっすぐ前を向けるように修正する機会となります。

最近、青少年対象のワールドワイド・ディボーショナルで、ラッセル・M・ネルソン大管長はこの世から一歩離れるために、7日間ソーシャルメディアを絶つように勧めました。さらに昨晩、大会の女性の部会の中で姉妹たちにも同様の勧めをしました。そして青少年に、思いや感じ方、考え方についてその前後での違いに目を向けるよう勧めました。それから、「生活全体を……評価し、皆さんの足が聖約の道にしっかりと立っていることを確認する」ように勧めました。ネルソン大管長は、生活の中で何か変える必要があれば、「今日が、変わる絶好の時〔です〕」と彼らを励ました。¹

生活において変える必要のあることを吟味するために、現実的な問い合わせ自問するとよいでしょう。どうすれば世の誘惑からの影響を受けずに、目の前にある永遠のビジョンに堅くとどまっていることができるだろうか。

2007年の総大会で、「良いこと、より良いこと、最も良いこと」という説教を通して、ダリン・H・オーカス管長はこの世の、多くの相対する必要の中から、どのように優先順位をつけて選べばよいか教えました。「わたしたちは、より良いものや最も良いその他のものを選ぶために、良いことを諦める必要があります。なぜなら、より良いものや最も良いものは、主イエス・キリストへの信仰をはぐくみ、家族を強めることです。」²

人生における最も良いものとは、イエス・キリストを中心とするもの、そして、イエスがどういう御方で、わたしたちとどのような関係があるのかという永遠の真理への理解を中心とするものではないでしょうか。

真理を探求する

救い主を知るには、わたしたちが何者であり、何のためにここにいるのかという基本的な真理を見落とすことはできません。アミュレクは、「現世は人が神にお会いする用意をする時期であ〔り〕」、「永遠に備えるためにわたしたちに与えられている」時間（アルマ 34:32–33）であることを思い起こさせてくれます。有名な格言にも、「我々は、靈的な経験を積み重ねている人間なのではなく、人間として経験を積み重ねている靈的な存在である」とあります。³

自分の神聖な受け継ぎについて理解することは、永遠の進歩のために必要不可欠であり、またそれによってこの世の誘惑から守られます。救い主は次のように教えておられます。

「もしわたしの言葉のうちにとどまつておるなら、あなたがたは、ほんとうにわたしの弟子なのである。

また真理を知るであろう。そして真理は、あなたがたに自由を得させるであろう。」（ヨハネ 8:31–32）

ジョセフ・F・スミス大管長は次のように宣言しました。「人がこの世で達成し



得る最も偉大な事柄は、神の真理に十分にまた完全に親しんで、世のいかなる人の例や行為を目にしても、自ら得た知識から離れないようにすることです。」⁴

今の世において、真理に関する論争は熱気を帯び、まるで真理が個人の解釈による相対的なものであるかのように、様々な主張がなされています。若い少年であったジョセフ・スミスは、次のように感じました。「様々な教派間の混乱と争いが非常に激しかったので、……だれが正しく、だれが間違っているか、確かな結論を出すことは不可能であった。」（ジョセフ・スミス——歴史 1:8）ジョセフは「この言葉の争いと見解の騒動の渦のただ中にあって」、真理を探ることで、神からの導きを求めたのです（ジョセフ・スミス——歴史 1:10）。

4月の総大会で、ネルソン大管長はこう教えていました。「真理を攻撃する無数の声や人の哲学をふるいにかけたいと思うなら、啓示を受けられるようにならなければなりません。」⁵ わたしたちは真理の御靈に頼ることを学ばなければなりません。なぜなら、「この世はそれを見ようともせず、知ろうともしないので、それを受けることができない」からです（ヨハネ 14:17）。

この世が偽りに満ちた現実に急速に向かう中で、わたしたちはヤコブの次の言葉を覚えている必要があります。「御靈は真実を語り、偽りを言われることがない。したがって、御靈は現在のことをありのままに示し、未来のこともまた、ありのまま

に述べられる。それゆえ、これらのこととはわたしたちの救いのために、わたしたちに分かりやすく示されているのである。」（モルモン書ヤコブ 4:13）

この世から一歩下がって自分の生活を吟味して、何を変える必要があるのか考えるべき時は、今なのです。わたしたちの模範であるイエス・キリストが、再びわたしたちを導いておられることを知るのは、なんという希望を与えてくれることでしょう。主は、亡くなられ、復活される前に、周りの弟子たちが御自身の神聖な役割について理解できるように導いておられましたが、その理由をこう述べされました。「わたしにあって平安を得るためである。あなたがたは、この世ではなやみがある。しかし、勇気を出しなさい。わたしはすでに世に勝っている。」（ヨハネ 16:33）わたしは主のことを証します。イエス・キリストの御名によって、アーメン。■

注

1. ラッセル・M・ネルソン「シオンのつわもの」（2018年6月3日、青少年対象のワールドワイド・ディボーショナル）、www.lds.org/languages/jpn/content/broadcasts/worldwide-devotional-for-young-adults/2018/06/hope-of-israel
2. ダリン・H・オーカス「良いこと、より良いこと、最も良いこと」『リアホナ』2007年11月号、107
3. この言葉は、ピエール・ティヤール・ド・シャルダンの言葉としてよく引用される。
4. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・F・スミス』42 参照
5. ラッセル・M・ネルソン「教会のための啓示、わたしたちの人生のための啓示」『リアホナ』2018年5月号、96



十二使徒定員会
ゲーリー・E・スティーブンソン長老

羊飼いとして人々を導く

わたしたちは愛をもって人々に手を差し伸べます。それは主が命じられたことだからです。

最 近ある友人と話していたのですが、彼は自分がまだ若く、バプテスマを受けて教会に入ったばかりのころ、突然自分がワードに馴染んでいないように感じたと言いました。教えてくれた宣教師が転勤し、居場所がなくなったと彼は感じたのです。ワードに友人がいなくなったので、彼は昔の友人と会って遊ぶようになり、教会に行かなくなっていました。そのようなことが多くなったために、彼は群れから離れ始めました。彼が涙を目に浮かべながら話してくれたのは、あるワードの会員が自分に助けの手を差し伸べ、温かく迎え入れるような方法で教会に戻って来るよう招いてくれたことに、どれほど深く感謝しているかということでした。それから数か月後に彼は安全な群れの中に戻り、ほかの人々や自分自身を強めていきました。この若い男性、すなわち今わたしの後ろで七十人会長会の一員として座っているカルロス・A・ゴドイ長老に働きかけたブラジルの羊飼いに、わたしたちは感謝すべきではないでしょうか。

このような小さな働きが永遠の結果をもたらすということは驚くべきことではないでしょうか。この真理が教会のミニスタリングの働きの中心にあります。天の御父はわたしたちの日々の何気ない働きを、奇跡的なものに変えることがおできになり

ます。ラッセル・M・ネルソン大管長が次のように発表したのはまだ6か月前のことです。「主は、わたしたちが互いに心をかける方法について重要な変更を示されました。」¹ そしてこう説明しました。「人々を心にかけ、仕えるに当たって、より新しく、より神聖な方法を導入します。この取り組みを、簡潔に『ミニスタリング』と呼ぶことにします。」²

また、ネルソン大管長はこのようにも説明しました。「主のまことの生ける教会の特徴は、組織として導かれて神の子供一人一人とその家族に仕えるよう常に努力が図られることです。主の教会に属するわたしたちは主の僕として、主がなされたように、個人に対して仕え、教え、導きます。



また、わたしたちは主の御名により、主の力と権能と愛にあふれた優しさをもって仕えます。」³

この発表があつてから、皆さんはそれにしばらくこたえてくれました。世界中のほぼすべてのステークから、生ける預言者の指示のとおりにこの変更を導入することに大成功したという報告を受けています。例えば、ミニスタリング・プラザとミニスタリング・センターが家族に割り当てられ、若い男性と若い女性を含めて同僚が組まれ、ミニスタリング面接が行われています。

昨日、啓示に基づく「家庭と教会において福音を学ぶうえでの新たなバランス」⁴という発表がありました。その6か月前に「ミニスタリング」についての啓示に基づく発表がなされたのは偶然だとは思えません。1月から教会での礼拝行事が1時間少なくなりますが、ミニスタリングについてわたしたちが学んできたすべてのことが、その空いた時間とのバランスを取り、家族と愛する人々とともに家庭を中心とした、より高く、より神聖な安息日の経験をしていくのに役立つでしょう。

これらの組織の構造が定まった現在、こう自問するかもしれません。「わたしたちが主の方法でミニスタリングを行っているかをどのようにして知ることができるだろうか。わたしたちは主が意図されている方法で、良い羊飼いを助けているだろうか」と。

最近ヘンリー・B・アイリング管長と話しあっていたとき、アイリング管長はこの重大な変化にうまく対応する聖徒の皆さんを称賛しましたが、それと同時に、ミニスタリングが「単に親切にする」以上のことだと会員たちに認識してほしいという心からの願いを口にしました。親切にすることが重要ではないと言っているではありません。しかし、ミニスタリングの眞の精神を理解している人はそれがただ親切にすることだと気づくでしょう。ゴ



トイ長老の場合のように、ミニスタリングは主の方法で行うことによって、その後も長く続き、永遠にわたるような良い影響をもたらすことができます。

「救い主は……愛のゆえに奉仕され、ミニスタリングとはどういうことかを模範によって示されました。主は御自身の周りの人々を……教え、彼らのために祈り、彼らを慰め、祝福し、すべての人に御自身に従うように招かれました。教会員がミニスタリングを〔より高く、より神聖な方法で〕行うとき、主がなさるであろうとおりに仕えられるよう祈りの気持ちで願い求め、……『常に教会員を見守り、彼らとともにいて彼らを強め』、『各会員の家庭を訪れて』、一人一人がイエス・キリストの弟子になれるよう助けてます。」⁵

わたしたちは、まことの羊飼いは自分の羊を愛し、どの羊の名前も知っており、それぞれに対して「心を寄せる」ことを理解しています。⁶

わたしの長年の友人は牧場の経営者として生涯を過ごし、起伏の激しいロッキー山脈で牛と羊を育てるという重労働を行っていました。あるとき彼は、羊を育てるうえでの困難と危険について話してくれました。春の初めに広大な山脈の雪がほとんど解けたころ、夏に備えて約2,000匹の羊の群れを山に移動させたときのことを、彼は説明しました。そこで秋の終わりまで羊たちを見守り、その後、夏の放牧地から荒れ野にある冬の放牧地に羊たちを移動させました。彼は大きな羊の群れの面倒を見ることがいかに大変かについて説明しました。朝は早くから夜は遅くまで、日の出よりずっと前に起き、日没後ずいぶんたってから仕事を終えました。一人ではとてもできないことでした。

ほかの人が群れの世話を助けてくれましたが、そこには熟練の牧場労働者やその先輩の知恵を借りながら手伝いを行う若手の牧場労働者も含まれていました。また彼は、2頭の年老いた馬、2頭の訓練

を受けている若い馬、2匹の年老いた牧羊犬、そして2、3匹の子犬の牧羊犬に頼りました。夏の間、友人と彼の羊たちは風や嵐、病気、怪我、干ばつ、そして想像し得るほかのすべての困難に遭いました。羊が生きていらるるようにするために、夏の間ずっと水を運ばないといけない年もありました。そして、毎年秋の終わりに、冬の天候が迫り羊を山から下ろして数えるときになると、たいてい200匹以上がいなくなっていました。

春の初めに山に連れて行った2,000匹の羊が1,800匹以下に減っていました。行方不明の羊のはとんどは病気や自然死によって失われたのではなく、ピューマやコヨーテなどの肉食動物によって失われました。通常、安全な群れから離れ、羊飼いの保護から抜け出した羊を、これらの肉食動物は狙いました。わたしが今話したことについて、靈的な側面から少し考えてみてください。羊飼いはだれでしょうか。群れはだれでしょうか。羊飼いを手伝った人々はだれでしょうか。

主イエス・キリスト御自身が言われました。「わたしはよい羊飼であって、わたしの羊を知り、……そして、わたしは羊のために命を捨てるのである。」⁷

同様に、ニーファイはイエスが「御自分の羊を養われ、羊は〔イエス〕によって牧草を見いだ〔す〕」と教えました。⁸「主はわたしの牧者である〔り〕」。⁹わたしたち一人一人を御存じで、見守ってくださっていると知ることにより、わたしは永続する平安を感じます。人生における風や嵐、病気、けが、干ばつに直面したとき、わたしたちの羊飼いである主がわたしたちに仕え、教え、導いてくださいます。わたしたちの魂を回復してくださるのでです。

わたしの友人が若手や年配の牧場労働者、馬、牧羊犬の助けを借りて羊を世話をしたように、主も御自分の群れの中にいる羊を世話するという困難を伴う労働において助け手を必要とされています。

愛に満ちた天の御父の子供として、そして主の群れの中の羊として、わたしたちは個々にイエス・キリストによって仕え、教え、導かれるという祝福にあずかっています。それと同時に、わたしたち自身も羊飼いとして周りの人々に対して行われるミニスタリングの業を助けるという責任があります。そして、主の次の言葉を心に留めます。「わたしに仕え、わたしの名によって出て行き、わたしの羊を集めなさい。」¹⁰

羊飼いはだれでしょうか。神の王国のすべての男性、女性、そして子供は羊飼いです。召しを受ける必要はありません。バプテスマの水から出た瞬間、わたしたちはこの働きを託されるのです。わたしたちは愛をもって人々に手を差し伸べます。それは主が命じられたことだからです。アルマはこう強調しています。「多くの羊を飼っているとき、おおかみが入って来て、羊の群れを食い尽くすことのないように、羊の番をしない羊飼いが……いるであろうか。……羊飼いはそのおおかみを追い払わないであろうか」¹¹ わたしたちは隣人が物質的または靈的に苦しんでいるとき、いつでも救助に駆けつけます。重荷が軽くなるように、互いの重荷を負い合います。悲しむ者とともに悲します。そして、慰めの要る者を慰めます。¹² 主はそのことを愛をもって期待しておられます。そして、仕え、教え、導くことによって主の群れを世話するというわたしたちに課された責任について報告する日がいつかやって来ます。¹³

わたしの羊飼いの友人は、放牧地の羊を見守るうえでとても重要なもう一つの要素について分かち合ってくれました。彼は、迷子になった羊は天敵からの危険に特



確固たる決意の牧羊犬は、迷子の羊たちを、羊飼いと群れのいる安全な場所へと導く。

にさらされやすい」と説明しました。実際、彼とチームが費やした時間の最大 15 パーセントは、迷子の羊を探すためのものでした。迷子の羊が群れから遠く離れてしまう前に探し出すのが早ければ早いほど、羊が被害に遭う可能性が減ります。迷子の羊を連れ戻すためには、多くの忍耐と自制心が必要でした。

何年か前、地元の新聞のある記事がとても興味深かったため、わたしはそれをとっておきました。第一面の見出しにはこうありました。「一度決意した犬は迷子の羊を見捨てない」。¹⁴ この記事には、わたしの友人の土地からそう離れていない牧場にいた何匹かの羊が、何らかの理由で夏の放牧地に取り残されたときのこと

が書かれていきました。2, 3か月後、羊たちは山で雪に囲まれて身動きが取れなくなってしまいました。羊たちが取り残されたとき、牧羊犬も一緒にそこに残っていました。羊を見守り、守るのが役目だったからです。牧羊犬は目を離しませんでした。そして雪の降る寒い天候の中、何か月もの間、迷子の羊の周りを見回り、コヨーテやピューマなど羊に危害を加える天敵から

羊を守りました。牧羊犬は、羊たちを安全な羊飼いのもとや群れに導き、連れて行けるようになるまでそこに留まっていました。この記事の最初のページに掲載されたこの写真を見れば、この牧羊犬の目や外見からその性格が分かるでしょう。

新約聖書には、迷い出た羊の羊飼い、そしてミニスタリング・ブラザーやミニスタリング・シスターとしてのわたしたちの責任に関して、さらなる洞察を与えるたとえ話や救い主の教えが記されています。

「あなたがたのうちに、百匹の羊を持っている者がいたとする。その一匹がいなくなったら、九十九匹を野原に残しておいて、いなくなった一匹を見つけるまでは探し歩かないであろうか。

そして見つけたら、喜んでそれを自分の肩に乗せ、

家に帰って来て友人や隣り人を呼び集め、『わたしと一緒に喜んでください。いなくなった羊を見つけましたから』と言うであろう。」¹⁵

このたとえ話で教えられている教訓をまとめると、次のような有益な勧告を見いだすことができます。

1. わたしたちは迷い出た羊を特定する必要がある。
2. その羊が見つかるまで探す。
3. 見つかったら、必要な場合は羊を肩に乗せ、連れて帰る。
4. 帰って来たら、友人とともに羊を囲む。

兄弟姉妹の皆さん、わたしたちにとって最も大きな試練と最も大きな報いは、迷い出た羊に対して仕え、教え、導くときにやつて来るものかもしれません。モルモン書の中で教会の会員は、「民を見守り、義にかかることをもって彼らを養〔い〕」ました。¹⁶ ミニスタリングは「御靈によって導かれ……、柔軟性〔があり〕……、個々の会員の必要に合わせた〔もの〕」であることを心に留めるとき、わたしたちは彼らの模範に従うことができます。また、「個人と家族が次の儀式に備え、交わした聖約を守り、自立するように助けることを目標〔す〕」ことも重要です。¹⁷

すべての人は天の御父にとって貴い存在です。仕え、教え、導くようにという主の招きは、主の業であり、栄光であるため、主にとって最も重要なものです。それはまさしく永遠の業なのです。天の御父の目から見て、その子供一人一人には計り知れない可能性があります。皆さんに対する神の愛は、皆さんとの理解をはるかに超えたものです。献身的な牧羊犬のように、主は山にとどまって皆さんを風や嵐、雪、そしてそのほかもっと多くのことから守ってくださいます。

ラッセル・M・ネルソン大管長は前回の総大会でこのように教えました。「わたしたちが世に〔、そして付け加えさせていただくなれば〕『わたしたちが仕え、教え、導く群れに』、」伝えるメッセージは簡潔で心からのものです。幕の両側にいるすべての神の子供たちに、救い主のもとに来て、聖なる神殿の祝福を受け、永続する喜びを得、永遠の命を受けるふさわしさを身につけるようお勧めします。¹⁸



ラッセル・M・ネルソン大管長

わたしたちが羊飼いとして人々を神殿に、そして最終的に救い主イエス・キリストのもとへ導けるよう、この預言者のビジョンを目標とすることができますように。主はわたしたちに奇跡を行うよう求めてはおられません。主はただ、わたしたちの兄弟姉妹たちを御自分のもとへ導くよう求めておられます。人々を贖う力を持っておられるのは主だからです。わたしたちがこれを行なうとき、次の約束が確かなものとなります。「そうすれば、大牧者が現れる時には、しばむことのない栄光の冠を受けるであろう。」¹⁹ このことを、そして救い主、贖い主であられるイエス・キリストのことを、イエス・キリストの御名により証します、アーメン。 ■

注

1. ラッセル・M・ネルソン「神のみ業に進みて」『リアホナ』2018年5月号、118
2. ラッセル・M・ネルソン「ミニスタリング」『リアホナ』2018年5月号、100
3. ラッセル・M・ネルソン「神の力と権能によるミニスタリング」『リアホナ』2018年5月号、69
4. ラッセル・M・ネルソン「開会のあいさつ」『リアホナ』2018年11月号、8
5. 「強められたメルキゼデク神権定員会と扶助協会によって行われるミニスタリング」2018年4月2日付けの大管長会からの手紙の同封物、3、ministering.lds.org；モーサヤ18:9；教義と聖約20:51, 53。ヨハネ13:35も参照。
6. ジェームズ・E・タルメージ、『キリスト・イエス』409参照
7. ヨハネ10:14–15
8. 1ニーファイ22:25
9. 詩篇23:1、強調付加
10. モーサヤ26:20
11. アルマ5:59
12. モーサヤ18:8–9参照
13. マタイ25:31–46参照
14. See John Wright, "Safe or Stranded? Determined Dog Won't Abandon Lost Sheep," *Logan Herald Journal*, Jan. 10, 2004, hnews.com.
15. ルカ15:4–6
16. モーサヤ23:18
17. 「強められたメルキゼデク神権定員会と扶助協会によって行われるミニスタリング」4, 5、ministering.lds.org
18. ラッセル・M・ネルソン「神のみ業に進みて」118–119。強調付加
19. 1ペテロ5:4

模範的な末日聖徒になる

皆さんが主の言葉をよく味わい、主の教えを自分の生活に生かすことができるよう、わたしは愛と祝福を皆さんに残します。

この大会は靈感に満ちた歴史的な大会でした。わたしたちは熱い思いをもって将来に目を向けています。より良いことを行い、より良い人になるよう動機付けられました。この説教壇からすばらしいメッセージが中央幹部と中央役員によって伝えられ、また音楽は莊厳なものでした。これらのメッセージを研究するようお勧めします。今週始めましょう。¹ 現代の主の民に対する主の思いと御心を伝えるメッセージです。

家庭を中心として教会が支援する新たな統合教科課程には、家族の力を解放する潜在的な力があり、各家族が自分の家庭を信仰の聖所に変えるよう、誠実に、注意深く努力を続けるときにそれが達成されます。わたしは約束します。皆さん

家庭を福音学習の中心の場所に改めるよう熱心に取り組むならば、やがて、皆さんの安息日は真に喜びの日となります。皆さんの子供たちは奮い立って救い主の教えを学び、教えに従って生活するようになります。また、皆さんの生活と家庭におけるサタンの影響力は減少します。皆さんの家族は劇的に変わり、その変化は持続します。

この大会で、主の教会のことが述べられる度に、主イエス・キリストをあがめるために欠かせない努力を払おうという決意が強められました。わたしは約束します。特に注意を払って、救い主の教会とその会員の正確な呼称を用いるようにすれば、信仰は増し、主の教会の会員の靈的な力はさらに大いなるものとなることでしょう。





さてここで、神殿のことに話題を変えましょう。神殿で時間を過ごすことが、わたしたちと家族の救いと昇栄にとってきわめて重要であることを、わたしたちは知っています。

自身の神殿儀式を受けて、神と神聖な聖約を交わした後も、わたしたちはそれぞれ、靈的に強化され、教えを受け続ける必要があります。それは、主の宮でのみ得られるものです。また先祖には、身代わりを務めるわたしたちが必要です。

福音を知らないまま亡くなった人々に神殿の祝福を与える方法を創世の前に定められた、神の深い憐れみと公正について考えてみてください。これらの神聖な神殿儀式は昔からあるものです。わたしにとって、それが昔にあったということは感動的であり、それが真実であるというもう一つの証拠です。²

愛する兄弟姉妹の皆さん、サタンの攻撃は、その強さと手段を変えて、急激に増しています。³ 定期的に神殿に参入することの必要性は、かつてなく大きくなっています。よく祈って自分の時間の過ごし方を考えてくださるようお願いします。皆さんと家族の将来のために時間を使ってください。神殿があまり遠くない距離にあるならば、主の聖なる宮において、定期的に主と約束をする方法を見つけ、そしてそのとおりに喜びをもってその約束を守るよう、皆

さんにお勧めします。わたしは皆さんに約束します。皆さんのが犠牲を払って主の神殿で奉仕し礼拝するとき、主は、皆さんに必要だと知っておられる奇跡を起こしてくださいます。

現在、わたしたちには 159 の奉獻された神殿があります。それらの神殿を正しく維持管理することはわたしたちにとってとても大切です。歳月が経つにつれて、神殿は改裝を余儀なくされます。そのため、ソルトレーク神殿とその他の開拓者時代の神殿の改裝・改築の計画が現在立てられています。これらのプロジェクトの詳細は、整い次第、お伝えします。

本日、さらに 12 の神殿を建設する計画があることを発表できるのは喜ばしいことです。次の場所に神殿が建てられる予定です。：アルゼンチンのメントーサ、ブラジルのサルバドール、カリフォルニア州のユバシティー、カンボジアのプノンペン、カーボベルデのプラヤ、グアムのジゴ、メキシコのプエブラ、ニュージーランドのオークランド、ナイジェリアのラゴス、フィリピンのダバオ、ペルトリコのサンファン、ユタ州のワシントン郡です。

神殿を築き、保持することが皆さん的生活を変えることにはならないかもしれませんのが、神殿で時間を過ごせば、確実に生活が変わります。長い間神殿に参入していない方々にお勧めします。できるだけ

早く準備をして、参入してください。さらにお勧めします。神殿で礼拝し、皆さんに対する主の無限の愛を深く感じるよう祈ってください。そうすれば、主がこの神聖かつ永遠の業を導き続けておられるという自分の証を一人一人が得られることでしょう。⁴

兄弟姉妹の皆さん、皆さんの信仰と、たゆまぬ努力に感謝します。皆さんが主の言葉をよく味わい、主の教えを自分の生活に生かすことができるよう、わたしは愛と祝福を皆さんに残します。わたしは断言します。啓示は教会に続いており、今後も「神の目的 [が] 成し遂げられ……て、大きいなるエホバ [が] 御業は成ったと告げられる」まで続くことでしょう。⁵

主と主の聖なる業を信じる信仰が増し、人生における様々な個人的問題に信仰と忍耐をもって耐えることができるよう、皆さんを祝福します。模範的な末日聖徒になれるように皆さんを祝福します。そのように皆さんを祝福し、わたしの証を述べます。神は生きておられます。イエスはキリストであられ、この教会は主の教会です。わたしたちは主の民です。イエス・キリストの御名により、アーメン。■

注

1. LDS.org と「福音ライブラリー」アプリにある総会のオンラインメッセージを参照。それらのメッセージは Ensign と『リアホナ』に掲載される。郵送により、またはオンラインでダウンロードすることにより入手できる。New Era や Friend を含む教会機関誌は、家庭を中心とした福音の教科課程にとって重要な部分である。
2. 例として、出エジプト 28 章 : 29 章 ; レビ 8 章を参照
3. モーサヤ 4 : 29 参照
4. See Wilford Woodruff, "The Law of Adoption," discourse delivered at the general conference of the Church, Apr. 8, 1894. ウッドラフ大管長はこう述べている。「啓示は終わっていません。神の業は終わっていません。……この業は、完了するまで決して終わりません。」(Deseret Evening News, Apr. 14, 1894, 9).
5. 『歴代大管長の教え——ジョセフ・スミス』142

大会で話された実話や物語の索引

総大会で話された経験談を幾つか選びました。個人の研究や家庭のタペ、その他の教える機会に活用してください。数字は説教の最初のページです。

話者	実話や物語
ニール・L・アンダーセン	(83) 忠実な宣教師、自分の苦しみを救い主が御存じであることを知っているために、テロリストによる爆破で重傷を負いながらも落ち込みを克服して回復の過程を歩む。ラッセル・M・ネルソン、亡くなったすべての人のためにイエス・キリストが復活の鍵をお使いになることを、娘を亡くした直後に語る。ラッセル・M・ネルソン、「最悪の状況にあっても喜びを見いだすことができる」とペルトリコの会員に証する。
ブライアン・K・アシュトン	(93) ブライアン・K・アシュトンの妻、神の特質と御自分の子供たちに対する神の愛と感謝をよく理解できるようになる。
M・ラッセル・バラード	(71) ジョセフ・F・スミスは、家族の死や、戦争・病気で亡くなる世界中の何百万人の人々のことで深い悲しみを経験した後に、「死者の贖いに関する示現」を受ける。
スティーブン・R・バンガーター	(15) スティーブン・R・バンガーターの孫たち、幸せな生活の土台としてのイエス・キリストを表現する言葉を石に書いて埋める。ラッセル・M・ネルソン、子供たちを教えるという親の神聖な責任を親たちに思い起こさせる。スティーブン・R・バンガーターの息子、親が伝道に出られるよう助けると申し出る。ある年配の男性、聖靈に導かれて教会に戻り、子供のころ感じていた靈的な平穀を取り戻す。
シェーン・M・ボーエン	(80) シェーン・M・ボーエン、モルモン書の力によって改宗した男性の話に深く感動する。
M・ジョセフ・ブラフ	(12) M・ジョセフ・ブラフは、アメリカ合衆国アラスカ州での冒険で、神には何でもできないことはないことを学ぶ。あるステーク会長、キリストの贖罪による赦しが平安をもたらすことを、身をもって学ぶ。M・ジョセフ・ブラフの娘、伝道に出る望みを持つことによって、難しいことを行うべきだということを父親に教える。
マシュー・L・カーベンター	(101) マシュー・L・カーベンターの息子、脳卒中から回復した後に伝道を終える。
D・トップ・クリストファー・ソン	(30) 4人の教会員、苦難にめげず、キリストを信じる信仰を固く保ってキリストに支えられる。
クエンティン・L・クック	(8) 『わたしに従ってきなさい——個人と家族用』のおかげで、あるブラジル人の家族は信仰と証が強くなり、福音がよく理解できるようになる。
ボニー・H・コードン	(74) 若い女性と高齢の女性、友情を培いながらお互いの生活に祝福を見いだす。ボニー・H・コードンとミニスタリングの同僚が、訪問先の姉妹に、すぐさま愛のきずなをもたらす。あるミニスタリングブラー、妻が自殺未遂した兄弟に近づいて信頼関係を築く。
ミッケル・D・クレーグ	(52) カミラ・キンボール、「親切な思いつきを抑えつけてはだめよ」とワードの姉妹に教える。
ディーン・M・ティビーズ	(34) ゴードン・B・ヒンクリー大管長、ブリティッシュコロンビア州バンクーバー神殿の建設用地を心に思い描く。
ヘンリー・B・アイリング	(58) ヘンリー・B・アイリング、使徒パウロの旅の地図を作る時間やエネルギーを、母がどう見つけたのだろうかと思う。 (90) ヘンリー・B・アイリング、「深刻な苦難の中にいる」と考えて人に対応することを学ぶ。救い主は、ヘンリー・B・アイリングの妻を苦難の中で支えてくださっている。
クリスティーナ・B・フランコ	(55) クリストイーナ・B・フランコ、愛と犠牲が初等協会の教師のチョコレートケーキの秘訣だったことを知る。
ロバート・C・ゲイ	(97) ロバート・C・ゲイ、聖靈の助けにより、神が御覧になるように姉を見る能够ができるようになる。ジェームズ・E・タルメージ、ジフェリアで苦しむ家族にミニスタリングを行う。
ジャック・N・ゲラード	(107) ジャック・N・ゲラード、深刻な病状にあると診断されて、永遠の観点から人生を見るようになる。
ゲレット・W・ゴング	(40) リチャード・G・スコット長老とゲレット・W・ゴング、キャンプファイヤーの水彩画をモデルにして絵を描きながら信仰について話し合う。ある神権者、あまり活発でない夫婦を教会に戻れるよう助ける。
ジェフリー・R・ホランド	(77) 子供たちが行ったミニスタリングによる懇願に助けられて、ある父親は人を赦して教会に戻り、家族に祝福をもたらす。
ジョイ・D・ジョーンズ	(50) ジョイ・D・ジョーンズと夫が主への愛のゆえに仕えることを学んだ後、あまり活発でない家族との間に永続する友情が育まれるようになる。
ラッセル・M・ネルソン	(6) ある母親は、毎週家庭で聖餐会を開くと祝福があつて家庭での夫の言葉遣いが良くなるので、家庭で教会を開くことを好んでいる。 (68) ラッセル・M・ネルソン、思わず自分のことを母と言ってしまう。母親からスマートフォンを折り畳み式の携帯に替えられてしまった息子、後で、聖靈に導かれてそうしてくれた母親に感謝する。 (113) ベンハミン・デ・オヨス、教会の長い名称は主が選ばれたのだと、ラジオ番組のディレクターに説明する。
ダリン・H・オーケス	(61) ある難民の若い男性、嫌がらせをした青少年に仕返しをしたために投獄される。
ポール・B・パイパー	(43) バプテスマを受ける準備をしているある幼い少女、キリストの御名を受けるとは「聖靈を受けられるということ」だと言う。
ロナルド・A・ラズバンド	(18) ロナルド・A・ラズバンドの娘と義理の息子、この世で子供をもうけることに対する恐れを克服する。
ゲーリー・E・スティーブンソン	(110) あるワードの会員、群れから離れていたカルロス・A・ゴドイにミニスタリングの手を差し伸べる。牧場の経営者は、200匹の羊を肉食動物によって失う。牧羊犬は羊を安全に導く。



ネルソン大管長、道を示す

ラッセル・M・ネルソン大管長は、人々にミニスタリングを行うときに、さらに親切で、靈的で、キリストのような者となるよう勧告しました。前回の総大会以降、ネルソン大管長はミニスタリングを行う様子を通して、ミニスタリングとは何かの模範を示してきました。

2018年4月の総大会から程なく、ネルソン大管長は、妻のウェンディー、十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老とその妻パトリシアとともに、イギリス、イスラエル、ケニア、ジンバブエ、インド、タイ、中国、アメリカのハワイを巡りました。

次いで、カナダの西部、中央部、東部、アメリカのワシントン州シアトル、ドミニカ共和国の会員や宣教師、指導者、教会の友人と会いました。ドミニカ共和国では、長時間にわたりスペイン語で話しました。教会の大管長が英語以外の言語で長時間の説教をしたのは、これが初めてです。

ネルソン大管長は、集会やファイヤサイドで様々なことについて教えました。教会の正しい名称や、人に福音を伝えること、モルモン書を大切にすること、福音に従って生活することによりどのように

生活がより良いものとなるか、キリストの道はどのように現在と永遠にわたる喜びと幸福への道であるかについて教えました。また、祈りについて、そして家庭を子供たちの聖所とすることについて、誘惑を克服し救い主に従うために選択の自由を用いることについて、人を思いやることについて、神殿からもたらされる祝福に備え、それを受けることについて教えました。

ネルソン大管長とネルソン姉妹は、2018年6月3日のワールドワイド・ユースディボーショナルでも語りました。ネルソン大管長は、「主の大隊」に加わり、イスラエルの集合を助ける青少年は、「重要で、崇高で、偉大な御業において重要な役割を果たす」機会を得ると述べました。ネルソン大管長は、ソーシャルメディアに常に頼ることをやめ、主のために時間をささげ、主とともに生活を綿密に評価し、神のすべての子供たちが福音を受け入れるよう日々祈り、世の光となるよう青少年に勧めました。■

ラッセル・M・ネルソン大管長の教えについて、詳しくは prophets.lds.org にアクセスしてください。青少年のための衛星放送の全体は、HopeofIsrael.lds.org から視聴してください。

神殿に関する ニュース

ラッセル・M・ネルソン大管長は、総大会の結びの言葉の中で、教会は12の神殿を新たに建設する予定であると発表しました（113ページ参照）。さらに、ソルトレーク神殿とその他の「開拓者時代」の神殿の改修を行う予定であり、詳細は後日知らされると言い添えました。

神殿の建設が予定されているのは、次の場所です：アルゼンチンの mendosa、 ブラジルのサルバドール、 アメリカ合衆国カリフォルニア州のユバシティー、 カンボジアのプノンペン、 カーボベルデのプライア、 グアムのジゴ、 メキシコのエラ・プラ、 ニュージーランドのオークランド、 ナイジェリアのラゴス、 フィリピンのダバオ、 プエルトリコのサンファン、 アメリカ合衆国ユタ州のワシントン郡です。

4つの神殿が間もなく奉獻されます。チリ・コンセプシオン神殿が10月28日に、コロンビア・バランキヤ神殿が12月9日に、イタリア・ローマ神殿が2019年3月10日から17日の1週間、コンゴ共和国・キンシャサ神殿が2019年4月14日に奉獻されます。

また、2つの神殿が最近再奉獻されました。テキサス州ヒューストン神殿が2018年4月22日に、ユタ州ジョーダンリバー神殿が2018年5月20日に再奉獻されました。■

temples.lds.org でさらにご覧いただけます。

家庭と教会において福音を教えるうえでのバランスを取る助けとなる変更

日聖徒が「教義を学び、信仰を強め、より深い個人の礼拝を養う」のを支援するための継続的な取り組みの一環として、ラッセル・M・ネルソン大管長は、会員が教会と家庭の両方で礼拝し、救い主の福音を学び、それに従った生活をするための、独特で欠かすことのできない数々の方法のバランスを取り、それらを結びつけるための調整を図ることを発表しました。

教会指導者は、家庭を中心とした、教会が支援する新たな教科課程の導入に関連して、2019年1月から実施される日曜日の集会スケジュールの変更を発表し

ました。これらをはじめとする変更は、ここ数年で教会がすでに開始している、幾つかの取り組みにさらに積み重ねるものであり、会員がさらに天の御父とイエス・キリストを生活の中心に据え、御二方への信仰を深めることを目的としています。これらの取り組みには、家庭における福音研究をさらに有意義なものとし、安息日を聖く保つことにより主を尊び、御靈の導きに従って、救い主がされたであろう方法で互いを思いやることに焦点を当てることが含まれています。

十二使徒定員会のクエンティン・L・クック長老は、総大会の土曜午前の部会

でこれらの変更点について概要を述べ、それが主の民を主の再臨に備えるためであり、個人の改心を深めることを目指していると説明し、次のように述べました。

「靈的な影響を受けることで、永続する深い改心を家庭で得られることを知っています。わたしたちが目指しているのは、信仰と靈性、天の御父と主イエス・キリストに対する改心を深めることで、教会と家庭で行うこととのバランスをうまく取ることです。」

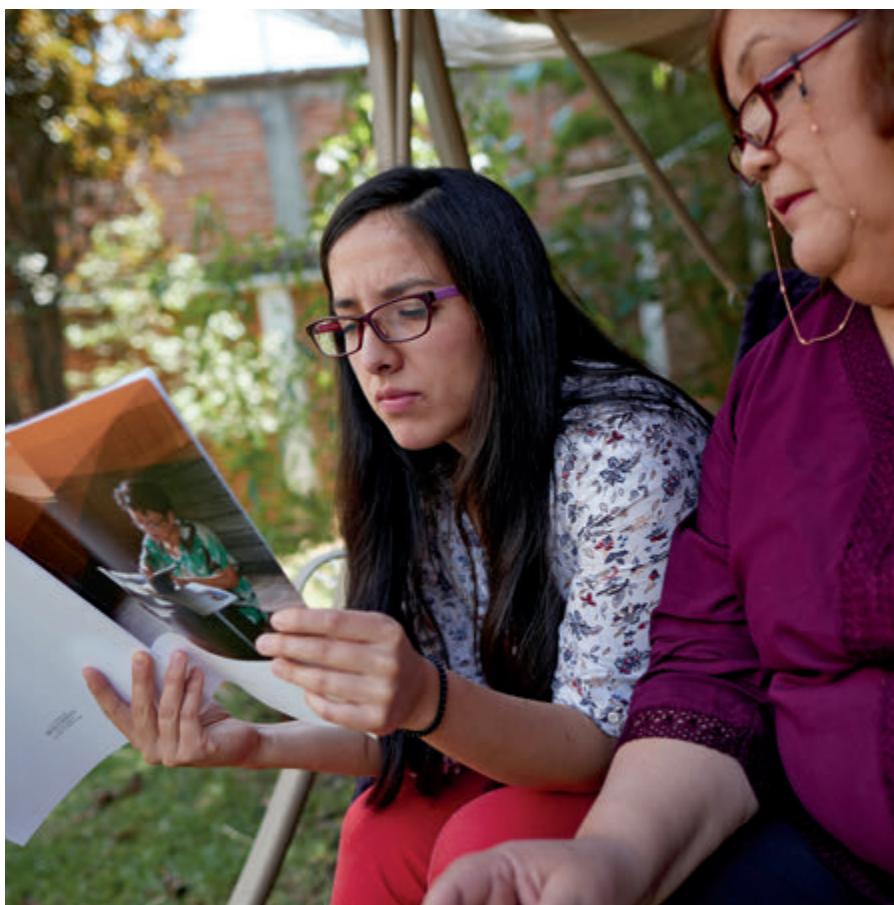
家庭での調整

教会指導者は、個人と家族が家庭において、教会の教えをさらに忠実に実践することにもっと焦点を当てるよう勧告しています。それには、日曜日や週を通じて家庭で福音研究を行ったり、家庭で過ごすタペを調整することなどが含まれます。

学びの場でもあり実践の場でもある家庭は、福音を学び、それを生活に生かす中心となる場です。日曜日に、また週を通じて、個人と家族が行う福音研究は、日々靈的な力を見いだす機会を提供し、より柔軟に、個人に合った研究を行い、啓示を受けることを可能にします。福音を教えることについて、教会での限られた時間だけを頼りにすることは、不安定なバランスを生み、必要な、持続する深い改心を達成する見込みが低くなります。

「個人の靈的成長に対する責任は、各自にあります。また聖文が明らかにしているように、両親は自分の子供に教義を教える主要な責任があります」とネルソン大管長は述べています。

変更には、個人と家族が家庭で使用する、新たな福音研究のためのリソースの導入が含まれています。個人と家族は必要に応じて、新しい『わたしに従ってきなさい——個人と家族用』を用いて、教会外での福音研究の手引きとすることがで



きます。この新たなリソースは、日曜学校と初等協会の教師向けの手引きと連携しており、教会でのレッスンと、家庭での聖文研究および家庭で過ごすタベのための提案の内容が揃うようになっています。

教会指導者は、福音研究を奨励するのに加え、安息日に、また週を通じて、家族評議会、家庭で過ごすタベ、家族歴史と神殿活動、ミニスタリング、個人の礼拝、家族の団らんに参加するよう勧めています。

会員と指導者に送付された資料の中で、教会指導者は、安息日または個人や家族が選択するほかの曜日に、家庭でタベを過ごしたり、福音研究を行ったりするよう会員に勧めていることが説明されています。家族の活動を行うタベは、月曜日もしくは別の曜日に開くことができます。そのため、指導者は引き続き月曜日の夜には教会の集会や活動を行わないようにするべきです。上記にかかわらず、家庭での福音研究、家族や個人による活動を行う日時は、個々の状況に合わせて決めることができます。

教会で神を礼拝し、神聖な儀式に参加し、互いに集まって教え合い、強め合い、仕え合うことは、信仰と個人の改心を深めるために欠かせない要素です。個人と家族が意図的に家庭を強めようとしない限り、教会で過ごす時間を減らすことは逆効果になります。

ネルソン大管長はこのように教えていました。「わたしたち末日聖徒は、『教会』とは集会所で行われることであり、家庭で行なうことがそれを支援するものだと考えるようになりました。この考え方を改める必要があります。今こそ、教会が家庭を中心としたものに、そして支部やワード、ステークの建物内で行われることがそれを支援するようになるときです。」

教会における調整

教会での経験について調整を図る目的は、家庭でさらに福音を研究し、福音に従った生活を送るのを支援するためです。これらの変更には、毎週の日曜日のスケジュールを以下のとおりに調整することが含まれます——

- 60 分間の聖餐会
- 10 分間の移動時間
- 50 分間のクラス時間——以下に示されるようなスケジュールとなります：

2019年1月以降の 日曜日のスケジュール	
60 分	聖餐会
10 分	クラスへの移動
50 分	成人のクラス、 青少年のクラス、 初等協会のクラス

50 分間のクラス時間には、毎週開かれる子供向けの初等協会と、以下のように週ごとに交替する青少年クラスと成人クラスとが含まれます——

- 第1、第3日曜日：日曜学校
- 第2、第4日曜日：神権定員会、扶助協会、若い女性
- 第5日曜日：ビショップの指示による青少年と成人を対象とした集会。

初等協会の規模が大きく、年少クラスと年長クラスに分ける場合には、指導者は半数の子供向けに、次に挙げるスケジュールを逆にし、必要に応じて時間を調整します。

2019年1月以降の 初等協会のスケジュール	
25 分	祈り、聖文または信仰箇条、お話（5分） 歌の時間——クラスで学ぶ聖文を強化する音楽（20分）
5 分	クラスへの移動
20 分	クラス：『わたしに従ってきなさい——初等協会用』を使ったレッスン

教科課程の変更

この集会スケジュールの調整は、新たに加わった、教会の『わたしに従ってきなさい』の教科課程と連携します。1月以降、家庭を中心とし、教会が支援するこの教科課程は、成人、青少年、子供が日曜学校や初等協会のクラスで学んでいる内容と合うようになっているため、家庭において週の間に家族として一緒に研究するのが容易になります。

指示とレッスンの概要、リソースは、以下の教材に掲載されています——

- 『わたしに従ってきなさい——長老定員会および扶助協会用』（『リアホナ』2018年11月号に掲載）
- 『わたしに従ってきなさい——アロン神権定員会用』
- 『わたしに従ってきなさい——若い女性用』
- 『わたしに従ってきなさい——日曜学校用』
- 『わたしに従ってきなさい——初等協会用』

さらに詳しい情報については、come-followme.lds.orgをご覧ください。

そのほかのおもな変更は以下のとおりです——

- 教師評議会集会は、月に1度ではなく四半期に1度開催されることになります。
- 長老定員会および扶助協会のレッスンスケジュールには、第1日曜日の評議会集会と第4日曜日の特別なテーマは含まれせん。レッスンは、直近の総大会の説教に焦点を当てたものとなります。
- 分かち合いの時間は歌の時間に代わります。『分かち合いの時間の概要』は今後使用しません。
- 福音の原則クラスは廃止されます。全会員および関心のある友人は、成人または青少年向けの各日曜学校のクラスに招待されます。
- 夫婦関係や家族を強めるためのコース、神殿準備コース、伝道準備コース、家族歴史コースなどの任意のコースは、日曜学校の時間には開催されません。しかし、地元の必要とビショップの判断により、ほかの時間にこれらのコースを個人や家族やグループに教えることはできます。

これらの変更の目的

教会指導者は特定の目的を念頭に、家庭で生かされる特有の利点と、教会で受ける経験との間に、新たなバランスとより堅固な結びつきを作り出そうとしています。

クック長老は述べています。「この変更は、ただの日曜日の集会所スケジュールの短縮ではありません。その変更やその他最近行われた変更の目的とそれに伴う祝福には、以下のようなものがあります。

- 天の御父と主イエス・キリストに対して深く改心し、御二方を信じる信仰が強くなる。

- 喜びのある福音生活に貢献する、家庭中心で教会がサポートする形の教科課程によって個人と家族が強くなる。
- 聖餐の儀式を大切にし、安息日を尊ぶ。
- 伝道活動を行うことと、神殿の儀式と聖約と祝福を受けることにより、幕の両側にいる天の御父の子供たちを助ける。」

これらの調整に関する発表については、ラッセル・M・ネルソン「開会のあいさつ」本誌6ページ；ケエンティン・L・クック「天の御父と主イエス・キリストに対する永続する深い改心」8ページを参

照してください。これらの調整の詳細については、Sabbath_lds.orgにアクセスして、大管長会からの手紙や、よくある質問への答え、個人や家族が安息日を尊ぶ助けとなるそのほかのリソースをご覧ください。■





新しい賛美歌集と歌集の改訂作業に参加しましょう

教会は、『賛美歌』と『子供の歌集』の新版の準備を進めしており、あらゆる地域の教会員からの提案と曲および歌詞の提供を求めてています。

ウェブサイトの newmusic.lds.org で、以下のように参加できます：

提案する —— 現在の賛美歌または子供の歌集の中の、お気に入りの歌。末日聖徒、あるいはそれ以外の賛美歌や子供の歌で、新しく賛美歌集に入れてほしい歌。現在の賛美歌や歌集から除外してほしい歌。現在の楽譜集の難点、その他のフィードバック。

オリジナル作品の提供 —— 賛美歌、賛美歌の歌詞、子供の歌、子供の歌の歌詞。音楽は、礼拝行事に適したものでなければなりません。あらゆる言語や文化様式の音楽が検討の対象となります。18歳未満の人は、親または後見人の許可書を提供すれば提出できます。作品の提出期限は2019年7月1日必着です。



ブルック・P・ヘイルズ長老
中央幹部七十人

ブルック・P・ヘイルズ長老は8歳か9歳のときに、父親がビショップとして管理する断食証会に出席しました。父親は会衆に証を述べるよう勧め、その場にいたほぼ全員が証を述べました。「恐らくそのとき初めて、御靈がわたしに、福音は真実だと証してくださいました」とヘイルズ長老は振り返ります。

それ以来、ヘイルズ長老は何度もその証を感じてきました。特に2008年以来、大管長会の書記として奉仕しているときはそうでした。トマス・S・モンソン大管長が預言者として、また大管長として召されたときに、またラッセル・M・ネルソン大管長が支持されたときにも、ヘイルズ長老は「預言者の外套がこの男性たちに着せられ〔た〕」の目にして「彼らが間違いなくそれぞれの時代の大管長として選ばれ、召されたと確信しました」と言います。

ヘイルズ長老は、2018年5月17日に中央幹部七十人として召され、2018年10月6日に支持されました。引き続き、大管長会の書記を務めます。

1956年4月7日、ユタ州オグデンでクレア・ヘイルズとゲレン・フィリップ・ヘイルズのもとに生まれたヘイルズ長老は、1980年にウイーバー州立単科大学（現在のウイーバー州立大学）で銀行学と財政学の単位を取得しました。卒業後、市中銀行や教会の財務・記録部で勤務しました。1981年にデニス・イムリー・ヘイルズと結婚し、4人の子供がいます。ヘイルズ長老は、フランス・パリ伝道部で専任宣教師としての奉仕をはじめとして、ビショッププリックの顧問、大祭司グループリーダー、ビショップ、ステーク会長、神権者オルガニスト、日曜学校教師、神殿の結び固め執行者などの召しを果たしてきました。

少年時代のその日、ヘイルズ長老は証を述べませんでした。しかしそのとき以来、証は強くなりました。「イエス・キリストの福音は、預言者ジョセフ・スミスを通して回復されました。モルモン書は真実です。神はわたしたちを完全に愛しておられ、わたしたちを祝福したいと強く望んでおられます。イエスはわたしたちの救い主であられます。わたしたちはふさわしいときに聖靈を伴侶とするという祝福を受けます」と述べています。■



わたしに従って きなさい —

長老定員会および
扶助協会用

2018年10月

これらのリソースを、「福音ライブラリー」アプリや
comefollowme.lds.orgで見つけてください。

なぜ定員会と扶助協会の集会があるのでしょうか

この末日に、神は神権を回復し、神権定員会と扶助協会を組織されました。これは、救いの業を成し遂げるためです。この理由でわたしたちは、毎週日曜日に定員会と扶助協会の集会に集って神の業を成し遂げるために何をするか話し合い、計画を立てます。効果を上げるために、その集会はクラス以上のものである必要があります。この集会は、救いの業について評議し、その業について教会の指導者の教えからともに学び、それを成し遂げるために計画を立てて組織的に働くようにする機会です。



2018年10月–12月のスケジュール

2018年における日曜日のメルキゼデク神権および扶助協会の集会は、下記の月間スケジュールに従って行われます：

第1日曜日：地元における責任、機会、課題についてともに評議し、行動計画を立てる。

第2、第3日曜日：会長会、時にはビショップまたはステーク会長が選んだ最近の総大会メッセージを研究する。

第4日曜日：大管長会と十二使徒定員会が選んだ特別テーマについて話し合う。2018年10月から12月までのテーマは、個人と家族の聖文研究です。

第5日曜日：ビショップリックの指示の下に行う。



「皆さんが、……
この変更について
一緒に話し合い、
啓示を求めてくれること
を、わたしたちは信じて
います。
〔新しい日曜日の
スケジュール〕は、
〔それ〕を熱烈に支持し、
聖靈の導きを求める人に
とって、大きな祝福と
なるでしょう。
天の御父とわたしたちの
主であり救い主であられる
イエス・キリストに
わたしたちは近づく
ことでしょう。

十二使徒定員会
クエンティン・L・クック長老

2019年度用の 新しいスケジュール

2019年の1月から、長老定員会と扶助協会の集会は、毎月第2、第4日曜日にのみ開かれます。これらの集会は、最近の総大会の説教に焦点を当てます。これらの集会で必要なレッスン内容の提案は、『リアホナ』の5月と11月の総大会号と福音ライブラリーアプリに掲載されます。

2019年から実施されるその他の変更には、以下が含まれます――

- 第1日曜日の評議会集会は廃止されます。ただし、長老定員会および扶助協会は必要に応じて、第2、第4日曜日の集会の一部を使って重要なテーマについて評議することができます。
- アロン神権定員会とメルキゼデク神権定員会、あるいは扶助協会の姉妹と若い女性は、合同での開会行事は行いません。
- 長老定員会および扶助協会の集会は、開会の賛美歌や祈りで始めませんが、閉会の祈りで閉じます。



総大会から学ぶ (2018年と2019年)

生ける預言者、聖見者、啓示者の教えは、長老定員会および扶助協会の業に靈感あふれる導きを与えてくれます。総大会の説教を研究する週のために、長老定員会および扶助協会の会長会は、会員の必要に基づいて、用いる総大会の説教を選びます。時折、ビショップやステーク会長も説教の提案を行います。指導者は、大管長会と十二使徒定員会のメッセージに重点を置くべきですが、会長会の会員は、地元の聖徒の必要と御靈からの靈感に基づき、最近の総大会からどの説教を選んでもかまいません。

指導者と教師は、選んでおいたメッセージを前もって読んで来るよう会員に勧める方法を見つける必要があります。自分が学んだ福音の真理について、またそれらの真理を実践する方法のアイデアについて話す備えをして集会に来るよう、会員に勧めなければなりません。以下に提案されている学習活動は、「救い主の方法で教える」で教えられている原則に基づいたもので、会員が総大会の説教から学ぶのに役立てるすることができます。

ケンティン・L・クック「天の御父と主イエス・キリストに対する永続する深い改心」
会員は、クック長老の説教で述べられている変更について初めて聞いたときにどのように反応したかについて、互いに話し合うことに関心を持つかもしれません。ほかの宗派の友人から、教会がこのような変更を加えているのはなぜかと尋ねられたら、何と答えるでしょうか。クック長老の説教の中から、考えられる答えを見つけるように勧めます。この変更により主の意図されていることが成し遂げられるよう、個人として、家族として、定員会または扶助協会として、何ができるでしょうか。この話し合いの一部として、会員に「熱烈に支持[する]」よう鼓舞する、ネルソン大管長の開会のあいさつから得たあなたの洞察について述べてもよいでしょう。

ロナルド・A・ラズバンド「心配することはない」
ラズバンド長老の説教は、わたしたちが暮らすこの危険の多い時代に対して抱く不安を払いのけるのに役立つ、幾つかの聖句を取り上げています。これらの助言となる聖句を見つけ、将来に対して恐れを抱いている人と共有できるように会員に伝えましょう。ラズバンド長老の説教から、ほかにどの部分を共有できるでしょうか。恐れはどうのように「神の子供たち〔の〕将来への展望を〔制限する〕」でしょうか。どのように恐れを克服し、信仰をもって生活できるようになってきたかを会員に述べてもらいます。

デビッド・A・ベドナー「ことごとく、キリストにあって一つに帰せしめる」
ロープとチェックリストを持ってきて見せるとよ

いでしょう。福音の真理と教会のプログラムを、1本の縄として見ることと、個々のテーマや、やるべきことのチェックリストとして見ることの違いについて話し合うよう会員に言います。ベドナー長老の説教の例の中から、気づいたことを探すように勧めます。「ことごとく、キリストにあって一つに帰せしめる」(エペソ 1:10)とはどのような意味でしょうか。ベドナー長老の説教の最後で与えられている約束を受けるために、何ができるでしょうか。

ダリン・H・オーカス「真理と計画」

自分の信条や宗教的な慣行に対する反対に遭ったときに、「回復された福音の真理」を理解することはどのような助けになるでしょうか。この質問に答えるために、会員はオーカス管長の説教の第2項(Ⅱ)に含まれている基本的な真理の例を読み返すとよいでしょう。これらの真理を適用する方法の例を読み返してもよいでしょう(第3項(Ⅲ)参照)。これらの基本的な真理を用いて、教会の教えや慣行に対する批判にどのように応じるかのロールプレイをすると、会員の役に立つかもしれません。

D・トッド・クリストファーソン「キリストへの堅固で搖るぎない信仰」

この説教についての話し合いの始めに、ホワイトボードに線を引き、片方の端に「社会的な動機」、もう片方の端に「キリストのような献身」と書く



とよいでしょう。「ほとんどの人は、現在二つの状態の間のどこかに位置しています……」で始まる段落を読み、自分がどの位置にいるかを深く考えるよう会員に勧めます。クリストファーソン長老の説教の例から学べることの中で、苦難にあって確固として揺るぎなくあろうと思わせてくれるのはどのようなことでしょうか（アルマ36：27－28も参照）。苦難に遭っても、福音に対してキリストのような献身を示した人の例について話すよう会員に勧めます。

ウリセス・ソアレス「『キリスト・イエスにあって一つ』」

ソアレス長老によると、アマゾン川はどのような点で回復されたイエス・キリストの教会を表しているでしょうか。このたとえは、新会員が教会に与える影響についてどのようなことを教えているでしょうか。新会員を励まし、支え、愛するようにというソアレス長老の勧告に、わたしたちは定員会または扶助協会としてどのように従えるでしょうか（モロナイ6：4－5参照）。何人かの会員に、新会員だったときに直面した問題や、ほかの会員がどのように助けてくれたかについて話してもらうとよいでしょう。新会員がどのように自分のワードや支部を強めたかについて話し合ってもよいでしょう。

ゲレット・W・ゴング「信仰のキャンプファイヤー」

キャンプファイヤーの写真を見せ、キャンプファ

イヤーがあったことに感謝した経験についてだれかに話してもらいます。ゴング長老の話の中に出でてくる「信仰のキャンプファイヤー」とは何か、会員に話し合ってもらいます。それから、会員をグループごとに分け、それぞれのグループに、「信仰のキャンプファイヤー」が励ましているとゴング長老が提案する5つの事柄の1つを復習し、それを発表してもらいます。時間を取って、自分や知っている人の信仰をどのように強められるかを会員に考えてもらいます。

ディーター・F・ウークトドルフ「信じ、愛し、行う」

この説教についての話し合いの始めに、ホワイトボードに「絶望」と「幸福」と書きます。絶望または幸福に至る態度や信条について述べている箇所を探し、それらをホワイトボードに書き出してもらいます。ウークトドルフ長老が教えているように、信じ、愛し、行うことにより幸福をどのように味わったかを会員に話してもらいます。家の中に飾ったり、友人と共有するための励ましの言葉をこの説教から見つけるよう会員に勧めます。

ジョイ・D・ジョーンズ「主のために」

ジョーンズ姉妹の説教の冒頭の物語を話して、自分の奉仕やミニスターリングの努力に「気づいてもらえなかつたり、感謝されなかつたり、必要とさえされなかつた」と感じたときのことについて会員に考えてもらうとよいでしょう。この物語について話し合った後、ホワイトボードに「わたしたちは

なぜ奉仕しなければならないのでしょうか」と書くとよいかもしれません。この質問に答えるために、ジョーンズ姉妹の説教の残りを読みながら、気づいたことを探します（教義と聖約59:5も参照）。ジョーンズ姉妹の勧告は、わたしたちが互いを思いやり、仕え合う方法にどのような変化を与えるでしょうか。

ミッセル・D・クレーグ「聖なる不満足感」

クレーグ姉妹は、「現在の自分と、なりたい自分との、それ」について述べています。神は、このそれについてわたしたちがどのように感じるよう望んでおられるでしょうか。サタンは、それについてどのように感じるよう望んでいるでしょうか。これらの質問の答えを見つけるために、各自でクレーグ姉妹の説教の3つの項の1つを調べるとよいでしょう。「聖なる不満足感」が「無力感や落胆」にならないようにするために、何ができるでしょうか。

クリスティーナ・B・フランコ「無私の奉仕の喜び」

「愛は犠牲を通して神聖なものとされる」ことを教えるために、フランコ姉妹は、ピクトリアとやもめについての二つの話を語っています。これらの話から愛と犠牲について学んだことを発表する準備をして来るよう、二人の会員に勧めるとよいでしょう。ほかに共有できる同じ原則に基づいた経験はあるでしょうか。人々に仕える救い主を描いたビデオ（LDS.orgの「Light The World—イエス・キリストの模範に従いましょう」など）を見せて、「愛と犠牲が伴う〔奉仕〕」にまつわる主の模範にどのように従えるかという話し合いにつなげるとよいでしょう。

ヘンリー・B・アイリング「女性と家庭における福音学習」

アイリング管長が説教の中で用いている聖句と「家族—世界への宣言」の言葉は、家庭における女性の影響力の重要性に関する洞察を与えています。協力してこれらの聖句や言葉を探し、学んだことについて話し合うとよいでしょう。アイリング管長はどのようなことを勧めているでしょうか。どのような約束をしているでしょうか。家庭についての賛美歌を歌ったり読んだりすること



で、どのように話し合いの質が向上するかを検討してください。例えば、「愛ある家は」（『贊美歌』186）などです。

ダリン・H・オーカス「親と子供たち」

教える準備をする際に、オーカス管長の説教のどの部分が、定員会または扶助協会の人々に最も関連があるかを検討してください。オーカス管長の説教についての話し合いを促すために尋ねるといい質問の例を紹介します——オーカス管長の説教の第1項（I）で述べられている現代の傾向は、どのような点で天の御父の計画に反しているでしょうか。第2項（II）で述べられている女性についての説明に関して、模範となる忠実な女性の例としてどのような人が挙げられるでしょうか。第3項（III）にある、オーカス管長から若い女性への具体的な勧告に従うよう、わたしたちの周りの若い女性に勧めるにはどうすればよいでしょうか。

ラッセル・M・ネルソン「イスラエルの集合への姉妹の参加」

扶助協会を教える場合、姉妹たちを4つのグループに分けて、それぞれのグループに、ネルソン大管長の説教の4つの勧めの1つについて読んでもらうとよいでしょう。グループごとに、その勧めについて心に残ったことや、それを実践した経験、また今後どのように実践するかのアイデ

アについて話し合うとよいでしょう。それから、各グループに、話し合った内容を発表してもらいます。神権者を教える場合、ネルソン大管長の説教の中から、天の御父がその娘たちについてどのように感じておられるかを示す文を探るように言うとよいでしょう。姉妹たちがイスラエルの集合に携わるのを支援し、励ますために、何ができるでしょうか。

M・ラッセル・バラード「死者の續いに関する示現」

バラード会長の勧告を受け入れるよう会員に勧め、話し合いの前に教義と聖約138章を読むとよいでしょう。この章に関連する経験や気づいたことを集会中に発表してもらいましょう。このような質問は、会員がこの啓示の重要性を理解するのに役立つでしょう。「この啓示はどのように慰めをもたらしてくれるだろうか。」「毎日の生活の仕方」に影響を与えるどのような真理がこの啓示に含まれているだろうか。」

ボニー・H・コードン「羊飼いとなる」

会員がミニスタリングの取り組みを改善する方法を検討できるよう、3つのグループに分けて、それぞれのグループに、コードン姉妹の説教から、見出しの付いた3つの項目の1つを読んでもらうとよいでしょう。学んだミニスタリングの原則を発表してもらいます。これらの原則に従おうと

努力することは、「主が望まれているような羊飼いとなる」うえでどのように役立つでしょうか。ほかの人のミニスタリングのおかげで、救い主が自分を御存じで愛してくださっていると感じられた経験について話すよう、会員に勧めます。

ジェフリー・R・ホランド「和解の務め」

ホランド長老の説教についての話し合いを始めるに当たり、癒しや和解を必要とする人間関係が自分の生活にないか考えるよう会員に勧めるとよいでしょう。それから、ブラッド・ボーウェンとパム・ボーウェンがどのように父親が癒されるのを助けることができたかを探しながら、ホランド長老の説教を調べてもらうとよいでしょう。この取り組みから、どのような祝福がもたらされたでしょうか。参加している会員は、自分自身の人間関係を癒すのに役立つどのような洞察を得たでしょうか。

ニール・L・アンダーセン「傷を負った人」

アンダーセン長老の説教を紹介するために、ルカ10:30-35と一緒に読むか、ビデオ「良いサマリヤ人のたとえ」（LDS.org）を見るとよいでしょう。わたしたちは皆どのような点で、強盗に囲まれて倒れた男性に似ているでしょうか。アンダーセン長老によると、イエス・キリストはどのような点で「わたしたちの良いサマリヤ人」でありますか。わたしたちは、どうすれば主の癒しを受け入れられるでしょうか。自分や愛する人々が、救い主にどのように傷を癒してもらったかを、会員に発表してもらうとよいでしょう。アンダーセン長老の言葉を調べて、傷を負っている人に伝えられそうな励ましのメッセージを見つけてもよいでしょう。

ラッセル・M・ネルソン「教会の正しい名称」

イエス・キリストは、教会を御自分の名前で呼ぶよう命じられました。会員がこの指示に従いたいという望みを増すことができるよう、ネルソン大管長の説教を調べて、「教会の名称を変えることはでき[ない]」理由を探してもらうとよいでしょう。それから、ネルソン大管長の説教の最後を調べて、「主の教会の正しい名称を回復する」ため取り組むときにどのような約束が果たされるかを探すように言います。わたしたちは、この取り



組みを助けるために何ができるでしょうか。

ヘンリー・B・アイリング管長「トライ、トライ、トライ」

アイリング管長は「二つの重大な疑問」を投げかけています。「〔救い主〕の御名を受けるためには何をしなければならないだろうか」そして、「自分が進歩していることはどうすれば分かるだろうか」という疑問です。これらの質問をホワイトボードに書き、アイリング管長の説教とアイリング姉妹の模範から得た気づきを発表するよう会員に言うとよいでしょう。アイリング管長は、歌「イエス様のように」（『子供の歌集』40）にも言及しています。その歌詞は、話し合いをどのように高めてくれるでしょうか。

デール・G・レンランド「〔きょう、選びなさい〕」

会員は、天の御父の計画に従うよう励ましたい相手について考えるとよいでしょう。例えば、家族や、ミニスターリングの相手などです。レンランド長老の説教を復習して、天の御父とイエス・キリストがわたしたちについてどのように感じておられるかを見つけるとよいでしょう。御二方は、わたしたちが従順を選ぶのをどのように助けてくださいますか。御二方の模範は、家族やミニスターリングの相手に対する取り組みを改善する方法についてどのようなことを示唆していますか。

ゲーリー・E・スティーブンソン「羊飼いとして人々を導く」

あなたが教える人々は、スティーブンソン長老の説教にあるこの質問を尋ねたことがあるかもしれません。「わたしたちが主の方法でミニスターリングを行っているかをどのようにして知ることができるだろうか。」この質問の答えとして考えられるものをこの説教から見つけて話し合うと、彼らの助けになるかもしれません。あるいは、羊飼いであられる救い主の絵を持って来て（『福音の視覚資料集』64番参照）、この絵が示しているスティーブンソン長老の説教に含まれる真理を会員に発表してもらってよいでしょう。その後、話し合いの結果、何をするとよいと感じたかを発表してもらうとよいでしょう。



「第4日曜日の集会」 (2018年10月–12月)

個人と家族の聖文研究

2018年の第4日曜日に、長老定員会および扶助協会は、個人と家族の聖文研究について話し合います。指導者または教師は、話し合いの司会をします。話し合いのテーマは以下の原則から選ぶことができます。

個人の聖文研究

会員が定期的に聖文研究をしようという気持ちになるよう、以下の聖句から一つ選んで読むよう勧めるとよいでしょう—ヨシュア1:8; 2テモテ3:15–17; 1ニーファイ15:23–25; 2ニーファイ32:3; 教義と聖約11:22–23; 33:16–18。読んで深く考える時間を取った後、読んだ聖句が聖文研究についてどのようなことを教えているかを教室のだれかに話してもらってよいでしょう。

聖文を研究するときに受ける祝福について証を述べるよう会員に勧めてもよいでしょう。個人の聖文研究を有意義なものとするために行っていることについて互いに話し合うことも

会員の役に立つでしょう（「個人の聖文研究を改善するためのアイデア」〔「わたしに従ってきなさい—個人と家族用」〕の例を参照）。「〔日曜日のスケジュールの〕変更やその他最近行われた変更の目的とそれに伴う祝福」についてクエンティン・L・クック長老が教えたことを会員に伝えてよいでしょう（「天の御父と主イエス・キリストに対する永続する深い改心」『リアホナ』2018年11月号参照）。聖文研究を改善しようと努力することは、これらの目的を果たすうえでどのように役立つかを話し合ってもよいでしょう。LDS.orgの以下のビデオも会員を鼓舞するかもしれません—「Words with Friends（友との会話）」「The

Blessings of Scripture (聖典からもたらされる祝福)」「Daily Bread: Pattern (日々の糧—規範)」「What Scriptures Mean to Me (わたしにとっての聖文)」。

一貫した福音研究

デビッド・A・ベドナー長老は、一貫した家族の聖文研究およびそのほかの義にかなった習慣を、美しい絵を構成する、筆で描いた一本一本の線にたとえました。ベドナー長老が教えたことを会員が理解できるよう、芸術家が筆で描いた一本一本の線が見える絵を見せるとよいでしょう。次に、「家庭でもっと勤勉に家庭のこと気に携わる」(『リアホナ』2009年11月号、19–20)のベドナー長老の比喩を読み、この絵の線がどのような点で聖文研究と似ているかを話し合うとよいでしょう。個人で研究するか家族と一緒にするかにかかわらず、一貫した福音研究の妨げとなるものを克服するうえで何が助けになりましたか。ラッセル・M・ナルソン大管長は、「家庭を福音学習の中心の場所に改めるよう熱心に取り組む」人々にどのような約束をしましたか。「模範的な末日聖徒になる」(『リアホナ』2018年11月号参照)時間を取って、今日学んだ事柄のために、何をしようという気持ちになったかを深く考え、発表してもらいます。

家庭と教会における福音についての話し合い
家庭と教会における福音の話し合いの重要性について会員が理解できるよう助ける一つの方法は、一人の子供と親に歌「光の中進もう」(『賛美歌』194番)を歌ってもらうことです。この歌の歌詞の中にある親子の交わりは、福音を学ぶことについてどのようなことを教えているでしょうか。家庭生活の中で自然に、定期的に、福音についての話し合いを行う方法について、進んで意見を述べてくれる会員がいるかもしれません。以下の聖句が新たな気づきを与えてくれるかもしれません—申命11:18–20; 1ペテロ3:15; モーサヤ18:9; モロナイ6:4–5, 9; 教義と聖約88:122。家庭と教会における話し合いは、どのようにわたしたちを天の御父とイエス・キリストに近づけてくれるでしょうか。

2019年の家庭での聖文研究を支援するためのアイデア

2019年の1年間、ワードの全会員は、家庭と日曜学校、初等協会で新約聖書を研究します。定員会および扶助協会の集会では、指導者と教師は会員に、『わたしに従ってきなさい——個人と家族用』で翌週に予定されている聖句を知らせ、家庭で研究できるようにしなければなりません。書面や口頭、あるいは両方の手段で連絡をしててもよいでしょう。

長老定員会および扶助協会の指導者と教師は、新約聖書から得た洞察を長老定員会や扶助協会の集会で採り上げる機会を見つけることにより、この聖文研究を促すことができます。例えば、長老定員会と扶助協会の指導者と教師は、以下のことができます——

- 聖文研究で学習した物語や教義が、長老定員会や扶助協会のレッスンにどのように当てはめられるのかに気づく。指導者と教師は、この洞察を日曜日の集会で述べることができます。
- 新約聖書の物語や教義が、長老定員会や扶助協会での責任にどのように応用できるかを会員に分かち合う。
- 家庭で新約聖書を研究して得た良い経験を会員に伝え、会員にもそのような経験を発表してもらう。



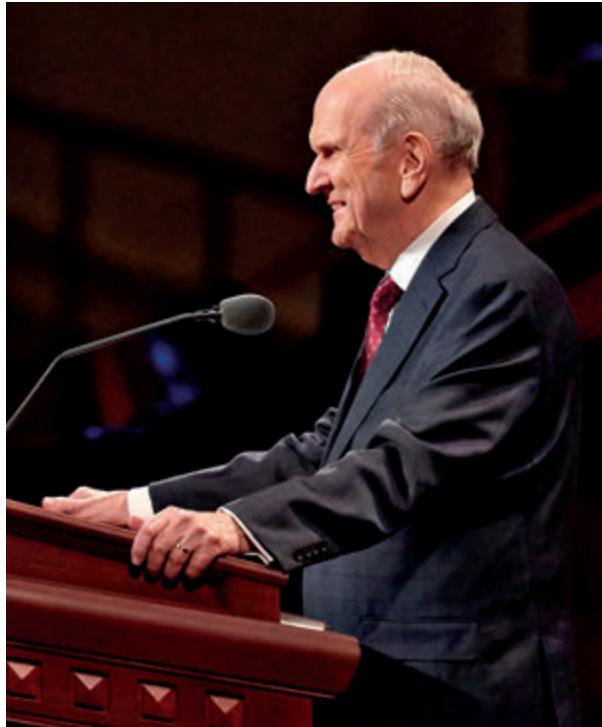


*Inasmuch as ye have done it unto one of the least of these
my brethren, ye have done it unto me*

「主なる救い主イエス・キリストは、贖罪という計り知れない賜物を通してわたしたちを死から救い、悔い改めを通して罪の赦しをえてくださるだけでなく、傷ついた心の悲しみや痛みから、わたしたちをいつでも救おうとしておられます。

救い主はわたしたちの良いサマリヤ人であり、『心のいためる者をいや』すために遣わされたのです。〔ルカ4:18〕人々が通り過ぎる中、わたしたちのそばに来られ、思いやりを胸に、傷口に癒しの香油を塗って包帯で巻き、わたしたちを運び、世話をしてくれます。主はこう告げておられます。『わたしのもとに来なさい。』そうするならば、わたしは〔あなたがた〕を癒そう。」〔3 ニーファイ 18:32〕

「良いサマリヤ人」
Annie Henrie Nader



「家庭を中心として教会が支援する新たな統合教科課程には、家族の力を解放する潜在的な力があり、各家族が自分の家庭を信仰の聖所に変えるよう、誠実に、注意深く努力を続けるときにそれが達成されます」とラッセル・M・ネルソン大管長は第188回半期総大会の日曜午後の部会で話しました。「わたしは約束します。皆さんが家庭を福音学習の中心の場所に改めるよう熱心に取り組むならば、やがて、皆さんの安息日は真に喜びの日となります。皆さんの子供たちは奮い立つて救い主の教えを学び、教えに従って生活するようになります。また、皆さんの生活と家庭におけるサタンの影響力は減少します。皆さんの家族は劇的に変わり、その変化は持続します。」

末日聖徒
イエス・キリスト
教 会